

主務課別決算成果説明書

決算成果説明書には以下の内容が記載されています

(款) 12 諸支出金											
(項) 1 公営企業費											
(目) 1 交通事業費										(単位：千円)	
予算現額	決算額	主務課に配当された事業区分ごとの決算額を記載しています		内 訳							
				繰入金		その他		一般財源			
181,900	145,501	2,484								143,017	
事業区分		1 定期航路事業特別会計		145,501 千円		事項別明細書		P 190 ~			
定期航路事業特別会計		事業名称を記載しています。				予算現額		145,501 千円			
						決算額		145,501 千円			
						翌年度繰越金		0 千円			
まちづくりの目標		5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう				(前年度決算額)		148,991 千円			
定期航路事業の単年度における赤字分に対し、一般会計から繰出しを行い、離島住民の生活の安定と利便性向上のため		第五次鳥羽市総合計画での「まちづくりの目標」(政策目標)を記載しています。									
○主な経費		繰出金		145,501千円							
○主な財源		国庫支出金		地方創生臨時交付金		2,484千円					

議 会 事 務 局

【総括】

鳥羽市議会では、平成 22 年度の鳥羽市議会基本条例の制定をはじめ、これまでに多くの議会改革を実施してきています。令和 2 年度も継続して、これらの取組の更なる充実を図ることに加え、議会基本条例に基づき、議会が市民の代表機関としての役割を果たすとともに、議会に対する市民の関心を高め、より市民に開かれた議会となることを目指しました。

これらの目標を掲げ、引き続き、市議会だよりの発行、インターネット、ケーブルテレビ、SNS での本会議、委員会等の情報発信及び T O B A ミライトークを実施しました。

本会議では、120 件の議案について、それぞれ原案可決や同意、認定、採択などの議決を行いました。

予算決算常任委員会では、当初予算や補正予算、決算認定に係る審査を行い、当初予算審査及び決算認定審査では、その日審議した内容について議員間討議（振り返り）を行いました。なお、決算認定に係る審査では毎日の議員間討議の中で各種事業に対する意見出しを行い、決算審査最終日に合意された 2 項目をまとめ、新年度当初予算編成前に提言書として市長に手交しました。

議会改革推進特別委員会は、4 回開催し、本会議での表決の際に複数議案を同時に行う一括表決の実施や令和 3 年 5 月 1 日付け、総務民生常任委員会と文教産業常任委員会を行政常任委員会に一本化することを決定し、議会運営改革に取り組みしました。

広報広聴委員会では、年 5 回の市議会だより発行と議会の広聴機能強化のために議員と市民が地域課題の共有と意見交換することを目的とした T O B A ミライトークを 3 団体（鳥羽旅館事業協同組合女将あこや会、鳥羽商工会議所女性部、鳥羽市教育委員会教育委員）とそれぞれが希望するテーマに沿って実施しました。

行政視察の受入実績は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため受け入れを自粛したことから 2 団体 22 人となりました。視察内容は、議会対応では、議会の ICT 化、タブレット端末に関すること、執行部対応では、教育委員会の鳥羽市民体育館の改修状況、健康福祉課の答志島高齢者等移動手段確保事業に関することでした。

【予算執行を伴わない事業】

新型コロナウイルス感染症対策として本会議場での議員席の間隔確保、執行部側の出席者数を極力抑えるようにしました。

また、各委員会についても執行部側席の間隔をあけられるように委員会出席説明員の人数調整を行うなど工夫をしました。

（款） 1 議会費

（項） 1 議会費

（目） 1 議会費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
131,263	127,781					12	127,769

本会議	予算現額	212 千円
	決算額	159 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 129 千円

令和2年度の議会運営は、令和2年5月1日に本会議を開催して以後、延べ25日の本会議を開催しました。一般質問は延べ23人、40件の通告が、議案質疑は延べ6人、6件の通告がありました。また議決件数については、原案可決101件、同意8件、認定2件、採択1件、了承8件の合計120件でした。

令和3年3月31日には税制関連の日切れ法案に係る市税条例等の上程を受け、本会議において議案質疑及び表決を行いました。

○ 主な経費 旅費 159千円（費用弁償 159千円）

1. 会議の開催

会議名	本会議	出席人員	一般質問		議案質疑	
5月1日会議	1日	14人			1人	1件
5月15日会議	1日	14人				
5月29日会議	1日	14人				
6月8日から6月26日までの会議	4日	56人	5人	8件		
8月3日会議	1日	14人				
9月4日から10月2日までの会議	5日	70人	7人	14件	1人	1件
10月28日会議	1日	14人				
11月30日から12月21日までの会議	5日	67人	6人	11件	2人	2件
1月28日会議	1日	14人				
3月1日から3月31日までの会議	5日	77人	5人	7件	2人	2件
合計（延べ数）	25日	354人	23人	40件	6人	6件

2. 議決件数内容

区 分	5月 1日	5月 15日	5月 29日	6月	8月 3日	9月	10月 28日	12月	1月 28日	3月	合計
原案可決	3	3	7	5	3	22	2	20	2	34	101
修正可決											0
否 決											0
同 意				1		2				5	8
承 認											0
否認・不承認											0
認 定						2					2
採 択						1					1
趣旨採択											0
継続審査											0
不採択											0
了 承			2			5		1			8
選挙・その他											0
合 計	3	3	9	6	3	32	2	21	2	39	120

各種委員会		予算現額	371 千円
		決算額	141 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心こもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	1,138 千円
委員編成２年目であることから、前年度と同じ委員構成により各委員会を運営しました。 総務民生常任委員会では、本会議において付託された議案30件を審査し、可決30件となりました。 文教産業常任委員会では、本会議に付託された議案19件（内請願１件）を審査し、可決18件、採択１件となりました。 予算決算常任委員会では、当初予算、補正予算の審査のほか、９月会議の決算認定審査の際に振り返りとして委員から提案された各種事業を議論し、「次年度予算に向けた提言として取り扱うもの」を整理しました。提言として「新型コロナウイルス感染症の影響により、変わりつつある社会生活のあり方を踏まえ、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、世代や分野を超えつながることで、明るく豊かな地域をともに創りあげていく鳥羽市独自の地域共生社会の実現が必要である。そこで、まちトークなどによる地域課題の把握、各課の意識共有を行いながら、課題解決のために全庁あげて具体的な事業展開に努められたい。」、「GIGAスクール構想による小中学生の児童生徒に１人１台PC整備と学校に高速大容量の通信ネットワークを整備し、子どもたちの創造性を育む教育など、昨今の教育環境は目まぐるしいスピードで変革がなされている。今後は、ＩＣＴの教育環境のみならず、あらゆる変化を見据え、「鳥羽市で子育てできて良かった」、「誰もが鳥羽市で子どもを育てたい」と思われるような教育環境の充実・拡充をされたい。」の２項目を取りまとめ、市長へ手交しました。また、議会改革推進特別委員会においては、委員会４回を開催しました。決定事項としては、「本会議での表決時に複数議案を同時に行う一括表決」、「令和３年５月１日から総務民生常任委員会と文教産業常任委員会を行政常任委員会に一本化」を了承しました。 広報広聴委員会は、市議会だより「わたしの議会。」を年５回（５月、６月、８月、１１月、２月）発行したほか、議会報告会・意見交換会である「ＴＯＢＡミライトーク」を申し込みのあった３団体（鳥羽旅館事業協同組合女将あこや会、鳥羽商工会議所女性部、鳥羽市教育委員会教育委員）と「新型コロナウイルス感染症に関連した産業振興・雇用、環境・まちづくり、防災」、「子育て支援・教育」、「新型コロナウイルス感染症に関連した産業振興・雇用」をそれぞれテーマとして開催しました。 また、例年実施している総務民生常任委員会、文教産業常任委員会、議会運営委員会の行政視察は新型コロナウイルス感染症の拡大による県内外の移動自粛のため中止としました。 ○ 主な経費 旅費 141千円（費用弁償 141千円）			
1. 委員会の開催状況			
委員会名	日数	出席人員	開催日
議会運営委員会	15 日	90 人	R2 5/1、5/12、5/26、6/3、6/22、7/29、9/1、10/22、11/26、12/7、12/14、
			R3 1/25、2/24、3/18、3/25
総務民生常任委員会	10 日	130 人	R2 5/1、5/15、5/29、9/4、9/16、10/2、11/30、12/11
			R3 3/11、3/31

各種委員会

文教産業常任委員会	5 日	34 人	R2 6/19、8/3、9/17、12/14、 R3 3/12
予算決算常任委員会	22 日	281 人	R2 5/1、5/15、5/29、6/22、6/26、 8/3、9/4、9/18、9/23、9/24、 9/25、9/28、10/28、12/15、12/21 R3 1/28、3/15、3/16、3/17、3/18、 3/26、3/31
議会改革推進特別委員会	4 日	52 人	R2 6/22、10/2 R3 3/10、3/31
全員協議会	16 日	220 人	R2 5/1、5/15、5/29、6/8、6/17、9/4、 9/15、9/28、10/28、12/10、12/21 R3 1/13、2/12、3/1、3/10、3/18
広報広聴委員会	5 日	35 人	R2 4/3、7/2、8/3、10/7、 R3 1/8
合計（延べ数）	77 日	842 人	

2. 委員会の付託議案・可決状況

委員会名	会議月	付託議案数	可決・採択・同意数	否決数
総務民生常任委員会	5月	8件	8件	
	9月	5件	5件	
	12月	7件	7件	
	3月	10件	10件	
	合 計	30件	30件	
文教産業常任委員会	6月	1件	1件	
	8月	1件	1件	
	9月	9件(1件)	9件(1件)	
	12月	5件	5件	
	3月	3件	3件	
	合 計	19件(1件)	19件(1件)	

（ ） 数は、正数字の内の請願数を示す。

委員会名	会議月	付託議案数	可決・認定数	否決・不認定数
予算決算常任委員会	5月	4件	4件	
	6月	3件	3件	
	8月	1件	1件	
	9月	8件(2件)	8件(2件)	
	10月	2件	2件	
	12月	7件	7件	
	1月	2件	2件	
	3月	15件	15件	
	合 計	42件(2件)	42件(2件)	

（ ） 数は、正数字の内の認定数を示す。

各種委員会

3. 請願の受理状況

件 名	上程年月日 委員会	結 果
鳥羽の子どもたちの「豊かな学び」の補償と充実を求める請願	R2. 9. 4 文教産業	R2. 10. 2 採 択

議会一般管理経費

議会一般管理経費	予算現額	130,680 千円
	決算額	127,481 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標 5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	130,273 千円

「行政視察受け入れ」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため行政視察の受け入れを自粛しましたが、三重県議会と伊勢市議会の2件のみ視察の受入をしました。

伊勢市議会は事務局員を含む11人に対して鳥羽市議会事務局が、また三重県議会の事務局員を含む11人に対して教育委員会及び健康福祉課が対応いたしました。

【三田市議会・田原市議会との交流事業】

三田市議会、田原市議会との交流事業については、鳥羽市議会が三田市議会を訪問、田原市議会を鳥羽市に迎える予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止となりました。

○ 主な経費

- ・ 旅費 161千円（費用弁償6千円、費用弁償（会計年度任用職員通勤手当）155千円）
- ・ 人件費 議員報酬 58,056千円
- ・ 委託料 会議録デジタル音声データ反訳及び会議録作成業務 1,608千円
会議録検索システムデータ作成業務 296千円
- ・ 負担金補助及び交付金
全国市議会議長会 306千円、全国離島振興市町村議会議長会 50千円
東海市議会議長会 19千円、全国温泉所在都市議会議長協議会 16千円
三重県市議会議長会 17千円、政務活動費 1,162千円

1. 議長会開催状況

- | | |
|---------------------|------------------------|
| (1) 全国市議会議長会 | 1 回（内書面 1 回） |
| (2) 全国離島振興市町村議会議長会 | 4 回（内書面 2 回、オンライン 2 回） |
| (3) 東海市議会議長会 | 1 回（内書面 1 回） |
| (4) 三重県市議会議長会 | 2 回（内書面 2 回） |
| (5) その他の議長会関係 | 2 回（内書面 2 回） |
| (6) 中南勢都市議会議長会 | 1 回（内書面 1 回） |
| (7) 伊勢志摩地域市町議会連絡協議会 | 1 回（内書面 1 回） |

2. 市議会だより「わたしの議会。」の発行

発行日 5月1日、6月1日、8月1日、11月1日、2月1日

総発行部数 39,500部

議会一般管理経費

3. 議会報告会・意見交換会（TOBAミライトーク）の開催状況

申込団体名	開催日	参加人数	話し合ったテーマ
鳥羽商工会議所女性部	R2 7月16日	10人	新型コロナウイルス感染症に関する産業振興・雇用、環境・まちづくり、防災
鳥羽市教育委員会教育委員	R2 7月27日	4人	子育て支援・教育
鳥羽旅館事業協同組合 女将 あこや会	R2 11月17日	6人	新型コロナウイルス感染症に関する産業振興・雇用

4. 行政視察団体来庁数 2団体22人（議会対応 1団体11人、執行部対応 1団体11人） （県外：0団体0人、県内：2団体22人）

月	団体名	人数	視察内容
7	伊勢市議会	11	議会のICT化、タブレット端末に関することについて
11	三重県議会	11	鳥羽市民体育館の改修状況について 答志島高齢者等移動手段確保事業について
2団体		22	

【参考】令和元年度行政視察受入 22団体167人

議会対応 16団体126人（内1団体5人県内）、執行部対応 6団体41人（全て県外）

5. 議会インターネット中継視聴数

YouTube （R2. 4. 1～R3. 3. 31）

会議名	登録数	延べ登録時間	視聴回数	視聴回数/登録数
本会議	62	44:32:43	6,326	102
議会運営委員会	15	4:52:28	695	46
総務民生常任委員会	10	6:16:01	665	67
文教産業常任委員会	5	3:26:41	251	50
予算決算常任委員会	34	64:02:02	3,039	89
議会改革推進特別委員会	4	1:10:08	147	37
全員協議会	19	14:54:49	1,217	64
その他（わたしの議会）	4	2:46:32	484	121
合 計	153	142:01:24	12,824	84

6. 議員別政務活動費の支出状況

議員名	交付決定額	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	資料購入費	事務費	支出合計額	返還額
南川 則之	156,000			156,000				156,000	0
濱口 正久	156,000			144,199				144,199	11,801
瀬崎 伸一	156,000							0	156,000
片岡 直博	156,000						33,287	33,287	122,713

議会一般管理経費										
奥村 敦	156,000					33,970	25,073	59,043	96,957	
河村 孝	156,000						21,792	21,792	134,208	
山本 哲也	156,000			88,000		61,182	6,818	156,000	0	
中世古 泉	156,000							0	156,000	
木下 順一	156,000			156,000				156,000	0	
戸上 健	156,000			110,418	42,262		3,320	156,000	0	
浜口 一利	156,000					45,464	14,625	60,089	95,911	
坂倉 広子	156,000					53,340	9,085	62,425	93,575	
坂倉 紀男	156,000					92,400	16,193	108,593	47,407	
世古 安秀	156,000			26,400			22,207	48,607	107,393	
合 計	2,184,000	0	0	681,017	42,262	286,356	152,400	1,162,035	1,021,965	

企 画 財 政 課

【総括】

令和2年度は、「第5次鳥羽市総合計画」の最終年度にあたり、改めてこれまでの施策を振り返るとともに、今後の人口推計や財政推計を基に新たな10年の見通しを形にする年になりました。

「第6次鳥羽市総合計画」では、甚大な被害が想定される自然災害への対応や少子高齢化の更なる進展等、将来を見据えたまちづくり等の課題が増える中、強くしなやかなまち、人口が減っても皆が生き生きと活躍できるまちを実現するため、全庁的に知恵を出し合うとともに、総合計画審議会等でも幅広くご意見をいただきながら、10年間の「基本構想」のほか、目指す姿の実現に向けて今後5年間に必要となる施策の展開について「前期基本計画」を取りまとめました。また、総合計画と連動する形で、大規模自然災害等に対する事前防災及び減災の取組を進めていくための指針である「国土強靱化地域計画」を策定しました。

政策立案においては各種データの収集と分析が重要であり、毎年、統計法に基づき、各種基幹統計調査を実施しています。令和2年度は日本に住んでいる全ての人・世帯が対象の「国勢調査」が実施され、本市でも世帯員の数や就業状態等について調査を行いました。令和3年6月に出された「人口速報集計結果」では本市の人口は17,537人と発表されており、5年前の平成27年度調査と比べて9.83%の減少となったことから、改めて人口減少下でのまちづくりについて考えていく必要があります。

地域振興や移住・定住の分野では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地域おこし協力隊による活動や鳥羽高校の地域学習サポート等、市内を中心に取組を継続しました。都市部でのイベントへの参加が難しくなり、移住希望者との交流のあり方を模索する1年となりました。一方、県境をまたぐ会議や要望活動へ参加する事が難しい年ではありましたが、オンラインツールの活用による意見交換や要望活動ができるようになり、令和4年度末で期限を迎える離島振興法の改正に向けたヒアリングの場でも本市のスマートアイランドを含む取組等、鳥羽の実状に応じた要望活動を実施することができました。

財政運営については、新型コロナウイルス感染症の影響で各事業に迅速な対応が求められたことから、一般会計で15回の補正予算を編成したほか、これまでの財政健全化への取組と新型コロナウイルス感染症による歳入不足等を見据えて、土地開発基金の一部を処分し、財政調整基金と減債基金に積み立てました。

ふるさと納税については、財源確保と地域経済への波及効果を意図し、PRと返礼品の充実に努めました。窓口ポータルサイトを4サイト追加して受付体制の強化を図ったほか、オンラインイベントへの参加や返礼品に周遊券のデジタルチケットとなる「電子感謝券」を加えて即日発行対応を可能にする等の取組を進めました。なお、納税額は、新型コロナウイルス感染症の影響による巣ごもり需要もあったと推察され、過去最高額の寄附を受け付けました。

【新たに実施した事業】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止や地域経済・住民生活の支援を目的として、国において「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」が創設され、全庁的なアイデアの収集や関係団体等からの意見等を踏まえて、本課では市としての計画を取りまとめる役割を担いました。感染拡大を防ぐための対策や市民生活・事業継続への支援、緊急事態宣言の発出等で落ち込んだ地域経済の回復策、リスクに強いまちへ転換していくための工夫といった視点から、その時々フェーズで必要な事業の予算化を行いました。

本課においては、関係人口となる市外の学生とのつながりを強化する期待も込めて、コロナ禍で帰省を控えている学生に対して、市長、市議会の応援メッセージと地域の産品等を送るプロジェクトを実施しました。また、新型コロナウイルス感染症対策として全国的に密を避ける新たな働き方が注目されるようになり、「テレワーク」や「ワーケーション（ワークとバケーションによる造語）」といった語を耳にする機会も増えました。このように観光滞在や移住といった既存のあり方以外の形で、鳥羽と関わる人を増やすための1つの手法として、休暇と併用して旅先で仕事をする「ワーケーション」を推進するにあたり、拠点整備の強化として、市内事業所等に対して公募を行い、審査を経て補助を行いました。

これらの「ワークスペース」の情報発信や使い勝手の検証等、また、オンラインプラットフォーム「とぼる」やオンラインコミュニティ「とぼり隊」の立ち上げ等、関係人口の創出拡大を図るための取組について着手するも、全国各地で緊急事態宣言が出されたため、県外からの移動を伴う事業について時期を見合わせることにし、令和3年度に事業を繰越しました。令和3年度も地域外との交流の推進に努めていきます。

【予算執行を伴わない事業】

地域課題の解決や新たな価値の創造を目指し、高等教育機関との連携に努めました。三重大学伊勢志摩サテライトでコロナ禍での取組の進め方等について知見の提供を受けたほか、皇學館大学の授業の中では本市における取組を学生に事例として伝えつつ、課題解決に係る提案を寄せてもらう等、相互に連携することが出来ました。また、県を通じて東京大学の学生がフィールドワークを行うための協議を進めました。大学等との連携については、教員陣の幅広い知識や学生からの新鮮なアイデアを受けることができ、連携の意義が大きいと考えています。

また、民間企業については、柔軟な発想の提示やアイデア実現のための手立てを紹介いただけることもあり、高等教育機関とはまた違った連携のメリットがあると考えています。このことから、令和2年度には、10月に合同会社DMM.comと地方創生に資すること及び市民サービスの向上を図ることを目的に包括連携協定を結びました。また、3月には三重大学 大学院生物資源学研究科、鳥羽商船高等専門学校、三重県水産研究所、KDDI株式会社、株式会社KDDI総合研究所と本市の6者で、先端技術を活用した水産業のデジタルトランスフォーメーション（DX）の積極的な展開を目指し連携協定を締結しました。

（款） 2 総務費

（項） 1 総務管理費

（目） 1 一般管理費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
7,436	6,933	1,303				6	5,624

事業区分	1 総務給与等管理費	6,861 千円	事項別明細書	P 54 ~
企画一般管理経費		予算現額	4,986 千円	
		決算額	4,512 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	2,479 千円	

企画一般管理経費			
政策決定に必要な会議の開催、資料の作成とともに、地域振興全般の調整に係る諸業務等を迅速かつ円滑に進めるため、時間外勤務手当を支出しました。 また、移住・定住係に会計年度任用職員を配置し、移住希望者等との関係づくりや移住相談への対応に努めました。 ○主な経費 時間外勤務手当 2,100 千円 会計年度任用職員報酬 1,723 千円 ○主な財源 地方創生推進交付金 1,189 千円 地方創生臨時交付金 114 千円			
財政一般管理経費		予算現額	2,350 千円
		決算額	2,349 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	2,350 千円
効率的かつ健全な財政運営を図るための当初予算編成及び補正予算編成を行うほか、決算に関する事務や財務書類作成などを円滑に進めるため、時間外勤務手当を支出しました。 ○主な経費 時間外勤務手当 2,349 千円			

事業区分	7 行政改革推進事業		72 千円 事項別明細書 P 56 ~	
	行政改革推進業務		予算現額	100 千円
			決算額	72 千円
			翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	75 千円
引き続き行財政改革に取り組むとともに、施策の展開と行政改革の整合を図り着実な行政経営の推進を図るため、従来は総合計画とは別に策定されていた行政改革大綱を総合計画内に位置付け、一体的に行政改革を推進するための新たな行政改革大綱を策定しました。 ○主な経費 時間外勤務手当 68 千円 コピー借上料及び使用料 4 千円				

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 3 財政管理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
6,712	6,133						6,133

事業区分 1 財政事務経費		6,133 千円 事項別明細書 P 58 ~	
予算編成及び執行管理等業務		予算現額	6,712 千円
		決算額	6,133 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	5,813 千円
当初予算編成のほか、新型コロナウイルス感染症対策など緊急を要する事業への対応のため、例年に倍する回数の補正予算（第1～15号）を編成しました。 また、財務書類作成支援コンサルティング業務を委託し、地方公会計財務書類の作成を行いました。 ○主な経費 委託料 財務書類作成支援コンサルティング業務 880 千円			

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 5 財産管理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,040,917	1,009,365				309,885	570,680	128,800

事業区分 3 基金積立金		1,009,365 千円 事項別明細書 P 60 ~	
積立金（基金）		予算現額	1,040,917 千円
		決算額	1,009,365 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	555,823 千円
ふるさと納税制度や新型コロナウイルス感染症対策への寄附金をふるさと創生基金へ積み立てたほか、令和元年度決算剰余金、土地開発基金の一部処分金を財政調整基金及び減債基金へ積み立てました。 ○主な経費 基金積立金 ふるさと創生基金積立金 570,680 千円 財政調整基金積立金 264,400 千円 減債基金積立金 174,285 千円 ○主な財源 寄附金 ふるさと納税寄附金 568,411 千円 一般寄附金 2,269 千円 繰入金 土地開発基金繰入金 309,885 千円			

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 6 企画費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
6,397	4,997						4,997

事業区分		1 企画調整事業	4,929 千円 事項別明細書 P 60 ~
	総合計画推進事業	予算現額	3,985 千円
		決算額	3,416 千円
		翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 9,652 千円
	総合計画審議会等を開催し幅広くご意見をいただきながら、令和3年度から10年間にわたるまちづくりの目標である「基本構想」のほか、目指す姿の実現に向けて今後5年間に必要となる施策の展開について「前期基本計画」として取りまとめました。また、総合計画と連動する形で大規模模自然災害等に対する事前防災及び減災の取組を進めていくための指針である「国土強靱化地域計画」を策定しました。 ○主な経費 委託料 第6次鳥羽市総合計画策定業務 2,794 千円		
	政策推進・調整事業	予算現額	2,040 千円
		決算額	1,513 千円
		翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 2,453 千円
	庁内の課を超えて横断的に取り組む事業の調整や特命事項への対応を行いました。 平成2年度末で「過疎地域自立促進特別法」が失効するタイミングにあり、新たな過疎対策法の制定について情報収集を行うとともに、国に対して要望活動を行いました。 また、鳥羽で暮らす人々の活躍を後押ししていくため、全庁的に取り組んでいる「とばびと活躍プロジェクト」について、「アクションプラン」を着実に進めていくため、各施策の進捗状況を検証する機会を設けるとともに、特にコロナ禍での進め方等について、有識者から助言を受け、取組の改善検討につなげることができました。 ○主な経費 普通旅費 146 千円 委託料 とばびと活躍プロジェクト推進業務 990 千円		

事業区分		2 地域連携事業	54 千円 事項別明細書 P 60 ~
	国際特別都市建設促進事業	予算現額	252 千円
		決算額	0 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	246 千円

国際特別都市建設促進事業			
国際特別都市建設促進連盟に加盟する市町とともに、「歴史・文化を活かしたまちづくりの推進に関する要望」「国際観光文化都市の整備等に関する要望」「大規模災害に備えるための防災・減災対策に関する要望」の3事項を要望事項とし、関係省庁等への要望活動を実施しました。 令和2年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種会議及び要望活動が書面での実施となったため、負担金、旅費については発生しませんでした。			
三重県鉄道網整備促進事業		予算現額	55 千円
		決算額	54 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう	(前年度決算額)	54 千円
旧国鉄在来線の電化等、沿線市町の活性化を図る三重県鉄道網整備促進期成同盟会及び県内へのリニア中央新幹線の停車駅設置を目指すリニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会に加盟し三重県・加盟市町とPR活動を行うとともに、連携して設備のICT化の推進や駅構内の環境整備について要望活動を行うことで利用者の利便性向上が図られるように取り組みました。 ○主な経費 負担金及び補助金 リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会分担金 44 千円 三重県鉄道網整備促進期成同盟会分担金 10 千円			

事業区分

3 友好都市提携事業		14 千円 事項別明細書 P 62 ~	
友好都市提携事業		予算現額	65 千円
		決算額	14 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	38 千円
九鬼氏を中心とした歴史・文化において、本市と深い繋がりがあることから友好都市協定を結んでいる兵庫県三田市との交流窓口として、両市の関係部署で構成する「友好都市交流推進協議会」をオンライン形式で開催しました。 令和3年度に友好都市提携10周年を迎えることから、交流事業や今後の連携等について協議を行いました。 ○主な経費 コピー借上料及び使用料 14 千円			

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 14 地域振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
383, 947	278, 317	14, 834		12, 500	238, 520	6	12, 457

事業区分

1 離島振興事業

1,679 千円 事項別明細書 P 68 ~

離島振興事業		予算現額	2,190 千円
		決算額	1,679 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	2,419 千円
全国離島振興三重県支部連絡協議会や鳥羽協議会と連携し、オンラインで開催されたアイランドーへ参加し鳥羽の離島の魅力を発信するとともに、国土交通省が同時開催した離島と企業のマッチングイベント「しまっちんぐ」に参加したことで地場産品の販路開拓に繋がりました。 令和4年度末に期限を迎える離島振興法の改正延長に向けた検討会議に参加し、鳥羽の離島の現状について説明を行ったほか、公明党離島対策本部のヒアリング対応を行い、スマートアイランド実証実験業務の状況や離島地域の課題、取組について説明するとともに要望を行いました。 また、海の博物館にて展示会を実施し、島の漁業や文化について発信及び学びの場を提供したほか、離島の過去と現在の漁獲高や産業の変化について資料にまとめ、各小中学校に配布し、地域の子どもたちが離島の産業について学ぶ機会を創出しました。			
○主な経費			
委託料	海と人をつなぐ漁村文化継承交流促進事業	999	千円
補助金	全国離島振興鳥羽協議会補助金	669	千円
○主な財源			
国庫補助金	離島活性化交付金	499	千円

事業区分 2 地域振興事業		239,029 千円 事項別明細書 P 68 ~	
ふるさと納税推進事業		予算現額	321,473 千円
		決算額	238,520 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	170,851 千円
ふるさと納税制度を活用し、鳥羽をふるさとと思い応援してくださる方からの寄附を受け付け、地域の魅力発信に取り組みました。ふるさと納税業務における受付事務や特産品の発送、PR業務等については平成27年度より鳥羽市観光協会へ業務委託を行っており、蓄積してきたノウハウを活かした効率的で効果的な運営や連携のとれたPR活動等により県内外への「地域」「ひと」「もの」の魅力発信に繋がっています。 10月には返礼品のリニューアルを行い、プレスリリースや雑誌取材への対応『ふるさと納税通信』の発行等PR活動に積極的に取り組みました。 また、寄附受付窓口であるポータルサイトを新規に4か所開設し、寄附者へのサービス拡充を図りました。 この結果、真珠製品を中心に寄附全体が好調となり、12月の寄附額は過去最高となる324,983千円に上り、令和2年度の実績は寄附件数、寄附額共に過去最高となりました。 しかし、新型コロナウイルス感染症の影響が長期に渡っていることにより、主力返礼品である宿泊観光周遊券の申し込みが減少することが懸念されています。			

ふるさと納税推進事業

<ふるさと納税の実績>

	寄附件数		寄附金額	
		うち県外		うち県外
令和元年度	3,970件	3,586件	428,265千円	370,195千円
令和2年度	9,451件	8,799件	575,259千円	517,271千円
前年度対比	5,481件	5,213件	146,994千円	147,076千円

○主な経費

報償費	144,128 千円
手数料	94,172 千円

過疎及び辺地対策事業

予算現額	317 千円
決算額	278 千円
翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	296 千円
----------	------------------------------	----------	--------

平成22年度に過疎地域へ指定されて以降、全国過疎地域自立促進連盟及び三重県ふるさと振興協議会と連携し、過疎地域の振興及び法令の延長等の要望活動に取り組みました。

また、鳥羽市過疎地域自立促進計画の事業内容の追加に伴い、計画の一部変更を行いました。鳥羽市辺地の総合整備計画についても神島町辺地の事業内容の変更に伴った計画の変更を行い、過疎、辺地ともに協議が認められたことから、交付税措置率の高い起債の発行が認められました。

○主な経費

会費等負担金	
全国過疎地域自立促進連盟会費及び三重県ふるさと振興協議会会費	271 千円

鳥羽高校活性化支援事業

予算現額	280 千円
決算額	231 千円
翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	117 千円
----------	------------------------------	----------	--------

県立鳥羽高等学校の活性化・魅力化を図るため、文理進学系列の2年生が選択する「鳥羽学」にて、石鏡町と鳥羽なかまちを舞台としたフィールドワークや地域学習を行い、生徒達が自ら考えた課題解決方法を地域おこし協力隊とともに実践しました。

VR動画を作成した班は鳥羽の海洋資源を守りたいという思いから内容を考案したほか、鳥羽なかまち班はPR動画を作成し、もう一つの班では石鏡を舞台に海産物の活用や謎解きマップ等を企画するなど、最終的には提案を動画の形でまとめました。

各地域で生徒たちが直接成果を発表する事はできませんでしたが、授業を通して、生徒達の地域に誇りをもって学ぶ姿勢を育成しました。

○主な経費

使用料	165 千円
-----	--------

地域おこし協力隊支援事業	予算現額	322 千円
	決算額	75 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 325 千円
都市部から移住し、地域活性化等の業務に従事する地域おこし協力隊を新たに募集しました。新型コロナウイルス感染症の影響から、都市部での情報発信の場に参加することはできませんでしたが、募集要項の配布やHPでの発信により募集を行い、面接等を経て、候補の選定を行いました。 ○主な経費 消耗品費 17千円 コピー借上料及び使用料 57千円		
地域おこし協力隊事業（石鏡町）	予算現額	5,689 千円
	決算額	5,486 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 3,871 千円
平成30年7月に移住した上田茉莉子隊員と令和元年10月に着任した佐藤千裕隊員が、石鏡町内会と連携しながら海女、海藻等の文化的価値やまちの暮らしの魅力を発掘する活動を行いました。 佐藤隊員は、「いじかカラープロジェクト」として、石鏡町にある壁画を町の皆さんと協力して洗浄し、新たに彩色することで地域にある資源を再び輝かせることができました。また、鳥羽高校の生徒と一緒に作ったまち歩きマップを印刷し、石鏡の魅力の発信に努めました。 上田隊員は、鳥羽高校の地域学習に携わり、VR映像編集等をサポートしました。また、地域の方々に協力していただき、古い写真を借りてスキャンデータを収集したほか、当時の情報を聞き取って整理しました。このほか、三重大学海女研究センターとも連携し、2月に開催された写真展「浜の遠声」でも、情報収集した石鏡の伝統や慣習の記録保存に努めました。 ○主な経費 報償費 3,984千円 印刷製本費 137千円 修繕費 368千円 家賃及び共益費 600千円		
地域おこし協力隊事業（答志島）	予算現額	1,000 千円
	決算額	1,000 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 2,617 千円
平成29年度に委嘱した五十嵐ちひろ隊員が令和2年3月末で3年間の任期を終え、定住・起業することから移住定住の促進、交流人口の増加を目指して支援を行いました。 新型コロナウイルス感染症の収束を見越し、答志島の和具をフィールドとして、島の生活や文化、料理等を紹介する外国人向けツアーを造成するとともに、集客に必要なHPの作成や情報発信用の機器等を整備しました。 ○主な経費 負担金及び補助金 1,000千円		

地域おこし協力隊事業（鳥羽なかまち）	予算現額	1,690 千円
	決算額	1,660 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 2,653 千円
平成29年度に移住した佐藤創隊員が、令和2年6月末に3年間の任期を満了するまで、鳥羽なかまち会と連携しながら地域おこし活動を行いました。退任後も、なかまちに定住し、動画制作等のスキルを活かして起業することになり、協力隊の制度に則り、起業に係る経費の一部を補助しました。 ○主な経費 報償費 498千円 補助金（家賃補助） 132千円 補助金（起業支援） 1,000千円		

事業区分

5 移住・定住促進事業

29,388 千円 事項別明細書 P 70 ~

鳥羽への移住・定住応援事業		予算現額	15,288 千円
		決算額	14,739 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	24,973 千円

移住を希望する人々に、本市での暮らしをイメージしていただくための情報を発信しました。平成30年度からは、「鳥羽チェアーズ」（≡あなたが座るイス≡鳥羽での居場所）と題し、奈良・三重・和歌山県の仕事情報サイトに鳥羽で働く、鳥羽で暮らす人々に焦点を当てた記事を掲載しています。また、鳥羽暮らしに係る情報をとりまとめたパンフレットの内容を更新し、印刷を行いました。

本市への定住に関し、住宅を取得した方に対して定住応援事業奨励金を交付しました。

○主な経費

印刷製本費	とばぐらし魅力発信パンフレット刷新及び印刷業務	198千円
委託料	T O B Aで求める移住者像と地域の魅力プロモーション	990千円
会費等負担金	N P Oふるさと回帰支援センター団体正会員	50千円
負担金及び補助金	定住応援事業奨励金	13,500千円

○主な財源

国庫補助金	地方創生推進交付金	594千円
地方債	過疎地域自立促進特別事業債	12,500千円

<奨励金の実績>

住宅取得区分	交付額	件 数	計
新築住宅を取得した場合	500千円	25件	12,500千円
中古住宅を取得した場合	250千円	4件	1,000千円
合 計		29件	13,500千円

移住相談支援事業		予算現額	1,070 千円
		決算額	945 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	3,992 千円
新型コロナウイルス感染症の影響もあり、オンラインも活用しながら移住希望者の相談を受け付けました。時期を見ながら希望者には現地案内を行い、個々の事情を聞き取りながら相談を行いました。また、実際に鳥羽へ移住した際のサポートに努めるため、モデル地区3地区（なかまち、石鏡、答志）において、定住支援員の委嘱を行い、移住体験住宅の管理や移住者への声掛け等にあたっただき、移住しやすい環境づくりに努めました。 ○主な経費 定住支援員報償費 720千円 通信運搬費 120千円 ※移住相談に従事する会計年度任用職員の人件費は企画一般管理費に計上しています。 ○主な財源 国庫補助金 地方創生推進交付金 113千円			
ふるさと鳥羽関係人口創出事業		予算現額	33,878 千円
		決算額	13,553 千円
		翌年度繰越額	18,864 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	0 千円
新型コロナウイルス感染症により、帰省等の移動の自粛やアルバイト休止等により生活費の確保に影響を受けた本市出身の学生の支援を目的として、応援メッセージと地域産品等の送付を行いました。学生からはふるさとを思う気持ちや将来鳥羽に貢献したいといった返信があり、関係人口創出という点からも意義があったと思っています。 鳥羽に居ながら仕事をするという体験を通して鳥羽との関わりを増やしていただけるように、「ワーケーション」を進めることとし、市内事業者等の施設整備等を支援しました。 モデル事業所（上限2,000千円補助） 4件 一般事業所（上限500千円補助） 10件 ○主な経費 報償（学生応援地域産品） 466千円 負担金及び補助金（ワークスペース整備補助金） 12,731千円 ○主な財源 国庫補助金 地方創生臨時交付金 13,553千円			
伊勢志摩移住プロモーション事業		予算現額	750 千円
		決算額	151 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	0 千円

伊勢志摩移住プロモーション事業

都市部での情報発信について、伊勢志摩地域のネームバリューやスケールメリットを活かし、効率的に情報発信を行うため、広域連携の下、情報発信を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの移住・交流イベントがオンライン開催となりましたが、パソコン画面を通じて、移住希望者と相談を行いました。各市町での条件の違いを説明し、幅広い選択肢を提示しながら、相談を進めることができました。

○主な経費

会場借上料（移住交流イベント出展料） 151千円

○主な財源

国庫補助金 地方創生推進交付金 75千円

(款) 2 総務費

(項) 5 統計調査費

(目) 1 統計調査総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
5,027	5,003		1,233				3,770

事業
区分

1 統計調査給与等管理費

5,003 千円 事項別明細書 P 82 ~

統計調査管理業務	予算現額	5,027 千円
	決算額	5,003 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 3,368 千円

各種統計調査等に係る事務処理を行い、統計調査事務を円滑に実施しました。

また、国から公表された統計調査の結果や各課及び関係機関から収集したデータを取りまとめ、広く活用できるようホームページなどで公表するとともに、国勢調査を円滑に進めるため、会計年度任用職員を配し、事務を行いました。

○主な経費

会計年度任用職員報酬 872 千円

○主な財源

県支出金 基幹統計調査委託金 1,233 千円

(款) 2 総務費

(項) 5 統計調査費

(目) 2 基幹統計調査費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
8,484	8,057		8,057				0

事業区分

1 基幹統計調査事業

8,057 千円 事項別明細書 P 82 ~

基幹統計調査事業		予算現額	8,484 千円
		決算額	8,057 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	2,750 千円

国が実施する以下の基幹統計調査を行いました。

【経済センサス調査区設定】 期日：令和2年4月1日
経済センサスの調査区について確認作業を実施しました。

【経済センサス-活動調査】（5年毎） 期日：令和3年6月1日
令和3年度に実施する経済センサス-活動調査を円滑に実施するため、準備を行いました。

【学校基本調査】（毎年） 期日：令和2年5月1日
学校教育行政上の基礎資料を得るため、学校に関する基本的事項を調査しました。

【工業統計調査】（毎年） 期日：令和2年6月1日
行政政策のための基礎資料を得るため、製造業の調査を行いました。

【国勢調査】（5年毎） 期日：令和2年10月1日
人口や世帯に係るあらゆる行政分野の基礎資料を得るため、人口や世帯の実態に関する基本的事項を調査しました。

【農林業センサス】（5年毎） 期日：令和元年2月1日
令和元年度に実施した結果の公表に向け、調査票データの審査事務を行いました。

○主な経費

報酬	統計調査員報酬	6,515 千円
	時間外勤務手当	388 千円
	消耗品費	427 千円

○主な財源

県支出金	基幹統計調査委託金	8,057 千円
------	-----------	----------

(款) 2 総務費

(項) 5 統計調査費

(目) 3 県統計調査費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
71	71		71				0

事業区分 1 県統計調査事業		71 千円 事項別明細書 P 84 ~	
県統計調査事業		予算現額	71 千円
		決算額	71 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	55 千円
本市の人口に関する資料を三重県に毎月報告し、県が作成する人口推移、年齢別人口の推計資料等の情報提供を受け、行政運営の基礎資料としました。 また、調査員の確保対策事業として、あらかじめ統計調査員となる意思を有する人を募集し、登録を行いました。			

県統計調査事業		
○主な経費		
消耗品費		26 千円
通信運搬費		20 千円
コピー借上料及び使用料		25 千円
○主な財源		
県支出金	県統計調査委託金	58 千円
	県統計調査員確保対策事業交付金	13 千円

(款) 12 諸支出金

(項) 1 公営企業費

(目) 1 交通事業費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
181,900	145,501	2,484					143,017

事業区分

1 定期航路事業特別会計繰出金		145,501 千円		事項別明細書	P 190 ~
定期航路事業特別会計繰出金			予算現額	181,900 千円	
			決算額	145,501 千円	
			翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう			(前年度決算額)	148,991 千円
定期航路事業の単年度における赤字分に対し、一般会計から繰出しを行い、離島住民の生活の安定と利便性向上のため、重要な交通手段である定期航路事業の運営を支援しました。					
○主な経費 繰出金 145,501千円					
○主な財源 国庫支出金 地方創生臨時交付金 2,484千円					

【総括】

地域における防災活動の活性化及び防災意識の向上を図るため、市防災訓練を実施したほか、自主防災組織の活動に対して助成を行いました。また、地震・津波対策として、各町内会・自治会が実施する自主防災倉庫等の整備事業に助成を行いました。

危機管理業務として、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、情報の収集と発信、県・他市町及び関係機関等との連絡調整、対策本部の運営などの業務にあたり、市内での感染防止と経済対策のバランスを図った取組を推進しました。

市政が円滑に運営されるよう、市議会や各種委員会との調整や渉外活動を行うとともに、広報広聴活動として、広報とばの発行のほか、ホームページの運用管理や市域ケーブルテレビ網を活用した行政チャンネルの制作・放送を通じた行政情報の発信に努めました。

内部事務としては、職員の人事・健康管理や福利厚生事業のほか、研修事業により職員の資質向上に努めるとともに、庁舎や職員住宅等の維持管理、契約事務の管理、庁内情報ネットワーク等の運用管理及び契約事務等、行政事務の多岐にわたる各課の下支えを行いました。

財産管理としては、普通財産の保全を図るとともに、遊休未利用地の有効活用により財源確保に努めました。菅島採石場に関し地元町内会から提訴されたことから、司法の場において市の正当性の主張を続け、令和3年4月19日に津地方裁判所において地元町内会の請求を棄却する判決（市勝訴）が言い渡されました。また、菅島採石場緑化監視委員会を2回開催し、緑化工の推進を図りました。

【新たに実施した事業】

市からの災害・避難情報などの緊急放送を行っている同報系防災行政無線について、デジタル化に向けた工事を開始しました。

市防災訓練について、密となる可能性がある一斉の津波避難訓練は実施せず、参加者を限定し、風水害時における感染症対策を講じた避難所開設及び運営訓練を実施したほか、広報紙を活用し各自の避難行動をイメージしてもらう避難行動シミュレーション訓練を行いました。

過去の浸水発生状況等を参考に、風水害発生後に速やかに被害概況を把握し早期の対応に移れるよう、「住家浸水被害想定（報告・発表用）」を策定したほか、大規模災害時における要配慮者等の分散避難を速やかに行えるよう、誘導避難方針を策定しました。

また、災害時における自助共助の取組として、市役所西庁舎を避難所とする複数の町内会による、大規模災害災害時における住民主体の避難所運営に向けた検討を開始しました。

防犯事業として、犯罪被害者等支援のワンストップ窓口化を図るため、庁内の施策をまとめた「鳥羽市犯罪被害者等支援施策集」を作成しました。

市が保管する全庁分の高濃度PCB廃棄物（安定器等ドラム缶2本分、計304.1kg）の処分を行ったほか、庁舎や事務事業における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、飛沫感染予防用資材や消毒・衛生用品を一括購入し配備を行いました。

【予算執行を伴わない事業】

三重県の避難行動促進事業として、災害対策活動の充実や効果的な避難情報の提供に繋げるため、LINEを活用したマッピング情報収集やAIスピーカーを活用した避難の呼びかけ実証試験に参加しました。令和2年度は、大きな災害がなかったことから本事業の試用には至りませんでした。

そのほか、三重県南勢地域活性化局が開催する子育て世代向け防災アドバイザーあんどうりすさんによるWEBセミナー「災害から子どもを守るには」の模様を鳥羽市民体育館サブアリーナで中継することで、多くの人が参加できるような講演会や、みえ防災・減災センターの事業を活用し、三重大学の川口淳准教授を招いての防災講演会を開催しました。

市内経済の活性化及び市内業者の育成を図るため、「鳥羽市物品等の調達における市内業者への優先発注に係る実施方針」を制定し令和3年1月から施行したほか、全課の燃料等の単価契約を統括し、効率性と経済性に配慮した事務の実施に努めました。また、公共工事に係る契約事務の透明化・適正化を図るため、工事の発注見通しの公表、設計金額130万円以上の建設工事等の入札の実施及び契約の過程並びに契約の内容に関する事項の公表等を行いました。

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 1 一般管理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
568,382	565,434	147	1,098			27,640	536,549

事業区分

1 総務給与等管理費

550,419 千円 事項別明細書 P 54 ~

給与等管理業務		予算現額	547,722 千円
		決算額	546,605 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	480,053 千円

特別職2人と一般職員（派遣職員含む）41人の給与及び福利厚生に関する事務を行いました。三重地方税管理回収機構への派遣終了のほか、人事係及び防災危機管理室の減員により、昨年度と比較すると3人の減員となっています。

また、職員数の減員に伴い、給料、職員手当及び共済費が減少したものの、退職手当については、定年退職者10人、普通退職者3人で昨年度より定年退職者が多かったことから、昨年度と比較すると職員手当全体で71,913千円の増加となっています。

○主な経費

報酬

・産業医報酬 804千円

給料 170,197千円

職員手当 306,077千円

職員共済費 56,081千円

職員数及び平均給与月額

令和2年4月1日現在

職 員 総 数	平均給与月額	平 均 年 齢
340人	343,442円	40.1歳

（給与実態調査より）

給与改定の概要（R2人事院勧告）

・期末勤勉手当の支給月数引下げ（0.05月分）

職員健康管理業務	予算現額	3,850 千円
	決算額	3,814 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 3,787 千円

職員の健康管理の一環として、7～8月に健康診断を実施し、正規職員168人、会計年度任用職員等154人が受診しました。そのほか、正規職員155人、会計年度任用職員等40人が、各保険者が実施する人間ドック等を受診しています。なお、健康診断の結果については、産業医による検証を行い、再検査等の受診勧奨を実施したほか、メタボリックシンドロームと診断された職員には特定保健指導を実施しました。

また、ストレスチェックについては健康診断と同時に実施し、507人が受検しました。受検者のうち38人が高ストレスに該当したため、当該者には産業医による面談を勧奨したほか、各部署を15の集団に分類して集団分析を行いました。

職員のメンタルヘルスケアとしては、メンタル不調を未然に防ぐとともに、こころの健康保持増進を図ることを目的に、引き続き、こころの健康相談業務を実施し、メンタルヘルス研修及びメンタルヘルスカウンセリングを行いました。

研修は、課長級、課長補佐級及び係長を対象に2回、主査及び係員を対象に2回実施し、コロナ禍におけるマスク越しのコミュニケーションなど、快適な職場作りについて学びました。

メンタルヘルスカウンセリングでは、受診希望者をはじめ採用後5年程度までの職員や復職者等を中心に実施し、延べ25人が受診しました。

令和2年1月から令和2年12月までの年次有給休暇取得率は22.4%、平均取得日数は8.4日で、前年と比べると0.5%、0.1日減少しています。

○主な経費

委託料

- ・健康診断業務 3,007千円
- ・ストレスチェック 374千円
- ・こころの健康相談 393千円

正規職員・会計年度任用職員等（322人）の健康診断結果

検査項目	判定	人数	R2	R1	比較
問診・身長・体重・視力・聴力検査 尿検査・血液検査・血圧測定 医師診察・胸部X線検査・腹囲測定 心電図検査・眼底検査・便潜血検査	要医療	94	29.2%	27.9%	+1.3%
	要精密検査	89	27.7%	23.8%	+3.9%
	要再検査	69	21.4%	19.1%	+2.3%
	要治療継続	20	6.2%	6.3%	△0.1%
	要経過観察	37	11.5%	18.8%	△7.3%
	正常範囲内	13	4.0%	4.1%	△0.1%

ストレスチェックの受検状況

区分	合計	割合
対象者	530	-
受検者	507	95.7%
高ストレス該当者	38	7.5%

※受検者の内

職員健康管理業務

こころの健康相談業務

○研修

研修内容	受講対象職員	受講者数
快適な職場作り～コロナ禍の中で気持ちよく仕事をするために（メンタルヘルスの現状）	主査・係員	29
快適な職場作り～コロナ禍の中で気持ちよく仕事をするために（マスク越しのコミュニケーション）	主査・係員	27
快適な職場作り～コロナ禍の中で気持ちよく仕事をするために（メンタルヘルスの現状）	課長級・課長補佐級・係長	21
快適な職場作り～コロナ禍の中で気持ちよく仕事をするために（マスク越しのコミュニケーション）	課長級・課長補佐級・係長	19

○メンタルヘルスカウンセリング

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	-	-	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3	25

※人数＝延べ人数、4～5月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

年次有給休暇の状況

	平均取得日数	取得率
H31. 1. 1～R1. 12. 31	8.5日	22.9%
R2. 1. 1～R2. 12. 31	8.4日	22.4%
比 較	△0.1日	△0.5%

事業
区分

2 秘書管理費

1,458 千円 事項別明細書 P 54 ～

儀式、表彰	予算現額	177 千円
	決算額	73 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 69 千円
地域住民の福祉増進及び住民自治の振興発展に貢献し、特に顕著な功績のあった個人及び団体に対して、市制施行66周年の記念に際し市民功労者表彰及び感謝状を贈呈しました。住民自治の振興発展と社会文化の興隆に対する意欲の高揚を図ることができました。また、地方自治功労による叙勲・叙位受章者については該当がありませんでした。		
○主な経費		
報償費	市民功労者表彰・感謝状記念品(14人)	59千円
渉外	予算現額	1,636 千円
	決算額	1,385 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 2,228 千円
コロナ禍で渉外機会は減少しましたが、市長、副市長が効率的かつ効果的に公務を行えるよう職務環境を整えるとともに、国・県・市民等をはじめとする関係者との渉外活動を行い、円滑な市政運営に努めました。また、市内14地区で地区懇談会を開催し、市政運営に理解を求めるとともに市民の声を聴取しました。		

渉外		
○主な経費		
旅費		97千円
交際費		88千円
需用費		341千円
会費等負担金	全国市長会分担金	176千円
	三重県市長会分担金	528千円
	三重県地方自治研究センター会費	40千円

事業区分

4 総務管理経費（行政・法規）

11,835 千円 事項別明細書 P 56 ~

行政管理事務	予算現額	7,531 千円
	決算額	7,157 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 9,684 千円

議会提出議案の作成、調整会議や課長会議等の開催、庁舎・連絡所・郵便局間における文書の收受及び発送を行い円滑な行政運営を図りました。また、高性能・低コストの庁内共有印刷機を設置し、各課における印刷の省力化及び印刷物の内製化による経費節減を行いました。

○主な経費

通信運搬費

3,862千円

コピー借上料及び使用料

2,190千円

会費等負担金

安全運転管理者負担金（6人分）71千円（副安全運転管理者含む）

＜市議会会議の開催及び議案提出状況＞

市議会は10回開催され、市長提出議案は101件となりました。

開催年月日	市長議案提出件数				報告 件数
	議案	認定	諮問	計	
令和2年5月1日会議	3			3	0
令和2年5月15日会議	3			3	0
令和2年5月29日会議	6			6	2
令和2年6月8日～6月26日会議	5			5	0
令和2年8月3日会議	2			2	0
令和2年9月4日～10月2日会議	21	2		23	5
令和2年10月28日会議	2			2	1
令和2年11月30日～12月21日会議	20			20	0
令和3年1月28日会議	2			2	0
令和3年3月1日～3月31日会議	32		3	35	0
合計10回	96	2	3	101	8

＜調整会議の開催＞ 合計1回（令和2年4月21日）

＜課長会議の開催＞ 合計12回

（令和2年4月24日、6月2日、6月24日、7月29日、8月31日、9月30日、11月2日、11月25日、12月18日、令和3年1月26日、2月22日、3月23日）

法規管理事務		予算現額	4,679 千円		
		決算額	4,678 千円		
		翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	5,910 千円		
法令関係図書の加除、例規集の管理及び例規システム等の利用により、法制執務の支援を図るとともに、インターネット版鳥羽市例規集の掲載情報を更新し情報発信に努めました。					
○主な経費					
消耗品費（書籍の加除等）		490千円			
例規集管理業務委託料		4,162千円			
＜例規の制定改廃＞					
条例及び規則を次のとおり制定改廃し、公布しました。			(件)		
	制 定	全部改正	一部改正	廃 止	合 計
条 例	4	0	38	0	42
規 則	1	0	12	0	13
＜例規審査委員会の開催＞					
条例及び規則の整備を図るため、次のとおり例規審査委員会を開催しました。					
合計 4回（書面審査除く）（令和2年5月19日、8月18日、11月11日、令和3年2月5日）					

事業区分

5 情報公開等経費

0 千円 事項別明細書 P 56 ~

鳥羽市情報公開審査会

予算現額63 千円

決算額0 千円

翌年度繰越額0 千円

まちづくりの目標5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう

(前年度決算額)0 千円

主な情報公開請求は、建設工事等に係る金入設計書の開示を求めるものでした。

また、公文書公開請求に対する決定について不服申立てがなかったため、審査会は開催されませんでした。

＜情報公開の状況＞

(件)

請求件数	決定件数	公開	部分公開	非公開	不存在	取下げ
297	292	261	16	11	4	5

鳥羽市個人情報保護審査会

予算現額63 千円

決算額0 千円

翌年度繰越額0 千円

まちづくりの目標5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう

(前年度決算額)0 千円

主な個人情報開示請求は、自己の職員採用試験の採点結果を求めるものでした。

また、個人情報保護開示等請求に対する決定について不服申立てがなかったため、審査会は開催されませんでした。

＜個人情報開示の状況＞

(件)

請求件数	決定件数	公開	部分公開	非公開	不存在	取下げ
14	14	10	2	0	2	0

鳥羽市行政不服審査会	予算現額	81 千円
	決算額	0 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 0 千円
市の処分又は不作為に関する審査請求があった場合審査を行います。審査請求がなかったため審査会は開催しませんでした。		

事業区分

6 人事管理経費

1,722 千円 事項別明細書 P 56 ~

人事管理業務	予算現額	504 千円
	決算額	496 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 419 千円

行政需要に対応できる人材の確保のため、6月に技術職（土木）を対象とした前期試験、9月から11月にかけて令和3年度職員採用試験（後期試験）を実施しました。定員に満たなかった職種等については、12月に二次募集、1月に4月採用、3月に5月採用として試験を実施しました。

また、主任介護支援専門員等の一部職種については、令和2年度途中の採用として、6月採用募集をはじめ、8回の募集を行いました。

○主な経費

委託料 職員採用試験業務 417千円

令和3年度職員採用試験実施状況 (単位：人)

	受験申込数	受験者数	採用者数
一般事務職	65	59	10
保育士	6	6	5
技術職（土木）	5	5	1
船員（航海）	1	1	1
船員（航海及び機関）	5	4	2
消防職	8	7	2
合 計	90	82	21

令和2年度職員採用試験実施状況 (単位：人)

	受験申込数	受験者数	採用者数
船員（航海及び機関）	2	2	0

職員数内訳（特別職を除く） 令和2年4月1日現在

職 種 別	人 数	前年度比	職 種 別	人 数	前年度比
一 般 事 務 職	153	1	教 諭	5	1
技 術 職	21	△ 1	消 防 吏 員	45	0
看 護 師	8	0	医 師	2	0
保 育 士	48	2	船 員	28	△ 1
保 健 師	7	0	調 理 員	8	△ 2
管 理 栄 養 士	1	0	その他技能労務職	11	△ 3
社 会 福 祉 士	2	0	合 計	340	△ 3
理 学 療 法 士	1	0			

人事管理業務

職員の異動状況

- ・令和2年4月1日採用者数 16人 （一般事務職7人、技術職（水産）1人、保育士6人、船員（航海）1人、消防職1人）
- ・令和2年度一般職退職者数 18人 （定年11人、普通7人）

研修	予算現額	2,076 千円
	決算額	1,226 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 1,990 千円

三重県市町総合事務組合が開催する各種研修へ職員を派遣したほか、階級別職員研修などの市内研修を実施し、職員の資質向上に取り組みました。

また、複雑・多様化する市民ニーズに対応するため、先進地視察やオンライン研修など、より高度で専門的な知識、技術を習得する専門研修を引き続き実施し、業務の改善・改革に取り組む職員の育成に努めました。

このほか、企画財政課が主催した職員研修や財務に関する研修、入札契約・積算等を担当する職員を対象にした入札談合等関与行為防止法等研修などを実施しました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、県外での研修及び県外講師の招致が難しい状況にありましたが、階級別研修のオンライン実施や専門研修の対象にオンライン研修を含めるなど、職員研修受講機会の確保に努めました。

○主な経費

旅費	433千円
委託料	
・職員研修業務	636千円
会費等負担金	
・専門研修	5千円
補助金	
・通信教育	51千円

派遣研修

研 修 科 目	受講対象職員	受講者数
ワンステップ研修Ⅰ～Ⅳ	新採職員	15
ツーステップ研修Ⅱ～Ⅳ	採用後2年以上6年未満の職員	4
スリーステップ研修Ⅰ～Ⅳ	採用後6年以上10年未満の職員	5
フォーステップ研修Ⅰ（情報活用力）	採用後10年以上の職員	1
マネージャー研修（コーチング）	新任係長級の職員	4
マネージャー研修（政策形成能力）	係長級の職員	1
リーダー研修（リスクマネジメント）	課長級の職員	2
公営企業会計研修	水道課長補佐	1

研修			
三重地方行財政研修（入門編）	税務課係長	1	
三重地方行財政研修（ゼミナール編）	教委総務課長補佐	1	
税務実務研修（市町村税（個人税））	税務課係員	1	
税務実務研修（固定資産税（家屋））	税務課長補佐	1	
複式簿記入門研修	税務課主査 他	2	
プレゼンテーションスキル研修Ⅱ	農水商工課係員	1	
不当要求対策研修	総務課長補佐	1	
監査委員研修	監査委員事務局係長	1	
情報処理研修（Excel2013（応用）） 2日間コース	健康福祉課係員	1	
合計		43	

専門研修

研 修 科 目	受講対象職員	受講者数
アートを活かしたまちづくり アートレジオン推進事業視察	生涯学習課長 生涯学習課係長	2
オンライン広報セミナー2020	総務課係員	1
合計		3

庁内研修

研 修 科 目	受講対象職員	受講者数
階級別職員研修（課長級）	課長級	21
階級別職員研修（課長補佐級）	課長補佐級	26
階級別職員研修（係長級）	係長・主査	39
業務改善研修	全職員	41
新規採用職員事務研修	新採職員・前年度消防職員	15
ファシリテーション研修	係長・主査	32
メンタルヘルス研修（保育士向け）	保育士	10
障害者差別解消に関する研修	全職員	25
2040年の鳥羽市に向けての職員研修（企画財政課）	係員～課長補佐級	150
財務に関する研修（企画財政課）	15年未満の正規職員	34
認知症サポーター養成講座（健康福祉課）	全職員	10
契約・会計事務に関する研修（会計課・総務課契約管財係）	3年以下の正規職員・会計年度任用職員	21
入札談合等関与行為防止法等研修（総務課契約管財係）	入札契約・積算・法令担当者等	14
合計		438

通信教育

研 修 科 目	受講対象職員	受講者数
公文書管理基礎	市民課主査	1
地方行政実務	市民課係員	1

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 2 文書広報費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
11,210	10,917					650	10,267

事業
区分

1 広報広聴事業

10,917 千円 事項別明細書 P 56 ~

文書広報事業	予算現額	11,210 千円
	決算額	10,917 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 14,257 千円

市民へ市政等に関する情報を発信するため、広報とばを年間12回（合計338ページ）発行しました。より分かりやすく、より見やすい紙面づくりを目指し、字句の大きさや表現等、高齢者にも読みやすく、市民に親しまれる広報紙作りを心がけました。

また、有料広告を暮らしの情報ページに掲載し、630千円の収入を得ることができました。

市政に関するテーマについては、とば出前と一く「おしゃべりし対話」を7団体で7回実施し市民へ市の施策等を説明しました。

○主な経費

印刷製本費（広報紙印刷、封筒印刷を含む。）4,785千円

広報とば配布報償費5,214千円

均等割	46（町内会数）×30,000円	1,380,000円
世帯割	6,390世帯×600円	3,834,000円
合 計		5,214,000円

普通傷害保険料99千円

日本広報協会会費24千円

三重県都市広報協議会会費5千円

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 5 財産管理費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
31,669	29,508	944				2,695	25,869

事業 区分	1 庁舎維持管理経費		17,804 千円	事項別明細書 P 58 ~	
	庁舎等維持管理業務			予算現額	19,436 千円
				決算額	17,804 千円
				翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう			(前年度決算額) 9,268 千円

庁舎等維持管理業務

来庁者や職員に対し安全で快適な環境を提供するため、庁舎の維持修繕や設備の更新及び保守点検等を行いました。また、市が保管する全庁分の高濃度PCB廃棄物（安定器等、計304.1kg）の処分を行ったほか、庁舎等における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策用の資材や消毒・衛生用品を一括購入し配備を行いました。

○主な経費

消耗品費	1,132千円
光熱水費	2,525千円
修繕料 蛍光灯、ブラインド、電話回線他	960千円
委託料 庁舎清掃作業	1,888千円
浄化槽保守点検業務（本庁、神島職員住宅）	628千円
庁舎管理警備業務	607千円
庁舎周辺管理業務	495千円
エレベーター保守点検業務	462千円
電話交換設備保守点検業務	357千円
庁舎消防用設備保守点検	262千円
高濃度PCB廃棄物処理業務	7,857千円
高濃度PCB廃棄物収集運搬業務	234千円

○主な財源

地方創生臨時交付金	944千円
-----------	-------

事業
区分

2 財産管理経費

11,704 千円 事項別明細書 P 60 ~

市有財産管理業務	予算現額	11,115 千円
	決算額	10,644 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標 5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	7,158 千円

市有財産の管理や処分を適正に行うとともに、自主財源を確保するため、積極的に普通財産の貸付や売払いに取り組みました。

○主な経費

建物等災害共済分担金	5,953千円
手数料 不動産鑑定手数料	231千円

■普通財産の貸付

市有財産の有効活用を図るため、有償貸付契約96件、無償貸付契約39件、計135件の貸付を行い36,542千円の土地建物貸付収入を得ました。新規貸付を行ったものの、貸付終了の案件を差し引きすると前年度より53千円の減額となりました。

■普通財産の売払い

自主財源確保のため、普通財産のうち遊休未利用地を売払い、4,303千円の不動産売払い収入を得ました。

所在地	地目	登記面積（㎡）	実測面積（㎡）	金額（円）	備考
畔蛸町字大坂127番1他7筆	山林他	1,243.35	1,243.35	4,303,163	遊休未利用地

市有財産管理業務

■市有財産特別処理業務

相差地区で行われた国土地籍調査事業の実施に伴い開墾地問題の処理を行うため、同意書の徴取や伐開、立会いによる境界確定を行いました。開墾地が確定した開墾者に対しては、払下げ又は権利放棄の意思確認を行いました。

○主な経費

委託料 境界伐開業務 249千円

■公有財産の災害共済及び各種保険への加入

市が保有する車両、船舶及び建物、工作物等に対する火事や事故等が生じた場合や市が管理する道路、施設及び市が行う行事等で市に賠償責任が生じた場合に備え、下表の共済及び保険に加入し、財政負担の軽減に努めました。

共済及び保険に加入していたことにより、令和2年度は、建物損害等4件に対して2,088千円の災害共済金（保険金）を受給しました。

共済及び保険の種類	分担金（保険料）		災害共済金（保険金）受給額			
	件数	金額(円)	災害、事故等	件数	金額(円)	
建物総合損害共済	205	3,535,920	台風等による建物損害	1	149,600	
自動車損害共済	117	1,825,715	台風等による車両損害	0	0	
			事故による車両損害	2	618,814	
			事故による対物賠償	0	0	
三重県漁船保険	2	57,423	台風等による船舶損害	0	0	
道路賠償責任保険	1	213,330	道路における事故の賠償	0	0	
市民総合賠償補償保険	1	321,037	市の施設で発生した事故の賠償対応	1	1,320,000	
合計	326	5,953,425		4	2,088,414	

解約等保険返戻金 14,926

■菅島採石場について

菅島採石場については、平成26年7月1日付けで締結しました菅島採石場緑化協定書（議決日である平成26年7月11日から効力発生）に基づき、緑化工事が行われました。

○令和2年度の緑化工事の内容

対象区域	施工日	施工箇所	施工面積（㎡）	苗木数	種子の種類
大山地区	5月9日～13日、20日～24日	標高40～70mにおいて補植工が必要と判断した箇所	1,600	700本	アキグミ他4種類
				(※播種)	アカメガシワ他5種類
東山地区	6月15日～16日	標高80～90mのうち未実施箇所及び吹き増し	15,200	(※種子の吹付)	ケンタッキーブルーグラス他5種類
	令和3年2月20日	標高50～80mにおいて補植工が必要と判断した箇所	100	25本	マツ

■菅島採石場緑化監視委員会について

菅島採石場の緑化工の推進を図るため、令和2年度は菅島採石場緑化監視委員会を2回開催し、緑化計画とその施工状況について議論するとともに、現地視察を行いました。

市有財産管理業務

○主な経費

報償 菅島採石場緑化監視委員会委員報償 55千円
費用弁償 7千円

■裁判対応

菅島町内会から提訴（第432号土地総有権確認等請求事件）されたため裁判対応を行いました。津地方裁判所において、令和3年2月15日に弁論が終結し、同年4月19日に菅島町内会の請求を棄却する判決（市勝訴）が言い渡されました。

○裁判の経過

進行協議・・・・・・・・令和2年5月28日	進行協議・・・・・・・・令和2年11月30日
第13回口頭弁論・・・・令和2年7月6日	第14回口頭弁論・・・・令和2年12月21日
進行協議・・・・・・・・令和2年9月14日	第15回口頭弁論・・・・令和3年2月15日
弁論準備・・・・・・・・令和2年10月19日	

○主な経費

報償 弁護士報償及び意見書料等 3,384千円

■市有地立木対応

市民の要望に応え、市有地（池上町）の立木について伐採業務を行いました。

○主な経費

委託料 危険木伐採業務 77千円

■公用車の集中管理

本庁舎及び西庁舎の駐車場で管理する車両計8台を庁内グループウェアを利用し、集中管理車両として課の枠組みを超えて共同使用しました。

また、集中管理公用車の燃料費について、令和2年4月分から支払事務を総務課で一括して行うことにより、事務の簡素化や効率的な公用車の運用の促進を図りました。

○主な経費

燃料費 522千円

入札契約事務事業	予算現額	1,118 千円
	決算額	1,060 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 1,126 千円

市が行う建設工事等の入札や全庁的な取りまとめが必要な案件の入札・契約事務を担当部署から受託し適正に執行するとともに、実務的な指導助言も行いました。

また、専門的な知識が要求される大規模な建築工事の検査業務（完成検査）について、業務委託により公益財団法人三重県建設技術センターから技術支援を得て、適正に検査業務を行いました。

○主な経費

委託料	入札参加資格申請共同受付・審査作業(建設工事等)	480千円
	建築工事实地検査業務委託	330千円

入札契約事務事業

会費等負担金	入札参加資格申請共同受付・審査(物品・業務委託)	186千円
	県市町工事検査担当協議会	10千円
使用料及び賃借料	工事实績情報システム利用料	22千円

■入札制度の改正

新型コロナウイルス感染症拡大の諸事情を鑑み、一定の案件で郵便により入札が執行できるように「鳥羽市郵便入札試行要綱」を制定し、令和2年5月から施行しました。また、鳥羽市が実施する物品等の調達において、適正な競争原理の下で公平性を確保した上で、市内業者への優先発注を通し、市内経済の活性化及び市内業者の育成を図るため、「鳥羽市物品等の調達における市内業者への優先発注に係る実施方針」を制定し、令和3年1月から施行しました。

■単価契約等

品質の統一や低価格での購入、事務の効率化の観点から全庁的に取りまとめることが効果的な案件について入札・契約事務を行いました。

- ガソリン等公用石油類の単価契約
- 公共嘱託登記の単価契約
- 封筒印刷業務の一括発注
- 自動販売機設置事業

■入札参加資格者名簿

入札参加資格者名簿の管理、更新を行いました。入札参加資格の審査及び受付は、申請業者の利便性向上や各自治体の事務の簡素化のため、建設工事等入札については三重県内28団体、物品、業務委託等入札については25団体により共同で実施しています。

○鳥羽市建設工事等入札参加資格者名簿登録業者数 令和3年3月名簿登録分

種別	地域	市内	県内	県外	合計
建設工事		55	583	632	1,270
設計、建設コンサル等		6	368	355	729
合計		61	951	987	1,999

○鳥羽市物品、業務委託等入札参加資格者名簿登録業者数 令和3年3月名簿登録分

種別	地域	市内	県内	県外	合計
物品・業務委託等		79	1,488	1,797	3,364

■建設工事等の入札状況

○条件付き一般競争入札

本市では、設計金額130万円以上の土木工事、建築工事、水道工事の3工種について、条件付き一般競争入札を行っています。条件付き一般競争入札とは、市内の業者を格付けし、発注基準に基づいた格付を参加資格として一般競争入札を行うものであり、令和2年度の条件付き一般競争入札は、鳥羽市入札参加資格者名簿に登録があり本市の格付基準において土木工事、建築工事、水道工事それぞれA、B、Cの各ランクに格付けされた42業者により行いました。(別表1)
条件付き一般競争入札の実施状況(水道課実施分は除く)に関しては別表2のとおりです。

入札契約事務事業

○指名競争入札

本市では条件付き一般競争入札で行う工事以外は、原則的に指名競争入札を行っています。

指名競争入札とは、入札に参加する者を市が指名し入札を行うものであり、設計金額130万円以上の指名競争入札の執行及び契約事務を工事発注担当部署から受託して行いました。

業者の選定に当たっては、鳥羽市入札参加資格者名簿に登録された業者の中から工事等発注担当部署が指名業者を選定しています。

令和2年度の当課による指名競争入札の実施状況は、別表3のとおりです。

〈別表1〉 格付業者数（延べ数）

工種	ランク	A	B	C	計
土木工事		8	19	10	37
建築工事		6	13	5	24
水道工事		10	11	6	27
合計		24	43	21	88

〈別表2〉 条件付き一般競争入札実施状況（金額は税抜き）

発注件数	ランク別工事件数（件）	参加業者数	平均落札率（％）	落札金額（千円）
2	土木A 2	12	91.37	196,520
6	土木AB 5 建築AB 1	81 13	89.72 90.90	45,730 6,690
20	土木BC 14 建築BC 6	181 40	88.95 90.73	42,820 10,620
合計	28	327	90.33	302,380

〈別表3〉 指名競争入札実施状況（金額は税抜き）

区分	発注件数	指名業者数	平均落札率（％）	落札金額（千円）
500万円未満	9	59	89.17	24,760
500～1,000万円未満	5	32	91.57	41,957
1,000～5,000万円未満	1	5	92.04	34,190
5,000万円以上	1	5	89.81	68,690
合計	16	101	90.65	169,597

■建設工事等入札参加資格審査会の開催

審査会を15回開催し、指名競争入札の業者選定、条件付き一般競争入札に係る業者格付け、指名停止等23案件について審査を行い、結果を市長へ報告しました。

■工事検査の実施

公共工事における工事検査は、各種法令や条例に基づき工事の品質確保や給付の完了を目的として行われ、令和2年度は51件の工事検査を実施し、契約設計図書に基づき適正に工事が履行されていることを確認しました。

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 8 公平委員会費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
156	144						144

事業 区分	1 公平委員会経費	144 千円	事項別明細書	P 62 ~
	公平委員会運営業務	予算現額	156 千円	
		決算額	144 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	238 千円
公平委員会連合会主催の総会（書面）や会報誌等を通じて他市の事例等を学び、研鑽に努めました。なお、職員から勤務条件に関する措置要求や不利益処分に関する不服申立てはありませんでした。 ○主な経費 委員報酬（3人分） 108千円 会費等負担金 全国公平委員会連合会 18千円 全国公平委員会連合会東海支部 7千円 県公平委員会連合会 11千円				

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 10 防犯対策費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,800	1,733				867		866

事業 区分	1 防犯対策事業	1,733 千円	事項別明細書	P 64 ~
	防犯対策推進事業	予算現額	1,800 千円	
		決算額	1,733 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	2,455 千円
犯罪の防止と地域の防犯力向上を目指し、鳥羽市生活安全推進協議会や町内会・自治会、警察、各種関係団体などと協力して、下記の自主防犯活動に取り組みました。 ○主な事業 1. 防犯啓発事業 「安心して暮らせる安全な地域社会の実現」を目的とした鳥羽市生活安全推進協議会については、新型コロナウイルスの影響を考慮し、総会を行わず書面による決議となりました。 - 防犯活動として、青色防犯パトロールによる見回りを行いました。				

防犯対策推進事業

2. 防犯灯整備事業

夜間の犯罪等を防ぐため、鳥羽市自治会連合会の防犯灯整備事業に補助を行い、地域の防犯と安全なまちづくりに努めました。

27の町内会・自治会が下記の防犯灯を整備しました。

・新設（LED） 8 か所 ・取替（LED） 50 か所 合計 58 か所

○主な経費

会費等負担金 海上保安協会 15 千円

鳥羽志摩防犯協会 743 千円

暴力追放鳥羽志摩市民会議 54 千円

みえ犯罪被害者総合支援センター運営費 49 千円

補助金 自治会連合会防犯灯整備事業費 867 千円

○主な財源 繰入金 ふるさと創生基金繰入金 867 千円

（款） 2 総務費

（項） 1 総務管理費

（目） 11 市民文化会館費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
24,498	23,269					1,862	21,407

事業区分

1 市民文化会館運営管理経費

23,269 千円 事項別明細書 P 64 ~

市民文化会館運営管理業務	予算現額	24,498 千円
	決算額	23,269 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 55,480 千円

令和2年9月末日をもって市民文化会館の貸館業務を廃止し、令和2年10月から市役所西庁舎として運用しました。また、施設利用者や職員に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持修繕や設備の更新及び保守点検等を行いました。

○使用状況

区 分	R2年度 回数(回)	R元年度 回数(回)	R2年度使用料				R元年度 使用料(円)
			会場(円)	器具(円)	冷暖房料(円)	計(円)	
大会議室	48	112	144,920	7,850	115,360	268,130	663,440
中会議室	43	152	66,100	3,400	0	69,500	382,000
小会議室	352	532	910,850	0	252,700	1,163,550	666,160
和室	25	144	25,280	0	14,840	40,120	168,180
料理室	0	21	0	0	0	0	29,370
中央公民館	—	—	—	1,700	32,900	34,600	77,910
合計	468	961	1,147,150	12,950	415,800	1,575,900	1,987,060

市民文化会館運営管理業務

○主な経費

人件費(会計年度任用職員 1 人)	1,227千円	(R2. 4～R2. 9)
燃料費	1,832千円	光熱水費 5,401千円
委託料		
・日直業務委託	2,112千円	(R2. 4～R2. 9)
・機械設備管理業務委託	3,465千円	
・清掃作業業務委託	2,330千円	
・浄化槽保守点検業務委託	678千円	
・建築物環境衛生管理業務委託	655千円	
・電気設備保安業務委託	693千円	
・エレベーター設備保守点検業務委託	528千円	
・空調設備保守点検業務委託	495千円	

○主な財源

・使用料(市民文化会館使用料)	1,576千円
・財産収入(土地貸付)	230千円

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 13 防災対策費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
76,588	74,300	13,564	3,334	40,500	685	3,099	13,118

事業
区分

1 防災対策事業

74,300 千円 事項別明細書 P 66 ~

災害予防対策推進事業	予算現額	2,402 千円
	決算額	2,007 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額) 2,626 千円

大規模災害時には県外市町や防災関係機関等の支援が必要となることから、地域防災計画の修正や協定締結等により、災害時の連携を図る等の総合的な防災対策を行いました。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、情報の収集・分析を行った上で、市民に正確かつ迅速な情報提供を行うとともに、感染予防対策を実施するための消毒液等備蓄資材の購入を行いました。

○主な事業

1. 災害対応

- ・災害対策本部設置状況(設置回数10回)
 - ①4月13日04:06 暴風警報発表により、災害対策本部設置
 - ②7月8日05:33 大雨(土砂災害)警報発表により、災害対策本部設置
 - ③7月9日14:31 大雨(土砂災害)警報発表により、災害対策本部設置
 - ④7月25日07:40 大雨(土砂災害)警報発表により、災害対策本部設置

災害予防対策推進事業

- ⑤7月25日22:25 大雨(土砂災害)警報発表により、災害対策本部設置
⑥9月4日10:03 大雨(土砂災害)警報発表により、災害対策本部設置
⑦9月6日18:50 大雨(土砂災害)警報発表により、災害対策本部設置
⑧9月25日13:15 大雨(土砂災害)警報発表により、災害対策本部設置
⑨10月9日18:38 台風14号接近に伴う暴風警報発表により、災害対策本部設置
⑩3月12日20:56 大雨(土砂災害)警報発表により、災害対策本部設置
※上記において、庁内災害情報システムにより被害情報等の集約を図りました。

2. 地域防災計画の修正

鳥羽市地域防災計画(地震・津波対策編、資料編)の修正を行いました。新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して、書面により鳥羽市防災会議を実施し、各計画の修正案について承認を受けました。

計画では、「南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン」に基づき、南海トラフ地震臨時情報の対応を追加したほか、事前避難対象地域の設定を行いました。

3. 職員訓練・防災研修等

「防災対策は総合行政であり、全ての職員が意識を持って行わなければならない。」という信念のもと、訓練や教育の充実を図りました。

運用を開始した市タイムラインや業務継続計画(BCP)の理解促進を図るため、防災普及教育を実施し、職員の防災知識の定着に努めました。

【災害時地区指定員説明会】

災害時に地域と協力して避難所の設置・運営を行うため、市内13地区に総勢77人の職員を災害時地区指定員に指定したほか、災害発生後の住家被害調査などを迅速に行えるよう22人の職員を災害時家屋被害調査員に指定しました。

指定した職員を対象とした説明会を開催し、災害時地区指定員の業務及び避難所運営のほか、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営について、防災教育を実施しました。

また、地域防災計画に基づき、全職員を対象とした職員メールを活用した安否確認訓練を実施しました。

災害時地区指定員(地区数、避難所数及び配置人数)

地区数	避難所数	配置人数
13	56	77

4. 協定締結先等との連携

これまでに締結した全69協定に基づき、災害時に協定が機能するよう各協定団体との連携に努めました。

○主な経費

委託料	浄水装置保守点検業務	128 千円
会費等負担金	県防災ヘリコプター連絡協議会	1,628 千円

○主な財源

諸収入	三重県市町職員互助会公益事業助成金	99 千円
諸収入	地域貢献型自動販売機電気料	99 千円

地震対策推進事業		予算現額	1,168 千円
		決算額	1,040 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	5,676 千円
津波避難対策として、各町内会・自治会が実施する一時的な滞在場所となる屋外の津波避難場所へ防災倉庫や防災資機材を整備する費用の一部を補助することで、地域の防災力の向上を図りました。			
○主な事業及び経費			
1. 補助金 自主防災倉庫等整備事業		1,040 千円	
6 町内会・自治会が行う自主防災倉庫等の整備にかかる事業費に対して下記のとおり補助金の助成を行いました。			
NO	地区	補助額 (円)	
1	鳥羽美台町内会	154,000	
2	錦町町内会	118,000	
3	相差町内会	118,000	
NO	地区	補助額 (円)	
4	安楽島町内会	131,000	
5	国崎町内会	266,000	
6	大明東町町内会	253,000	
合計		1,040,000	
○主な財源			
県補助金 地域減災力強化推進補助金		520 千円	
諸収入 三重県市町職員互助会公益事業助成金		520 千円	
防災資機材等整備事業		予算現額	19,295 千円
		決算額	18,686 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	2,344 千円
災害時に応急対策が迅速に行えるよう防災資機材等の整備を行い、避難所の環境整備に努めました。			
また、新型コロナウイルス感染症対策として、マスク、消毒液、使い捨て手袋、フェイスシールド、除菌ウェットティッシュ、体温計のほか、パーテーション、スポットクーラーを購入し、避難所に配備しました。			
○主な経費			
1. 消耗品費 液体・粉ミルク		63 千円	
・液体ミルクを96本購入			
・粉ミルクスティックタイプ（アレルギー対応含む）を688本購入			
2. 備品購入費 カセットガス式自家用発電機等		2,288 千円	
・発電機1台、カセットガスボンベ48本、投光器1台、延長ドラム1台を20セット購入			
3. 備品購入費 簡易トイレ		515 千円	
・組み立て式簡易トイレを26セット購入			
4. 消耗品費 感染症対策用品		1,934 千円	
・マスク、消毒液、フェイスシールドなどの感染症対策資機材をすべての避難所へ配備			
5. 備品購入費 非接触式体温計		702 千円	
・非接触式体温計55本を避難所へ配備			
6. 備品購入費 スポットクーラー		1,971 千円	
・移動式スポットクーラー33台を空調設備のない体育館等の避難所へ配備			

防災資機材等整備事業

7. 備品購入費 ワンタッチパーテーション

11,213 千円

・高さ140cmのワンタッチパーテーション406基を、多数の避難者が想定される体育館等の大規模な避難所へ配備

・ワンタッチパーテーションに対応する屋根53基を整備

○主な財源

国庫補助金 地方創生臨時交付金

12,885 千円

県補助金 地域減災力強化推進補助金

2,814 千円

繰入金 観光振興基金繰入金

685 千円

諸収入 三重県市町職員互助会公益事業助成金

2,203 千円

自主防災組織等支援事業	予算現額	300 千円
	決算額	60 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額) 199 千円

地域における防災活動の活性化を図るため、自主防災組織が実施する訓練等に対して助成を行いました。

○主な事業及び経費

1. 補助金 自主防災活動

60 千円

NO	実施団体	補助事業概要	補助対象物品等	補助額（円）
1	桃取町内会	炊き出し訓練等の実施	炊き出し訓練用食材	29,800
2	松尾町内会	炊き出し訓練等の実施	炊き出し訓練用食材	30,000
合 計				59,800

○主な財源

諸収入 三重県市町職員互助会公益事業助成金

60 千円

防災情報提供推進事業	予算現額	52,481 千円
	決算額	51,710 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額) 23,234 千円

市の主要な防災情報伝達手段である防災行政無線（同報系・移動系）、全国瞬時警報システム（J-ALERT）の維持管理のため、保守点検や修繕工事等を行い、災害時の情報伝達手段の維持を図りました。

令和2年度～3年度の2か年にわたる同報系防災行政無線デジタル化工事を開始し、令和2年度は、令和3年度からの工事に向けた機器類の製作を行いました。

○鳥羽市同報系防災行政無線デジタル化工事

設計測量等業務委託料

980 千円

鳥羽市同報系防災行政無線デジタル化工事監理業務委託（2年度分）

工事請負費

39,580 千円

鳥羽市同報系防災行政無線デジタル化工事（2年度分）

防災情報提供推進事業															
○主な経費															
委託料	同報系防災行政無線保守点検業務	3,520 千円													
	移動系防災行政無線保守点検業務	883 千円													
	全国瞬時警報システム保守点検業務	424 千円													
	移動系防災行政無線免許更新業務委託	303 千円													
使用料	同報系防災行政無線市役所操作卓貸賃料	1,905 千円													
会費等負担金	県防災行政無線運営協議会	1,338 千円													
負担金及び補助金	電波利用料	43 千円													
	「DONETを活用した津波予測・伝達システム」市町協力金	83 千円													
○主な財源															
市債	防災行政無線整備事業債	40,500 千円													
防災啓発活動推進事業		予算現額	942 千円												
		決算額	797 千円												
		翌年度繰越額	0 千円												
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	180 千円												
災害時における自助・共助・公助は重要であることから、市防災訓練や出前と一くを通じて、防災意識の向上を図りました。 ○主な事業 1. 市防災訓練（風水害等避難所運営訓練） 今年度の市防災訓練は、参加者が密になる可能性のある一斉津波訓練は実施せず、市職員（災害時地区指定員）対象に、風水害時の感染症対策を講じた避難所開設・運営訓練を行いました。 市民のかたには、町内会・自治会の役員などを対象とした防災リーダー研修という形で参加してもらうことで参加者を制限し、訓練会場を2か所に分けるなど、感染対策を施した上で訓練を実施しました。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th><th>市民体育館</th><th>市役所西庁舎</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災リーダー研修</td><td>36人</td><td>38人</td></tr> <tr> <td>市職員</td><td>45人</td><td>34人</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>81人</td><td>72人</td></tr> </tbody> </table> また、感染症対策の観点から、密を避け、自宅でできる訓練として、災害時に「自分の命を守るため」にとるべき行動をイメージし整理してもらう広報紙上防災訓練を広報とば11月号で行い、204件の応募がありました。 2. 相差町千鳥ヶ浜海水浴場 津波避難訓練 相差町千鳥ヶ浜海水浴場において、相差町自主防災会による津波フラッグを用いた津波避難訓練を実施しました。津波フラッグは、津波警報等の視覚的伝達手段として令和3年6月から気象庁が運用を開始しています。 3. 緊急地震速報行動訓練 毎年、消防庁及び気象庁が実施している緊急地震速報伝達訓練を活用して、実際に防災行政無線や館内放送等を放送させて地震時における防護行動訓練を実施しました。				種別	市民体育館	市役所西庁舎	防災リーダー研修	36人	38人	市職員	45人	34人	合計	81人	72人
種別	市民体育館	市役所西庁舎													
防災リーダー研修	36人	38人													
市職員	45人	34人													
合計	81人	72人													

防災啓発活動推進事業

4. 避難所運営マニュアルの作成

各地域において地域の実情に応じた避難所運営マニュアルを作成する必要があることから作成に向けた普及に努めました。

新たに鳥羽美台町内会で作成したほか、桃取町では独自のマニュアル作成に向けた取組を進めました。また、市役所西庁舎を避難所とする関係町内会 7 町内会による避難所運営委員会の立ち上げ及び独自のマニュアル作成に向けた取組を開始しました。

5. 出前と一く等

地域や学校、企業などに出向いて、市民の皆さんを対象に防災啓発の講座を実施するとともに、鏡浦小学校の児童を対象とした防災教室を実施しました。

WEBセミナー「災害から子どもを守るには」を市民体育館サブアリーナで開催したほか、「南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン」に基づく、事前避難対象地域の住民向けの説明会を 3 日にわたり開催しました。

○実施事業一覧

種別	回数	参加人数	備 考
訓練	2	653 人	市防災訓練（避難所運営、広報紙上）、相差町津波避難訓練
講演会	1	18 人	WEBセミナー
出前と一く	5	249 人	地域に出向いての防災啓発など
説明会	15	245 人	訓練や避難所開設、防災事業等に係る説明会など
研修	1	7 人	職員や一般市民、事業者等への防災研修
合計	24	1,172 人	

○主な経費

報償費	避難訓練景品購入	597 千円
消耗品費	訓練用資材	79 千円
通信運搬費	避難訓練景品郵送	82 千円
会場借上料	市防災訓練説明会会場	39 千円

○主な財源

国庫支出金 地方創生臨時交付金	679 千円
諸収入 三重県市町職員互助会公益事業助成金	118 千円

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 15 情報管理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
106,048	105,903	6,955				318	98,630

事業
区分

1 地域情報化推進事業

3,016 千円 事項別明細書 P 70 ~

地域情報化推進事業	予算現額	3,017 千円
	決算額	3,016 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標 5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	3,153 千円

地域情報化推進事業

市民等へ市政情報を発信するため、ホームページ運用管理システム（CMS）やとばメールの安定的な運用を行いました。

○主な経費

CMS機器・ソフトウェア使用料	1,449千円
CMS保守業務	673千円
一斉メール配信サービス利用料	627千円
・とばメール利用者数	(令和3年3月31日現在)

カテゴリー	利用者数	カテゴリー	利用者数
災害情報	5,189 人	健康情報	1,298 人
防犯情報	2,704 人	福祉・介護に関するご案内	977 人
気象情報	3,880 人	イベント・各種行事の情報	1,874 人
生活・安全情報	2,383 人	図書館からのご案内	853 人
募集情報・各種お知らせ	1,224 人	市民活動・ボランティア活動情報	827 人
定期船運行情報	3,291 人	環境・エコライフ情報	873 人
かもめバス運行情報	1,326 人	ごみ収集・リサイクル情報	1,386 人
子育て支援情報	1,015 人	観光情報	1,357 人

※カテゴリーごとに登録できるため、複数登録しているかたも含まれます。

庁内ネットワークと外部インターネットとの間に設置したファイアウォールでウイルスチェックを行うなど外部からの侵入を監視し、セキュリティの向上を図りました。

○主な経費

ファイアウォール保守業務	267千円
--------------	-------

事業
区分

2 庁内情報化推進事業

94,314 千円 事項別明細書 P 70 ~

庁内情報化推進事業	予算現額	20,684 千円
	決算額	20,551 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 16,601 千円

LGWAN（総合行政ネットワーク）に繋がる内部事務系ネットワークから直接インターネット接続できないようネットワークを分割し、またインターネット接続は仮想環境を通しての閲覧に制限し、外部からのメールの受信についても添付ファイルの削除や本文のテキスト化を行うなど国が求める水準のセキュリティを確保し、適切に運用しました。

○主な経費

自治体情報セキュリティ強化対策システム使用	6,930千円
-----------------------	---------

国が求める情報セキュリティ対策の一環として、インターネット接続の出入口を三重県が構築した自治体情報セキュリティクラウドに集約し、ファイアウォール、サンドボックス、各種チェック機能を活用することで外部からの攻撃を防ぐなどセキュリティの向上を図りました。

○主な経費

三重県セキュリティクラウド運用負担金	851千円
三重県情報ネットワーク回線使用負担金	223千円

庁内情報化推進事業

庁内ネットワークから外部への接続に必要なインターネットルータの運用保守を行い、情報発信・収集のための環境を維持しました。

○主な経費

インターネットルータ保守業務	25千円
----------------	------

地方公共団体の庁内ネットワークを相互に接続するLGWAN(総合行政ネットワーク)を利用することにより、セキュリティが確保された閉域網での自治体間の情報共有やLGWAN専用サイトを利用できる環境を維持・管理しました。

○主な経費

LGWANメールサーバ環境使用料	455千円
LGWAN回線使用料	668千円
第四次LGWAN賃貸借	517千円
地方公共団体情報システム機構（J-Lis）負担金	63千円

航空写真データを基にしたWebGIS（地理情報システム）を庁内LANで活用することで地図を使った業務の効率化を図りました。

○主な経費

庁内WebGIS賃貸借	330千円
-------------	-------

パソコンで作成した業務ファイルなどはパソコン上に保存せずに、電算室に設置された庁内ネットワーク上にあるファイルサーバに保存することで、情報資産の保全を図り適切に運用しました。

○主な経費

ファイルサーバシステム賃貸借	972千円
----------------	-------

市役所本庁舎と通信事業者間を光ケーブルで接続し、さらに、本庁・連絡所・学校・保育所等の出先機関をCATV回線で結ぶことで良好なイントラ環境を維持し、情報の共有や共通のネットワークシステムの利用など業務の効率化を図りました。

○主な経費

CATV回線（イントラネット環境）使用料	3,953千円
----------------------	---------

庁内や外部との会議等をリモート形式で行えるよう環境を整備することで、三密を避け、移動時間削減など会議や打ち合わせの効率化を図りました。

○主な経費

通信SIM利用料	253千円
パーソナルコンピュータ購入（15台）	1,606千円
ウェブ会議用端末・機器等購入	1,853千円

○主な財源

地方創生臨時交付金	3,688千円
-----------	---------

庁内情報化推進事業

組織の内部の情報共有等を目的に、電子メール、スケジュール管理、掲示板、公用車予約、ドキュメント共有などを行うグループウェアシステムを活用し、庁内の情報共有と業務の効率化を図りました。

○主な経費

グループウェアクラウドサービス使用料等	726千円
グループウェアサポート更新作業	165千円

主に庁内LANに接続するパソコンのウイルス対策として導入しているウイルス対策ソフトのライセンス更新を行い、安全な業務遂行環境を確保しました。

○主な経費

ウイルスソフトライセンス契約	262千円
----------------	-------

自治体情報セキュリティ向上プラットフォームサービスを利用し、インターネットに直接繋がらない庁内ネットワーク環境においてもWindows OSのアップデートやウイルス対策ソフトの定義ファイルを適用できるようにすることで適切なセキュリティを確保しました。

○主な経費

自治体情報セキュリティ向上プラットフォームサービス利用料	150千円
------------------------------	-------

庁内ネットワークパソコン整備事業

予算現額	1,980 千円
決算額	1,971 千円
翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標 5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう

(前年度決算額)	1,474 千円
----------	----------

各職員が庁内ネットワークに接続して使用するパソコンのうちOSが古いものや経年劣化によりハードディスク等に不具合が発生している端末を入替えることで、情報機器等を使用する業務に支障が出ないよう対応しました。

○主な経費

パーソナルコンピュータ購入（27台）	1,931千円
--------------------	---------

総合住民情報システム事業

予算現額	60,479 千円
決算額	60,478 千円
翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標 5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう

(前年度決算額)	58,010 千円
----------	-----------

住民記録、税、福祉、児童、年金等に関する総合住民情報システムの運用及び保守業務を行い専用の業務システムを使用することで業務の効率化を図りました。またサーバ類を自庁に設置せずクラウドサービスを利用し、情報機器についてもレンタルすることで、コストの平準化や機器故障時の迅速な対応等が可能となり、業務システムを適切に運用することができました。

○主な経費

総合住民情報システム（e-AD2）機器・ソフトウェア使用料	33,280千円
総合住民情報システム（e-AD2）ネットワーク保守業務	449千円

総合住民情報システム事業

市民サービスの充実と計算処理や登録判定事務の効率化を図るため総合住民情報システムにより、住民税の賦課計算業務、国保税本算定業務などの各業務を行うほか、各業務に支障が出ないようシステム改修を行いました。

また、定期的（月２回）に業務データを遠隔地に保管することで、情報資産の保全を行いました。

○主な経費

総合住民情報システム業務	21,749千円
遠隔地データ保管業務	132千円
CATV回線TLS接続使用料	713千円

行政事務の基礎である住民基本台帳についてネットワーク化を図り、全国共通に電子的な本人確認ができる仕組みである住民基本台帳ネットワークシステムを近隣２市６町で共同利用し安定的な稼働を確保しました。

○主な経費

住民基本台帳ネットワークシステム使用料	1,733千円
---------------------	---------

住基情報を取り扱う総合住民情報システムからの情報流出の防止するため、USBメモリなどの記録媒体の制御や生体（静脈）認証を行うためのシステムを適切に運用し、情報セキュリティの確保に努めました。

○主な経費

情報セキュリティ強化対策システム使用料（住民情報系）	2,087千円
----------------------------	---------

社会保障・税番号制度事業

予算現額	11,315 千円
決算額	11,314 千円
翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	9,923 千円
----------	------------------------------	----------	----------

社会保障・税番号制度において、全国の自治体等と情報連携を行うための団体内統合宛名システムや、ID連携サーバを用いて個人番号の代わりの符号と個人情報を結び付けて適切に情報連携がされるようシステムとネットワーク環境の維持や保守を行いました。

また、全国の自治体と情報連携を行うための中間サーバプラットフォームが地方公共団体情報システム機構により整備され運用されていますが、令和元年度～２年度にかけて次期システムの構築が進められることから、その対応を行いました。

○主な経費

ID連携サーバOracle保守業務	432千円
団体内統合宛名システム及びID連携サーバ保守業務	1,557千円
社会保障・税番号制度データ標準レイアウト等改版対応業務	1,275千円
次期自治体中間サーバプラットフォーム本番移行作業	290千円
VPN装置設置作業	110千円
社会保障・税番号制度情報連携基盤使用料	726千円
社会保障・税番号制度ネットワーク環境使用料	648千円
社会保障・税番号制度 団体内統合宛名システム(IaaS環境)使用	87千円
中間サーバ・プラットフォームASPサービス利用負担金	6,189千円

社会保障・税番号制度事業	
○主な財源	
社会保障・税番号制度システム整備費補助金	3,267千円

事業区分 3 行政放送事業		8,573 千円	事項別明細書 P 70 ~
行政放送事業	予算現額	8,573 千円	
	決算額	8,573 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	14,083 千円
市域ケーブルテレビ網を使った行政チャンネルにより、定期的で即時性のあるものは文字放送により情報発信し、また政府広報動画や市が制作した動画などを放送することで広報機能の充実を図りました。 また、市議会の録画中継を行うことで、直接傍聴できない市民の方へ市議会の様子を伝えました。 ○主な経費 鳥羽市行政チャンネル放送業務 8,540千円 鳥羽市行政チャンネル放送番組データ変換エンコード業務 33千円			

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 18 諸費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
821	792						792

事業区分 2 弁護士報酬経費		792 千円	事項別明細書 P 72 ~
弁護士報酬経費	予算現額	821 千円	
	決算額	792 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	785 千円
顧問弁護士契約を締結し、市政の法律問題について弁護士の相談や助言を求め、行政運営が円滑に実施されるように努めました。また、研修テキストを用いた自己学習の方法により、課長補佐級の全職員を対象とした研修を実施しました。 コンプライアンス研修 1 回（参加者数38人） ○主な経費 顧問料 792千円			

会 計 課

【総括】

決算の調製及び公金の審査支払・収納事務等を法令に則り、迅速かつ適正に処理しました。

また、各課と連携し、より正確な収支状況を把握することにより、公金の安全かつ効率的な管理・運用に引き続き努めました。

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 1 一般管理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
3,300	3,254					7	3,247

事業区分

1 総務給与等管理費

3,254 千円

事項別明細書

P 54 ~

給与等管理業務		予算現額	2,714 千円
		決算額	2,712 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	2,948 千円
会計年度任用職員 1 人に要する経費を支出しました。			
○ 主な経費			
会計年度任用職員報酬		1,927千円	
職員時間外手当		予算現額	586 千円
		決算額	542 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	344 千円
出納整理期間における出納事務及び決算書調製事務等を円滑に進めるために、時間外勤務手当を支出しました。			
○ 主な経費			
時間外勤務手当		542千円	

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 4 会計管理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
546	404						404

事業区分 1 会計事務経費		404 千円 事項別明細書 P 58 ~	
会計一般管理経費		予算現額	546 千円
		決算額	404 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	634 千円
公正かつ効率的な会計事務の遂行に努めました。			
○主な経費			
・プリンタ電卓購入費		16千円	
・三重県都市会計管理者協議会市負担金		5千円	

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 5 財産管理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
773	624					624	0

事業区分 3 基金積立金		624 千円 事項別明細書 P 60 ~	
積立金（基金）		予算現額	773 千円
		決算額	624 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	755 千円
安全かつ効率的に基金の運用を図り、各基金に積み立てを行いました。			
今年度の積立額は、金利水準が全般的に低下しているため、前年度に比べ131千円の減額となりました。			
○運用収入基金積立額			
(単位：円)			
基 金 名	積 立 額	基 金 名	積 立 額
財政調整	233,354	福祉	227
減債	7,596	庁舎等改修	21,631
ふるさと創生	123,001	観光振興	21,377
職員退職手当	71,957	都市計画事業	54,211
奨学	168	拠点整備交付金	90,161
		合 計	623,683

(款) 11 公債費

(項) 1 公債費

(目) 2 利子

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,153	0						0

事業 区分	2 一時借入金利子		0 千円 事項別明細書 P 190 ~	
	一時借入金利子		予算現額	1,135 千円
			決算額	0 千円
			翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	0 千円
一時借入を行わなかったため、予算執行はありません。				

事業 区分	3 基金繰替運用利子		0 千円 事項別明細書 P 190 ~	
	基金繰替運用利子		予算現額	18 千円
			決算額	0 千円
			翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	0 千円
基金繰替運用を行わなかったため、予算執行はありません。				

税 務 課

【総括】

主たる自主財源である市税収入を確保するため、適正かつ公平な課税と収納率の向上に努めました。固定資産税では、近年、全国的に増加している所有者不明の土地等に係る固定資産税の課税における課題に対応するため、令和2年度地方税制改正に基づき、固定資産の所有者が明らかとならない場合、使用者を所有者とみなして課税することが出来るよう市税条例を改正しました。

徴収業務では、現年課税分の徴収強化の取り組みとして、令和2年4月より納税者の利便性を向上させるため、スマートフォン等の電子機器による決済サービスを開始しました。

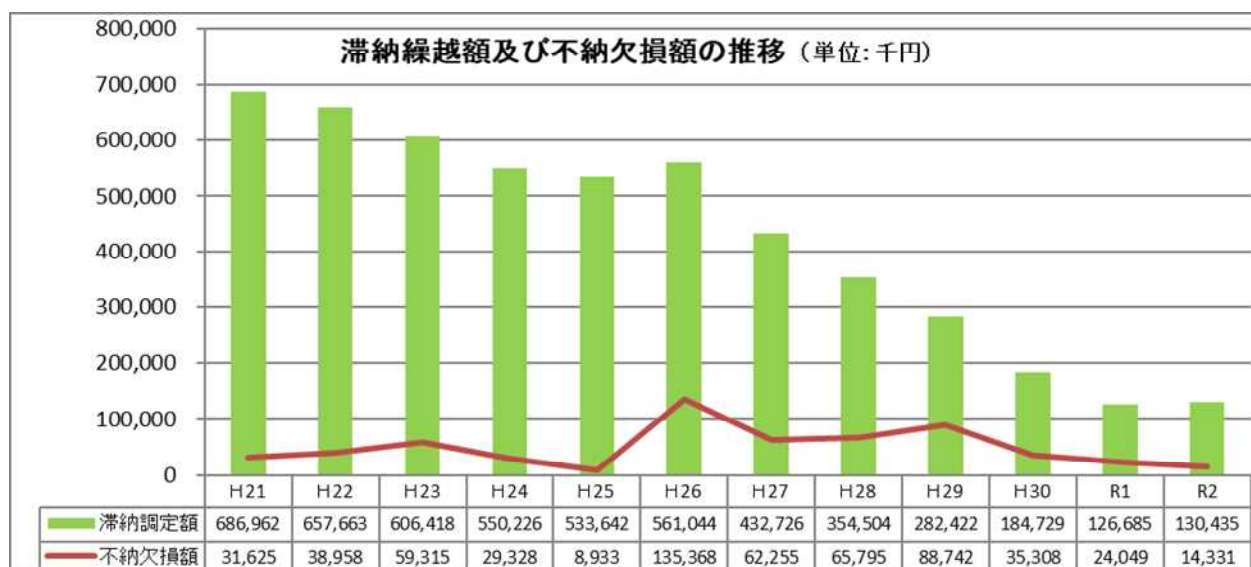
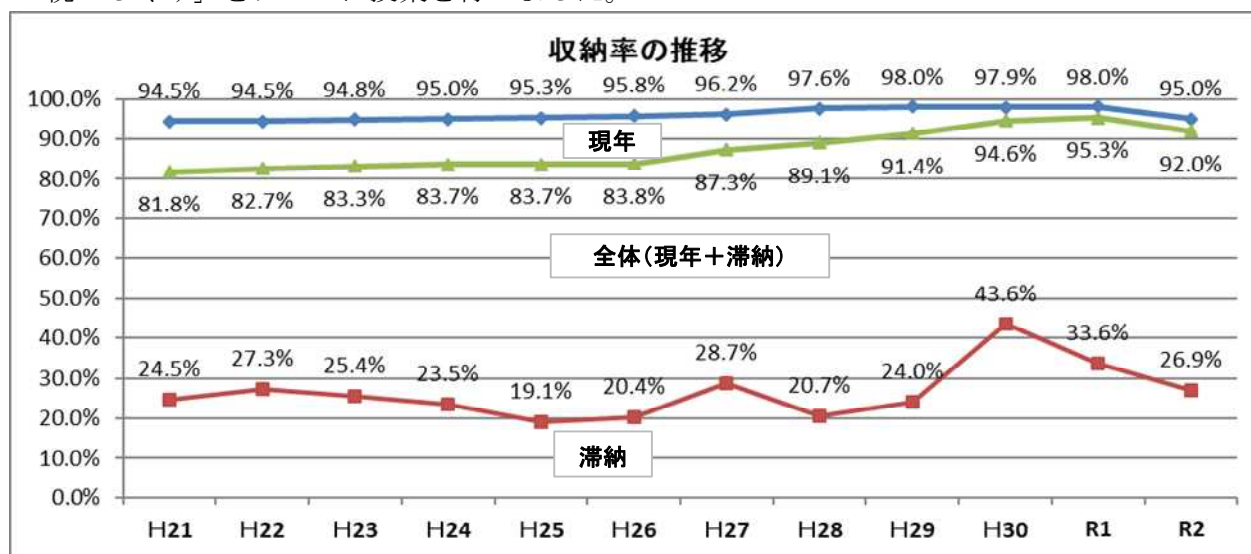
滞納繰越分の圧縮の取り組みとしては、滞納者本人からの聞き取りや課内係と連携し滞納者の状況を十分に把握した上で差押など適正な滞納処分を行いました。

回収困難案件等は、三重地方税管理回収機構とも連携しながら滞納額の縮小、累積防止に努めました。

令和2年度市税収納率は新型コロナウイルス感染症に係る特例の徴収猶予の収入未済などにより前年度から3.3ポイント低下し92.0%となりました（下記参照）。

【予算を伴わない事業】

南勢志摩租税教育推進協議会主催の租税教室に職員が講師として弘道小学校と答志小学校の6年生に「税のしくみ」をテーマに授業を行いました。



(款) 2 総務費

(項) 2 徴税费

(目) 1 税務総務費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
100,091	99,119	1,201	27,228			910	69,780

事業区分

1 税務給与等管理費

99,098 千円 事項別明細書 P 74 ~

税務一般管理経費	予算現額	99,966 千円
	決算額	99,098 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 94,917 千円

人件費を含む事務的な経費を執行し、市の広報誌・ホームページ・行政放送の活用や、税務概要の発行を行うことで、広く税の啓発を行いました。

また、窓口業務においては、分かりやすい説明と親切・丁寧な対応を心がけ、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、換気、椅子・机等の消毒や手指消毒用のアルコール設置を適宜行い、申請に基づいた税務証明を迅速かつ正確に発行するよう努めました。

○主な経費

給料	48,632 千円
職員手当等	28,075 千円
共済費	15,751 千円
会計年度任用職員報酬	4,245 千円

税務証明等の発行件数 (単位: 件)

内 容	有料	無料	合計	内 容	有料	無料	合計
評価証明	724	807	1,531	資産証明	19	1	20
車庫証明	0	0	0	公租公課証明	225	0	225
納税証明	186	1,454	1,640	閲 覧	909	1,134	2,043
完納証明	163	87	250	字切図	50	0	50
所得証明	1,751	297	2,048	比隣地証明	0	0	0
扶養証明	0	0	0	廃車証明	0	0	0
租税証明	29	0	29	標識交付証明	1	9	10
事業証明	5	0	5	合 計	4,251	3,792	8,043
課税証明	189	3	192				

事業区分		2 固定資産評価審査委員会経費	21 千円	事項別明細書 P 74 ~
固定資産評価審査委員会経費		予算現額	125 千円	
		決算額	21 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標		5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	48 千円

固定資産評価審査委員会経費

固定資産課税台帳に登録されている固定資産の評価額に関する不服を審査決定する機関として、地方税法に基づき固定資産評価審査委員会を設置しています。

令和2年度は、審査委員会への申出はありませんでした。

○主な経費 委員報酬 18千円

(款) 2 総務費

(項) 2 徴税费

(目) 2 賦課徴収費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
43,347	40,516	130	1,015			413	38,958

事業区分 1 賦課事務経費 32,382 千円 事項別明細書 P 74 ~

個人市民税賦課経費	予算現額	9,224 千円
	決算額	8,948 千円
	翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	9,082 千円
----------	------------------------------	----------	----------

eLTAX(電子申告)による給与支払報告書の電子申告率が47.5%と前年度と比較して7.3ポイント向上しており、事務の効率化に繋がりました。

令和2年度は確定申告受付時において、平成29年度より実施している税務署への確定申告書のデータ送信を推進させるとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため申告前年同様、会場への手指消毒用のアルコール設置や換気、椅子・机等の消毒を適宜行ったほか、アクリルパーテーションの設置や検温を実施、会場での密を避けるため、予約制による事前申告相談の実施や、申告期間中における西庁舎での申告受付の際に一部予約制を導入し、正確・効率的かつ安全に申告事務等を行いました。

○主な経費

通信運搬費	郵送料	1,069千円
電算委託料	税務LANシステム保守業務	423千円
委託料	年末調整関係書類封入業務	16千円
	年末調整関係書類発送代行業務	18千円
	確定申告書等発送代行業務	4千円
使用料	税務LANシステム使用料	2,352千円
	電子申告対応システム賃借料	305千円
	電子申告審査システム賃借料	990千円
会費等負担金	地方税共同機構	452千円
	三重県都市税務主管者協議会負担金	10千円
	伊勢税務推進協議会負担分担金	23千円
	伊勢地区税務事務研究会分担金	15千円

個人市民税賦課経費

納税義務者数

(単位:人)

区分	均等割のみ	所得割のみ	均等・所得割	合計
特別徴収	489	32	5,293	5,814
普通徴収	646	71	1,530	2,247
年金特徴	271	0	766	1,037
計	1,406	103	7,589	9,098

課税額

(単位:千円)

区分	特別徴収	普通徴収	年金特徴	合計
本年度課税				
課税額(A)	510,111	183,334	29,446	722,891
内訳				
均等割	19,165	8,603	3,514	31,282
所得割	462,229	174,731	25,932	662,892
所得割(退職)	28,717	0	0	28,717
翌年度収入となる額(B)	79,838	0	0	79,838
前年度課税で本年度収入の額(C)	82,020	0	0	82,020
本年度調定額(A-B+C)	512,293	183,334	29,446	725,073

固定資産税台帳整備事業

予算現額	11,121 千円
決算額	10,888 千円
翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標 5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう

(前年度決算額) 8,112 千円

適正かつ公平な評価及び課税を推進するため、土地については、市内全域で現地調査を実施するとともに、土砂災害特別警戒区域及び砂防指定地における減価補正を行いました。

家屋については、対象物件把握のための現地調査や、評価計算を行い、固定資産税台帳の整備に努めました。

○主な経費

電算委託料	固定資產業務支援システム保守管理業務	660千円
	登記データ取込補助機能追加作業業務	562千円
委託料	砂防指定地地番抽出業務	660千円
	固定資産土地評価業務	8,320千円
	家屋評価計算業務	686千円

法人市民税賦課経費

予算現額	6,096 千円
決算額	5,320 千円
翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標 5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう

(前年度決算額) 1,376 千円

法人市民税に係る申告においては、電子申告(eLTAX)率が65.6%と前年度と比較して3.9ポイント向上しており、事務の効率化に繋がりました。

課税額は、前年度と比較して48,187千円(31.0%)減と大きく減少しました。

法人市民税賦課経費

法人市民税 調定額推移

年度	納税義務者数（人）	法人税割額（千円）	均等割額（千円）	合 計（千円）
R 02	612	33, 594	73, 569	107, 163
R 01	624	80, 600	74, 750	155, 350
H30	631	79, 455	75, 333	154, 788
H29	641	90, 285	79, 736	170, 021
H28	641	90, 099	78, 199	168, 298

固定資産及び都計税賦課経費

	予算現額	6, 454 千円
	決算額	6, 386 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 12, 559 千円

土地・家屋については、令和3年度の評価替えを完了させ、固定資産税・都市計画税の課税客体的確な把握に努め、適正かつ公平な賦課業務に取り組み、土地については、令和2年7月1日時点の価格を基に令和3年度の土地評価の修正を実施しました。

家屋については、新增築分の家屋調査を実施したほか、滅失家屋の把握に努め、リゾートマンション等の所有権移転に伴う異動処理を行いました。

償却資産については、税務署の申告資料等を基に、未申告者へ催告を行うとともに、課税客体の捕捉に努めました。

○主な経費

通信運搬費	郵送料	1, 182千円
手数料	土地鑑定評価(時点修正)業務	924千円
電算委託料	住民情報システム改修業務	109千円
	登記情報課税支援システム保守管理業務	238千円
委託料	現況地番図等異動修正業務	1, 555千円
会費等負担金	資産評価システム研究センター会費	75千円
	研修参加費	35千円
過誤納償還金		1, 900千円

【新增築家屋及び滅失家屋件数】

単位：件

	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
新增築	51	50	59	72	41
滅 失	78	110	79	108	72

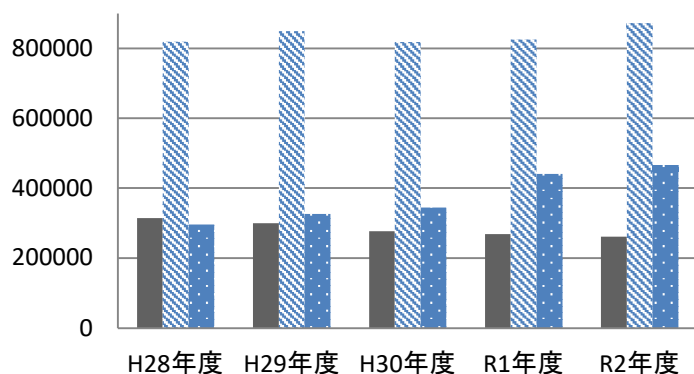
固定資産及び都市計画税賦課経費

【固定資産税及び都市計画税 調定額推移】 (現年分) 単位：千円

種 別		H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
固定資産税	土地	313,960	299,788	276,683	268,463	260,852
	家屋	818,724	849,332	817,879	825,353	871,082
	償却	296,301	325,822	344,808	440,289	465,431
	固定計	1,428,985	1,474,942	1,439,370	1,534,105	1,597,365
都市計画税	土地	39,605	37,823	35,619	34,399	33,458
	家屋	80,155	88,633	85,318	85,597	86,209
	都計計	119,760	126,456	120,937	119,996	119,667
総 計		1,548,745	1,601,398	1,560,307	1,654,101	1,717,032

(単位：千円)

固定資産税調定額推移



■ 土地
■ 家屋
■ 償却

土地については、地価の下落が継続しているため減少傾向にあり、家屋については、過疎法による3年間の課税免除を受けていたもののうち、一部で免除期間が終了したことから調定額が伸びています。

償却資産については、太陽光発電施設の建設に伴い、増加傾向となっています。

軽自動車税賦課業務

予算現額	853 千円
決算額	755 千円
翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標 5-2【行政経営】 効率的で心のこもった行政経営を進めよう

(前年度決算額) 1,385 千円

課税台数は、前年度と比較して165台 (1.7%) 減となりましたが、課税額については、493千円 (0.7%) 増となりました。

主な要因としては、新規登録から13年経過した重課適用車両が増加傾向にあることから課税額が増加しました。

○主な経費

会費等負担金 軽自動車税等事務共同処理協議会 (分担金) 134千円
軽自動車税環境性能割徴収取扱費 (負担金) 40千円

課税台数と課税額

区分		課税台数 (台)	課税額 (千円)	免税 (台)
原動機付自転車	50cc以下	1,851	3,702	1
	90cc以下	71	142	0
	125cc以下	118	283	0
	ミニカー	29	107	0

軽自動車税賦課業務								
	軽自動車		二輪車		176	634	0	
			三輪車		1	5	0	
			四輪車	乗用・自家		4,566	43,656	76
				乗用・営業		0	0	0
				貨物・自家		2,465	12,903	20
				貨物・営業		14	48	0
	小型特殊自動車		農耕用		60	96	0	
			その他		48	226	0	
	二輪小型自動車			227	1,362	0		
合計			9,626	63,164	97			

入湯税賦課経費			予算現額	87 千円	
			決算額	85 千円	
			翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう			(前年度決算額)	81 千円

令和2年度の入湯客数は前年度と比較して504,416人（43.7%）減となり、調定額では75,662千円の減額となりました。

主な要因は新型コロナウイルス感染拡大の影響により入湯客数が減少したことによるものです。

入湯税 調定額推移

年度	事業所数	課税標準（人）	調定額（千円）
R02	52	649,044	97,357
R01	52	1,153,460	173,019
H30	51	1,073,367	161,005
H29	51	1,115,401	167,310
H28	53	1,145,803	171,870

事業区分

2 徴収事務経費

3,015 千円 事項別明細書 P 76 ~

税の徴収	予算現額	3,160 千円
	決算額	3,015 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 5,027 千円

収納業務においては、窓口や口座振替、コンビニエンスストア等で納付された市税等の収納管理を行いました。また、納期内納付の一層の推進が重要であることから、管理収納係及び特別滞納整理係の2係が連携し、現年度課税分を優先して納付するよう取り組みました。

各納期後の督促状の発送や、年2回の催告書一斉発送により年度内完納を促す取組を行いました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した納税義務者に対し徴収猶予の適用や、納付相談、分納対応を行い、徴収事務に取り組みましたが、市税の現年度分の収納率は、前年度の98.0%から3ポイント減の95%となりました。

税の徴収

国民健康保険税の現年度分の収納率については、前年度の95.4%から0.3ポイント増の95.7%となりました。

また、スマートフォン等の電子機器による決済サービスの運用を開始し、納税者の納付環境を整え、利便性の向上に努めました。

今後も口座振替やコンビニエンスストア、スマートフォン決済での納付推奨を行い、納期内納付の向上に努め、新たな納付方法や業務の効率化、係間の連携を図り、収納業務を遂行していきます。

○主な経費

手数料 1,327千円

電算委託料 口座振替分割・統合サービス運用業務 128千円

納期内納付割合及びコンビニエンスストアにおける収納状況

年度	納付件数(全体) (A)	納期内納付件数 (B)	割合(%) (B)/(A)	コンビニ収納件数 (C)	割合(%) (C)/(A)	スマホ収納件数 (D)	割合(%) (D)/(A)
R2	107,732	94,757	88.0	17,059	15.8	549	0.5
R1	109,223	94,475	86.5	16,654	15.2	-	-
H30	110,483	94,893	85.9	16,375	14.8	-	-

事業
区分

3 特別滞納整理経費

5,119 千円 事項別明細書 P 76 ~

特別滞納整理経費	予算現額	6,352 千円
	決算額	5,119 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 4,425 千円

令和2年度は、昨年度に引き続き新規滞納繰越者への一斉催告、分納不履行者へは不履行催告を毎月発送する等、催告の強化に努めるとともに、相談のあった滞納者については納税折衝の中で生活実態の把握を行いつつ、財産調査等の精査により滞納整理に取り組みました。

その中で、三重地方税管理回収機構へは機構の徴収手法を考慮し選別した案件を14件（移管限度件数15件）移管し、徴収額は8,443千円となりました。

また、差押の実施件数は107件で前年度の152件と比較して45件減少しました。

市税の収納率は、滞納繰越分は前年度の33.6%より6.7ポイント減の26.9%となり、現年・滞納繰越分を併せた市税全体の収納率では前年度の95.3%より3.3ポイント減の92.0%となりました。これは新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が減少し納付が困難となった納税義務者に対し、年度末を納付期限とする徴収の猶予を適用しましたが、年度末時点においても収入状況の改善が見込めないことを理由に、猶予期間延長の申出が多くあったことが影響したものと考えられます。

国民健康保険税については滞納繰越分の収納率は、前年度の38.9%から1.1ポイント増の40.0%となり、現年分を合わせた全体では、前年度の88.3%から1.3ポイント増の89.6%となりました。

特別滞納整理経費

○主な経費

報償費	市税徴収アドバイザー	230 千円
	相続財産管理人	384 千円
一部事務組合負担金	三重地方税管理回収機構	3,475 千円
催告書発送件数	(単位：件)	

新規滞納繰越者	163
分納不履行者	101
催告書、差押事前通知	594
その他	32

三重地方税管理回収機構移管実績 (単位：円)

年度	移管件数(件)	徴収額(国保、延滞金含)(千円)
R02	14	8,443,261
H31	11	29,425,210
H30	12	14,154,797
H29	15	16,403,371
H28	15	20,804,139

滞納整理実績(差押・公売件数)

(1) 差押件数及び市税等充当額

預金	60件	出資金	0件
不動産	11件	給料	20件
生命保険	7件	動産	1件
債権	6件		
売掛金等	3件	合計	108件

市税等充当額 : 23,356千円

(2) 公売件数及び市税等充当額

実施件数	2件
市税等充当額	2,812千円

市税不納欠損処分

税 目	期別件数(件)	税額(千円)
市 民 税	55	1,838
法人市民税	0	0
固定資産税	146	12,143
軽自動車税	62	350
国民健康保険税	117	9,819
合 計	380	24,150

徴収猶予適用実績

適用件数	99件
猶予金額	148,645千円

猶予対象の内、滞納繰越となった金額

件数	65件
滞納繰越金額	92,523千円

選 挙 管 理 委 員 会

【総括】

令和2年度は、令和3年4月4日告示、4月11日執行の鳥羽市長選挙の準備事務を行いました。

(款) 2 総務費

(項) 4 選挙費

(目) 1 選挙管理委員会費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
8,948	8,831		6				8,825

事業
区分

1 選挙管理委員会給与等管理費

8,831 千円 事項別明細書 P 78 ~

選挙管理委員会事業	予算現額	8,948 千円
	決算額	8,831 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 9,025 千円

鳥羽市選挙管理委員会規程により、定例会及び臨時会を開催し、定例議案や選挙関連議案の審査を行いました。

- ・定例会（4回） 6月1日、9月1日、12月1日、3月1日
- ・臨時会（1回） 10月20日（鳥羽市長選挙に関すること）

選挙人名簿登録者数

項 目		登 録 者 数 (人)		
		男	女	計
定 時 登 録	令和2年6月1日現在	7,430	8,513	15,943
	令和2年9月1日現在	7,363	8,483	15,846
	令和2年12月1日現在	7,332	8,453	15,785
	令和3年3月1日現在	7,297	8,432	15,729
	三重海区漁業調整委員会 (令和2年12月5日現在)	735	638	1,373

在外選挙人名簿登録者数

項 目		登 録 者 数 (人)		
		男	女	計
定 時 登 録	令和2年6月1日現在	10	9	19
	令和2年9月1日現在	8	8	16
	令和2年12月1日現在	8	8	16
	令和3年3月1日現在	8	8	16

○主な経費

- ・人件費 8,240千円
- ・選挙管理委員会委員報酬 514千円
- ・会費等負担金 全国市区選挙管理委員会連合会 22千円
- 全国市区選挙管理委員会連合会東海支部 7千円

(款) 2 総務費

(項) 4 選挙費

(目) 2 選挙常時啓発費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
160	28						28

事業区分	1 選挙啓発事業	28 千円	事項別明細書	P 80 ~
	選挙常時啓発事業	予算現額	160 千円	
		決算額	28 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	113 千円
選挙が明るく正しく、かつ適正に行われるよう啓発することを目的に組織する「鳥羽市明るい選挙推進協議会」が行う活動を通して、選挙啓発を行ってきました。 しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、協議会役員と協議し、例年行ってきた街頭啓発を中止しました。 市内小中学生を対象に選挙啓発ポスター作品の募集を行い、小学校2校70作品と中学校2校17作品延べ4校87作品の応募がありました。それらの中から15作品を鳥羽市の入選作品として三重県へ提出し、県の審査において1作品が入選しました。 ○主な経費 ・ 明るい選挙啓発ポスター応募者報償 28千円				

(款) 2 総務費

(項) 4 選挙費

(目) 3 鳥羽市長選挙費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,400	847						847

事業区分	1 鳥羽市長選挙費	847 千円	事項別明細書	P 80 ~
	鳥羽市長選挙費	予算現額	1,400 千円	
		決算額	847 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	0 千円
令和3年4月20日任期満了に伴い、4月4日告示、4月11日選挙期日とする鳥羽市長選挙の執行に向け、2月10日に立候補予定者説明会を開催するなど選挙準備事務を行いました。 ○主な経費 ・ 消耗品費 133千円 ・ 印刷製本費 227千円 ・ 時間外勤務手当 436千円				

監 査 委 員 事 務 局

【総括】

監査委員の補助機関として、令和2年度監査基本計画の基本方針に基づき市の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理の監査を実施しました。また、地方自治法の一部改正に伴い監査制度の充実強化を図るため、令和2年4月1日に鳥羽市監査基準の改正を行いました。

(款) 2 総務費

(項) 6 監査委員費

(目) 1 監査委員費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
18,892	18,415						18,415

事業区分

1 監査委員給与等管理費

18,415 千円 事項別明細書 P 84 ~

監査委員経費		予算現額	18,892 千円
		決算額	18,415 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	15,998 千円

各監査を計画的、効率的に実施し、その結果の報告・公表を通し市の事務等の改善に寄与しました。また、監査業務の充実を図るため、専門研修に参加し知識の向上に努めました。

○主な経費

委員報酬

1,740 千円

会費等負担金

19 千円

定期監査（本庁各課）

令和元年度の各課における事業管理、庶務・人事管理、財務・会計管理、財産・物品管理が適正に行われているかを主眼にして実施しました。総体としては、おおむね適正に処理されているものと認められました。

○実施日

R 2. 5. 7～ 8. 3 書面審査

各課実施日	対 象 箇 所
R 2. 6. 25	水道課
6. 30	消防本部・署、環境課
7. 3	監査委員事務局、観光課、建設課
7. 9	健康福祉課(社会福祉事務所)
7. 15	教育委員会事務局
7. 20	定期船課、農水商工課（農業委員会）、市民課
7. 27	会計課、議会事務局、税務課
7. 30	総務課(公平委員会)、選挙管理委員会
8. 4	企画財政課

○結果

指 摘 事 項	是正・改善事項	6件	
	所 見	注 意 事 項	43件
		検 討 事 項	17件
		努力・要望事項	11件

監査委員経費

定期監査（出先機関）

令和元年度及び令和2年4月から令和2年8月までの診療所及び連絡所における運営管理、人事管理、会計管理、財産管理が適正に行われているかを主眼にして実施しました。

総体としては、おおむね適正に処理されているものと認められました。

○実施日 R 2. 9. 7～10. 5 書面審査

○結果

実 施 日	対 象 箇 所
R 2. 10. 6	休日診療所、鏡浦連絡所、鏡浦診療所
10. 14	長岡連絡所、加茂連絡所

事 指 項 摘	是正・改善事項	0件
所 見	注 意 事 項	0件
	検 討 事 項	0件
	努力・要望事項	0件

公の施設の指定管理者監査

令和元年度及び令和2年4月から令和2年9月までを対象とし、平成23年4月1日にマリントーナールの供用を開始した一般財団法人鳥羽市開発公社における施設の管理に係る事務の執行及び業務管理運営状況と所管部局である企画財政課、農水商工課、観光課、建設課の監督・指導管理事務が適正に行われているかを主眼にして実施しました。結果、様々な事業の展開に尽力されており、今後も所管課と指定管理者が共通認識を持ち適正な管理運営となるよう要望しました。

○実施日

R2. 10. 30～11. 12 書面審査
R2. 11. 13 実地監査
R2. 11. 18 所管部局に対する聞き取り

○結果

事 指 項 摘	是正・改善事項	1件
所 見	注 意 事 項	2件
	検 討 事 項	0件
	努力・要望事項	0件

例月出納検査

出納関係諸表の計数の正確性を検証するとともに、現金の出納事務が適正に行われているかを主眼にして実施しました。結果、毎月適正に処理されていることが認められました。

○実施日 毎月おおむね25日

水道事業会計決算審査

決算関係書類が水道事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているか、また、経営内容には事業の経済性が発揮及び公共性が確保されているかを主眼にして実施しました。

結果、おおむね経済性に配慮した事業運営がなされているものと認められました。

○審査期間 R 2. 5. 15～R 2. 8. 19

一般会計・各特別会計決算審査（基金の運用状況審査）

決算関係書類の計数の正確性、収入・支出の合法性、予算執行の適法性が確保されているか、また、基金の運用がその目的に沿って適正かつ効率的に行われているかを主眼にして実施しました。結果、審査に付された各会計歳入歳出決算書及び付属書類は、いずれも関係法令の定めに従って作成され、その計数は関係諸帳簿と照合した結果、正確であることが認められました。

○審査期間 R 2. 7. 28～R 2. 8. 19

健全化判断比率等審査

健全化判断比率・資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記した書類が適正に作成されているかを主眼にして実施しました。結果、提出された書類は、いずれも適正であると認められました。

○審査期間 R 2. 7. 28～R 2. 8. 19

市 民 課

【総括】

市民課は「市役所の顔」としての自覚を職員それぞれが持ち、市民の視点に立った親切でわかりやすい接遇を心がけるとともに、来庁時の負担の軽減を図るようワンストップサービスに努めました。

連絡所業務では、納税、各種証明書の発行や申請等、市役所事務の一部を分掌し、本庁へ赴くことが困難な住民に行政サービスを提供しました。

地域連携事業では、地域のためにがんばる団体応援事業において、将来を担う子どもたちの未来を応援するとともに活気あるまちづくりを推進するため、2団体に補助金を交付しました。

自治会連合会補助事業では、鳥羽市自治会連合会に対して補助金を交付し、町内会・自治会の取組についてアンケート調査を行ったほか、各町内会、自治会が抱える課題に対して防災などの研修会への参加や消毒用アルコールの配布などを行いました。

戸籍及び住民基本台帳事務では、法改正に伴い、戸籍事務へのマイナンバー制度導入及び国外転出者によるマイナンバー等の利用を可能にするためのシステム改修を行いました。また、マイナンバーカードにおいては、申請に必要な顔写真の無料撮影と申請書類作成とともに、マイナポイントや保険証利用申込みの補助を行い、普及促進を図りました。

福祉医療費助成においては、適正な事務執行に努めるとともに、未就学児を対象とした現物給付を三重県内の医療機関等で実施し、経済的負担の軽減や受診環境の向上に努めました。

国民年金についても広報やホームページを活用し、制度の周知に努めました。

また、国民健康保険・後期高齢者医療特別会計に繰出金を支出し、財政の安定化を図りました。

人権問題啓発事業では、「STOP！コロナ差別」啓発のため、缶バッジやマグネットシートを作成・配布し、周知を行いました。

男女共同参画推進事業では、市内851の事業所に対して男女共同参画事業所アンケートを行い、男女共同参画についての意識や実態の把握に努めました。

【新たに実施した事業】

特別定額給付金事業では、新型コロナウイルス緊急経済対策として家計への支援を行うため、一人につき10万円の特別定額給付金を8,411世帯（99.64%）、18,240人（99.82%）に支給しました。

【予算執行を伴わない事業】

国際交流事業では、姉妹都市であるサンタバーバラ市と8月及び12月にリモート通信による交流を行ったほか、KOKUSAI KIDS CLUBなどの各種事業を通じて、市民の国際意識の高揚を図りました。

市民相談については、電話及び窓口で対応し相談内容を的確に把握するとともに、問題の早期解決に向け担当課及び関係機関に適切につなげるように努めました。

（款） 2 総務費

（項） 1 総務管理費

（目） 1 一般管理費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
241	102						102

事業区分

1 総務給与等管理費	102 千円	事項別明細書	P 54 ~
一般管理経費（市民課）	予算現額	241 千円	
	決算額	102 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	331 千円
職員（2人）の時間外勤務手当を支出し、市民課業務の円滑な遂行に努めました。			
○主な経費 時間外勤務手当 102千円			

事業区分

3 国際交流事業

0 千円 事項別明細書 P 54 ~

国際交流事業	予算現額	0 千円
	決算額	0 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 2,130 千円

鳥羽市国際交流協会が実施する国際交流事業に対して補助金を交付していますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、姉妹都市サンタバーバラ市との中学生派遣招致事業や、サンタバーバラ市親善使節団招致事業を中止したことに伴い、令和2年度は補助金を交付しませんでした。しかし、原爆犠牲者の慰霊や世界平和を祈願するイベントをオンラインで同時開催したほか、クリスマスミーティングを行うなどして交流を深めました。

普及啓発事業としては、ボランティア協力のもと、外国人を対象とした日本語教室と国際人育成を目指すKOKUSAI KIDS CLUB活動を行いました。

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 6 企画費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
254	230	115					115

事業区分

2 地域連携事業

230 千円 事項別明細書 P 60 ~

地域のためにがんばる団体応援事業		予算現額	254 千円
		決算額	230 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-1【協働】みんなの心と力をあわせたまちづくりを進めよう	(前年度決算額)	1,049 千円

身近な地域の課題解決や地域に元気を作りだそうという思いを強く抱いている住民や団体等の活動に対して経費の一部を補助し、自主的・主体的な取組を応援して市民参画を推進しました。

○主な経費 補助金 200千円 審査委員報償費 24 千円

事業名	補助額	団体名
TCFバスケットボール「夢」アカデミー	100 千円	鳥羽市バスケットボール協会
打上花火で笑顔の花を咲かせよう	100 千円	打上花火で笑顔の花を咲かせようの会

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 7 連絡所費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
30,938	30,297	197				67	30,033

事業区分 1 連絡所運営管理経費 30,297 千円 事項別明細書 P 62 ~

連絡所業務	予算現額	30,938 千円
	決算額	30,297 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-1【協働】みんなの心と力をあわせたまちづくりを進めよう	(前年度決算額) 43,196 千円

本庁舎から遠い地域に住む市民等への行政サービスが低下することのないよう、市内8か所の連絡所に会計年度任用職員10人を配置し、地域住民や高齢者等の身近な窓口としての役割を担うとともに、効率的かつ親切・丁寧な業務遂行に努めました。

連絡所では、戸籍や税証明の発行及び市税等の納付などの恒常的な日々の業務のほか、年々複雑・多様化している各課からの依頼業務にスムーズに対応するため、業務区分書を活用し、本庁窓口や各連絡所においてサービスの質に違いが生じないように努めました。

また、坂手連絡所の外壁・排水修繕や加茂連絡所の引違い戸修繕などを行い、連絡所の適正な施設管理に努めました。

○ 他課からの依頼業務件数 40件

○ 8連絡所での市税等の納付及び戸籍等手数料の取扱いについては、下記のとおりです。

項 目	取扱		うち連絡所取扱		連絡所取扱率 (%)
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	
市税 (市県民税、固定資産税、入湯税、軽自動車税、国民健康保険税)	(口座振替等) 窓口納付 (合計)	1,959,318,759 1,356,432,235 3,315,750,994	5,176	92,189,381	2.78%
税諸証明	8,043	893,700	527	116,200	13.00%
戸籍謄本等及び諸証明 (戸籍謄本等、住民票謄本等、印鑑登録・証明、その他諸証明)	20,933	6,957,450	5,002	1,450,750	20.85%
保険料 ・ 後期高齢者医療保険料 ・ 介護保険料	4,878 4,207	54,241,534 33,499,040	418 580	2,482,102 4,854,710	4.58% 14.49%
定期船回数券等	—	—	3,351	15,477,050	—
その他使用料等 (住宅、土地、水道、火葬場、下水道等)	—	—	1,567	13,480,246	—
計			16,621	130,050,439	

○主な経費

人件費(会計年度任用職員10人) 27,928千円 光熱水費 616千円

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 9 交通安全対策費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,311	1,239						1,239

事業
区分

1交通安全普及事業

1,239千円 事項別明細書 P 64 ~

交通安全対策普及事業		予算現額	1,311千円
		決算額	1,239千円
		翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	1,353千円

交通事故防止と交通安全意識の高揚に努めるため、市内小・中学校及び幼稚園の交通安全保護者会連合会へ活動補助金を交付したほか、四季の交通安全運動期間中の街頭指導の実施や高齢者を対象とした交通安全教室を開催するなど、各種啓発活動を展開しました。

そのほか、通学路の交通安全確保に向けた通学路合同点検を実施し、危険箇所については、警察からアドバイスを受けるなど、児童・生徒の安全な通学途上の確保に努めました。

【主な啓発活動】

・ 高齢者交通安全教室の開催

・ 小・中学生交通安全ポスター募集・展示

・ 全国交通安全運動期間中の登校指導

・ 交通安全保護者会連合会 愛のフラッグ事業

3地区老人クラブ、延べ103人

225点(小学生:149点 中学生:76点)
展示期間:12月3日(木)～12月16日(水)

年5回、延べ37人

11校・1園参加

○主な経費

会費等負担金

補助金

鳥羽地区交通安全協会

鳥羽市交通安全保護者会事業

410千円

166千円

・ 市内における交通事故発生件数 ()は前年数比

年	総件数	物損事故件数	死者数	負傷者数	人身事故件数
R2	409 (-35)	388 (-32)	3 (+3)	32 重傷8 (+4) 軽傷24 (-9)	21 (-3)

※6月29日付け暫定値

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 12 神島開発総合センター費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
2,300	2,266					1,064	1,202

事業区分

1 神島開発総合センター運営管理経費

2,266 千円 事項別明細書 P 66 ~

神島開発総合センター運営経費		予算現額	2,300 千円
		決算額	2,266 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	2,833 千円

神島町民の生活改善や、保健・福祉の増進、伝統文化の保存保護、離島活性化に寄与する施設としての利活用が推進されるよう、運営委員会を開催し、地元代表者と協議を行いました。

また、消防用設備改修や浄化槽放流ポンプ交換を行い、施設の適正な管理運営に努めました。

○主な経費

委員報酬（神島開発総合センター運営委員会委員） 24 千円

光熱水費 1,129 千円 修繕料 191 千円

浄化槽・消防用設備点検業務委託料 685 千円

【神島開発総合センターの使用状況】

	集会室	娯楽室	調理室	研修室	会議室（1）	会議室（2）	合計
有料	5件	25件	0件	5件	1件	0件	36件
	247人	396人	0人	49人	20人	0人	712人
無料	15件	84件	0件	7件	0件	0件	106件
	654人	1,353人	0人	315人	0人	0人	2,322人
合計	20件	109件	0件	12件	1件	0件	142件
	901人	1,749人	0人	364人	20人	0人	3,034人

（款） 2 総務費

（項） 1 総務管理費

（目） 14 地域振興費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
6,100	6,100					6,100	0

事業区分

2 地域振興事業		6,100 千円 事項別明細書 P 68 ~	
一般コミュニティ事業		予算現額	6,100 千円
		決算額	6,100 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-1【協働】みんなの心と力をあわせたまちづくりを進めよう	(前年度決算額)	4,000 千円
一般財団法人 自治総合センターが行う助成事業の採択を受けた町内会が、コミュニティ活動に直接必要な備品等の整備を行い、地域社会の発展と住民福祉の向上に寄与しました。			
○主な経費	一般コミュニティ助成事業補助金（池上町内会）	2,500 千円	
	一般コミュニティ助成事業補助金（菅島町内会）	2,300 千円	
	一般コミュニティ助成事業補助金（大明東町町内会）	1,300 千円	
○主な財源	コミュニティ事業助成金（一般財団法人 自治総合センター）	6,100 千円	

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 17 コミュニティセンター費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,564	1,513						1,513

事業区分

1 コミュニティセンター運営管理経費		1,513 千円		事項別明細書 P 72 ~	
コミュニティセンター運営管理経費			予算現額	1,564 千円	
			決算額	1,513 千円	
			翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	5-1【協働】みんなの心と力をあわせたまちづくりを進めよう			(前年度決算額)	1,438 千円
コミュニティの活動拠点として建設された5地区のコミュニティセンターについて、指定管理者である地元町内会（自治会）が、地域の活力を積極的に活用した施設の運営管理を行い、住民相互の交流促進と自治意識の高揚及び文化の振興を図りました。					
○主な経費 委託料					
桃取コミュニティセンター指定管理業務		647 千円	貸室年間使用件数	241 件	
畔蛸コミュニティセンター指定管理業務		199 千円	貸室年間使用件数	52 件	
船津コミュニティセンター指定管理業務		142 千円	貸室年間使用件数	33 件	
答志コミュニティセンター指定管理業務		228 千円	貸室年間使用件数	64 件	
答志和具コミュニティセンター指定管理業務		147 千円	貸室年間使用件数	28 件	

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 18 諸費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,012	978	15				34	929

事業区分

1 自治会運営経費		725 千円 事項別明細書 P 72 ~	
鳥羽市自治会連合会補助事業		予算現額	754 千円
		決算額	725 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-1【協働】みんなの心と力をあわせたまちづくりを進めよう	(前年度決算額)	609 千円
(1) 自治会連合会活動費補助金 400 千円 地域住民が安全で安心して暮らしていけるよう46町内会・自治会が相互に連携して関連する課題解決に向け、市行政並びに関係機関と連携して各種事業を実施しました。 また、「地域共生社会」の実現に向け、行政と地域の今後について協議を行いました。 ※ 総会、会長会議及び各部会会議など (19回)			

鳥羽市自治会連合会補助事業	
※ 視察研修及び要望活動等（４回）	
・安全部会防災リーダー研修	参加者 71人
・やまだエコセンターでの研修	〃 20人
・リサイクルパークでの研修	〃 23人
・三重県への要望事項に係る意見交換会	書面開催
・広報誌「自治会とば」発行、他	
（２）掲示板設置事業費補助金（１地区） 33 千円 （１基 33千円補助）	
１町内会・自治会（小浜）の掲示板設置事業に対して補助を行いました。	
（３）放送施設整備事業費補助金（３地区） 292 千円 （1/3補助 上限200千円）	
３町内会（池上、若杉、岩倉）の町内放送施設整備事業に対して補助を行いました。	

事業区分	3 自衛官募集事業	15 千円	事項別明細書	P 72 ~
	自衛官募集事務事業	予算現額	16 千円	
		決算額	15 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	5-1【協働】みんなの心と力をあわせたまちづくりを進めよう	(前年度決算額)	12 千円
自衛隊法第97条第１項及び自衛隊法施行令第114条から第120条までの規定による法定受託事務として、広報紙へ自衛官募集記事を掲載したほか、募集案内送付など募集に関する事務を円滑に行いました。 ○主な財源 国庫支出金(自衛官募集事務委託金) 15千円				

事業区分	4 臨時運行許可経費	2 千円	事項別明細書	P 72 ~
	臨時運行許可業務	予算現額	5 千円	
		決算額	2 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	9 千円
道路運送車両法第34条第２項の規定に基づき、臨時運行許可に係る業務を円滑に行いました。 ・臨時運行許可件数 45件 自動車臨時運行許可証発行手数料 33,750円(@750円×45件)				

事業区分	5 過年度国庫支出金等返還金	236 千円	事項別明細書	P 72 ~
	過年度国庫支出金等返還金	予算現額	237 千円	
		決算額	236 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	0 千円
令和元年度年金生活者支援給付金支給業務市町村事務取扱交付金の確定に伴い、精算額を返還しました。 ○主な経費 過誤納償還金 236千円				

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 19 特別定額給付金給付事業費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,838,149	1,838,142	1,838,137				5	0

事業区分	1 特別定額給付金給付事業	1,838,142 千円	事項別明細書 P 72 ~
	特別定額給付金給付事業	予算現額	1,838,149 千円
		決算額	1,838,142 千円
		翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 0 千円
新型コロナウイルス緊急経済対策として、家計への支援を行うため、一人につき10万円の特別定額給付金を支給しました。 【給付状況】 対象者 8,441世帯、18,272人 申請者 8,411世帯 (99.64%)、18,240人 (99.82%) 【申請内訳】 郵送、窓口申請分 8,265世帯 17,906人 オンライン申請分 146世帯 334人 【給付内訳】 口座振込分 8,386世帯 18,215人 現金給付分 25世帯 25人 ○主な経費 電算委託料 システム開発及び関連業務委託 4,410 千円 交付金 特別定額給付金 1,824,000 千円 ○主な財源 国庫補助金 特別定額給付金給付事業費補助金 1,824,000 千円 国庫補助金 特別定額給付金給付事務費補助金 14,137 千円			

(款) 2 総務費

(項) 3 戸籍住民登録費

(目) 1 戸籍費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
39,493	38,761	6,875	23			6,972	24,891

事業区分	1 戸籍事務経費	38,761 千円	事項別明細書 P 76 ~
	戸籍事務	予算現額	39,493 千円
		決算額	38,761 千円
		翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	5-1【協働】みんなの心と力をあわせたまちづくりを進めよう	(前年度決算額) 33,838 千円

戸籍事務

人件費を含む事務的な経費を執行し、戸籍法に基づいた戸籍の適正な管理を行い、各種届出や証明発行など迅速かつ正確な市民サービスに努めました。また、戸籍事務にマイナンバー制度を導入するため、情報連携システムへの対応に係るシステム改修を行いました。

○主な経費

職員人件費（４人）		19,044千円
電算委託料	戸籍総合システム保守業務	2,993千円
	戸籍法改正に伴う戸籍総合システム改修	2,134千円
	戸籍総合システム附票ネットワークシステム構築作業	4,743千円
会費等負担金	戸籍住民基本台帳事務協議会負担金	6千円

○主な財源

国庫支出金	社会保障・税番号制度システム整備費補助金	6,875千円
県支出金	保健福祉関係統計調査費交付金	23千円

【戸籍数】

前年度と比較して、本籍数は167戸籍、本籍人口は515人減少しました。

本籍数 11,887戸籍 本籍人口 27,792人

【戸籍手数料】

前年度と比較して、有料の取扱い件数は367件、手数料は155,650円減少しました。

有料 6,908件 4,139,550円 公用 3,984件 無料 62件

【戸籍事件取扱件数】

種 類	出 生	養子縁組	養子離縁	婚 姻	離 婚	死 亡	転 籍	その他	計
R1年度	194	23	10	307	54	401	113	135	1,237
R2年度	174	23	9	229	51	395	99	72	1,052

（款） 2 総務費

（項） 3 戸籍住民登録費

（目） 2 住民基本台帳費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
14,765	11,497	2,432	8,410				655

事業
区分

1 住民基本台帳事務経費

11,497 千円 事項別明細書 P 78 ~

住民基本台帳事務	予算現額	14,765 千円
	決算額	11,497 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-1【協働】みんなの心と力をあわせたまちづくりを進めよう	(前年度決算額) 4,089 千円
住民基本台帳・住民基本台帳ネットワークシステム・公的個人認証システムを適正に管理するとともに、申請補助等によりマイナンバーカードの普及促進に努めました。また、マイナンバーカード・公的個人認証を国外転出後も利用可能とするため、戸籍附票への連携に係るシステム改修を行いました。		

住民基本台帳事務

○主な経費

電算委託料	住民基本台帳システム附票ネットワークシステム構築作業	2,116千円
負担金及び補助金	通知カード・個人番号カード関連事務委任交付金	7,986千円

○主な財源

国庫支出金	社会保障・税番号制度システム整備費補助金	2,115千円
	中長期在留者住居地届出等事務委託金	317千円
県支出金	個人番号カード交付事業費補助金	7,968千円
	個人番号カード交付事務費補助金	442千円

【住民基本台帳人口】

前年度と比較して、人口は421人、世帯数は59世帯減少しました。

人口 17,850人 世帯数 8,373世帯

【住民基本台帳の動態】

R2.3.31 住民基本 台帳人口	増 加				計	減 少				計	R3.3.31 住民基本 台帳人口
	県内より	県外より	出生	その他		県内へ	県外へ	死亡	その他		
18,271	186	401	65	32	684	354	437	286	28	1,105	17,850

【住民基本台帳事務等手数料】

前年度と比較して有料の取扱いについては76件、手数料は2,000円増加しました。

	有 料		公 用	無 料
住基事務	8,078 件	1,628,500 円	1,986 件	32 件
印鑑証明	5,701 件	1,140,200 円	23 件	0 件
その他証明	246 件	49,200 円	58 件	1 件
計	14,025 件	2,817,900 円	2,067 件	33 件

【個人番号カード交付数】

2,238枚 前年度と比較して1,850枚増加しました。

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(目) 1 社会福祉総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
595,744	585,030	26,566	140,095				418,369

事業
区分

4 福祉医療費助成事業

5,510 千円 事項別明細書 P 88 ~

福祉医療費助成事業	予算現額	5,973 千円
	決算額	5,510 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額) 5,412 千円

福祉医療費助成事業を行うための事務的な経費を執行し、適正に医療費の助成を行いました。

また、未就学児を対象とした福祉医療費助成の現物給付を三重県下で実施し、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、受診環境の向上に努めました。

○主な経費 職員人件費（1人）：4,380千円、委託料：1,082千円

事業区分 10 国民健康保険事業特別会計繰出金		230,178 千円 事項別明細書 P 90 ~	
国民健康保険事業特別会計繰出金		予算現額	239,446 千円
		決算額	230,178 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	217,245 千円
国民健康保険事業特別会計の基礎的な経費及び財政基盤の安定を図るため、その実態に即した繰出しを行い、特別会計の適切な運営を図りました。 主な財源である国庫支出金・県支出金（国民健康保険基盤安定制度負担金）の増額や財政安定化支援事業の増額、また、保健事業分の法定外繰出により繰出金が増額となりました。 ○主な財源 国庫支出金（国民健康保険基盤安定制度負担金）： 26,566千円 県支出金（国民健康保険基盤安定制度負担金）： 86,774千円			

事業区分 12 後期高齢者医療特別会計繰出金		349,342 千円 事項別明細書 P 90 ~	
後期高齢者医療特別会計繰出金		予算現額	350,325 千円
		決算額	349,342 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	314,737 千円
後期高齢者医療特別会計の基礎的な経費及び財政基盤の安定を図るため、その実態に即した繰出しを行い、特別会計の適切な運営を図りました。 ○主な財源 県支出金（後期高齢者医療保険基盤安定制度負担金）： 53,321千円			

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(目) 2 国民年金費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
12,537	12,136	7,790				13	4,333

事業区分 1 国民年金給与等管理費		12,136 千円 事項別明細書 P 92 ~	
国民年金事務		予算現額	12,537 千円
		決算額	12,136 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	13,889 千円
国民年金法による法定受託事務（各種申請、管理業務等）を適切に行うとともに、保険料免除制度や新型コロナウイルス感染症の影響による保険料免除の臨時特例手続き等について、広報とばやホームページを活用して、市民への周知に努めました。			

国民年金事務

○主な経費

職員人件費（正規職員、会計年度任用職員含む）：11,999千円

○主な財源

国庫支出金（国民年金事務費交付金）：7,485千円

〃（年金生活者支援給付金支給業務市町村取扱交付金）：305千円

被保険者の異動状況（単位：人）

被保険者数		被保険者 増減数	令和2年度中の被保険者異動件数							
			取得		転入		転出		喪失	
R2.3月末	R3.3月末		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3,328	3,108	△ 220	676	21.8%	107	3.4%	136	4.4%	867	27.9%

（出典：国民年金事業状況表（適用））

国民年金保険料免除状況（免除該当・承認者数）（1号：2,428人）（単位：人）

法定免除		申免(全)		申免(3/4)		申免(半)		申免(1/4)		学生特例		納付猶予		合 計	
人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率
209	8.6%	424	17.5%	27	1.1%	15	0.6%	8	0.3%	157	6.5%	78	3.2%	918	37.8%

（出典：国民年金事業状況統計表（保険料））

（款） 3 民生費

（項） 1 社会福祉費

（目） 5 障害者福祉費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
66,666	63,639		29,460		4,250		29,929

事業
区分

2 障害者医療費支給事業

63,639 千円 事項別明細書 P 96 ~

障害者医療費公費負担事業		予算現額	66,666 千円
		決算額	63,639 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	64,416 千円

障がい者の保健の向上に寄与し、疾病の早期発見と治療の確保を図るため、医療機関等の受診時に支払った医療費を県及び市が補助することで対象者の経済的負担を軽減しました。

○主な経費

扶助費 63,189千円（R1：63,899千円）

○主な財源

県支出金（心身障害者医療費補助金） 29,460千円（R1：29,887千円）

ふるさと創生基金 4,250千円

障害者医療費公費負担事業

県補助事業（身体障がい者1～3級、IQ35以下、精神障がい者1級）（単位：円）

年度末 有資格者 (人)	医療費の助成		証明料の助成		補助率	県補助金 受入額
	件数	金額	件数	金額		
688	16,475	57,735,395	6,400	1,280,000	県1/2	29,460,327

市単独事業（IQ36～50、精神障がい者2級（H28.9月より））（単位：円）

年度末 有資格者 (人)	医療費の助成		証明料の助成	
	件数	金額	件数	金額
110	1,973	3,843,324	1,654	330,800

助成費の推移

（単位：円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
県補助事業	62,708,575	62,942,497	59,509,844	59,774,484	59,015,395
市単独事業	3,074,491	4,872,015	4,736,275	4,124,924	4,174,124
合計	65,783,066	67,814,512	64,246,119	63,899,408	63,189,519
伸び率	99.00%	103.09%	94.74%	99.46%	98.89%

（款） 3 民生費

（項） 1 社会福祉費

（目） 6 子ども医療助成費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
37,587	32,711		12,259	7,100			13,352

事業
区分

1 子ども医療費支給事業

32,711 千円 事項別明細書 P 96 ~

子ども医療費公費負担事業		予算現額	37,587 千円
		決算額	32,711 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	40,174 千円

子ども（義務教育修了まで）の疾病の早期発見と治療の確保を図り、保健の向上及び福祉の増進に寄与するため、県及び市が子どもの医療費を補助することで保護者の経済的負担を軽減しました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、助成件数・金額とも大幅に減少しました。

○主な経費

扶助費 32,095千円（R1:39,472千円）

○主な財源

県支出金（子ども医療費補助金） 12,259千円（R1：15,214千円）

地方債（過疎地域自立促進特別事業債） 7,100千円（R1：8,000千円）

子ども医療費公費負担事業

県補助事業（0歳～12歳年度末までの子どもの医療費）（単位：円）

年度末 有資格者 (人)	医療費の助成		証明料の助成		補助率	県補助金 受入額
	件数	金額	件数	金額		
1,172	12,636	23,450,798	5,339	1,067,800	県1/2	12,258,535

市単独事業（13歳～15歳年度末までの子どもの医療費）（単位：円）

年度末 有資格者 (人)	医療費の助成		証明料の助成	
	件数	金額	件数	金額
427	2,892	7,021,876	2,773	554,600

助成費の推移

（単位：円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
県補助事業	37,658,356	34,584,180	32,981,981	30,428,007	24,518,598
市単独事業	8,726,562	8,566,125	8,491,481	9,044,076	7,576,476
合計	46,384,918	43,150,305	41,473,462	39,472,083	32,095,074
伸び率	100.37%	93.03%	96.11%	95.17%	81.31%
備考	-	-	未就学児の現物給付 (H30.9～)	現物給付対象地域を 三重県に拡大 (R1.9～)	-

※H22年度（市単）所得制限撤廃、H25年度（県単）小学校終了まで拡大

（款） 3 民生費

（項） 2 児童福祉費

（目） 4 母子福祉費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
9,990	8,788		4,327				4,461

事業
区分

2 一人親家庭等医療費支給事業

8,788 千円 事項別明細書 P 104 ~

一人親家庭等医療費助成事業		予算現額	9,990 千円
		決算額	8,788 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	9,940 千円

一人親家庭や父母のいない児童を養育している家庭などの保健の向上に寄与するとともに福祉の増進を図るため、医療機関に支払った医療費を県及び市が補助することで対象者の経済的負担を軽減しました。

○主な経費

扶助費 8,653千円 (R1 : 9,787千円)

○主な財源

県支出金（一人親家庭等医療費補助金） 4,327千円 (R1 : 4,894千円)

一人親家庭等医療費助成事業

県補助事業（18歳年度末までの子どもを扶養している一人親家庭等の医療費）（単位：円）

年度末 有資格者 (人)	医療費の助成		証明料の助成		補助率	県補助金 受入額
	件数	金額	件数	金額		
371	3,375	8,059,720	2,967	593,400	県1/2	4,326,560

助成費の推移

（単位：円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
県補助事業	11,806,292	9,102,403	9,700,479	9,787,026	8,653,120
伸び率	97.40%	77.10%	106.57%	100.89%	88.41%
備考	-	-	未就学児の現物給付 (H30.9～)	現物給付対象地域を 三重県に拡大 (R1.9～)	-

（款） 3 民生費

（項） 5 人権生活費

（目） 1 人権生活総務費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
27,182	26,714					14	26,700

事業区分 1 人権生活給与等管理費 26,659 千円 事項別明細書 P 108 ~

人権生活一般管理業務	予算現額	27,127 千円
	決算額	26,659 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 26,993 千円

人権・市民交流係職員4人の人件費及び管理経費を執行し、担当業務の円滑な運営に努めました。

○主な経費 職員人件費 26,591千円

事業区分 2 人権施策推進事業 55 千円 事項別明細書 P 110 ~

人権施策推進事業	予算現額	55 千円
	決算額	55 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 55 千円

関係団体へ会費等負担金を支出し、相互の連絡調整や情報収集・共有を図り、人権施策の推進に努めました。

○主な経費

会費等負担金	公益財団法人反差別・人権研究所みえ年会費	30千円
〃	三重県人権・同和行政連絡協議会分担金	15千円
〃	部落解放・人権政策確立要求三重県実行委員会年会費	10千円

(款) 3 民生費

(項) 5 人権生活費

(目) 2 人権啓発費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,394	1,289		768				521

事業区分

1 人権啓発事業

1,289 千円 事項別明細書 P 110 ~

人権問題啓発事業		予算現額	1,394 千円
		決算額	1,289 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	1,391 千円

市内小中学生から募集した人権ポスターの展示を行い、市民の人権意識高揚に努めました。

人権講演会と街頭啓発については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しましたが、新型コロナウイルス感染症に関する差別防止のため、「STOP! コロナ差別」マグネットシートを作成し、市かもめバスや公用車に貼り走行することで差別防止啓発活動を行いました。

若竹集会所については相談員を配置し、施設の適正な管理運営を行ったほか、人口減・高齢化が進む周辺住民と行政とのつなぎ役としての役割を務めました。

～啓発活動の詳細～

(1) 市内小・中学生人権作品募集・展示

 応募総数196点(小学生130点、中学生66点)

 展示期間 11月18日(水)～12月1日(火)

(2) 広報活動

 広報とばコラム「人権文化の花を咲かせよう」執筆・掲載(掲載回数:6回)

(3) その他 「差別をなくす強調月間」図書館特設展示(11月27日(金)～12月13日(日))

○主な経費

報酬	広域隣保活動相談員	586千円
委託料	マグネットシート作成委託	154千円

○主な財源

県支出金	人権啓発活動推進事業委託金	217千円
〃	広域隣保活動事業補助金	551千円

(款) 3 民生費

(項) 5 人権生活費

(目) 3 生活女性費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
293	224						224

健 康 福 祉 課

【総括】

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響は長期化してきており、それに伴う感染予防、生活支援、アフターフォロー、広報・啓発活動等、幅広い感染症対策を実施しながらも、福祉行政を担う部署として重要な業務を並行して展開してまいりました。

新型コロナ対策における主な事業としては、新たなものとして、感染された方への見舞金や臨時生活支援金を給付するなど、直接的な支援を実施しました。また、個人だけではなく事業所を有する方への市感染対策ガイドラインの作成・配布や感染予防対策実施ステッカー等による感染予防の啓発・広報活動を行うとともに、応援金を交付する事業や、店舗等の従業員の方などに新型コロナウイルスの感染が確認された際に実施した消毒作業にかかった費用に対し、補助する事業を行いました。

この他、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ有効な手段として、全市民へのワクチン接種を円滑に進めるため、健康係内に新型コロナワクチン接種対策チームを設置し、現在も全庁を挙げて事業を進めています。

地域共生社会の実現に向けた取組については、多様化する地域課題の解決に向けた体制整備について継続的に取り組んできた他、制度の狭間にあるかたの新たな支援策として、無理なく社会参加を図っていくことを目的に、「参加支援事業」「ひきこもりサポート事業」を新たに立ち上げ、市内受入事業所の拡大はもとより、当該事業所に対し地域共生社会の実現に向けた啓発にも取り組みました。

また、新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、生活困窮に関する相談の増加が見られていることから、相談支援を行う市社会福祉協議会との連携を更に強化しながら、生活困窮からの自立に向けた支援を強化してまいりました。

子育て分野では、コロナ禍のなか保育所等の施設で感染対策を実施するとともに、経済的な負担が見込まれる子育て世帯に対して、子育て特別応援券や臨時特別給付金を支給しました。また、ファミリーサポートセンター事業では事務を民間に委託することができました。この他、児童数の減少により、かがみうら保育所を休所することになりました。

高齢者分野では、買い物弱者支援の一環として、鳥羽市内の商店のない地域を対象に市内19か所で移動販売を実施しました。

当初は、夏頃から本格運用予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、9月からリース車両で開始し、令和3年1月から、購入した車両で本格運用しました。

配食サービスでは、委託業者が新型コロナウイルス感染症の影響を受け、委託事業の継続が困難になったため、委託業者が決定するまでの間、職員がお弁当を利用者へ届ける等の対応を行いました。

障がい分野では、聴覚障害者等の社会生活におけるコミュニケーションの円滑化を推進することを目的として手話奉仕員の養成講座（基礎課程）を実施しました。また、障がい福祉サービス等の充実を計画的に進めるため、障がい者福祉計画・障がい福祉計画（第6期）・障がい児福祉計画（第2期）を策定しました。

今後も、新型コロナウイルス感染症の状況や多様化する地域課題を把握しながら、市民の健康増進や地域福祉の推進に向けた取組を進めてまいります。

【新たに実施した事業】

地域共生社会推進事業として、「参加支援事業」「ひきこもりサポート事業」を実施し、制度の狭間にあるかたを支援するための体制整備に着手しました。

産前、産後でお母さんやお子さんの世話をしてくれる方がいない、子育てに不慣れで不安を持って

いるなど、様々な事情で子育ての負担の大きい家庭を訪問して適切な養育が可能となるよう、職員による訪問・相談を実施（申込件数2件・利用回数33回）しました。

福祉運送事業として、「答志島高齢者移動手段確保事業」を実施しました。

答志町の民間医療機関が令和2年3月に閉院したことを受け、移動手段を持たない答志地区の住民に対し、桃取診療所までの移動手段の確保を行いました。

母子保健事業については、妊娠期から歯と口の健康意識を高め、早産及び低出生体重児出生のリスクである歯周病を早期発見・早期治療につなげるため、市内委託歯科医院で令和2年10月より妊婦歯科健康診査を開始しました。

予防接種事業については、令和2年10月より定期接種となったロタウイルスワクチン接種に関して、定期接種対象外である令和2年4月2日～7月31日生まれの乳児を対象に接種に係る費用の一部助成を行いました。また、妊娠初期の妊婦の風疹の罹患を予防し、出生児の先天性風しん症候群の発生を防ぐため、妊娠を希望する女性とその家族に対し、風しんワクチン接種費用の一部助成を行いました。

【予算執行を伴わない事業】

地域自立支援協議会しごと部会において、障がい福祉事業所の紹介や取り組み、障がい福祉サービスの利用の流れ等を分かりやすく記載したパンフレットを作成しました。

ICTを活用して複数の離島が連携し効率的な診療体制を構築するため、令和2年度 国土交通省スマートアイランド推進実証調査に応募し、国の調査事業として離島4島及び本土側1診療所2分室の計7診療所にクラウド型電子カルテと遠隔診療支援システムを導入しグループ診療が行える環境を整え、調査を行いました。主な実証結果として、天候悪化時などに医師が離島に不在であっても、医師がタブレット端末を携帯し遠隔診療支援システムを利用することで通常に近い診療の提供が可能であることが示されました。また、紙カルテ時と比較すると業務量の減少が見られ、日常診療に少しの余裕ができることで患者のケアに充てる時間を多く持てるようになり、少ない医療従事者で運営しているへき地診療所においては非常に大きなメリットとなりました。

（款） 2 総務費

（項） 1 総務管理費

（目） 5 財産管理費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
600	600					600	0

事業 区分	3 基金積立金		600 千円 事項別明細書 P 60 ~	
	積立金（基金）		予算現額	600 千円
			決算額	600 千円
			翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	100 千円
福祉事業として、寄付金1件を福祉基金へ、新型コロナウイルスワクチン接種事業として、寄付金1件をふるさと創生基金へ積み立てました。				
○主な経費				
積立金				600千円

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 14 地域振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,992	1,992						1,992

事業 区分	4 集落支援員事業		1,992 千円	事項別明細書 P 70 ~	
	集落支援員事業（神島地区）			予算現額	1,992 千円
				決算額	1,992 千円
				翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	2,002 千円	
神島地区の活性化を図るため、集落支援員を1人配置し、グループハウスを拠点に高齢者の見守りを行いました。 また、集落支援員を中心に地域の協力者とともに高齢者の買い物代行支援を行いました。 ○主な経費 報償費 神島集落支援員報償 1,992 千円					

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 18 諸費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
39,022	39,022						39,022

事業 区分	5 過年度国庫支出金等返還金		39,022 千円	事項別明細書 P 72 ~	
	過年度国庫支出金等返還金			予算現額	39,022 千円
				決算額	39,022 千円
				翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	27,799 千円	
令和元年度決算等の実績に基づき、国・県負担金及び補助金超過額等を返還しました。 ○主な返還金 - 生活保護費負担金【国・負】 21,929千円 - 障害者自立支援給付費負担金【国・負】 1,962千円 - 障害児入所給付費等負担金【国・負】 95千円 - 障害者医療費国庫負担金【国・負】 2,012千円 - 未熟児養育医療費国庫負担金【国・負】 230千円 - 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金【国・補】 3,200千円 - 母子家庭等対策総合支援事業費補助金【国・補】 1,270千円 - 児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金【国・補】 97千円 - 子ども・子育て支援交付金【国・補】 1,790千円					

過年度国庫支出金等返還金	
・ 障害者自立支援給付費等負担金【県・負】	1,987千円
・ 障害児通所給付費等負担金【県・負】	47千円
・ 養育医療給付事業負担金【県・負】	115千円
・ 特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業費補助金【県・補】	386千円
・ 過年度特別保育料償還金	15千円

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(目) 1 社会福祉総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
568,235	559,644	47,920	8,275		15,425	2,373	485,651

事業
区分

1 社会福祉給与等管理費		39,962 千円	事項別明細書	P 86 ~
社会福祉一般職員給与費		予算現額	25,558 千円	
		決算額	25,541 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	4-2【福祉】 みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	25,287 千円	
高齢・障がい業務の人件費として、職員4人分を支出し、業務の推進に努めました。				
○主な経費				
職員人件費4人分		25,541千円		
社会福祉総務一般管理経費		予算現額	14,485 千円	
		決算額	14,265 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	4-2【福祉】 みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	9,112 千円	
会計年度任用職員4人を雇用し、社会福祉事務の円滑な推進を図りました。				
○主な経費				
会計年度任用職員人件費4人分		13,390千円		
○主な財源				
国庫委託金 特別児童扶養手当事務取扱交付金		46千円		
戦没者遺族等援護事業		予算現額	482 千円	
		決算額	156 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	4-2【福祉】 みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	721 千円	
市遺族会が実施する鳥羽市戦没者追悼式開催に係る補助支援を行いました。コロナ禍の中、例年より規模を縮小しての開催となりましたが、遺族会役員11人、来賓5人が参列し、改めて平和の重みを確認することにつなげました。				
○主な経費				
補助金 戦没者追悼式開催事業補助金		156千円		

社会福祉協議会補助事業（運営費）		予算現額	12,521 千円
		決算額	9,165 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	9,861 千円
地域に根差した福祉のまちづくりを推進するため、その中心的な役割を担う市社会福祉協議会の法人運営に対して補助支援を行うことで、社会福祉活動の充実に努めました。 ○主な経費 補助金 鳥羽市社会福祉協議会事業補助金 9,165千円			
社会福祉協議会補助事業（社会福祉推進）		予算現額	1,532 千円
		決算額	1,532 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	1,616 千円
市民生委員・児童委員協議会や市老人クラブ連合会等に対して補助支援を行うことで、地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らしていくための活動促進につなげました。 ○主な経費 補助金 鳥羽市社会福祉協議会事業補助金 1,532千円			
社会福祉協議会補助事業（ボランティア活動支援）		予算現額	679 千円
		決算額	507 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	712 千円
ボランティア活動を推進するため、市ボランティアセンターの運営に対する補助支援の他、福祉協力校として活動する市内小学校8校、中学校5校に対する助成を行い、将来を担う子どもたちへのボランティア活動の普及啓発につなげました。 ○主な経費 補助金 鳥羽市社会福祉協議会事業補助金 507千円			
社会福祉協議会補助事業（離島対策）		予算現額	4,400 千円
		決算額	4,400 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	4,070 千円
離島地区における介護保険や障害福祉サービス利用者が、本土の通所事業所等へ送迎する際の支援として介助員を配置し、船内や島内の通所時における安全確保につなげました。 ・延べ利用回数 1,649回 ・実利用者数 18人 ○主な経費 補助金 鳥羽市社会福祉協議会事業補助金 4,400千円			
社会福祉協議会補助事業（権利擁護）		予算現額	246 千円
		決算額	246 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	277 千円
認知症のある高齢者や知的及び精神障がい者等、判断能力が十分でないかたの権利を保護するため、日常的な金銭管理や各種福祉サービスの利用に係る援助につなげました。 ・延べ支援回数 449回 ・実利用者数 36人			

社会福祉協議会補助事業（権利擁護）		
○主な経費		
補助金	鳥羽市社会福祉協議会事業補助金	246千円

事業 区分	3 保健福祉センター管理事業		17,495 千円	事項別明細書 P 86 ~
	保健福祉センター管理運営事業	予算現額	18,271 千円	
		決算額	17,495 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	15,832 千円
	市民の健康保持や健康増進、地域福祉促進に向けた拠点としていくため、市保健福祉センターの適切な管理に努めました。 ○主な経費 修繕料 5,460千円 （玄関前舗装工事 495千円、温水設備修繕工事 979千円 他） 委託料 5,441千円 （日常清掃作業業務委託 993千円、エレベーター保守点検業務 634千円 他） ○主な財源 雑入（社会福祉協議会電気代他） 2,303千円			

事業 区分	5 地域福祉推進事業		9,456 千円	事項別明細書 P 88 ~
	地域福祉等推進特別支援事業（ふれあいいきいきサロン）	予算現額	1,900 千円	
		決算額	1,900 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	1,850 千円
	高齢者や子育て中のかたが、地域で気軽に触れ合うことのできる機会創出につなげるため、交流等の場づくりを目指したサロンを、地域の民生委員や自治会等と連携しながら運営しました。 当該年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、集まつの活動が困難であったため、レクリエーション等の手引書として活用できる冊子（＃イキイキ便）を3回発行し、希望するサロンに配布することで、サロン活動の後押しに努めました。 ・高齢者サロン設置箇所 30か所 ・子育てサロン設置箇所 2か所 ○主な経費 委託料 ふれあいのまちづくり事業委託（ふれあいいきいきサロン） 1,900千円 ○主な財源 国庫補助金 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 950千円 基金繰入金 福祉基金繰入金 800千円			
	地域福祉等推進特別支援事業（ほっとスマイル）	予算現額	500 千円	
		決算額	500 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	500 千円
	日常生活に支障のある高齢者や障がい者に対応するため、住民参加型在宅福祉サービス「ほっとスマイルサービス」を実施し、掃除や話し相手、通院介助等のサービス提供に努めました。 ・支援延べ件数 1,688件（外出支援456件、見守り30件、通院時付添158件、生活支援1,044件）			

地域福祉等推進特別支援事業（ほっとスマイル）			
○主な経費			
委託料	ふれあいのまちづくり事業委託（ほっとスマイル）		500千円
○主な財源			
国庫補助金	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金		250千円
地域福祉等推進特別支援事業（総合相談）		予算現額	600 千円
		決算額	600 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	600 千円
多様化する地域の困りごとに対応するため、民生児童委員や、弁護士、司法書士による総合相談窓口「ふれあい相談センター」を設置し、定期相談ができる場所を創出しました。 ・介護保険、福祉相談等（社会福祉協議会） ・心配ごと相談所（民生児童委員協議会） ・法律相談（弁護士） ・司法書士相談（司法書士） ・公証人相談（公証人役場） ※相談件数：73件（暮らし関係11件、家族関係6件、法律関係56件）			
○主な経費			
委託料	ふれあいのまちづくり事業委託（総合相談）		600千円
○主な財源			
国庫補助金	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金		300千円
地域支え合い体制づくり事業		予算現額	660 千円
		決算額	660 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	660 千円
災害時に避難支援等が必要な高齢者・障がい者等について作成した避難行動要支援者名簿を機能に加えた要援護者包括支援台帳管理システムを円滑に運用していくため保守を行いました。			
○主な経費			
電算委託料	要援護者包括支援台帳管理システム		367千円
○主な財源			
国庫補助金	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金		180千円
地域生活推進事業		予算現額	5,958 千円
		決算額	5,796 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	584 千円
市内の商店の無い地域を対象に、移動販売車を19か所で展開し、地域住民が必要とする商品を届けることで買物弱者支援を行いました。 ・委託業者 イオンリテール株式会社 ・稼働曜日 月曜日、火曜日、水曜日、金曜日			
○主な経費			
委託料	移動販売業務		1,113千円
備品購入費	移動販売車		4,376千円
○主な財源			
国庫補助金	地方創生臨時交付金		974千円
基金繰入金	ふるさと創生基金繰入金		2,295千円

福祉運送事業	予算現額	12,523 千円
	決算額	11,712 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額) 10,365 千円

○移送サービス送迎業務

おおむね65歳以上で、公共交通機関を利用して移動することが困難な高齢者及び身体障がい者を対象に、当該利用者の居宅及び指定場所と医療機関との間の送迎サービスを行いました。

延べ利用者数は855人で、前年度の799人より56人増加しました。

また、かもめバス停留所まで高低差がある美台（鳥羽一丁目）とひだまり間の福祉バス（週1往復）や、夏季に千賀・堅子地区における福祉バスを運行し、移送サービス車を使用して高齢者の外出支援を図りました。

・委託事業者 公益社団法人鳥羽市シルバー人材センター

・地区別利用者数（延べ）

鳥羽一丁目～五丁目	145人	鏡浦地区	21人
堅神、屋内、池上、小浜	311人	長岡地区	49人
安楽島、高丘、大明東町・西町	107人	離島地区	27人
加茂地区	195人	合 計	855人

・行先別利用者数（延べ）

鳥羽市内	422人	鳥羽市外（伊勢市・志摩市）	433人
------	------	---------------	------

○高齢者外出支援事業

かもめバスの停留所が離れているなど、高齢者の移動手段の確保が困難な地域において、福祉車両を用いた高齢者の外出支援を行いました。

4月から白木ルートに停留所を新たに設置しました。

対象者 白木町・松尾町川合・河内町・若杉町・みどりが丘に居住する65歳以上の高齢者又は肢体に障がいのある方

運行日 8月まで：月曜日～金曜日（祝日、年末を除く。）

9月から：火曜日・水曜日・金曜日（祝日、年末を除く。）

運行ルート ①白木～松尾～若杉～ひだまり②河内～若杉～みどりが丘～ひだまり 各2往復

利用者数 延べ3,988人（1日平均21人）

・委託事業者 株式会社共立メンテナンス

・ルート別利用者数（延べ）

①白木ルート	1,680人	②河内ルート	2,308人
--------	--------	--------	--------

○福祉バス運転業務

公共交通機関がない千賀、堅子地区においてスクールバスを利用した福祉バスを運行し、高齢者等の移動手段を確保し、外出支援を行いました。

運行日 月曜日～金曜日（祝日、年末年始、休校日を除く。）

運行ルート 堅子～千賀～畔蛸～弘道小学校

利用者数 延べ53人（1日平均0.2人）

・委託事業者 株式会社共立メンテナンス

福祉運送事業		
○寝屋子の島答志島高齢者等移動手段確保事業		
答志地区の住民に対し、桃取診療所までの通院等に係る移動手段の確保を行いました。		
運行日	月曜日～金曜日（土曜日、日曜日、祝日、年末年始を除く）	
運行ルート	答志コミュニティアリーナ～米由商店～ハマウ～桃取コミュニティセンター	
利用者数	延べ590人（1日平均3人）	
委託期間	令和2年7月1日～令和3年2月28日	
委託事業者	答志町内会	
○主な経費		
委託料	移送サービス送迎業務	3,308千円
	高齢者外出支援事業	3,000千円
	福祉バス運転業務	1,726千円
	寝屋子の島答志島高齢者等移動手段確保事業	1,031千円
○主な財源		
県補助金	高齢者等の移動手段の確保に向けた地域モデル事業	515千円
基金繰入金	ふるさと創生基金繰入金	11,197千円

事業区分

7 行旅等死亡人取扱業務事業		191 千円	事項別明細書	P 88 ~
行旅等死亡人取扱業務事業		予算現額	662 千円	
		決算額	191 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	0 千円	
病気や自殺が原因で死亡したと推定される身元不明のかた 1 人に対し、火葬等の措置を行いました。				
○主な経費				
委託料	行旅等死亡人取扱業務委託	108千円		
○主な財源				
県負担金	行旅死亡人取扱費用負担金	185千円		

事業区分	8 虐待等防止ネットワーク事業	5,907 千円	事項別明細書	P 88 ~
	虐待等防止ネットワーク事業	予算現額	5,731 千円	
		決算額	5,064 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	2,856 千円
	児童・高齢者・障がい者の虐待やDV等の未然防止のため、鳥羽市虐待防止ネットワーク協議会を組織し、関係機関との連携を図るとともに、市民啓発、市内巡回などを行いました。 デートDV（学生など若者の間で、交際相手から受ける暴力）の防止啓発活動を若年層を対象に行いました。			

虐待等防止ネットワーク事業

相談件数 40人 (R1 41人)

	乳幼児	小学生	中学生	高校生	計
件数	16	18	5	1	40

代表者会議 新型コロナウイルス感染予防のため中止

運営会議 7回開催

実務者会議 7回開催

ケース会議 4回開催

研修会

デートDV啓発講座

・鳥羽高校 参加人数 約40人

・鳥羽商船高等専門学校 参加人数 128人

○主な経費

会計年度任用職員報酬 3,438千円

備品購入費 90千円

○主な財源

国庫補助金 児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金 2,642千円

子ども・子育て支援交付金 142千円

県補助金 地域子ども・子育て支援事業費補助金 142千円

基金繰入金 ふるさと創生基金繰入金 1,133千円

女性相談員設置事業

予算現額 878千円

決算額 843千円

翌年度繰越額 0千円

まちづくりの目標 1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう

(前年度決算額) 806千円

女性相談員を配置し、相談者がひとりで悩みを抱えてしまわないよう、DV支援等に関する相談（電話、面接）や女性保護等に対応することで、不安の軽減を図るとともに、必要に応じて制度の案内や助言等を行うなどの支援を実施しました。

女性相談員 週2日設置（月・水曜日）

実相談件数 29人（相談件数 131件）

○主な経費

会計年度任用職員報酬 729千円

会費等負担金 三重県婦人相談員連絡協議会会費 5千円

○主な財源

国庫補助金 児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金 373千円

事業区分

9 生活困窮者自立支援事業

20,256千円 事項別明細書 P 90 ~

生活困窮者自立支援事業

予算現額 20,711千円

決算額 20,256千円

翌年度繰越額 0千円

まちづくりの目標 4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう

(前年度決算額) 13,975千円

生活困窮者自立支援事業			
生活困窮者自立支援法により、生活保護に至る前段階の自立支援を図るために「第2のセーフティーネット」として、包括的な支援体制を強化した他、自立相談支援、家計改善支援、就労準備支援、住居確保支援を継続して実施しました。その中でも、住居確保支援については、新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、給付金制度の基準が緩和されたことから、その給付件数が増加しました。この他、生活困窮世帯の子どもたちの学習を支援するため、学習支援「YELL」を定期的に実施しました。			
・新規相談受付件数	133件	・自立支援プラン作成件数	21件
・学習支援参加者数	21名	・住居確保給付金給付件数	10件
○主な経費			
委託料	鳥羽市生活困窮者自立支援事業		17,217千円
	鳥羽市子どもの学習支援事業		1,357千円
交付金	住居確保給付金		1,682千円
○主な財源			
国庫負担金	生活困窮者自立相談事業費等負担金		5,761千円
国庫補助金	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金		8,008千円

事業区分	11 介護保険事業特別会計繰出金	410,660 千円	事項別明細書 P 90 ~
介護保険事業特別会計繰出金		予算現額	410,660 千円
		決算額	410,660 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	402,886 千円
介護保険法に基づき、特別会計への繰出しを行い、介護保険事業の円滑な運営の推進に努めました。			
○介護保険事業特別会計繰出金			410,660千円
・介護給付費			312,596千円
・介護予防・日常生活支援事業費			3,755千円
・包括・任意事業			7,721千円
・職員給与費等			18,745千円
・事務費			38,111千円
・保険料負担軽減			29,732千円
○主な財源			
国庫負担金	介護保険料軽減負担金		14,866千円
県負担金	介護保険料軽減負担金		7,433千円

事業区分	13 地域共生社会推進事業	28,155 千円	事項別明細書 P 90 ~
地域共生社会推進事業		予算現額	29,278 千円
		決算額	28,155 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	20,557 千円
少子高齢、人口減少、地域のつながりの希薄化等を背景に「地域共生社会の実現」を目指すため、地域課題の解決に向けた体制構築につなげました。			

地域共生社会推進事業

・多機関協働体制整備の推進

多様化する地域課題や複雑で複合的な課題を抱える個人や世帯に対しては、単体組織だけで対応が困難な場合があることから、相談支援包括化推進員（生活支援係に1人配置）が参加機関を調整し、地域共生ケース会議を随時開催することで、その解決に努めました。

・地域力強化推進事業

地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し、解決につなげるための環境創出に向け、福祉懇談会の実施、地域カルテの作成、総合相談窓口の設置等を行いました。

・ひきこもりサポート／参加支援事業

ひきこもりのかたの社会参加に向けた相談支援、連携会議の開催の他、就労交流体験の受入事業所の開拓（37件）を行いました。

○主な経費

職員人件費（1人分）	6,206千円
会計年度任用職員人件費（1人分）	2,392千円
委託料 鳥羽市地域力推進事業	11,006千円
鳥羽市ひきこもりサポート事業	3,647千円
鳥羽市参加支援事業	3,417千円

○主な財源

国庫補助金 生活困窮者等就労準備支援事業費等補助金	12,504千円
---------------------------	----------

（款） 3 民生費

（項） 1 社会福祉費

（目） 3 身体障害者福祉費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
5,338	4,262				1,450		2,812

事業区分

1 身体障害者自立支援事業		2,347 千円 事項別明細書 P 92 ~	
身体障害者福祉一般事業		予算現額	997 千円
		決算額	850 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	756 千円
障がい者や高齢者が、気軽に外出できる環境を維持管理するため、中之郷公衆トイレの定期清掃や浄化槽の保守を行いました。			
○主な経費			
委託料		浄化槽保守点検業務	41千円
		公衆便所清掃業務	510千円
障害者給付認定審査会運営事業		予算現額	1,643 千円
		決算額	1,497 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	1,517 千円

障害者給付認定審査会運営事業	
障害者総合支援法に基づき、市が設置する審査会において、障害支援区分の審査及び判定を行い、適正な障害福祉サービスの提供につなげました。	
○障害者介護給付費等の支給に関する審査会 ・開催回数 12回 ・審査件数 52件	
○主な経費	
委員報酬	障害者介護給付費等の支給に関する審査会委員報酬 1,146千円
手数料	医師意見書作成料 259千円

事業区分

2 身体障害者社会参画事業

1,915 千円 事項別明細書 P 92 ~

身体障害者社会参加促進事業		予算現額	2,698 千円
		決算額	1,915 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】 みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	2,422 千円

障がい者の社会参加を促進し、日常生活の充実を図るため、当事者及び団体への助成を行いました。

○身体障害者自動車ガソリン費補助

外出支援の一環として、障がい者自らが運転する自動車に対して、外出に係るガソリン費の一部（ガソリン税相当分）を助成しました。

・対象者 64人

○各当事者団体に対する補助金交付

市内の当事者団体が行う主催事業等に補助を行うことで、障がい者の社会参加の機会の確保や日常生活の充実、自立支援の促進を図るとともに障がい者同士の交流や、障がい者と健常者の交流の機会の確保が図れました。

・障害者互助会（研修事業・障害者の日記念事業等）

・視覚障害者福祉会（無料マッサージ等）

○主な経費

補助金	身体障害者自動車ガソリン費補助	1,469千円
	障害者互助会事業補助金	214千円
	視覚障害者福祉会事業補助金	70千円

○主な財源

基金繰入金	ふるさと創生基金繰入金	1,450千円
-------	-------------	---------

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(目) 4 老人福祉費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
83,507	75,319	326	448	1,600	7,351	15,166	50,428

事業区分

1 老人福祉事業

40,235 千円 事項別明細書 P 94 ~

老人福祉一般事業		予算現額	44,219 千円
		決算額	40,235 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	35,089 千円
○養護老人ホーム等入所措置			
おおむね65歳以上の方で、心身上の事情、環境上の事情、経済的な事情などにより、居宅において養護を受けることが困難な方を養護老人ホームに措置し、安定した生活の確保を図りました。			
4人が新たに入所、6人が退所し、年度末の措置者数は4施設（花園寮、梨ノ木園、万亀会館高砂寮）計13人のほか、特別養護老人ホームに3人となっています。			
○志摩広域行政組合負担金（議会総務・養護老人ホーム花園寮）			
鳥羽市・志摩市・南伊勢町で構成する志摩広域行政組合の本部及び養護老人ホーム「花園寮」の運営負担金を支出しました。			
○南勢志摩地区福祉有償運送等運営協会負担金			
南勢志摩地区において福祉有償運送の運営を行う協議会に対して、負担金を支出しました。			
○主な経費			
一部事務組合負担金	志摩広域行政組合負担金		7,471千円
扶助費	養護老人ホーム等措置費		32,639千円
○主な財源			
負担金	養護老人ホーム措置費負担金		8,866千円

事業区分 2 介護予防・地域支え合い事業		16,103 千円 事項別明細書 P 94 ~													
介護予防・地域支え合い事業（趣味創作型サービス）		予算現額	4,192 千円												
		決算額	2,475 千円												
		翌年度繰越額	0 千円												
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	3,863 千円												
介護保険法の円滑な実施の観点から、高齢者が寝たきりなどの要介護状態に陥ったり、状態が更に悪化したりすることをできる限り予防し、自立した生活を確保するために必要な支援を行うことが重要となります。 このことから、おおむね60歳以上の高齢者の方を対象に、第1・2・3土曜日に保健福祉センターひだまりを開放し、生きがいつくりと交流の場として囲碁将棋・華道・茶道・絵手紙などの趣味創作活動を通じて、1日を楽しく過ごすサービスの提供を行いました。 また、自宅での入浴が困難な高齢者の方を対象に鳥羽一丁目において、入浴等を提供する高齢者寄り合い拠点を運営し、介護予防を図りました。 利用状況については、新型コロナウイルス感染症の影響から、令和元年度より減少しています。 <table> <tr> <td>・業務委託先</td><td colspan="3">社会福祉法人鳥羽市社会福祉協議会（趣味創作型デイサービス事業） 合同会社felice（高齢寄り合い拠点運営事業）</td></tr> <tr> <td>・延利用者数</td><td>937人</td><td colspan="2">（趣味創作型デイサービス事業）</td></tr> <tr> <td></td><td>610人</td><td colspan="2">（高齢者寄り合い拠点運営事業）</td></tr> </table>				・業務委託先	社会福祉法人鳥羽市社会福祉協議会（趣味創作型デイサービス事業） 合同会社felice（高齢寄り合い拠点運営事業）			・延利用者数	937人	（趣味創作型デイサービス事業）			610人	（高齢者寄り合い拠点運営事業）	
・業務委託先	社会福祉法人鳥羽市社会福祉協議会（趣味創作型デイサービス事業） 合同会社felice（高齢寄り合い拠点運営事業）														
・延利用者数	937人	（趣味創作型デイサービス事業）													
	610人	（高齢者寄り合い拠点運営事業）													

介護予防・地域支え合い事業（趣味創作型サービス）			
○主な経費			
委託料	趣味創作型デイサービス事業		1,499千円
	高齢者寄り合い拠点運営事業		976千円
○主な財源			
基金繰入金	ふるさと創生基金繰入金		1,511千円
雑入	介護予防・地域支え合い事業利用料		309千円
介護予防・地域支え合い事業（配食サービス）		予算現額	7,329千円
		決算額	7,329千円
		翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	6,213千円
おおむね65歳以上の高齢者世帯及び独居高齢者等で調理することが困難な方や、障がいがあることで調理ができない方に対し、定期的な訪問により栄養の調和のとれた食事の提供による栄養改善と安否確認を行いました。 令和3年2月に配食サービスを請け負っている委託業者が新型コロナウイルス感染症の影響を受け、委託事業の継続が困難になったことから、委託業者が決定するまでの間、職員がお弁当等を仕入れ、利用者へ届けました。 2月下旬には調理業務と配達業務それぞれ請け負う業者が決定したことから、継続して利用者に栄養バランスの良い食事の提供と安否確認を行いました。			
・業務委託先	社会福祉法人三重福祉会（鳥羽陽光苑）：本土・坂手 おかげ屋（菅島） 海老荘商店（桃取） オオシマフード株式会社：コロナ対応 調理業務 公益社団法人鳥羽市シルバー人材センター：コロナ対応 配達業務		
・利用者数	76人（本土61人、坂手8人、桃取5人、菅島2人） ※令和3年3月現在		
・延配食数	25,531食		
○主な経費			
食糧費	配食サービス中止に伴う代替商品		165千円
委託料	配食サービス		5,397千円
	配食サービス（コロナ対応）		1,767千円
○主な財源			
国庫補助金	生活困窮者就労準備支援事業等補助金		320千円
基金繰入金	ふるさと創生基金繰入金		5,840千円
緊急通報体制整備事業		予算現額	2,053千円
		決算額	1,686千円
		翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	1,788千円
ひとり暮らしの高齢者等で身体に不安のある方に対し、急病や災害等緊急時にいつでも対応できるシステム（緊急通報装置）を設置・貸与し、日々の生活における不安の解消や安全確保に努めました。			
・委託事業先	立山科学株式会社		
・設置者数	70人 ※令和3年3月現在		

緊急通報体制整備事業			
○主な経費			
委託料	緊急通報システム設置サービス事業		1,686千円
○主な財源			
市債	過疎地域自立促進特別事業債		1,600千円
家族介護支援事業		予算現額	5,619 千円
		決算額	4,613 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	4,661 千円
離島の高齢者が本土にある介護保険事業所のサービスを利用する際に必要な船賃の全額助成、居宅介護支援事業所及び訪問系サービス事業所が離島の高齢者にサービスを行う際に必要な船賃の4分の3を助成、登録車両の駐車場料金の助成を行うことで、本土と離島間に生じる費用等の負担軽減を図り、サービス提供がしやすいよう、支援を行いました。 また、要介護2以上の高齢者を在宅で介護している家族等の負担軽減につなげるため、家族介護手当の支給を行いました。			
・船賃助成（個人）	実人員	延べ人員	助成額
年4回助成	33人	101人	768 千円
・船賃助成（事業者）	助成事業所		助成額
	9事業所		880 千円
・佐田浜駐車場利用料		使用料	1,193 千円
・家族介護手当（年2回支給）	実人員	延べ人員	支給額
② 2,000円（要介護度2・3）	73人	121人	1,206 千円
② 4,000円（要介護度4・5）	17人	26人	492 千円
○主な経費			
補助金	1,648 千円	（船賃助成個人分：768千円、船賃助成事業者分：880千円）	
扶助費	1,698 千円	（家族介護手当）	

事業
区分

3 地域包括支援センター事業		4,233 千円	事項別明細書	P 94 ~
地域包括支援センター		予算現額	4,418 千円	
		決算額	4,233 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	6,870 千円	
高齢者が住み慣れた地域で自立した生活が営めるよう、要支援認定を受け介護予防給付を希望する高齢者等に対して、ケアプランの作成等を行いました。				
○主な経費				
委託料 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント作成業務委託		4,226千円		
○主な財源				
雑入 予防給付ケアプラン作成収入		4,227千円		

地域包括支援センター

○介護予防支援（介護予防ケアプラン）の作成数

- ・地域包括支援センター作成件数 延1,248件（うち、委託事業所作成件数 延964件）

<委託事業所作成件数内訳>

委 託 先 事 業 所	件 数	金 額 (円)
鳥羽豊和苑居宅介護支援事業所	299	1,294,690
ひまわり居宅介護支援事業所	131	567,610
鳥羽市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所	124	546,820
居宅介護支援事業所あらしま	91	399,520
ケアデザインすてっぷ	78	339,180
藤原ケアマネ事務所	77	349,870
ケアプラン 有明の里	70	313,700
鳥羽陽光苑在宅介護支援センター	67	294,770
ふたみ指定居宅介護支援センターシルバーケア豊壽園	13	59,030
相談センター花しるべ	7	30,170
伊勢あさま苑居宅介護支援事業所	7	30,170
合 計	964	4,225,530

事業
区分

4 高齢者福祉対策事業

5,140 千円 事項別明細書 P 94 ~

敬老の日記念事業	予算現額	4,689 千円						
	決算額	4,250 千円						
	翌年度繰越額	0 千円						
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額) 4,554 千円						
敬老会を開催した町内会・自治会に助成を行い、各地における高齢者の長寿を祝うための一助としました。 最高齢者及び100歳以上の方（26人）には、例年、市長と副市長による施設と個人宅への訪問を実施していますが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、中止しました。 記念品等については、職員が施設や個人宅を訪問し、施設職員や本人、家族へ届けました。 ・町内会及び自治会 45団体（対象者70歳以上の方 4,950人×800円） 3,960千円 ・最高齢及び100歳以上、100歳到達者記念品 290千円 ○主な経費 <table> <tr> <td>報償費</td><td>記念品</td><td>290千円</td></tr> <tr> <td>交付金</td><td>敬老の日記念事業交付金</td><td>3,960千円</td></tr> </table>			報償費	記念品	290千円	交付金	敬老の日記念事業交付金	3,960千円
報償費	記念品	290千円						
交付金	敬老の日記念事業交付金	3,960千円						
高齢者施策推進委員会等運営事業	予算現額	1,220 千円						
	決算額	890 千円						
	翌年度繰越額	0 千円						
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額) 110 千円						
令和2年度で「高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」が満了することから、次期計画を策定するため策定委員会を5回開催しました。今後は、同計画に基づき施策の展開に努めます。								

高齢者施策推進委員会等運営事業			
○主な経費			
報償費	高齢者施策推進委員会		287千円
計画及び策定委託料	鳥羽市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定業務		598千円

事業区分		5 老人クラブ活動助成事業	3,468 千円	事項別明細書	P 94 ~
老人クラブ運営事業		予算現額	2,579 千円		
		決算額	2,524 千円		
		翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標		4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	2,547 千円	
市内の単位老人クラブ及び市老人クラブ連合会の活動に対して助成を行い、高齢者の生きがいづくりや健康づくり等の活動推進につなげました。 ・単位老人クラブ（団体数 25団体、会員数 2,327人） 助成金 1,737千円 ・鳥羽市老人クラブ連合会 助成金 787千円 ○主な経費 補助金 老人クラブ運営事業補助金 2,524千円 ○主な財源 県補助金 高齢者地域福祉推進事業費補助金 448千円					
老人憩の家運営事業		予算現額	944 千円		
		決算額	944 千円		
		翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標		4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	744 千円	
老人クラブ事業の活動の拠点となる老人憩の家のうち、借家で活動している単位老人クラブへ家賃補助を行い、活動を推進するための一助としました。 ○主な経費 修繕料 菅島老人憩の家会議室床修繕 200千円 補助金 老人憩の家運営事業補助金 744千円					

事業区分		6 介護予防施設管理運営事業	6,140 千円	事項別明細書	P 94 ~
介護予防施設管理運営事業		予算現額	6,245 千円		
		決算額	6,140 千円		
		翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標		4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	5,210 千円	
神島にある介護予防拠点施設「しおさい」で、趣味創作活動として、裁縫や算数ドリル練習、神島診療所医師の協力で健康体操等を行うことにより、神島に居住する高齢者の介護予防につなげることができました。 施設管理では、ろ過装置の周辺機器の取り替えを行いました。 ・延べ利用者数 3,881人 ・委託事業先 社会福祉法人鳥羽市社会福祉協議会（施設管理） シンフォニアエンジニアリング株式会社（定期点検・水質検査等）					

介護予防施設管理運営事業		
○主な経費		
委託料	介護予防施設運営管理業務	3,712千円
	ろ過装置点検・配管洗浄・水質検査業務	208千円
工事請負費	介護予防施設しおさい ろ過装置修繕工事	1,126千円
○主な財源		
雑入	介護予防・地域支え合い事業利用料	776千円

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(目) 5 障害者福祉費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
3,508	2,955			2,600			355

事業区分	1 障害者福祉事業		2,955 千円	事項別明細書	P 96 ~
	障害者福祉一般事業		予算現額	1,308 千円	
			決算額	977 千円	
			翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	984 千円	
障がい者の社会活動への参加促進を図り、障がい当事者を介護する家族等への経済的支援を行うことで、障がい福祉の増進につなげました。 ○重度心身障害者タクシー料金助成事業（利用者 54人） 重度心身障がい者がタクシーを利用する際に、その利用チケット（1人あたり650円×36枚）を発行し、通院や外出等に係る経済的な負担軽減、社会活動への参加促進につなげました。 ○重度心身障害者（児）介護手当（対象者 13人） 日常生活において、在宅で障がいのある人を介護している家族等（介護者）に対して手当を支給することで、介護者に係る負担の軽減を図りました。 ○主な経費 扶助費 重度心身障害者タクシー料金助成事業 618千円 重度心身障害者（児）介護手当 334千円 ○主な財源 市債 過疎地域自立促進特別事業債 800千円					
	心身障害者小規模作業事業		予算現額	2,200 千円	
			決算額	1,978 千円	
			翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	2,192 千円	
公共交通機関を利用して障害福祉サービス施設へ通所する障がい者に対し、必要運賃相当額の半額を助成することで、経済的な負担軽減につなげ、働く場所の確保と社会的自立を図るための一助としました。 ○障害福祉サービス通所運賃助成 ・対象者 33人 ・支給額 1,978千円					

心身障害者小規模作業事業			
○主な経費			
補助金	障害福祉サービス通所運賃助成		1,978千円
○主な財源			
市債	過疎地域自立促進特別事業債		1,800千円

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(目) 7 特別障害者手当等給付費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
7,635	7,454	5,594					1,860

事業区分	1 特別障害者手当等給付事業		7,454 千円	事項別明細書 P 96 ~	
	特別障害者手当等給付事業			予算現額	7,635 千円
				決算額	7,454 千円
				翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	7,118 千円	
	常時特別な介護を必要とする状態にある障がい者（児）に対し、日常生活における負担を軽減するため、手当の支給を行いました。 ○特別障害者手当（20歳以上の重度心身障害者） ・対象者 21人 ・助成額 6,504千円（2・3月は27,200円/月、4月～27,350円/月） ○障害児福祉手当（20歳未満の重度心身障害児） ・対象者 6人 ・助成額 937千円（2・3月は14,790円/月、4月～14,880円/月） ○主な経費 扶助費（補助） 特別障害者手当 6,504千円 障害児福祉手当 937千円 ○主な財源 国庫負担金 特別障害者手当等給付費負担金 5,594千円				

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(目) 8 精神障害者福祉費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
19	10						10

事業区分	1 精神障害者福祉事業		10 千円	事項別明細書 P 96 ~	
	精神障害者福祉一般事業			予算現額	19 千円
				決算額	10 千円
				翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	10 千円	

精神障害者福祉一般事業	
三重県精神保健福祉協議会において、知識の普及啓発等を行い、精神保健福祉の向上を図ることを目的に、運営費を一部負担しました。	
○主な経費	
会費等負担金	三重県精神保健福祉協議会会費 10千円

(款) 3 民生費

(項) 1 社会福祉費

(目) 9 障害者自立支援事業費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
609,799	601,289	293,584	146,628			16	161,061

事業区分

1 障害者自立支援給付事業

564,926 千円 事項別明細書 P 96 ~

障害者自立支援給付事業		予算現額	570,901 千円
		決算額	564,926 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	556,337 千円
障害者総合支援法に基づき、障がい者（児）が有する能力や適性に応じて、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、サービスの給付及び支援を行いました。 給付費は前年度に比べ8,134千円増加しました。居宅介護、短期入所、自立訓練、就労移行支援、特例介護給付費は減少となりましたが、生活介護、療養介護、施設入所支援、共同生活援助就労継続支援（A型・B型）、自立支援医療費等の給付費が増加したことによるものです。			
○主な経費			
電算委託料	障害者総合支援システム改修		672千円
会費等負担金	三重県南部医療的ケア地域支援連携会議分担金		5千円
一部事務組合負担金	志摩広域行政組合分担金		1,367千円
扶助費（補助）			561,937千円
○主な財源			
国庫負担金	障害者自立支援給付費国庫負担金		263,647千円
	障害者医療費国庫負担金		7,000千円
	障害児施設措置費国庫負担金		13,095千円
国庫補助金	障害者総合支援事業費補助金		320千円
県負担金	三重県障害者自立支援給付費等負担金		135,324千円
	三重県障害児通所給付費等負担金		6,512千円
県補助金	三重県特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業費補助金		31千円

障害者自立支援給付事業

・サービス給付状況

区分	実利用者等	給付額	前年度比	増減額
1 障害福祉サービス費等	421名	508,335千円	1.01	5,347千円
①居宅介護	23名	11,266千円	0.84	△2,082千円
②重度訪問介護	0名	0千円	—	0千円
③同行援護	8名	532千円	0.62	△321千円
④短期入所	22名	9,144千円	0.67	△4,483千円
⑤生活介護	67名	176,693千円	1.05	8,578千円
⑥療養介護	5名	15,443千円	1.25	3,099千円
⑦施設入所支援	42名	70,184千円	1.03	1,946千円
⑧共同生活援助	36名	51,444千円	1.19	8,216千円
⑨自立訓練	6名	4,972千円	0.62	△3,014千円
⑩就労移行支援	13名	6,677千円	0.38	△10,910千円
⑪就労継続支援（A型）	23名	31,875千円	1.15	4,125千円
⑫就労継続支援（B型）	93名	119,610千円	1.01	1,025千円
⑬特例介護給付費	5名	1,520千円	0.43	△2,004千円
⑭特定障害者特別給付費	78名	8,975千円	1.15	1,172千円
2 相談支援給付費等	201名	7,456千円	0.98	△173千円
3 高額障害福祉サービス費等給付費	1名	169千円	0.43	△223千円
4 療養介護医療費	4名	4,256千円	1.25	850千円
5 補装具費	50名	5,334千円	0.96	△234千円
6 自立支援医療費	20名	8,841千円	1.17	1,270千円
7 障害児通所給付費等	33名	24,447千円	1.00	△109千円
8 障害児相談支援給付費	34名	1,969千円	1.16	276千円
9 やむを得ない事由による措置費	2名	1,130千円	皆増	1,130千円
計	766名	561,937千円	1.01	8,134千円

事業
区分

2 地域生活支援事業

36,363 千円 事項別明細書 P 98 ~

地域生活支援事業	予算現額	35,672 千円
	決算額	33,264 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額) 36,870 千円
障害者総合支援法に基づき、障がい者（児）が自立した日常生活や社会生活を送るための一助とするため、当事者が必要とする福祉サービスの給付及び支援を行いました。 ○相談支援事業 当事者や保護者（介護者）が普段から抱えている各種相談に対応するため、相談者が必要とする情報提供や福祉サービスの利用支援等に係る諸手続き、各関係機関との連絡調整等を行うための専門相談業務を委託し、課題の解決やニーズへの対応に向けた支援を行いました。 ・委託事業所 社会福祉法人鳥羽市社会福祉協議会 ・相談件数 1,904件		

地域生活支援事業

○日中一時支援事業（いたずらっこ）

障がい児と暮らす家族の就労支援や一時的な休息、下校時や長期休暇時に当該児童が活動する場（ゆめばー内）を確保し、その場において集団生活への適応や自立に向けた支援を行いました。

- ・委託事業所 社会福祉法人鳥羽市社会福祉協議会
- ・実利用者数 12人

○視覚障害者（児）生活訓練事業

視覚障がい者（児）の生活自立に必要な訓練（掃除、調理、家電利用方法、屋内外歩行等）について、視覚障害生活リハビリテーション専門員が当事者や家族等からの相談に応じ、訪問形式により継続的に実施しました。

- ・委託事業所 特定非営利活動法人アイパートナー
- ・利用者 10人

○手話通訳者・要約筆記者派遣事業

聴覚障がい者等で意思の疎通が困難な者に対して、手話通訳者・要約筆記者の派遣を行うことにより、意思疎通の円滑化を図りました。

- ・実利用者数 1人

○手話奉仕員養成事業

聴覚障害者の社会参加の一助を担う手話奉仕員を養成する事業であり、聴覚障がい当事者と手話通訳者の資格を持った方の2人1組の講師でカリキュラム「基礎課程」に沿って開催し、15人が受講しました。

○日常生活用具給付事業

障がい者（児）が日常生活を送る上で困難なことに對し、それを改善するための日常生活用具（透析液加湿器・視覚障害者用拡大読書器・おむつ・ストマ等）を給付しました。

- ・給付件数 463件

○訪問入浴事業

訪問により居宅において入浴サービスを提供し、身体障がい者の健康及び衛生の保持を図りました。

- ・実利用者数 2人

○日中一時支援事業

障がい者（児）と暮らす家族の就労支援及び一時的な休息、当該児童が下校時や長期休暇時に活動する場を確保し、その場において集団生活への適応や自活に向けた支援を行いました。

- ・実利用者数 29人

○移動支援

屋外での移動が困難な障がい者等について、外出のための支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加を促しました。

- ・実利用者数 13人

○地域活動支援センター

障がい者の創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進、日中の活動の場を確保するとともに家族等も一時的な休息等の機会を得ることができ、福祉増進が図れました。

- ・実利用者数 1人

地域生活支援事業				
○主な経費				
委託料	相談支援事業		10,496千円	
	日中一時支援事業		8,587千円	
	視覚障害者（児）生活訓練事業		2,495千円	
	手話通訳者・要約筆記者派遣事業		41千円	
	手話奉仕員養成事業		847千円	
	一部事務組合負担金	志摩広域行政組合分担金	351千円	
	扶助費（補助）	日常生活用具給付事業		4,905千円
		訪問入浴事業		3,175千円
		日中一時支援事業		1,470千円
		移動支援		481千円
成年後見助成金			264千円	
○主な財源				
国庫補助金	地域生活支援事業補助金		9,522千円	
県補助金	障害者自立支援給付費等補助金		4,761千円	
障害者自立支援協議会等運営事業		予算現額	3,226 千円	
		決算額	3,099 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	219 千円	
障がい当事者や事業者等関係者が集まり、障がい者施策や地域の課題について話し合う自立支援協議会の各部会を定期的に開催するとともに、障害者施策推進委員会を4回開催し、各部会の活動報告や障害福祉施策についての話し合いを行いました。また、障がい福祉サービス等の充実を計画的に進めるため、障がい者福祉計画・障がい福祉計画（第6期）・障がい児福祉計画（第2期）を策定しました。				
○主な経費				
報償費	障害者施策推進委員会		213千円	
計画及び策定委託料	障がい者福祉計画・障がい福祉計画（第6期）			
	・障がい児福祉計画（第2期）策定業務		2,868千円	

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(目) 1 児童福祉総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
80,619	77,938	9,871	8,909		1,161	225	57,772

事業区分	1 児童福祉給与等管理費	49,409 千円	事項別明細書 P 98 ~
児童福祉一般職員給与費		予算現額	46,917 千円
		決算額	46,721 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	26,580 千円

児童福祉一般職員給与費			
次代を担う児童の健全な育成と子育て家庭の支援を行うため、担当する職員の人件費として、7人分を支出し、児童福祉の充実に努めました。			
○主な経費			
職員人件費 7人分			46,721千円
児童福祉総務一般管理経費		予算現額	3,192 千円
		決算額	2,688 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	5,170 千円
第2期鳥羽市子ども・子育て支援事業計画に則り事業を進めました。			
子ども・子育て会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止しました。			
○主な経費			
会計年度任用職員報酬			1,338千円

事業区分

2 子ども相談事業

4,155 千円 事項別明細書 P 100 ~

総合子ども相談事業			予算現額	4,633 千円		
			決算額	4,155 千円		
			翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標 1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう			(前年度決算額)	3,600 千円		
0歳から18歳までの子どもの育ちを保障し、子どもの発達を支援するため、保健・福祉・教育の関係機関が連携し、総合的で途切れのない支援に努めました。						
地域の中核的な障がい児の療育支援施設である「児童発達支援センター」の整備、運営を行い、子育て環境の充実を図りました。						
総合子ども相談「ほっぷ」年間相談件数						
相談種別		子ども相談	電話	面談等	巡回	合計
養護相談	児童虐待相談	2	52	38	0	92
	その他相談	0	20	10	0	30
保健相談		0	0	0	0	0
障害相談	肢体不自由相談	0	0	0	0	0
	視聴覚障害相談	0	1	0	1	2
	言語発達障害等相談	8	14	0	21	43
	重症心身障害相談	2	0	0	0	2
	知的障害相談	7	24	2	11	44
	自閉症等相談	2	108	0	33	143
非行相談	ぐ犯行為等相談	0	0	0	0	0
	触法行為相談	0	0	0	0	0
育成相談	性格行動相談	64	62	29	152	307
	不登校相談	3	31	19	0	53
	適性相談	0	0	0	0	0
	育児・しつけ相談	0	1	4	0	5
その他相談		0	0	0	0	0
延件数		88	313	102	218	721

総合子ども相談事業	
○療育の実施状況	
・対象児童数（延べ）：18人	
○主な経費	
会計年度任用職員報酬	1,913千円
報償費（児童心理士等）	782千円
会費等負担金 三重県家庭相談員連絡協議会	5千円
伊勢市児童発達支援センター市町負担金	491千円

事業区分

3 児童健全育成事業

9,359 千円 事項別明細書 P 100 ~

放課後児童健全育成事業		予算現額	10,413 千円
		決算額	9,359 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	7,817 千円

子どもたちが放課後等に安全で健やかに活動できる場所の確保を図るとともに、児童福祉の増進に寄与することを目的に、鳥羽放課後児童クラブ運営委員会（たんぽぽ）及びエンゼル・クラブに児童クラブの運営管理を委託し、効果的に事業を実施しました。

両クラブとも学校敷地内に所在しており、放課後子ども教室との連携による運営を行っています。エンゼル・クラブについては、放課後子ども教室終了後も通所支援を行うことで、希望する子どもたち全てが子ども教室に参加できる機会を提供しています。なお、月平均利用児童については、前年度と比べ減少しています。

	たんぽぽ	エンゼル・クラブ
開設日数	286日（286日）	274日（277日）
定 員	40人（40人）	40人（40人）
平均利用児童数	27人（42人）	41人（42人）

※（）内は令和元年度実績数値

○主な経費

委託料	放課後児童クラブ管理運営業務委託 2施設	7,670千円
	エンゼル・クラブ通所支援業務委託	555千円
	（加茂小学校～エンゼル・クラブ）	

○主な財源

国庫補助金	子ども・子育て支援交付金	3,200千円
	地方創生臨時交付金	354千円
県補助金	地域子ども・子育て支援事業費補助金	2,505千円
	保育環境改善事業補助金	1,000千円

事業区分 4 子育て支援センター事業		5,554 千円 事項別明細書 P 100 ~	
子育て支援センター事業		予算現額	5,702 千円
		決算額	5,554 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	3,391 千円

子育て支援センター事業

利用者支援事業で助産師を週3日配置したことにより、身近な場所で産前から乳幼児までの幅広い相談を受け、育児不安のある保護者へ細やかな支援を行いました。

また、子育て支援サポーターにより親子で楽しめる講座の提供を実施しました。

○あそびの広場「だっこ」

- ・開設日：月～金の5日間
- ・開設日数：211日
- ・利用者数：延2,509人

○講座等

- ・助産師相談（月、水、金の週3回）
- ・赤ちゃん広場（3回連続講座）9月、11月、2月

○子育て支援サポーター事業

- ・足育教室（毎月1回）
- ・ばあばのおはなし会（毎月1回）
- ・だっこ防災ミニ講座（11月9日）
- ・チャレンジハンドクリーム（12月25日）

○だっこ行事

- ・5月 こいのぼりの会
- ・6月 つくってあそぼう！
- ・7月七夕会
- ・8月 水遊び・えんにちごっこ
- ・9月 十五夜「お月見アート」
- ・10月 ハロウィンパーティー
- ・11月 公園であそぼう「お散歩に行こう」
- ・12月 クリスマス会
- ・2月 節分
- ・3月 ひなまつり

○にこにこ広場、サロン・サークル支援の実施

・実施回数（合計29回）

答志にこにこ広場 6回 神島にこにこ広場 3回
菅島サロン 7回 相差サロン 4回 0,1,2,3サークル 9回

・子育て支援の講演会や講座を実施（5地域で実施）

答志 9月16日 神島 7月6日
菅島 6月10日、10月7日、12月9日、1月13日、3月10日
相差 9月1日 桃取 9月23日、10月19日、2月22日、3月15日

○相談対応件数

- ・受付件数 合計217件（出張ひろば等：37件、だっこ・利用者支援事業：180件）

○主な経費

会計年度任用職員報酬	1人	2,086千円
報償費	利用者支援事業（助産師・講師等）	1,320千円
備品購入費		193千円

事業
区分

5 子育て支援事業

9,461千円 事項別明細書 P 102 ~

とばっ子カード事業

予算現額	170千円
決算額	169千円
翌年度繰越額	0千円
(前年度決算額)	349千円

まちづくりの目標 1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう

とばっ子カード事業			
18歳以下の子どものいる世帯を対象に「とばっ子カード」を発行し、協賛店舗の協力を得て地域社会が一体となって子育て世帯の支援を行いました。 平成30年度から三重県を行う子育て応援パスポートと連携して事業を実施しており、とばっ子カードの提示により市外でもサービスが受けられるようになりました。 ○令和2年度末現在 - 登録世帯数：1,225世帯（令和元年度末 1,297世帯） - 協賛店舗数：80店舗（令和元年度末 76店舗） ○主な経費 - 印刷製本費 93千円 - 通信運搬費 76千円			
病児・病後児保育		予算現額	333 千円
		決算額	314 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	332 千円
保護者がやむを得ない理由で在宅での看護や保育ができない場合や、子どもが急な病気や回復期で保育所等の通所ができない時に、安心して利用できる保育環境を提供することで保護者の子育てと就労の両立を支援しました。 「志摩こどもの城クリニック」に志摩市と共同委託を行いました。 ○年間延べ利用者：2人 ○主な経費 会費等負担金 病児・病後児保育事業負担金 314千円			
ファミリーサポートセンター事業		予算現額	1,455 千円
		決算額	1,454 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	1,141 千円
育児と仕事や社会活動等を両立して、子育てしやすい環境をつくるため「子育ての手助けをしてほしい人（依頼会員）」と「子育ての手助けをしたい人（提供会員）」をコーディネートし、住民相互で有償による住民相互間の送迎等の援助活動を行うファミリーサポートセンターを運営しました。 令和2年6月から、鳥羽市ファミリーサポートセンター事業の運営業務を公募型プロポーザルにより選定した、「子育て応援！！0,1,2,3サークル」へ委託しました。 ○ファミリーサポート会員数（令和2年度末） - 提供会員：90人 - 依頼会員：14人 - 両方会員：12人 - 活動延べ件数：353件 ○主な経費 - 報償費 アドバイザー 155千円 - 委託料 鳥羽市ファミリーサポートセンター運営業務 1,149千円 ○主な財源 - 国庫補助金 子ども・子育て支援交付金 501千円 - 県補助金 地域子ども・子育て支援事業費補助金 501千円			

一時保育事業		予算現額	2,912 千円
		決算額	2,645 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	2,917 千円
保護者が就労や入院等の理由などで一時的に家庭で保育することが困難な場合や里帰り出産、親のリフレッシュ等を目的に満1歳を経過している未就園のお子さんを対象とした一時保育を実施しました。低年齢利用に配慮した備品を購入し、安全な保育環境を整えました。 ○利用延べ回数 130件 ○主な経費 会計年度任用職員報酬 1,864千円 消耗品費 31千円 ○主な財源 国庫補助金 子ども・子育て支援交付金 869千円 県補助金 地域子ども・子育て支援事業費補助金 869千円 負担金 一時保育保育料 209千円			
子育て短期支援（ショートステイ）事業		予算現額	0 千円
		決算額	0 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	137 千円
保護者の疾病その他の理由により家庭で養育を受けることが一時的に困難となった児童を、入所させ必要な保護を行うための体制を整えましたが、利用者はありませんでした。 なお、予算現額については、子育て応援事業の報償費が不足したことから、予算の流用により0千円となりました。			
子育て応援事業		予算現額	4,732 千円
		決算額	4,730 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	3,185 千円
新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取組の一つとして令和2年4月28日～令和3年3月31日に生まれた子どもを対象に、子育て特別応援券の交付（9万円分）と、「おめでとうBOX」の贈呈を実施しました。 また、令和元年度をもって配布を終了しました「とばっ子子育て応援券」と「チャイルドシート等購入費助成券」の有効期間（発行から1年間）分の支払いを行いました。 【とばっ子子育て特別応援券：1,000円券×90枚綴（90,000円分）】 ・交付人数：59人 ・取扱い店舗数：6店舗 ・対象商品：紙オムツ、粉ミルク、離乳食、衛生用品等 ・利用枚数 3,026枚 【とばっ子子育て応援券：1,000円券×30枚綴（30,000円分）】 ・取扱い店舗数：7店舗 ・対象商品：紙オムツ、粉ミルク、離乳食、衛生用品等 ・利用枚数 881枚 （R1 2,631枚）			

子育て応援事業

【とばっ子子育て応援券（チャイルドシート等購入費助成券）：10,000円券×1枚】

- ・取扱い店舗数：8店舗
- ・対象商品：ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシート
- ・利用枚数 28枚 (R1 51枚)

○主な経費

扶助費	1,161千円
報償費	3,397千円
印刷製本費	73千円

○主な財源

繰入金	ふるさと創生基金繰入金	1,161千円
国庫補助金	地方創生臨時交付金	3,569千円

とばっ子ハッピーセミナー事業

予算現額	160千円
決算額	149千円
翌年度繰越額	0千円

まちづくりの目標 1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう

(前年度決算額) 407千円

母親の育児負担軽減やリフレッシュを目的とした講座と、育児に関する講座や親子のコミュニケーションを深める講座を各地域で実施しました。父親の育児参加を推進することを目的とし、ハピサタ講座は、2回実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した講座は6講座ありました。

○主な開催講座

(単位：人)

講座名	開催日	参加人数	
		大人	子ども
リズムであそぼうin神島	7月 3日	8	10
助産師さんに聞いてみようin桃取	7月 6日	6	3
ことばの話～おくちと発音～	7月13日	7	5
CLOWNLoTo パフォーマンスショー	8月 5日	6	6
リズムであそぼうin相差	9月 1日	3	3
フォトレッスン	9月15日	9	9
子育てママのリフレッシュ講座 メイクアップレッスン	10月9日	5	0
親子音楽あそび1歳前後クラス	10月21日	6	8
ハピサタ講座 人形劇団ししかばぶ	11月7日	6	14
みんなでクッキング	12月5日	5	8
ちぎり絵でクリスマスカード・年賀状を作ろう	12月10日	5	0
第1回バイバイおむつ講座	2月 9日	9	9
合 計		75	75

○主な経費

報償費	ハッピーセミナー事業講師報償費	88千円
	託児報償費	7千円

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(目) 2 児童措置費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
273,297	270,178	163,547	31,703				74,928

事業区分	1 母子生活支援事業	0 千円	事項別明細書	P 102 ~
	母子生活支援・助産施設入所措置事業	予算現額	626 千円	
		決算額	0 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	0 千円
18歳未満の子どもを養育している母子家庭、又は何らかの事情で離婚の届出ができていないが母子家庭に準ずる母親と児童を母子生活支援施設に入所させることで、母親の生活の自立を促したり、子どもの健全育成のための相談支援の体制を整えましたが、利用者はありませんでした。				

事業区分	2 児童扶養手当事業	70,103 千円	事項別明細書	P 102 ~
	児童扶養手当事業	予算現額	70,526 千円	
		決算額	70,103 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	94,039 千円
父母の離婚等により、父又は母と生計を同じくしていない児童を育成している家庭（ひとり親家庭）等に児童扶養手当を支給し、生活の自立と安定、児童の福祉の増進を図りました。 ○受給者数（延べ） 18,084人 (R1 19,015人) ○主な経費 扶助費（補助） 児童扶養手当 70,103千円 ○主な財源 国庫負担金 児童扶養手当負担金 24,808千円				

事業区分

3 児童手当事業

200,075 千円 事項別明細書 P 102 ~

児童手当事業		予算現額	202,145 千円
		決算額	200,075 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	211,155 千円

次代の社会を担う児童の健全な育成と資質の向上に資するとともに、家庭における生活の安定に寄与するため中学校修了前までの児童を養育している人に手当を支給しました。

児童の年齢	児童手当の額（1人当たり月額）	※所得制限者については一律月額 5,000円を支給
3歳未満	15,000円	
小学校修了前（第1・2子以降）	10,000円	
小学校修了前（第3子以降）	15,000円	
中学校修了前	10,000円	

児童手当事業

区 分	延支給者数	支給額（千円）
3歳未満被用者	1,628	24,420
3歳未満非被用者	970	14,550
被用者小学校修了前	6,658	71,535
非被用者小学校修了前	3,899	43,095
被用者中学校修了前	2,866	28,660
非被用者中学校修了前	1,490	14,900
被用者特例給付	341	1,705
非被用者特例給付	242	1,210
計	18,094	200,075

○主な経費

扶助費（補助） 児童手当 200,075千円

○主な財源

国庫負担金 児童手当支給費負担金 138,739千円

県負担金 児童手当支給費負担金 31,703千円

（款） 3 民生費

（項） 2 児童福祉費

（目） 3 児童福祉施設費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
496,158	489,701	5,194	3,443	1,300	46,941	31,798	401,025

事業
区分

1 保育所運営給与等管理費

489,701 千円 事項別明細書 P 102 ~

保育所運営事業	予算現額	496,158 千円
	決算額	489,701 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 495,366 千円

保護者の労働又は疾病等の事由により、保育の必要性がある児童を保護者に代わって保育することで、児童の心身の健全な発育を図りました。

長時間保育や休日保育、食物アレルギーへの対応など多様な保育ニーズに応えることで保護者が安心して就労できる環境を提供し、子育て家庭の支援に努めました。

児童の減少のため、4月からかがみうら保育所が休所となりました。

令和3年3月末時点

保育 所数	定 員	児童数							職員数			
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	保育士	看護師	調理員	計
8	555	25	64	81	79	96	77	422	95	1	13	109

※代替、緊急対応、休日対応職員を含む

保育所運営事業

【保護者のニーズに応じた特別保育事業を各保育所で実施】

○障がい児保育事業：安楽島・あおぞら・船津・相差保育所

・対象児童：21人（R1 27人）

○延長保育事業：あおぞら保育所

・利用児童数

7：30～8：00 延べ1,606人（R1 延べ2,571人）

18：00～19：00 延べ818人（R1 延べ2,107人）

○休日保育事業：あおぞら保育所で実施

・開所日数：38日（R1 63日）

・利用児童数：延べ103人（R1 延べ215人）

○乳児保育事業：安楽島・あおぞら・船津保育所で実施

・0歳児（6か月以上児）：25人（R1 27人）

○食物アレルギー対応：全保育所

調理員の対応として、除去する食品が主材料となる場合は別の食品を用いて代替食を調理したり、該当食品を除去したりするなどしました。

保育士の対応として、喫食時に誤食のないよう、隣に座るなど目の届くように座席を配置したり、トレイを使用し区別しました。

・対象児童：21人（R1 16人）

○主な経費

職員人件費	56人分（保育士48人 調理員8人）	312,222千円
-------	--------------------	-----------

※子育て支援センター職員2人分含む

会計年度任用職員	54人分（保育士48人 看護師1人 調理員5人）	122,204千円
----------	--------------------------	-----------

※代替・緊急対応・休日対応職員を含む

報酬	保育所嘱託医報酬	2,156千円
----	----------	---------

委託料	桃取保育所給食調理業務委託	1,923千円
-----	---------------	---------

	菅島保育所給食調理業務委託	1,852千円
--	---------------	---------

	神島保育所給食調理業務委託	1,825千円
--	---------------	---------

工事請負費	安楽島保育所通路庇設置工事	1,357千円
-------	---------------	---------

備品購入費	保育所備品	3,142千円
-------	-------	---------

会費等負担金	日本スポーツ振興センター	152千円
--------	--------------	-------

	県社会福祉協議会	96千円
--	----------	------

負担金及び補助金	施設型給付費負担金	688千円
----------	-----------	-------

○主な財源

負担金	保育所保育料	13,395千円
-----	--------	----------

	保育所特別保育保育料	433千円
--	------------	-------

	施設型給付費負担金	1,552千円
--	-----------	---------

雑入	保育所職員給食費	7,856千円
----	----------	---------

	太陽光発電余剰電力売電代	239千円
--	--------------	-------

国庫補助金	子ども・子育て支援交付金	1,788千円
-------	--------------	---------

	保育対策総合支援事業費国庫補助金	2,645千円
--	------------------	---------

県補助金	地域子ども・子育て支援事業費補助金	1,788千円
------	-------------------	---------

基金繰入金	ふるさと創生基金繰入金	46,941千円
-------	-------------	----------

(目) 4 母子福祉費

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
39,919	33,528	25,483	6,089		1,853		103

事業区分

1 母子福祉事業		8,045 千円 事項別明細書 P 104 ~							
母子寡婦福祉事業		予算現額	9,691 千円						
		決算額	8,045 千円						
		翌年度繰越額	0 千円						
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	6,333 千円						
ひとり親家庭等の自立と福祉の向上を目指す鳥羽市母子寡婦福祉会に対し、補助金を支出し会の活性化を支援しました。 また、鳥羽の子どもたちが家庭の事情により将来が左右されることが無いよう、ひとり親家庭を対象に子どもの生活・学習支援事業を行いました。									
○主な経費 <table><tr><td>委託料</td><td>子どもの生活・学習支援事業</td><td>7,414千円</td></tr><tr><td>補助金</td><td>市母子寡婦福祉事業補助金</td><td>96千円</td></tr></table>				委託料	子どもの生活・学習支援事業	7,414千円	補助金	市母子寡婦福祉事業補助金	96千円
委託料	子どもの生活・学習支援事業	7,414千円							
補助金	市母子寡婦福祉事業補助金	96千円							
○主な財源 <table><tr><td>県支出金</td><td>学習支援ボランティア事業費補助金</td><td>5,762千円</td></tr></table>				県支出金	学習支援ボランティア事業費補助金	5,762千円			
県支出金	学習支援ボランティア事業費補助金	5,762千円							

事業区分	3 ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業	25,483 千円 事項別明細書 P 104 ~
	ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業	予算現額 30,228 千円
		決算額 25,483 千円
		翌年度繰越額 0 千円
	まちづくりの目標 1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 0 千円
新型コロナウイルス感染症の影響により子育てに対する負担の増加や収入の減少が見込まれる低所得のひとり親世帯に対して、臨時特別給付金を支給しました。		
○基本給付（公的年金・家計急変含む） 追加給付 再支給分 146件 90件 146件		
○主な経費 電算委託料 交付金 ひとり親世帯臨時特別給付金振込データ作成業務委託 ひとり親世帯臨時特別給付金 585千円 24,080千円		
○主な財源 国庫補助金 母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金 25,483千円		

(款) 3 民生費

(項) 2 児童福祉費

(目) 5 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
22,393	21,366	21,366					0

事業区分		1 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	21,366 千円	事項別明細書 P 106 ~
	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	予算現額	22,393 千円	
		決算額	21,366 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	0 千円
小学校等の臨時休業により新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援する取組の一つとして、低所得者層に限定せずに中間所得者層も含め児童手当受給世帯に1人1万円の臨時・特別の一時金を支給しました。 ○支給者数 ・住民分 1,539 人 ・公務員分 217 人 ○主な経費 電算委託料 子育て世帯への臨時特別給付金振込データ作成業務委託 2,331千円 交付金 子育て世帯への臨時特別給付金 17,560千円 ○主な財源 国庫補助金 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金 17,560千円				

(款) 3 民生費

(項) 3 生活保護費

(目) 1 生活保護総務費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
30,830	29,654	2,513				6	27,135

事業区分

1 生活保護給与等管理費		29,654 千円		事項別明細書 P 106 ~	
生活保護一般職員給与費		予算現額	21,526 千円		
		決算額	21,445 千円		
		翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	19,356 千円		
生活に困窮しているかたの最後のセーフティネットである生活保護業務にあたるため、職員人件費3人分（SV1人、CW2人）を支出し、相談業務や生活支援等に努めました。					
○主な経費					
職員人件費3人分					
21,445千円					

生活保護事務事業費		予算現額	6,584 千円
		決算額	5,904 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】 みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	6,716 千円
生活保護システムやレセプト管理システムの活用、嘱託医による診断書等の確認業務などにより、適正な生活保護事務の推進に努めました。			
○主な経費			
報酬	嘱託医報酬		660千円
委託料	生活保護法による医療扶助の診療報酬明細書点検業務		166千円
使用料	生活保護システム賃貸借		3,287千円
	生活保護レセプト管理システム賃貸借		528千円
○主な財源			
国庫補助金	生活困窮者就労準備支援金事業費等補助金		478千円
就労支援事業		予算現額	2,720 千円
		決算額	2,305 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】 みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	2,890 千円
生活保護のかたに対して、就労指導や助言、協力を行い、その自立助長を促していくことを目的に、就労支援員1人を配置しその促進に努めました。			
・支援対象者 6人 ・支援対象者の内就労につながった者 5人			
○主な経費			
	会計年度任用職員人件費（1人分）		2,184千円
○主な財源			
国庫負担金	生活困窮者自立相談事業費等負担金		2,035千円

(款) 3 民生費

(項) 3 生活保護費

(目) 2 扶助費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
203,900	202,100	14,552	5,802			12,237	169,509

事業区分	1 生活扶助事業	202,100 千円	事項別明細書 P 108 ~
生活扶助事業		予算現額	203,900 千円
		決算額	202,100 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額)	181,789 千円
生活に困窮するかたの程度に応じて適切な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、その自立助長に向け支援しました。 年度末現在の保護受給者数は6.1‰（前年度5.9‰）で増加傾向にあり、扶助別の保護延べ人員についても、3,759人（前年度3,497人）に増加しています。保護開始件数は24件（前年度20件）			

生活扶助事業

保護廃止は23件（前年度11件）でした。また、保護費支出額は202,100千円（前年度181,789千円）と増加していますが、これは生活扶助費、住宅扶助費、医療扶助費の増加が主な要因となっています。

・保護世帯数 97世帯（前年度 95世帯） ・保護受給者数 109人（前年度 107人）

※扶助費内訳

区分	令和元年度		令和2年度	
	延べ人員（人）	支出額（千円）	延べ人員（人）	支出額（千円）
生活扶助	1,084	44,405	1,162	46,718
住宅扶助	851	18,443	946	20,953
教育扶助	35	349	37	409
介護扶助	367	7,719	410	7,248
医療扶助	1,145	106,411	1,198	122,283
生業扶助	12	324	2	32
葬祭扶助	0	0	2	404
就労自立給付金	3	119	2	40
施設事務費	-	4,019	-	4,013
合計	3,497	181,789	3,759	202,100

○主な経費

扶助費（補助） ※内訳は上記のとおり 202,100千円

○主な財源

国庫負担金 生活保護費負担金 145,552千円

県負担金 生活保護法第73条負担金 5,802千円

雑入 生活保護法返還金 12,237千円

（款） 3 民生費

（項） 4 災害救助費

（目） 1 災害救助費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
7,790	440	320					120

事業
区分

1 災害見舞弔慰金支給事業

440 千円 事項別明細書 P 108 ~

市災害見舞弔慰金支給事業	予算現額	7,790 千円
	決算額	440 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-2【福祉】みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	(前年度決算額) 30 千円
火災による被害を受けたかた（3世帯）や、新型コロナウイルス感染症の罹患者（18人）に見舞金と臨時生活支援金を給付しました。		
○主な経費		
扶助費	見舞金及び臨時福祉給付金	440千円

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(目) 1 保健衛生総務費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
74,235	70,157	1,229	240			16	68,672

事業 区分	1 保健給与等管理費		70,157 千円	事項別明細書 P 112 ~
	保健衛生総務一般職員給与費 (健康福祉課)		予算現額	64,073 千円
			決算額	63,968 千円
			翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	4-1【保健医療】 みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	59,341 千円
保健事業及び診療所運営事務のほか、新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種事業や感染予防対策に携わる職員人件費10人分を支出し業務の推進に努めました。 また、管理栄養士は、保育所給食の献立作成等の栄養管理や衛生管理、アレルギー対応等の保育所給食業務も担当して実施しました。 ○主な経費 職員人件費10人分 63,968千円 ○主な財源 国庫補助金 子ども・子育て支援交付金 240千円 地方創生臨時交付金 215千円 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金 261千円 県補助金 地域子ども・子育て支援事業費補助金 240千円				
	保健衛生一般管理経費 (健康福祉課)		予算現額	10,162 千円
			決算額	6,189 千円
			翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	4-1【保健医療】 みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	4,180 千円
会計年度任用職員として管理栄養士1人と事務職員1人を雇用し、業務の推進を図りました。 新型コロナワクチン接種事業を円滑に進めるため、令和3年2月から会計年度任用職員の事務職員1人を新たに雇用し、ワクチン接種の準備を進めました。 市民の休日における歯科の診療を確保し、充実した医療の提供に繋がるとして、伊勢志摩定住自立圏への連携取組に参加し、伊勢市休日・夜間応急診療所(歯科)の運営費の一部を分担金として支出しました。 ○主な経費 会計年度任用職員人件費 6,024千円 伊勢市休日・夜間応急診療所運営費分担金(歯科) 165千円 ○主な財源 国庫補助金 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金 513千円				

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(目) 2 予防費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
128,706	112,948	24,698	1,040		4,238	1,386	81,586

事業区分 1 保健事業 53,605 千円 事項別明細書 P 114 ~

健康づくり支援事業	予算現額	1,986 千円
	決算額	1,480 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標 4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	1,414 千円

保健師・管理栄養士等による生活習慣病予防や健康づくりのための運動・栄養等の健康教室を保健福祉センターひだまりや地域で開催し、市民の健康の保持・増進につなげました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により緊急事態宣言中の教室を中止とし、三密を避けるために人数制限を設ける等対策を講じたため、延べ参加者数が例年に比べ減少しています。

また、志摩医師会に糖尿病患者のデータ取得を委託し、糖尿病性腎症3期・4期の人を抽出し、かかりつけ医と連携し、保健指導を実施しました。

・主な健康教室実績

(単位：人)

教室名 (※)	開催回数	延べ参加者数
ストレッチ教室	29	403
ストレッチ教室 (答志・桃取・相差・本浦)	17	125
リフレッシュ体操	19	169
夜間リフレッシュ運動教室	12	90
リズムストレッチ教室	16	291
健康づくりのための食講座	6	27
疾患別予防教室 (糖尿病)	1	11
ヘルシークッキング	1	3
肩こり・腰痛予防体操	3	39
毎月ウォーキング	8	122

※ 地域名の記載のない教室は、保健福祉センターひだまりにて実施

○主な経費

委託料	糖尿病対策推進業務	350千円
報償費	各種教室講師報償	330千円

各団体に補助金を交付し、食生活を通じた市民の健康増進事業や、原爆被災者の相談事業等を推進する活動の支援を行いました。

○主な経費

補助金 (市食生活改善推進連絡協議会)	38千円
補助金 (県原爆被災者の会志摩支部)	19千円

健康診査・がん検診事業		予算現額	39,115 千円
		決算額	34,368 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	38,070 千円

疾病の早期発見・早期治療を図るため、健康増進法に基づき、検診バスによる集団がん検診、医療機関委託による個別がん検診等を実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、集団バスでの検診の時期を令和2年6月実施から11月以降の実施に変更しています。

・がん検診実績

(单位:人)

検診名	実施機関	実施期間	受診者数		
			R1	R2	比較増減
乳がん検診	三重県健康管理事業センター	11月～2月	791	689	△ 102
	医療機関(伊勢市・志摩市)	7月～3月	113	123	10
子宮頸がん検診	三重県健康管理事業センター	11月～2月	581	484	△ 97
	医療機関(伊勢・志摩・市内)	7月～3月	338	414	76
胃バリウム検診	三重県健康管理事業センター	1月	30	25	△ 5
肺がん検診	三重県健康管理事業センター	7月	868	844	△ 24
胃カメラ検診	市立診療所	7月～11月	80	—	—
	市内開業医		1, 250	1, 124	△ 126
前立腺がん検診	市立診療所	7月～11月	176	175	△ 1
	市内開業医		705	670	△ 35
大腸がん検診	市立診療所	7月～11月	352	307	△ 45
	市内開業医		1, 737	1, 581	△ 156
肝炎ウイルス検査	市立診療所	7月～11月	0	1	1
	市内開業医		13	12	△ 1

○主な経費

委託料 がん検診等検診業務

33,546千円

○主な財源

県補助金 健康増進事業補助金

407千円

基金繰入金 ふるさと創生基金繰入金

1,809千円

雑入 保健事業検診負担金

1,386千円

特定年齢に達した女性に対して、子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン券と検診手帳を送付、がんの早期発見と正しい健康知識の普及及び啓発を図りました。

・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業実績

(单位:人)

検診名	対象者数	受診者数	受診率 (%)	検診機関別受診者数内訳	
				検診バス	医療機関
子宮頸がん検診（20歳）	98	9	9.2	0	9
乳がん検診（40歳）	74	9	12.2	1	8

※受診者数は、上記がん検診実績に含まれています。

○主な経費

委託料 がん検診等検診業務

130千円

健康診査・がん検診事業

○主な財源

国庫補助金	感染症予防事業費等補助金	45千円
基金繰入金	ふるさと創生基金繰入金	201千円

がん検診の結果、がんが発見された方の数は下記のとおりです。がん以外にも、胃カメラ検診では胃炎、ポリープ、大腸がん検診ではポリープや良性腫瘍などが発見され、早期治療等に役立てることができました。

・がん検診受診結果

検診区分	受診者数	がん発見者数	その他疾患発見者数
乳がん検診	812	1	5
子宮頸がん検診	898	0	2
胃がん検診	1,149	4	78
肺がん検診	844	1	27
大腸がん検診	1,888	7	77
前立腺がん検診	845	5	7

献血推進事業

		予算現額	98 千円
		決算額	59 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	64 千円

市内企業・団体等に協力を依頼し、献血巡回バスによる献血活動を実施しました。また、8月に鳥羽市役所西庁舎で、夏季キャンペーン実施により献血活動の啓発を行いました。

・献血実績

日数	会場数 (件数)	献血者数 (人) 400ml
5	8	180

※献血受付者数180人のうち、24人が不採血者

成分献血には、延べ44人の市職員が協力し、献血事業の推進に貢献することができました。

・市職員成分献血実績

実施月	献血者数 (人)
7 月	14
10月	16
2 月	14

献血事業の啓発活動のため、鳥羽市献血推進協議会に対し補助金を交付しました。

○主な経費

補助金（市献血推進協議会）	24千円
---------------	------

感染予防対策応援事業		予算現額	18,600 千円																																					
		決算額	17,698 千円																																					
		翌年度繰越額	0 千円																																					
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	0 千円																																					
市民や観光客の方に新型コロナウイルス感染症に対する不安解消を目的に、感染対策ガイドラインの作成・配布及び感染予防対策を実施している事業所に対し、ステッカー等による感染予防の啓発・広報活動を行うとともに応援金を交付しました。 また、従業員等に新型コロナウイルスの感染が確認された際に、消毒作業が必要となる事業所等への補助金を交付する事業（補助率1/2、交付限度額30万円）を行いました。が、申請書の提出はありませんでした。 【鳥羽市事業所等新型コロナウイルス感染症予防対策応援金】 1. 申請期間 令和2年7月1日～令和2年11月30日 2. 対象経費 新型コロナウイルス感染症の予防対策に要する費用 ⇒ 例) 消毒液の設置、事業所の定期的な消毒作業、従業員のマスクやフェイスシールドの着用、店舗内の感染予防のための仕切りなど ⇒ 上記の例から複数の対策を実施 3. 申請件数 708件（予算上の措置件数：平成28年経済センサス-活動調査による事業者数1,265件） 4. 感染予防対策応援金の交付額（定額） <table><tr><td colspan="3">基本額</td><td>10,000円</td></tr><tr><td rowspan="3">加算 1</td><td rowspan="3">従業員数</td><td>1～49人</td><td>① 10,000円</td></tr><tr><td>50～99人</td><td>② 20,000円</td></tr><tr><td>100人以上</td><td>③ 30,000円</td></tr><tr><td rowspan="4">加算 2</td><td rowspan="3">宿泊施設対象 収容人数</td><td>1～99人</td><td>④ 10,000円</td></tr><tr><td>100～499人</td><td>⑤ 20,000円</td></tr><tr><td>500人以上</td><td>⑥ 30,000円</td></tr><tr><td>大型集客施設 年間集客人数</td><td>年間10万人以上</td><td>⑦ 30,000円</td></tr></table> 【例1】 宿泊施設で従業員56人・収容人数70人の場合 <table><tr><td>基本額 1万円</td><td>+</td><td>加算12 2万円</td><td>+</td><td>加算24 1万円</td><td>=</td><td>交付額 4万円</td></tr></table> 【例2】 年間20万人を集客する大型集客施設で従業員が108人の場合 <table><tr><td>基本額 1万円</td><td>+</td><td>加算13 3万円</td><td>+</td><td>加算27 3万円</td><td>=</td><td>交付額 7万円</td></tr></table>				基本額			10,000円	加算 1	従業員数	1～49人	① 10,000円	50～99人	② 20,000円	100人以上	③ 30,000円	加算 2	宿泊施設対象 収容人数	1～99人	④ 10,000円	100～499人	⑤ 20,000円	500人以上	⑥ 30,000円	大型集客施設 年間集客人数	年間10万人以上	⑦ 30,000円	基本額 1万円	+	加算12 2万円	+	加算24 1万円	=	交付額 4万円	基本額 1万円	+	加算13 3万円	+	加算27 3万円	=	交付額 7万円
基本額			10,000円																																					
加算 1	従業員数	1～49人	① 10,000円																																					
		50～99人	② 20,000円																																					
		100人以上	③ 30,000円																																					
加算 2	宿泊施設対象 収容人数	1～99人	④ 10,000円																																					
		100～499人	⑤ 20,000円																																					
		500人以上	⑥ 30,000円																																					
	大型集客施設 年間集客人数	年間10万人以上	⑦ 30,000円																																					
基本額 1万円	+	加算12 2万円	+	加算24 1万円	=	交付額 4万円																																		
基本額 1万円	+	加算13 3万円	+	加算27 3万円	=	交付額 7万円																																		
5. 交付決定額 16,810,000円 交付額別件数 <table><tr><td>交付額</td><td>20,000円</td><td>30,000円</td><td>40,000円</td><td>50,000円</td><td>60,000円</td><td>70,000円</td></tr><tr><td>件数</td><td>553件</td><td>99件</td><td>19件</td><td>26件</td><td>5件</td><td>6件</td></tr></table>				交付額	20,000円	30,000円	40,000円	50,000円	60,000円	70,000円	件数	553件	99件	19件	26件	5件	6件																							
交付額	20,000円	30,000円	40,000円	50,000円	60,000円	70,000円																																		
件数	553件	99件	19件	26件	5件	6件																																		
6. 事業所の業種及び件数 <table><tr><td>業種</td><td>飲食</td><td>宿泊</td><td>小売</td><td>その他</td></tr><tr><td>件数</td><td>155件</td><td>120件</td><td>156件</td><td>290件</td></tr></table> ※件数は重複あり				業種	飲食	宿泊	小売	その他	件数	155件	120件	156件	290件																											
業種	飲食	宿泊	小売	その他																																				
件数	155件	120件	156件	290件																																				
7. 事業所の地区別件数 <table><tr><td>地区</td><td>鳥羽</td><td>加茂</td><td>長岡</td><td>鏡浦</td><td>離島</td></tr><tr><td>件数</td><td>262件</td><td>198件</td><td>96件</td><td>77件</td><td>75件</td></tr></table>				地区	鳥羽	加茂	長岡	鏡浦	離島	件数	262件	198件	96件	77件	75件																									
地区	鳥羽	加茂	長岡	鏡浦	離島																																			
件数	262件	198件	96件	77件	75件																																			

感染予防対策応援事業

○主な財源

国庫補助金 地方創生臨時交付金 17,698千円

○主な経費

需用費 印刷製本費（感染予防対策実施ステッカー） 288千円

負担金補助及び交付金 交付金 16,810千円

事業
区分

2 母子保健事業

12,521 千円 事項別明細書 P 114 ~

母子保健事業

予算現額 15,750 千円

決算額 12,521 千円

翌年度繰越額 0 千円

まちづくりの目標 1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう

(前年度決算額) 15,172 千円

母子保健法に基づく乳児や妊婦の健康診査を医療機関に委託、また1歳6か月児や3歳児等の幼児の健康診査を実施し母子の健康の保持増進等に役立てることができました。離乳食教室等の教室、健康相談や家庭訪問の実施により育児不安の軽減、乳幼児の健全な発育を支援しました。

令和2年10月より市内歯科医院に委託し、妊婦歯科健康診査を開始しました。

・各種健診・相談内訳

(単位：人)

健診区分	回数	対象者数	受診者数
3歳児健康診査	6	93	95
2歳児歯科検診	5	99	91
1歳6か月児健康診査	8	99	93
2歳児・3歳児フッ素塗布	6	193	157
7か月児健康相談	12	67	59
1歳児健康相談	12	70	59
乳幼児健康相談	12	—	44

・委託健診内訳

(単位：人)

健診区分	受診者数
妊婦健康診査（延べ人数）	877
4・10か月児健康診査	135
3歳児精密健康診査	3
妊婦歯科健康診査	12

○主な経費

委託料 母子健診 8,609千円

○主な財源

基金繰入金 ふるさと創生基金繰入金 32千円

母子保健事業

・主な教室等

(単位：人)

教室名	回数	延べ参加者数	内容
前期離乳食教室	6	20	離乳食の調理実習や講義、相談等を実施しました。
後期離乳食教室	6	20	離乳食の講義、試食、相談を実施しました。
幼児食はじまり講座	4	13	幼児食について講義、試食、相談を実施しました。
1歳6か月児健診等 事後フォロー教室	6	10	発達気になる児や育児不安のある保護者を対象に、遊びの指導や相談を実施しました。
プレパパママ教室	3	24	妊娠中の生活や栄養、育児知識についての講義や実技を実施しました。
子育て応援講座	2	27	
家庭訪問		75件	生後4か月までの児のいる家庭を訪問し、身体計測や育児相談等を実施しました。

少子化対策の一環として、不妊治療費の一部を助成することで、経済的な負担の軽減ができました。不育症治療費については申請がありませんでした。

・不妊治療費助成事業等

助成区分	申請者数 (人)	助成者数 (人)	助成額 (千円)	助成基準
人工授精	2	2	47	1年度にかかった治療費の3分の2を助成します。(上限3万円)
特定不妊治療 (体外受精・顕微授精)	14	14	1,400	1回の治療につき、上限10万円を助成します。

○主な経費

補助金 不妊治療費助成事業 1,447千円

○主な財源

県補助金 特定不妊治療費、一般不妊治療費及び不育症治療費等補助金 168千円

基金繰入金 ふるさと創生基金繰入金 500千円

・妊婦健診助成事業

里帰り出産等で県外の医療機関等で妊婦健康診査を受診した場合、妊婦健診受診票未使用分の回数（県内医療機関等の契約金額を上限）に限り費用を助成しました。

助成件数 4件

○主な経費

補助金 妊婦健診助成事業 129千円

・妊婦健診交通費助成事業

離島妊婦の妊婦健康診査(14回)の通院に係る交通費(定期船費用)を助成し、妊婦の経済的負担の軽減を図り、健やかな妊娠・出産が迎えられるよう支援しました。

助成件数 5件

○主な経費

扶助費 妊婦健診交通費助成 49千円

○主な財源

基金繰入金 ふるさと創生基金繰入金 49千円

母子保健事業	
・未熟児養育医療の給付 出生時の体重が2,000 g 以下又は身体の発育が未熟なまま出生し、医師が入院治療を必要と認めた未熟児に対して入院医療に係る費用の一部を給付しますが、令和2年度は対象児がいませんでした。 助成件数 0 件 ○主な経費 扶助費 母子養育医療診療報酬 0千円	
・新生児聴覚スクリーニング検査費助成事業 新生児聴覚スクリーニング検査の費用を一部助成することで、子育てに係る費用の負担軽減を図りました。 助成件数 44件 ○主な経費 扶助費 新生児聴覚スクリーニング検査費助成 132千円 ○主な財源 基金繰入金 ふるさと創生基金繰入金 132千円	
・産婦健康診査事業 産後2週間、産後1か月の時期に産婦健康診査を行うことにより、産後の疾病・異常、産後うつ等の早期発見・早期対応につなげ、産婦の健康の保持に努めました。 延べ受診者数 118件 ○主な経費 委託料 590千円 ○主な財源 国庫負担金 産婦健康診査事業 425千円	
・産後ケア事業 出産後、家族等から家事や育児の支援がなく、育児不安が強く育児支援を必要とする者を対象に医療機関等に宿泊、通所、訪問により保健指導等を行うことで、母親の身体的回復や心理的な安定を促進し健やかな育児ができるよう体制を整えましたが、令和2年度の利用はありませんでした。 利用者 0 件 ○主な経費 委託料 0千円	

事業区分		3 予防接種事業	46,675 千円	事項別明細書	P 114 ~
予防接種事業			予算現額	46,146 千円	
			決算額	41,937 千円	
			翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標		4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	39,378 千円	

予防接種事業

乳幼児や高齢者に対し、様々な感染症や疾病を予防するために、予防接種法に基づく各種予防接種を実施しました。

・定期予防接種

接種区分	対象者 (人) ※3	接種者 (人)	接種率 (%)	対象年齢
ロタウイルス	80	68	85.0	出生 6 週から 24 週 0 日まで
四種混合 ※1	351	304	86.6	生後 3 か月～90 か月未満
水痘	190	163	85.8	1 歳～ 3 歳未満
MR(風しん麻しん混合)	201	158	78.6	1 歳～ 2 歳未満、 5 歳以上～ 7 歳未満
日本脳炎	798	605	75.8	生後 6 か月～90 か月未満、 9 歳～13 歳未満の者等
BCG	94	81	86.2	生後直後～ 1 歳未満
ヒブ	356	282	79.2	生後 2 か月～ 5 歳未満
小児肺炎球菌	356	275	77.2	生後 2 か月～ 5 歳未満
B型肝炎	270	206	76.3	生後 1 歳未満
二種混合 (DT) ※2	126	99	78.6	11 歳～13 歳未満
子宮頸がん (ヒトパピローウイルス感染症)	378	32	8.5	12 歳となる日の属する年度の初日から 16 歳となる日の属する年度の末日までの間にある女子
インフルエンザ	6,977	4,523	64.8	65 歳以上の者等
高齢者肺炎球菌	837	302	36.1	65 歳以上の者等

※1 四種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ)

※2 二種混合 (ジフテリア・破傷風)

※3 接種時期等により、接種状況が変動するため、対象者は概算となっています。

○主な経費

委託料 予防接種 38,355 千円

○主な財源

基金繰入金 ふるさと創生基金繰入金 864 千円

先天性風しん症候群の予防のため昭和 37 年 4 月 2 日～昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性を対象に風しん抗体検査・予防接種の無料クーポン券を送付し勧奨を行いました。

	受診者数 (人)
風しん抗体検査	258
風しん予防接種 (MR)	53

○主な経費

委託料 抗体検査・予防接種 2,020 千円

○主な財源

国庫補助金 感染症予防事業費等補助金 1,282 千円

定期予防接種による健康被害救済制度の対象者に、医療費と医療手当を支給しました。

○主な経費

負担金 予防接種健康被害救済給付金 389 千円

○主な財源

県負担金 予防接種事故救済給付費負担金 292 千円

予防接種事業			
ロタウイルスワクチン定期接種対象外である令和2年4月2日～7月31日生まれの乳児を対象として、接種にかかる費用を助成しました。			
		助成者数（人）	
ロタウイルスワクチン接種費用助成		17	
妊娠初期の妊婦が感染することによる赤ちゃんの先天性風しん症候群の発生を防ぐため、妊娠を希望する女性とその家族に対し、風しんの予防接種費用の一部を助成しました。			
		助成者数（人）	
風しんワクチン接種費用助成		2	
○主な経費			
扶助費	ロタウイルスワクチン接種費用助成	615千円	
	風しんワクチン接種費用助成	7千円	
○主な財源			
基金繰入金	ふるさと創生基金繰入金	615千円	
新型コロナウイルスワクチン接種事業		予算現額	6,821 千円
		決算額	4,738 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	0 千円
迅速かつ適切なワクチン接種に向けた体制を構築するため、令和3年1月25日に新型コロナウイルスワクチン接種対策チームを立ち上げました。 令和2年度は新型コロナワクチン接種に協力いただく志摩医師会との調整や、予防接種システムの改修及び市民への案内チラシの作成・周知のほか、令和3年度に行う高齢者の集団接種に係るクーポン券の作成や発送、会場設置等の準備を行いました。			
○主な経費			
役務費	通信運搬費	459千円	
委託料	電算委託料	3,081千円	
備品購入費	備品購入費	660千円	
○主な財源			
国庫補助金	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金	4,738千円	

事業区分	4 健康に関する啓発事業	147 千円	事項別明細書 P 114 ~
健康に関する啓発事業		予算現額	190 千円
		決算額	147 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	1,091 千円
10月21日に開催を予定していました「ひだまりフェスタ」は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止しました。 また、市健康づくり推進協議会を開催し、令和元年度保健事業及び令和2年度保健事業について審議するとともに、三重県市町保健師協議会に対し、負担金を支出しました。			

健康に関する啓発事業

○主な経費

報償費	協議会委員報償	31千円
負担金	県市町保健師協議会	46千円

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(目) 5 休日診療所費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
23,462	21,632		1,000	7,000	6,412	2,106	5,114

事業
区分

1 休日・夜間応急診療所運営管理経費

21,632 千円 事項別明細書 P 118 ~

鳥羽市休日・夜間応急診療所	予算現額	23,462 千円
	決算額	21,632 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額) 21,718 千円

市内外の医師や薬剤師などの協力のもと、日曜日・祝日・年末年始及び毎週木曜日から土曜日の夜間に鳥羽市休日・夜間応急診療所を開設し、市民が安心できる医療体制の充実に図りました。

また、新型コロナウイルス感染症と疑われる発熱患者の対応として、施設外部で待機していただくために風除けの衝立を設置したほか、診察を行う照明器具の交換を行いました。

休日・夜間応急診療所の患者数は、新型コロナウイルス感染症の感染への懸念により受診控えが発生したことから、前年度の960人（休日・夜間の合計）から340人へ大きく減少しました。

	診療体制（人）				開設日数 （日）	患者数 （人）	1日あたり 患者数（人）
	医師	薬剤師	看護師	事務員			
休日	1	1	1	1（※）	74	276	4
夜間	1	1	1	1（※）	146	64	1
計					220	340	

（※）5月ゴールデンウィーク、年末年始等の繁忙期は事務員2人体制で対応

○休日応急診療所（日曜日、祝日、年末年始の日中）

・診療科別受診状況 (単位：人)

年度	内科	小児科	その他	計
R 1	522	163	45	730
R 2	201	35	40	276

・地域別診療状況 (単位：人)

年度	鳥羽	伊勢	志摩	県内（その他）	県外	計
R 1	555	26	16	29	104	730
R 2	241	8	5	9	13	276

鳥羽市休日・夜間応急診療所

○夜間応急診療所（木・金・土曜日の夜間）

・診療科別受診状況（単位：人）

年度	内科	小児科	その他	計
R1	125	90	15	230
R2	39	15	10	64

・地域別診療状況（単位：人）

年度	鳥羽	伊勢	志摩	県内（その他）	県外	計
R1	122	7	60	3	38	230
R2	38	1	16	1	8	64

○二次救急医療機関への紹介状況（単位：人）

医療機関別	伊勢赤十字病院	市立伊勢総合病院	県立志摩病院	計
患者数（R1）	30	5	4	39
患者数（R2）	16	2	3	21

・主な診断結果（単位：件）

年度 項目	R 1	R 2
診断結果 (順位別)		
1. 感冒	83	1. 感冒 28
2. インフルエンザ	78	2. 発熱 23
2. 急性気管支炎	78	3. 急性上気道炎 18

○主な経費

委員報酬	休日・夜間診療所運営協議会委員報酬	12千円
報償費	休日・夜間診療所医師等報償費	19,080千円
需用費	修繕料	594千円
	医薬材料費	481千円

○主な財源

県補助金	医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業費補助金	1,000千円
基金繰入金	ふるさと創生基金繰入金	6,412千円
市債	過疎地域自立促進特別事業債	7,000千円

（款） 4 衛生費

（項） 1 保健衛生費

（目） 6 へき地診療所費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
285,229	266,032	35	33,826	3,300		138,292	90,579

へき地診療所運営事業	予算現額	281,349 千円
	決算額	262,252 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額) 253,668 千円

南鳥羽・離島などの唯一の医療機関として、地域の医療を支える市立診療所の役割を果たすため施設や医療設備の充実を図り地域住民の健康を守るため必要な医療サービスを提供しました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、県補助金を活用し診察室や待合室において三密を避けるための必要な改修を行い、空気清浄機を設置するなど感染予防対策に努めました。

○主な経費

職員人件費	9人・県派遣職員 2人	93,099千円
会計年度任用職員人件費	4人分	11,219千円
需用費	医薬材料費	69,068千円
	修繕料	3,179千円
委託料	長岡診療所指定管理料	8,600千円
	長岡診療所徴収事務委託料	41千円
	産業廃棄物処理業務委託料	162千円
	臨床検査業務委託料	3,335千円
	特定検診代行入力業務委託料	453千円
備品購入費	超音波画像診断装置（長岡診療所）	4,565千円
	デジタルラジオグラフィシステム（神島診療所）	3,465千円
	空気清浄機	1,339千円
会費等負担金	学会等参加負担金	0千円
	志摩医師会諸会費	432千円
負担金及び補助金	県派遣職員負担金 2人分(桃取・神島診療所)	31,945千円
	代診医師派遣負担金	160千円

○主な財源

県補助金	へき地診療所設備整備事業費補助金（長岡・神島診療所）	4,014千円
	医療施設運営費補助金	22,812千円
	医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業費補助金	7,000千円
市債	医療施設整備事業債	
	超音波画像診断装置（長岡診療所）	2,200千円
	デジタルラジオグラフィシステム（神島診療所）	1,100千円

へき地診療所運営事業

・診療所別運営状況

(単位：人)

診療所別 項目		長岡 (指定管理) ※1	鏡浦 (今浦・石鏡分室)	神島 ※1	桃取 ※1	菅島	坂手	合計
診療 体制	医師	1	三重大医学部より 日替わり派遣 (4)	1 県	1 県	1 市	1 市	常勤5
	看護師	2	1	1	2	1	2	9
	看護師 ※2	—	1	—	—	—	—	1
	事務員	1	—	—	—	—	—	1
	事務員 ※2	—	—	1	1	1	—	3
	合計	4	常勤2	3	4	3	3	19

※1 長岡診療所はすべて指定管理者の職員、神島・桃取診療所医師は県派遣医師

※2 会計年度任用職員

(単位：千円)

診療所別 項目		鏡浦 石鏡・今浦	神島	桃取	菅島	坂手	計
収入 の 部	診療報酬	15,860	21,469	52,893	30,982	16,462	137,666
	文書料	57	115	175	111	113	571
	雇用保険 補助金等	11,432	7,642	1,010	5,485	6,025	31,594
	計	27,349	29,226	54,078	36,578	22,600	169,831
支出 の 部	人件費、報償 等	27,210	29,466	31,927	28,232	35,498	152,333
	医薬材料費	8,430	10,715	26,793	16,199	6,301	68,438
	備品購入費	2,553	4,135	628	644	959	8,919
	その他の経費	4,878	2,552	5,364	3,431	2,264	18,489
	計	43,071	46,868	64,712	48,506	45,022	248,179
差引収支差額		△ 15,722	△ 17,642	△ 10,634	△ 11,928	△ 22,422	△ 78,348
前年度実績		△ 22,966	△ 14,253	△ 8,931	△ 14,491	△ 30,107	△ 90,748
比較増減		7,244	△ 3,389	△ 1,703	2,563	7,685	12,400

・診療所別患者数推移

(単位：人)

診療所 年度	長岡	鏡浦	今浦	石鏡	神島	桃取	菅島	坂手	合計
H30	4,866	1,185	195	834	3,207	6,238	4,195	2,754	23,474
R1	4,336	1,046	187	781	3,012	5,954	4,077	2,742	22,135
R2	4,003	876	189	594	2,602	6,354	3,442	2,360	20,420
前年度対比	△ 333	△ 170	2	△ 187	△ 410	400	△ 635	△ 382	△ 1,715

へき地診療所運営事業

・ 1日あたり患者数 (延べ患者数) / (診療日数) (単位: 人)

診療所 年度	長岡	鏡浦	今浦	石鏡	神島	桃取	菅島	坂手	平均値
R1	19	7	4	6	14	25	17	15	13
R2	17	6	4	4	14	29	15	12	13
比較増減	△ 2	△ 1	0	△ 2	0	4	△ 2	△ 3	0

* 鏡浦診療所は、午後のみ開診。石鏡分室は午前のみ開診。今浦診療所は、水曜日のみ開診。

・ 診療所別主な診断結果

診療所 診断結果	長岡	鏡浦 今浦・石鏡	神島
診断結果 (順位別)	1. 高血圧症 2. 腰痛症 3. 便秘症	1. 高血圧症 2. 脂質異常症 3. 腰痛症	1. 高血圧症 2. 腰痛症 3. 慢性胃炎
	桃取	菅島	坂手
	1. 高血圧症 2. 高脂血症 3. 腰痛症	1. 高血圧症 2. 高脂血症 3. 腰痛症	1. 高血圧症 2. 糖尿病 3. 脂質異常症

・ 診療所別ドクターヘリ要請件数 (単位: 件)

診療所 項目	長岡	鏡浦	桃取	神島	菅島	坂手	合計
要請件数	0	0	1	0	0	0	1

* 当該件数は、診療所より直接消防本部へ要請した件数です。(前年度 合計0件)

一次及び二次医療対策事業		予算現額	3,880 千円
		決算額	3,780 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-1【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくろう	(前年度決算額)	3,863 千円

救急を含む医療体制全般を整備するため、各関係機関への事業負担及び助成等を行いました。
また、生活習慣病等の健康知識や情報を市民に普及啓発する活動等を推進するため、志摩医師会及び鳥羽志摩歯科医師会に補助金を交付し、活動を支援しました。

○主な経費

会費等負担金	一次救急医療体制事業負担金	664千円
	三重県救急医療情報システム事業市町負担金	191千円
負担金及び補助金	地域医療福祉事業補助金 (志摩医師会・歯科医師会)	2,925千円

(款) 4 衛生費

(項) 3 水道費

(目) 1 水道費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
43,044	43,044						43,044

事業 区分	1 水道企業会計繰出金		43,044 千円	事項別明細書 P 124 ~	
	繰出金			予算現額	43,044 千円
				決算額	43,044 千円
				翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう		(前年度決算額)	48,934 千円
地方公営企業の現況により、水道事業特別会計に繰り出しを行いました。 水道企業会計繰出金 ・ 神島簡水債利子償還補助金 105 千円 ・ 答志島簡水債利子償還補助金 1,570 千円 ・ 菅島簡水債利子償還補助金 319 千円 ・ 高料金対策補助金 13,568 千円 ・ 児童手当補助金 556 千円 ・ 神島簡水債元金償還補助金 2,348 千円 ・ 答志島簡水債元金償還補助金 19,072 千円 ・ 菅島簡水債元金償還補助金 5,506 千円 43,044 千円					

環 境 課

【総括】

環境保全に関しては、各種公害への対応や地球温暖化防止対策、生活排水対策、墓地・火葬場関連業務、狂犬病対策に取り組みました。なかでも火葬場関連では、堅神火葬場火葬設備修繕工事などを実施して火葬業務に支障が出ないようにしました。なお、神島火葬場は長らく火葬実績がないことから地元との協議を経て、令和2年6月30日をもって廃止しました。

生活排水対策における浄化槽設置整備事業については、令和2年度から合併浄化槽新設補助を廃止し、単独浄化槽や汲み取り便槽からの合併浄化槽への転換に対し17件補助しました。

不適切な再生可能エネルギー発電事業への対策として「鳥羽市における再生可能エネルギー発電事業と自然環境等の保全との調和に関する条例」を運用しました。

一般廃棄物処理について、市内の集積所に排出された可燃ごみやリサイクルごみを収集し、やまだエコセンターにて適正に処理を行いました。また、鳥羽市リサイクルパークで堆肥を生産したほか、リサイクル品を回収し、アルミ缶や紙類などの資源化できるものを売り払うなど、廃棄物の減量化や資源の再生化に努めました。

廃棄物処理施設の維持管理においては、鳥羽市清掃センター最終処分場からの浸出水を適正に処理するため、攪拌ブロワの取替工事を行いました。また、菅島一般廃棄物最終処分場においては、法令に基づいて適正に廃止をするため、終了整備工事を行いました。

【新たに実施した事業】

- ・台風により、墓地用地の土砂崩れによる被害が2件発生したことから、令和2年度においては、国崎墓地用地の法面改修、鳥羽2丁目墓地用地の応急復旧と測量設計を行いました。
- ・清掃センターのリサイクル業務を円滑に進めるため、プレス式塵芥車を購入しました。
- ・適正なごみ処理を目指しながら、廃棄物の減量化及び資源化を推進していくため、鳥羽市一般廃棄物処理計画を更新し、新たに「第1次鳥羽市ごみ処理基本計画」を策定しました。

【予算執行を伴わない事業】

- ・地球温暖化防止実行計画に基づき、庁内におけるエネルギー消費量の把握に努め、温室効果ガスの排出抑制等を図り、温暖化防止対策を推進しました。
- ・毎月第2火曜日は「地球にやさしい日」として、周辺清掃やエコ通勤、午後8時消灯を呼びかけ市職員等の環境保全や地球温暖化防止等の意識啓発を行いました。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、堅神火葬場の利用制限を設けるなど対策をしました。

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(目) 1 保健衛生総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
23,397	23,144						23,144

事業 区分	2 衛生給与等管理費		23,144 千円 事項別明細書 P 112 ~	
	保健衛生総務一般管理経費（環境課）		予算現額	23,397 千円
			決算額	23,144 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標		3-1【環境保全】地球にやさしい暮らしを広げよう	(前年度決算額)	29,610 千円
環境保全業務の person 費・管理経費として職員 3 人分23,119千円を支出し、環境衛生業務の推進に努めました。				
○主な経費				
職員 person 費			23,119 千円	

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(目) 2 予防費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
355	333					333	0

事業
区分

5 畜犬事業

333 千円 事項別明細書 P 116 ~

畜犬事業		予算現額	355 千円
		決算額	333 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-1【環境保全】地球にやさしい暮らしを広げよう	(前年度決算額)	338 千円

狂犬病予防と蔓延防止のため、飼い犬の登録と登録促進、市内21か所での巡回による狂犬病予防注射を実施しました。

また、飼い犬・飼い猫の管理の向上と野良犬・猫の増加を防ぐため、避妊手術に対し、補助金を交付しました。

○主な事業

- ・ 飼い犬の新規登録 55件 (R1 61件)
- ・ 飼い犬鑑札再交付 1件 (R1 0件)
- ・ 狂犬病予防注射

区分	件数	備考
集合注射	220件	R1 229件
病院接種	313件	R1 307件
再発行	1件	R1 0件
合計	534件	R1 536件

- ・ 飼犬等避妊手術費補助金

区分		補助単価 (円)	件数	合計 (円)	備考
犬	オス	2,000円	8件	16,000	R1 12件
	メス	4,000円	13件	52,000	R1 9件
猫	オス	2,000円	24件	48,000	R1 26件
	メス	3,000円	33件	99,000	R1 25件
合計 (円)			78件	215,000	R1 72件

畜犬事業			
○主な経費			
役務費	狂犬病予防注射お知らせハガキ郵送料等	40	千円
委託料	狂犬病予防注射済票等管理業務	21	千円
使用料及び賃借料	狂犬病予防集合注射チャーター船借上げ料	48	千円
負担金補助及び交付金	飼犬等避妊手術費補助金	215	千円
○主な財源			
使用料及び手数料	畜犬事業登録等手数料	460	千円

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(目) 3 環境衛生費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
19,751	18,420			3,700		3,196	11,524

事業区分

1 環境衛生事業

18,420 千円 事項別明細書 P 116 ~

環境衛生事業		予算現額	13,402 千円
		決算額	12,282 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう	(前年度決算額)	9,683 千円

環境衛生の向上のため、火葬を推進し、堅神火葬場の維持管理や火葬業務委託を行うとともに離島住民の負担軽減のため、海上霊柩輸送費に対し助成しました。また、令和元年10月の台風19・20号に伴う土砂崩れによる国崎墓地用地の法面改修工事を行いました。

○主な事業

- ・火葬業務 285件 (R1 302件)
- ・離島霊柩輸送費補助金

坂手町	菅島町	桃取町	答志町	神島町	計	補助金総額 (円)
3	3	8	8	1	23	436,400

※令和元年度は29件 (約516千円) に対し助成しました。

○主な経費

需用費	光熱水費、修繕料他	4,043 千円
委託料	堅神火葬場火葬業務	3,135 千円
	堅神火葬場施設等保全管理業務	850 千円
	堅神火葬場設備保守点検業務	281 千円
	墓地埋葬法 9 条による葬祭費用	247 千円
	国崎墓地用地法面改修工事測量設計業務	495 千円
工事請負費	国崎墓地用地法面改修工事	2,519 千円
負担金補助及び交付金	離島霊柩輸送費補助金	436 千円

○主な財源

使用料	火葬場使用料	2,609 千円
諸収入	墓地埋葬法による葬儀費用弁償金	167 千円

J R 鳥羽駅前公衆便所維持管理事業		予算現額	2, 145 千円
		決算額	1, 944 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-1【観光交流】自然の恵みと出会う感動をわかちあおう	(前年度決算額)	1, 975 千円
鳥羽駅を利用する観光客や、通勤・通学等で利用する人々など、誰もが公衆便所を快適に利用できるようにするため、JR鳥羽駅前公衆便所及び浄化槽の維持管理に努めました。			
○主な経費			
需用費	光熱水費	322 千円	
委託料	浄化槽保守点検業務	885 千円	
	施設清掃業務	640 千円	
○主な財源			
諸収入	公衆便所浄化槽管理JR負担分	416 千円	
堅神火葬場・神島火葬場リフォーム事業		予算現額	4, 204 千円
		決算額	4, 194 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう	(前年度決算額)	4, 537 千円
堅神火葬場は老朽化が著しく、計画的に改修していくこととしています。なお、神島火葬場は長らく火葬実績がなかったことから、地元との協議を経て、令和2年6月30日をもって廃止しました。			
令和2年度は、堅神火葬場2号炉の炉内耐火材の交換と両炉の燃焼・機械設備の部品取替修繕を行いました。また、支柱タイルの崩落があったことから、事故の未然防止のため、修繕工事を行いました。			
○主な経費			
工事請負費	堅神火葬場火葬設備修繕工事	3, 795 千円	
	堅神火葬場支柱修繕工事	399 千円	
○主な財源			
地方債	火葬場整備事業債	3, 700 千円	

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

(目) 4 環境保全対策費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
16,224	8,655	256	2,697			20	5,682

事業 区分	1 環境保全対策事業		8,458 千円		事項別明細書	P 116 ~
	環境保全対策事業			予算現額	672 千円	
				決算額	224 千円	
				翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	3-1【環境保全】地球にやさしい暮らしを広げよう	(前年度決算額)	530 千円		

環境保全対策事業

市民の生活環境を守るため、公害苦情等への対応や、水質検査、騒音・振動状況の調査を実施しました。

また、地球温暖化対策地域推進計画における省エネ対策の一環として、市民や学校・保育所等にゴーヤの苗を無料配布しました。

○主な事業

- ・公害等の苦情受付処理件数 122件(R1 155件)
- ・蜂防護服貸出件数 17件 (R1 13件)
- ・道路等動物死骸処理件数 77件(R1 65件)
- ・環境保全審議会の開催 1回 (令和3年3月23日書面による)
- ・ゴーヤ苗の無料配布

区分	配布苗数	備考
市民等	1,009 本	R1 1036 本
学校等	178 本	R1 220 本
合計	1,187 本	R1 1256 本

○主な経費

手数料	妙慶川水質検査	41 千円
会費等負担金	三重県浄化槽推進協議会	30 千円
	鳥羽清港会	10 千円

合併浄化槽普及啓発事業

予算現額	15,352 千円
決算額	8,234 千円
翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標 3-2【自然共生】自然をまもる気持ちや活動を広げよう

(前年度決算額) 15,093 千円

水質汚濁防止の観点から川や海の汚れを防止するため、単独浄化槽又は汲み取り便槽からし尿及び生活排水を処理する合併浄化槽に転換する住宅等に対して整備費用の一部を補助し、生活排水処理施設の整備率が向上しました。なお、令和2年度から合併浄化槽新設への補助を廃止しました。

○主な事業

- ・浄化槽設置整備事業

区分		人 槽 (件)					補 助 額 (千円)				
		5人槽	7人槽	10人槽	11人槽以上	計	5人槽	7人槽	10人槽	11人槽以上	合計
住 宅	単独処理浄化槽からの転換	4	9	0	0	13	1,928	4,896	0	0	6,824
	汲み取り槽からの転換	3	1	0	0	4	996	414	0	0	1,410
事業所用浄化槽転換		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		7	10	0	0	17	2,924	5,310	0	0	8,234

※令和元年度は、52件(15,093千円)の新設・転換に対し助成しました。

※合併処理浄化槽普及率が33.984%(R1)から34.69%に向上しました。

○主な経費

負担金補助及び交付金	浄化槽設置整備事業費補助金	8,234 千円
------------	---------------	----------

○主な財源

国庫支出金	循環型社会形成推進交付金	256 千円
県支出金	浄化槽設置整備事業費補助金	2,697 千円

事業区分

2 新エネルギー普及活動事業		197 千円	事項別明細書	P 118 ~
新エネルギー普及活動事業		予算現額	200 千円	
		決算額	197 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	3-1【環境保全】地球にやさしい暮らしを広げよう	(前年度決算額)	881 千円	
地球温暖化を防止を目指す中、市においても省エネのため電気自動車の活用を推進しました。 なお、令和2年度から住宅用太陽光発電システム整備への補助を廃止しました。				
○主な経費				
修繕費		E V車検整備費用	157 千円	

(款) 4 衛生費

(項) 2 清掃費

(目) 1 清掃総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
57,491	56,708					56	56,652

事業区分

1 清掃給与等管理費		56,708 千円	事項別明細書	P 120 ~
清掃総務一般管理経費		予算現額	57,491 千円	
		決算額	56,708 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	3-2【自然共生】自然をまもる気持ちや活動を広げよう	(前年度決算額)	35,357 千円	
清掃業務の人件費や会計年度任用職員賃金等として56,708千円を支出しました。				
○主な経費				
人件費		職員人件費（5人分）	34,856千円	
		会計年度任用職員報酬等（8人分）	21,852千円	

(款) 4 衛生費

(項) 2 清掃費

(目) 2 塵埃処理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
510,811	507,674		401	11,300	27,425	27,890	440,658

事業区分

1 清掃センター維持管理経費		20,269 千円	事項別明細書	P 122 ~
市清掃センター塵埃処理事業		予算現額	21,510 千円	
		決算額	20,269 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	3-1【環境保全】地球にやさしい暮らしを広げよう	(前年度決算額)	33,670 千円	
市内のリサイクルステーションや鳥羽市リサイクルパークからリサイクルごみを回収し、市清掃センターにて分別した上で、やまだエコセンターへ搬入して処理を行いました。				
また、最終処分場からの浸出水を適正に処理するため、汚水処理施設の攪拌ブロワの取替工事を				

市清掃センター塵埃処理事業

行いました。

リサイクル業務を円滑に進めていくため、プレス式塵芥車を購入しました。

○廃棄物受入量 (単位：t)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
独自処理ごみ	78	84	73	89	69
小型家電	29	35	45	44	59
合 計	107	119	118	133	128

○廃棄物収集運搬量 (単位：t)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
資源ごみ	273	276	274	283	260

○主な経費

委託料	電気保安業務	110千円
	汚水処理施設活性炭再生取出投入業務	1,925千円
	廃棄物処理施設諸検査業務	971千円
	汚水処理施設汚泥処理処分業務	673千円
	ダイオキシン類等濃度測定業務	549千円
	汚水処理施設メタノール用地下タンク内部洗浄業務	182千円
工事請負費	汚水処理場攪拌ブロワ取替工事	1,452千円
備品購入費	プレス式塵芥車購入	5,995千円

○主な財源

行政財産使用料（敷地占用料）	265千円
地方債	ごみ処理施設整備事業債 5,900千円

事業
区分

2 ごみ減量化推進事業

410,002 千円 事項別明細書 P 122 ~

一般廃棄物処理事業

予算現額	81,983 千円
決算額	80,664 千円
翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標 3-1【環境保全】地球にやさしい暮らしを広げよう

(前年度決算額) 81,814 千円

市内の集積所等に排出された可燃ごみや金属類、資源ごみを収集し、鳥羽志勢広域連合が運営するやまだエコセンターに搬入して処理を行いました。令和2年度のごみ排出量は7,787トンとなり、前年度に比べて12.8%の減少となりました。

また市内全域から排出される小型家電、ガラス・陶磁器類及び町内清掃にて排出される汚泥等を民間業者において処分を行い、一般廃棄物処理の推進及び資源化に努めました。

廃棄物の減量化及び資源化を推進し、さらなる適正なごみ処理を目指すため、第1次鳥羽市ごみ処理基本計画を策定しました。

○やまだエコセンターへの搬入量

区分	搬入量	備考
可燃ごみ	6,843 t	R1 7,886 t
不燃ごみ	325 t	R1 372 t
その他プラ	95 t	R1 105 t
ペットボトル	35 t	R1 40 t

一般廃棄物処理事業			
○主な経費			
委員報酬	廃棄物減量等推進審議会委員報酬		55千円
報償費	廃棄物減量等推進員報償		1,176千円
委託料	65歳以上非課税世帯一覧表作成業務		67千円
	可燃・不燃物収集運搬業務		42,702千円
	リサイクルごみ収集運搬業務		9,781千円
	汚泥等収集運搬業務		2,246千円
	指定ごみ袋製造販売業務		6,511千円
	指定ごみ袋販売店販売業務		2,614千円
	一般廃棄物独自処理業務		2,117千円
一部事務組合負担金	鳥羽志勢広域連合（総務費関係）分担金		11,434千円
補助金	再生資源回収事業費		454千円
	生ごみ処理容器購入費		107千円
	ごみ集積所設備設置事業費		120千円
負担金及び補助金	環境保全負担金		69千円
○主な財源			
清掃手数料	一般廃棄物処理手数料（指定ごみ袋分）		26,133千円
広域ごみ処理事業		予算現額	329,338 千円
		決算額	329,338 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-1【環境保全】地球にやさしい暮らしを広げよう	(前年度決算額)	312,098 千円
鳥羽志勢広域連合へ広域ごみ処理施設の管理運営費及び建設事業債返済分を分担金として支出することで、ごみの広域処理に努めました。			
○主な経費			
一部事務組合負担金	鳥羽志勢広域連合分担金（ごみ処理施設関係分）		329,338千円
○主な財源			
繰入金	観光振興基金繰入金		20,000千円

事業区分	3 収集運搬事業	68,159 千円	事項別明細書 P 122 ~
離島一般廃棄物処理業務		予算現額	68,569 千円
		決算額	68,159 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-1【環境保全】地球にやさしい暮らしを広げよう	(前年度決算額)	58,278 千円
各離島から排出される一般廃棄物を適正に収集運搬することで生活環境の保全に努めました。			
離島地域における使用済自動車を海上輸送した経費の負担者に対して補助金を交付し、使用済自動車の適正かつ円滑な処理を促進しました。			
菅島一般廃棄物最終処分場を法令に基づき適正に廃止するため、菅島一般廃棄物最終処分場終了整備工事を行いました。			

離島一般廃棄物処理業務

○主な経費

委託料	浄化槽保守点検業務	89千円
	離島ごみ運搬業務	46,540千円
	ごみ集積場維持管理業務	10,250千円
	廃棄物処理施設諸検査業務	701千円
	菅島一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設管理業務	627千円
	ダイオキシン類等濃度分析測定業務	397千円
工事請負費	菅島一般廃棄物最終処分場終了整備工事	5,486千円
補助金	使用済自動車海上輸送費補助金	536千円

	神島	答志	菅島	桃取	計	備考
件数	11件	58件	11件	1件	81件	R1 92件
金額	88,000円	371,200円	70,400円	6,400円	536,000円	R1 600,000円

○主な財源

諸収入	自動車リサイクル離島対策支援事業助成金	536千円
地方債	ごみ処理施設整備事業債	5,400千円

事業
区分

4 資源リサイクル事業

9,244 千円 事項別明細書 P 124 ~

資源循環型社会形成事業

予算現額	6,252 千円
決算額	6,087 千円
翌年度繰越額	0 千円
（前年度決算額）	6,175 千円

まちづくりの目標 3-1【環境保全】地球にやさしい暮らしを広げよう

リサイクルの拠点施設である鳥羽市リサイクルパークの管理運営をNPOに委託し、資源ごみのリサイクルを推進しました。また、家庭で生ごみの一次処理を行うため、堆肥化講座の受講者に生ごみ堆肥ケース（ひなたぼっこ）を配布し、生ごみの堆肥化を促進しました。行政機関や海外からの視察を受け入れ、生ごみの堆肥化や資源循環の啓発活動を行いました。

○主な経費

委託料	浄化槽保守点検業務	39千円
	リサイクルパーク業務	5,425千円

○主な財源

繰入金	ふるさと創生基金繰入金	5,425千円
-----	-------------	---------

○実績

生ごみ堆肥化

	堆肥生産量	一次処理品受入量
重量・容量	42.8kℓ	20.0t

リサイクル品回収量

主な品目	アルミ缶	スチール	新聞	雑誌	ダンボール	牛乳パック	ペットボトル
重量	3.0t	15.7t	30.9t	32.2t	35.0t	1.7t	5.8t
主な品目	ビン類（白色）	ビン類（茶色）	ビン類（その他）	ガラス・陶磁器類	その他プラ	小型家電	廃食油
重量	7.7t	5.7t	3.8t	24.8t	13.4t	19.9t	1.1kℓ

	不法投棄撲滅事業	予算現額	1,159 千円
		決算額	1,157 千円
		翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標 3-1【環境保全】地球にやさしい暮らしを広げよう	(前年度決算額)	1,144 千円
環境パトロール業務を委託し、道路等に散乱しているごみや海岸漂着ごみ等を回収しました。 ○主な経費 委託料 環境パトロール業務 1,157千円 ○主な財源 県支出金 海岸漂着物対策事業補助金 401千円 ○ごみ回収量 10,680 kg (R1 12,850kg)			
	生ごみ減量推進事業	予算現額	2,000 千円
		決算額	2,000 千円
		翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標 3-1【環境保全】地球にやさしい暮らしを広げよう	(前年度決算額)	0 千円
市内の事業所から排出される生ごみの減量化を促進するため、バイオマス発電施設を設置した事業者に補助金を交付しました。 ○主な経費 補助金 事業系生ごみ処理機設置事業補助金 2,000千円 ○主な財源 繰入金 観光振興基金繰入金 2,000千円			

(款) 4 衛生費

(項) 2 清掃費

(目) 3 し尿処理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
233,045	233,040						233,040

事業区分

1 し尿処理事業		233,040 千円		事項別明細書 P 124 ~	
し尿処理事業		予算現額	233,045 千円		
		決算額	233,040 千円		
		翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	3-2【自然共生】自然をまもる気持ちや活動を広げよう	(前年度決算額)	239,726 千円		
離島のし尿等海上運搬業務及び陸上運搬業務を委託し、し尿等を適正に処理することができました。					
また、鳥羽志勢広域連合に分担金を支出することで、し尿等の広域処理に努めました。					
○主な経費					
委託料		離島し尿等海上・陸上運搬業務	51,274千円		
一部事務組合負担金		鳥羽志勢広域連合分担金（し尿処理施設関係分）	181,766千円		

(款) 7 土木費

(項) 6 下水道費

(目) 1 特定環境保全公共下水道整備費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
110,359	105,294						105,294

事業 区分	1 特定環境保全公共下水道事業特別会計繰出金	105,294 千円	事項別明細書 P 154 ~
	特定環境保全公共下水道事業特別会計繰出金	予算現額	110,359 千円
		決算額	105,294 千円
		翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標 3-2【自然共生】自然をまもる気持ちや活動を広げよう	(前年度決算額)	95,093 千円
	下水道処理区域における環境保全と下水道事業特別会計の経営安定を目的に繰出を行いました。		

(款) 10 災害復旧費

(項) 3 厚生労働施設災害復旧費

(目) 1 衛生施設災害復旧費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
58,799	8,388			8,300			88

事業 区分	1 衛生施設災害復旧事業	8,388 千円	事項別明細書 P 188 ~
	衛生施設災害復旧事業	予算現額	58,799 千円
		決算額	8,388 千円
		翌年度繰越額	50,411 千円
	まちづくりの目標 4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	0 千円
	令和2年10月の台風14号に伴う鳥羽2丁目墓地用地土砂崩れによる応急復旧と崩落防護に向けての測量設計を行いました。		
	○主な経費		
	委託料	墓地用地災害復旧工事測量設計業務	4,593 千円
	工事請負費	墓地用地災害応急復旧工事	3,795 千円
	○主な財源		
	市債	衛生施設災害復旧事業債	8,300 千円

農 水 商 工 課

【総括】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、鳥羽市の産業振興に大きな影響を与える1年となりました。市内事業者は大変厳しい状況に置かれるなか、本課では必要な支援を調整・実施するとともに、多くの関係機関と連携した取組を進めてきました。

農業については、農業の基盤整備を行うために、相差町字茅原田地区の排水路において第2期整備を開始し、農地を守る取組を行うとともに、同地区を対象として「人・農地プラン」を実質化するための検討会を開催しました。

獣害対策業務においては、4月から6月までの期間でイノシシ捕獲強化事業費補助金を活用して、3頭目以降のイノシシ成獣に7,000円を上乗せて支給するとともに、12月の第12号補正により増額補正を行い、狩猟期間を含む通年の有害捕獲活動により鳥獣被害の防除に取り組みました。

森林業務においては、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用して市内にある危険木の伐採等を実施したほか、10月に「みえ森と緑の県民税市町交付金基金」及び「森林環境譲与税基金」を設置し、次年度以降の事業に有効活用できるよう、みえ森と緑の県民税市町交付金及び森林環境譲与税を基金に積み立てました。

水産業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、魚価の低迷や、飲食店等の需要低下による流通の停滞などで大きな経済的打撃を受けました。

このような状況において、本市の産業構造上、漁業が衰退することは、まち全体の活力低下にも繋がり兼ねないと懸念されるため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、今後も漁業を継続できるように漁業従事者及び海女を応援する目的で応援金を給付するとともに、水産物の消費拡大を目指し、観光業、飲食業とも連携しながら、水産物の域内流通の促進を図り、地域経済の活性化に繋げていくため、鳥羽ごかな消費拡大事業を展開してきました。（繰越事業）

海女漁業の振興においては、漁観連携事業の中で実施しているアワビ種苗の中間育成事業を継続させ、効率的な大型種苗の生産に取り組んだほか、海女漁での労務環境の改善を図ることや新人海女の就労を促進するための補助事業を実施しました。

また、6次産業化推進事業では、漁業所得の向上による漁家経営の安定化を目指すため、鹿児島県の獅子島で6次産業化に取り組む方を講師にセミナーを開催するとともに、国の過疎地域等自立活性化推進交付金を活用した海藻文化情報発信事業、発酵により鳥羽の魚を更に美味しく食べ、新たな付加価値向上に繋がるプロジェクトを行いました。

水産研究所では、小浜町に新しい施設が竣工したことから、職員を1人増員し、これまでの藻類の種苗生産や現地指導等のほか、新施設の交通の利便性の良さを活かし、多分野連携による交流人口・関係人口増加のため、視察の受入れなど海洋教育の拠点施設としての役割を果たす取り組みに努めました。

漁港整備事業では、老朽化した坂手漁港の護岸の機能を保全するため、平成30年度から令和元年度にかけて測量業務、地質調査、設計業務、工損調査を実施の上、工事に着手しており、令和2年度も引き続き工事を実施し、整備計画の進捗を図りました。

商工業については、就労支援事業として無料職業紹介所に就労支援員を配置することで市民と事業者とのマッチングを図ったほか、鳥羽市民向け適職診断ツールを作成し、多様な働き方の提案を行いました。また、市内事業所のPR動画の作成や、鳥羽高校において地元企業によるガイダンスを実施することで、鳥羽市で就労するきっかけづくりを行いました。

新型コロナウイルス感染症で影響を受けた事業者等に対しての支援では、国・県・市各種制度の申

請に係る相談業務を行う支援相談員を配置したほか、市内経済の回復と循環向上を目的に、プレミアム付商品券を2回発行しました。また、緊急事態措置による休業要請に全面協力していただける中小企業・小規模事業者に対して、県・市町が協調して新型コロナウイルス感染症拡大阻止協力金を交付しました。

今後も、引き続き市内経済の落込みが見込まれますが、新たな経済対策を展開することで、地域経済の回復と市内事業者の支援を図っていくとともに、産業振興による地方創生を目指した事業を継続していきます。

【新たに実施した事業】

○農業者応援事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた認定農業者に応援金を給付。

○漁業者応援事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた漁業者に応援金を給付。

○とば魚消費拡大事業

新型コロナウイルス感染症の影響による水産物の流通停滞等を解消するため、電子クーポンを発行して域内流通の促進を図る。（繰越事業）

○中小企業支援事業

新型コロナウイルス感染症で影響を受けた事業者等に対して、国・県・市各種支援制度の申請に係る相談窓口の開設。また、緊急事態措置による休業要請に全面協力していただける中小企業・小規模事業者に対して、県・市町が協調して新型コロナウイルス感染症拡大阻止協力金を交付。

○小規模事業者経営改善資金利子補給補助事業

小規模事業者経営改善資金（マル経融資）及び生活衛生改善貸付（衛経融資）を受けた事業者に対し、新たな補助金を創設する。

○プレミアム付商品券事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内経済の回復と循環向上を目的に、プレミアム付商品券を発行。

【予算執行を伴わない事業】

○三重県農林水産部CSF対策プロジェクトチームが実施する野生イノシシの豚熱感染・抗体付与検査（調査捕獲）事業に参加し、イノシシ28頭の調査捕獲を実施しました。

○三重県猟友会が実施する指定管理鳥獣捕獲等事業に参加し、イノシシ56頭の捕獲を実施しました。

○新型コロナウイルス感染症拡大により、営業等に大きな影響を受けている事業者に対して国から給付される持続化給付金において、対象であるにも関わらず、申請手続の難しさから申請できない漁業者等に対して、申請のサポートを行うことで、62件の受給につなげ、今後の事業継続の支えとなる支援を行いました。

○水産研究所においては、スマート水産業の推進を図るため、三重大学、三重県水産研究所、鳥羽商船高等専門学校、KDDI、KDDI総研と海洋DXの協定を締結し、AIやIoTなどの最先端技術を活用した水産業の実現に向けた取組をスタートさせました。

○お土産プロジェクト事業

新型コロナウイルス感染症の影響で観光客が減少し、消費期限が近づいているお土産商品の在庫を持つ事業者を支援するため、市職員及び関係団体職員が商品の購入を行うお土産プロジェクト事業を実施しました。3回実施し、延べ30事業者の総額3,465千円のお土産を購入しました。

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 5 財産管理費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
8,141	8,140		616			1,250	6,274

事業 区分	3 基金積立金		8,140 千円	事項別明細書 P 60 ~	
	積立金 (基金)			予算現額	8,141 千円
				決算額	8,140 千円
				翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう		(前年度決算額)	1,100 千円
アワビ種苗放流事業への寄附金をいただいたことから、当該寄附金をふるさと創生基金へ積み立てるとともに、みえ森と緑の県民税市町交付金基金及び森林環境譲与税基金へ積立てました。 ○主な経費 積立金 8,140千円					

(款) 5 農林水産業費

(項) 1 農業費

(目) 1 農業委員会費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
13,990	13,454		2,976			132	10,346

事業 区分	1 農業委員会給与等管理費		13,330 千円	事項別明細書 P 124 ~	
	農業委員会運営事業			予算現額	13,856 千円
				決算額	13,330 千円
				翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう		(前年度決算額)	9,446 千円
農業委員会を定例で開催し、農地法に係る申請案件の審議手続、諸証明等の事務処理を行うとともに、人・農地プラン実質化検討会を開催し、相差町茅原田地区の人・農地プランを策定・公表しました。 また、三重県都市農業委員会会長会議は、廃止となりました。 【農業委員会事務】 農業委員会 11回開催 農業委員研修 1回開催 証明書等の事務処理 5件 農業委員会案件 農地法関係 25件 申請証明関係 7件 ○主な経費 職員人件費 (1人) 8,946千円 農業委員報酬 (12人) 1,007千円 農地利用最適化委員報酬 (5人) 305千円					

農業委員会運営事業			
負担金			
科目名称	補助金等の名称	支出先	金額（円）
会費等負担金	三重県農業会議負担金	三重県農業会議	260,000
○主な財源			
県補助金 農業委員会交付金 1,275千円			
県補助金 農地集積集約化対策事業費補助金 1,683千円			
県補助金 人・農地問題解決加速化支援事業費補助金 18千円			

事業区分

2 農業者年金業務

124 千円 事項別明細書 P 126 ~

農業者年金業務		予算現額	134 千円
		決算額	124 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	134 千円

農業者年金基金法に基づき、独立行政法人「農業者年金基金」から委託を受け、農業者年金に係る年金加入者の資格及び給付関係の確認業務を行いました。

資格関係		給付関係	
資格喪失者数 1人	資格取得者数 0人	経営移譲年金受給者数 27人	老齢年金受給者数 8人

○主な経費

需用費 124千円

○主な財源

農業者年金業務 124千円

(款) 5 農林水産業費

(項) 1 農業費

(目) 2 農業総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
24,720	24,413	4				20	24,389

事業区分	1 農業給与等管理費	24,413 千円	事項別明細書 P 126 ~
農業一般管理経費		予算現額	24,720 千円
		決算額	24,413 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	12,830 千円

農業一般管理経費	
農林係職員 3 人分と会計年度任用職員 3 人分の人件費を支出しました。	
○主な経費	
一般職給（3 人）	8,513 千円
会計年度任用職員報酬（3 人）	5,406 千円
職員手当等	6,340 千円
共済費	3,870 千円

(款) 5 農林水産業費

(項) 1 農業費

(目) 3 農業振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
9,432	9,081	100	4,205		1,445	8	3,323

事業
区分

1 農業振興事業

8,094 千円 事項別明細書 P 128 ~

農業振興鳥獣害対策事業	予算現額	7,872 千円	
	決算額	7,638 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	10,721 千円

有害鳥獣捕獲許可及び有害捕獲報償金の交付を通年で実施することにより、有害鳥獣の駆除を促進するとともに、市獣害対策協議会へ補助金を交付しました。

市内の農地において、鳥獣害防止に必要な防護柵用資材購入費に係る補助金を交付し、農業者支援に取り組みました。

また、鳥獣害対策に取り組む団体へ有害鳥獣駆除業務を委託し、獣害対策の強化を行いました。

○主な経費

有害獣捕獲報償金 3,694千円

有害捕獲頭数

イノシシ	ニホンジカ	ニホンザル
275頭 (うち捕獲強化分116頭)	121頭	11頭

委託料

契約名	委託内容	委託期間	契約額 (円)
有害鳥獣駆除業務委託	鳥羽市全域の有害鳥獣駆除業務	令和2年4月15日から 令和3年3月31日まで	500,000

補助金

科目名称	補助金等の名称	交付先	金額 (円)
補助金	鳥羽市鳥獣害対策事業補助金	獣害対策用資材購入者59人	1,488,798
補助金	鳥獣被害防止総合対策事業費補助金	鳥羽市獣害対策協議会	1,260,000
計			2,748,798

農業振興鳥獣害対策事業			
○主な財源			
県補助金 鳥獣被害防止総合対策事業費補助金 3,668千円			
繰入金 ふるさと創生基金 1,445千円			
農業振興地産地消促進事業		予算現額	357 千円
		決算額	356 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	387 千円
鳥羽志摩農業協議会及び松阪食肉公社へ負担金を支出し、地域の農業振興に努めました。			
○主な経費			
負担金・補助金			
科目名称	補助金等の名称	支出先	金額（円）
会費等負担金	鳥羽志摩農業協議会会費	鳥羽志摩農業協議会	219,300
会費等負担金	三重県松阪食肉公社施設維持管理対策支援負担金	三重県松阪食肉公社	137,000
計			356,300
農業者応援事業		予算現額	100 千円
		決算額	100 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	0 千円
新型コロナウイルス感染症により影響を受けている市内認定農業者5人に対し、経営の維持・安定や意欲の向上を図るため、応援金を交付しました。			
○主な経費			
交付金 農業者応援金 100千円			
○主な財源			
国庫補助金 地方創生臨時交付金 100千円			

事業
区分

2 浦村農村婦人の家運営管理経費		370 千円	事項別明細書	P 128 ~
浦村農村婦人の家運営事業		予算現額	437 千円	
		決算額	370 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	370 千円	
浦村農村婦人の家は、浦村地区における婦人会を中心に、町内会や老人会等が、健康増進や研修及び地域活動の拠点施設として活用しており、施設の維持管理を行いました。				
○主な経費				
浦村農村婦人の家館長報酬 34千円				
需用費 230千円				

浦村農村婦人の家運営事業				
利用状況		括弧内は、令和元年度実績		
区 分	共同学習室	集会室兼 健康増進管理室	農産加工調理室	合計
回 数	2回（11回）	6回（17回）	3回（22回）	11回（50回）
人 数	55人（516人）	139人（681人）	205人（391人）	399人（1,588人）

○主な財源
浦村農村婦人の家使用料 7千円

事業区分	3 経営所得安定対策事業	617 千円	事項別明細書	P 128 ~
	経営所得安定対策事業	予算現額	666 千円	
		決算額	617 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	666 千円
経営所得安定対策の事業趣旨を農業者に周知するとともに、基礎となる水田台帳の管理調整を行いました。				
○主な経費				
需用費 273千円				
通信運搬費 168千円				
コピー使用料 102千円				
○主な財源				
県補助金 経営所得安定対策事業費補助金 537千円				

(款) 5 農林水産業費

(項) 1 農業費

(目) 4 農地費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
18,625	17,513		6,764	1,900		1,206	7,643

事業区分

1 農地管理経費	17,513 千円	事項別明細書	P 128 ~
農業基盤整備事業	予算現額	17,987 千円	
	決算額	17,134 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	15,251 千円
農業生産の基盤となる用水路や農道などの補修や改良工事を行い、機能向上や安定的な生産に向けた整備を行うとともに、長岡地区において排水路整備を行い農業基盤の整備に努めました。			
相差町朝利ヶ浜の海岸環境整備事業相差地区業務委託による海岸の維持管理、ため池浸水想定区域図作成業務委託による市内3か所のため池に係る浸水想定区域図作成の他、松尾ダム及び池中排水用ポンプの維持管理に努めました。			

農業基盤整備事業

多面的機能支払交付金事業では、引き続き2地区に交付金の支払いを行い、農地周辺の出合い作業や景観形成に係る経費について支援を行いました。

農道の維持補修目的に、町内会を中心に生コンクリート等の原材料を継続して支給し、農作業の円滑な実施に向け支援を行いました。

また、三重県伊勢農林水産事務所発注の相差排水機場機能診断業務の結果を踏まえ、喫緊の対応として、排水機点検・整備業務、注水ポンプ入替工事、井戸ポンプ取替工事、非常用発電設備バッテリー取替工事を行い、排水機能の維持に努めました。

○主な経費

委託料

業務概要	委託期間	契約額（円）
海岸環境整備事業相差地区業務委託：流木、ゴミ処理海岸施設管理	R2. 5. 15～R3. 2. 28	500, 000
ため池浸水想定区域図作成業務委託：市内3箇所の浸水想定区域図を作成	R2. 12. 25～R3. 2. 22	500, 000
松尾ダム清掃業務委託：流木除去、除草作業等	R3. 3. 1～R3. 3. 12	394, 900
排水用ポンプ点検業務委託：相差町池中のポンプ点検整備	R3. 3. 2～R3. 3. 26	215, 600
相差排水機場排水機点検・整備業務委託：排水設備の点検整備	R3. 2. 15～R3. 3. 15	774, 400

工事請負費

施行場所	工事名	工事概要	契約額（円）
相差町	長岡地区排水路整備工事	排水路整備 L=89m 鉄筋コンクリート柵渠	7, 000, 400
相差町	相差町字定作地区農道改良工事	土工、既設畔板撤去及び畔板設置	297, 000
松尾町	松尾町字ツツジ用悪水路土砂撤去工事	水路土砂掘削及び積込、法面ブロック補修、雑石練積	498, 300
浦村町	浦村町菰地区農道法面改良工事	大型土のう製作・据付	496, 100
相差町	相差排水機場防犯灯取替工事	防犯灯LED17W取付、窓ガラス取替	165, 000
河内町	河内町農道小河内線農道改修工事	土止め板設置、法面補修	199, 100
河内町	河内町上ノ寺街道地区農業用給水管設置工事	給水管（φ100mm）配管工	264, 000
浦村町	浦村町苔ヶ瀬地区水路改修工事	コンクリート取壊工・小割工、水路路盤転圧・均し工、水路底板コンクリート復旧工	495, 000
相差町	相差町茅原新田地区農業用道路修繕工事	道路修繕工事	99, 000
相差町	相差排水機場井戸ポンプ取替工事	浅井戸ポンプ設置・配管工	165, 000
松尾町	松尾町字東片ビタ農業用水路改修工事	護岸修繕工事	495, 000
浦村町	浦村町田ノ尻地区農道側溝整備工事	U型側溝整備工事	495, 000
相差町	相差排水機場非常用発電設備バッテリー取替工事	起動用バッテリーREH24-12 設置・撤去工	495, 000
相差町	相差排水機場排水機注水ポンプ入替工事	φ900mm用常時注水ポンプ及び初期注水ポンプ撤去移設工	25, 300
合計			11, 189, 200

原材料費 生コンクリート等 1, 050千円

負担金・交付金

科目名称	補助金等の名称	支出先	金額（円）
会費等負担金	三重県土地改良事業団体連合会賦課金	三重県土地改良事業団体連合会	75, 000
会費等負担金	三重県農地海岸協議会会費	三重県農地海岸協議会	15, 000
交付金	多面的機能支払交付金	茅原田推進委員会、今浦農業活動組織	1, 912, 764
計			2, 002, 764

農業基盤整備事業			
○主な財源			
県補助金	高度水利機能確保基盤整備事業費補助金	4,830千円	
県補助金	農業多面的機能支払交付金	1,434千円	
県補助金	団体営ため池等整備事業費補助金	500千円	
県委託金	海岸維持修繕事業委託金	500千円	
使用料	敷地占用料	598千円	
地方債	農業基盤整備事業債	1,900千円	
加茂川井堰等農事用水路管理業務		予算現額	638 千円
		決算額	379 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	617 千円
加茂川から受益地への用水供給施設である野畑井堰・大井井堰・松尾井堰の維持管理を行い、水田農業の維持に努めました。			
○主な経費			
需用費（光熱水費）	307千円		
需用費（修繕料）	60千円		

(款) 5 農林水産業費

(項) 1 農業費

(目) 5 園芸センター費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,078	1,040					69	971

事業区分	1 園芸センター運営管理経費		1,040 千円	事項別明細書 P 130 ~
	園芸センター運営事業		予算現額	1,078 千円
			決算額	1,040 千円
			翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	1,752 千円
野菜苗やヤマトタチバナの育成を行うとともに、園芸センターの管理運営を行いました。 また、鳥羽商船高等専門学校と連携して導入した遠隔操作による散水等システム「A I ウォーター」を活用しました。				
○主な経費				
	報償費	189千円		
	需用費（光熱水費）	288千円		
	需用費（修繕料）	245千円		

園芸センター運営事業	
○主な財源	
農産物売払収入	10千円
麴菌代他	59千円

(款) 5 農林水産業費

(項) 2 林業費

(目) 1 林業総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,350	969						969

事業
区分

1 林業管理経費

969 千円 事項別明細書 P 130 ~

森林環境保全管理事業		予算現額	1,350 千円
		決算額	969 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-2【自然共生】自然をまもる気持ちや活動を広げよう	(前年度決算額)	1,072 千円

長年の鵜被害によって木々の枯れが著しい三ツ島の樹木について剪定と伐採を行い、環境の保全に努めました。

遊歩道として利用されている、堅神町光り石地区の生活環境保全林について、景観を維持するために風倒木の処理や歩道内の整備を実施しました。

○主な経費

委託料

契約名	委託内容	委託期間	契約額（円）
三ツ島維持管理業務委託	支障木伐採等	令和2年12月18日～ 令和3年3月24日	495,000
生活環境保全林管理業務委託	堅神町字光石地区内の歩道管理及び整備	令和2年11月18日～ 令和2年12月3日	299,200
令和2年度分 合計			794,200

負担金

科目名称	補助金等の名称	支出先	金額（円）
会費等負担金	全国山村振興連盟会費	全国山村振興連盟三重県支部	45,000
会費等負担金	三重県森林協会会費	三重県森林協会	100,000
会費等負担金	三重県緑化推進協会会費	三重県緑化推進協会	20,000
計			165,000

(款) 5 農林水産業費

(項) 2 林業費

(目) 2 林業振興費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
9,129	9,118	635	8,074			30	379

事業区分

1 林業管理経費

8,919 千円 事項別明細書 P 130 ~

森と海・きずな事業（環境林整備促進）		予算現額	8,929 千円
		決算額	8,919 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-2【自然共生】自然をまもる気持ちや活動を広げよう	(前年度決算額)	13,034 千円

市の主要な森林地区である河内町字引端地区の受光伐を継続して実施しました。

みえ森と緑の県民税市町交付金を活用した事業では、各町内会等から町内の危険木伐採に関する要望を募り、優先順位をつけ、3か所の危険木の伐採を行いました。

また、森林環境譲与税を適正に管理し森林の整備・促進を図るため、基金を設置しました。

○主な経費

委託料

契約名	委託内容	委託期間	契約額（円）
森林環境創造事業委託	受光伐20%以上40%未満 2.965ha	令和2年12月11日～ 令和3年3月19日	1,270,500
危険木伐採業務委託 （神島地区）	神島町地内 伐採工 N=4本	令和2年12月18日～ 令和3年3月1日	1,980,000
危険木伐採業務委託 （藤之郷地区）	鳥羽四丁目地内 伐採工 N=1本	令和2年12月18日～ 令和3年3月12日	2,948,000
危険木伐採業務委託 （安楽島地区）	安楽島町地内 伐採工 N=2本	令和2年12月18日～ 令和3年3月26日	2,251,700
倒木処理業務委託 （浦村町）	浦村町地内 3,700kg	令和3年1月18日～ 令和3年2月18日	387,200
合計			8,837,400

○主な財源

国庫補助金	美しい森林づくり基盤整備交付金	635千円
県補助金	森林環境創造事業補助金	508千円
	みえ森と緑の県民税市町交付金	7,566千円

事業区分	2 森林病虫害防除事業	199 千円	事項別明細書 P 130 ~
	森林病虫害防除事業	予算現額	200 千円
		決算額	199 千円
		翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	3-2【自然共生】自然をまもる気持ちや活動を広げよう	(前年度決算額) 99 千円

森林病虫害防除事業

森林病虫害の防除を目的に薬剤の地上散布を継続して実施し、枯れ松を伐倒して周辺への伝播を防ぐことにより、松の維持管理に努めました。

○主な経費

委託料

契約名	委託内容	委託期間	契約額（円）
森林病虫害等防除業務	薬剤地上散布 相差町地内 100	令和2年4月16日～ 令和2年7月31日	104,500
松くい虫防除伐倒業務 (相差地区)	枯れ松伐倒 3本	令和2年10月12日～ 令和2年10月19日	94,600
合計			199,100

○主な財源

その他 松くい虫予防（薬剤散布）事業費寄附金 30千円

（款） 5 農林水産業費

（項） 3 水産業費

（目） 1 水産業総務費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
27,572	27,266	30					27,236

事業
区分

1 水産業給与等管理費

27,266 千円 事項別明細書 P 132 ～

水産業一般管理経費	予算現額	27,572 千円
	決算額	27,266 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 25,601 千円

水産業に関する事務を行うため、職員4人分の人件費等を支出しました。

○主な経費

職員人件費（4人） 27,266千円

（款） 5 農林水産業費

（項） 3 水産業費

（目） 2 水産業振興費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
323,976	267,289	47,394	180,892	33,600	4,032		1,371

水産物高付加価値化事業		予算現額	80 千円																
		決算額	80 千円																
		翌年度繰越額	0 千円																
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	80 千円																
三重県水産物消費拡大促進協議会へ負担金を支出し、同協議会の補助金を活用して菅島地区で小学生を対象とした漁業に関する学習を開催した他、「おさかなカレンダー」を学校等へ配布するなど、水産物の消費拡大や普及に努めました。また、漁業と観光の連携促進事業では、鳥羽さかなのブランド化事業として「答志島トロさわら」のブランド展開を継続的に取り組み、さわらの魚価向上や、漁業者の所得向上につなげることができました。 【「答志島トロさわら」の成果】 令和2年度シーズンは、ブランド認定漁業者が138軒、出荷実績が14,428本、39.5tとなり、平均単価においては、ブランド化前の平成29年シーズンと比較すると41.4%上昇しました。 ○主な経費 県水産物消費拡大促進協議会負担金 80千円																			
養殖漁業経営支援（漁業共済補助）事業		予算現額	159 千円																
		決算額	159 千円																
		翌年度繰越額	0 千円																
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	138 千円																
赤潮による損失に備えて養殖漁業者が加入する養殖共済の共済掛金のうち、赤潮特約に係る掛金の一部を補助することで、漁業経営の安定化に努めました。 ○主な経費 漁業共済赤潮特約事業補助金 159千円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>共済名</th><th>養殖の種類</th><th>補助件数</th><th>補助金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>赤潮特約</td><td>魚類養殖</td><td>1 件</td><td>1 千円</td></tr> <tr> <td>赤潮特約</td><td>かき養殖</td><td>87 件</td><td>158 千円</td></tr> <tr> <td colspan="2">合計</td><td>88 件</td><td>159 千円</td></tr> </tbody> </table>				共済名	養殖の種類	補助件数	補助金額	赤潮特約	魚類養殖	1 件	1 千円	赤潮特約	かき養殖	87 件	158 千円	合計		88 件	159 千円
共済名	養殖の種類	補助件数	補助金額																
赤潮特約	魚類養殖	1 件	1 千円																
赤潮特約	かき養殖	87 件	158 千円																
合計		88 件	159 千円																
養殖漁業者に対する漁業近代化資金及び災害復旧特別資金利子補給		予算現額	60 千円																
		決算額	55 千円																
		翌年度繰越額	0 千円																
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	97 千円																
平成23年の東日本大震災により被害を受けた養殖漁業者に対して、災害復旧資金等を活用した融資の利子補給を行うことで、漁業経営の安定化に努めました。 ○主な経費 津波被害を受けた養殖漁業者に対する災害復旧特別資金等利子補給金 55千円																			

養殖漁業者に対する漁業近代化資金及び災害復旧特別資金利子補給

資金名	利子補給率	件数	利子補給金額	備考
近代化災害資金	0.65%	16 件	30 千円	利子補給期間 H23～R3年度
近代化災害資金	0.70%	8 件	18 千円	
災害復旧特別資金	0.65%	6 件	2 千円	
災害復旧特別資金	0.70%	8 件	5 千円	
合計		38 件	55 千円	

水産多面的機能発揮対策事業

予算現額 486 千円

決算額 338 千円

翌年度繰越額 0 千円

まちづくりの目標 2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう

(前年度決算額) 510 千円

水産業の再生及び漁村の活性化を図ることを目的に県・市町・漁協等が設立した地域協議会に対して負担金を支出しました。また、この協議会を通じて、地域でアラメやアマモなどの藻場の保全活動等を行う団体（答志・菅島・浦村・石鏡）に支援を行いました。

○主な経費

水産多面的機能発揮対策事業負担金 338千円

漁業者応援事業

予算現額 82,726 千円

決算額 42,030 千円

翌年度繰越額 40,255 千円

まちづくりの目標 2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう

(前年度決算額) 0 千円

新型コロナウイルス感染症により、魚価の低迷や流通の停滞等の影響を受けている漁業者を支援するため、正組合員及び海女に対して応援金を給付しました。

また、市内の飲食店での水産物の消費拡大を促進するため、鳥羽豊かな消費拡大事業を行う準備をしました。

鳥羽豊かな消費拡大事業については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、緊急事態宣言や三重県独自の緊急警戒宣言などの発出により、事業の実施が困難な状況となったことから、年度内完了が見込めず、事業を翌年度に繰り越しました。

○主な経費

漁業者応援給付金給付事務等委託 430千円

漁業者応援給付金 41,600千円

	漁業者	海女	交付金額
1回目	632 件	414 件	20,920 千円
2回目	625 件	409 件	20,680 千円
合計			41,600 千円

○主な財源

国庫支出金 地方創生臨時交付金 42,030千円

種苗放流事業		予算現額	7,035 千円
		決算額	7,032 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	9,053 千円

水産資源の維持・増大を図るため、鳥羽磯部漁業協同組合が実施する有用魚種の種苗放流事業に補助支援を行いました。

漁業と観光の連携促進事業の一環として、鳥羽磯部漁協と協力してアワビ種苗の中間育成に取り組み、生残率が高く、より効率的な手法の確立に向けた実証実験を行いました。

また、(公財)三重県水産振興事業団が実施するマダイの種苗放流事業に対して、三重県外海域(鳥羽市～紀北町)の関係市町と連携して負担金を支出し、栽培漁業による水産資源の回復と持続的利用を図るための取り組みに努めました。

○主な経費

種苗放流事業費補助金 4,000千円

種苗種類	放流数量	事業費	補助率	補助金額
あわび (30mm)	17,000 個	901 千円	2/3	4,000 千円
あわび (25mm)	95,300 個	4,479 千円	2/3	
ひらめ	28,000 尾	1,176 千円	1/2	
なまこ	481 kg	770 千円	1/2	
さざえ	430 kg	687 千円	1/2	

地域展開促進事業に係るマダイ種苗負担金 1,935千円

(放流尾数：95,050尾)

アワビ種苗購入(中間育成用) 1,097千円

種苗種類	購入時(5月)		放流時(12月)		生残率
	数量	サイズ	数量	サイズ	
赤あわび※	12,000 個	34mm	10,200 個	40mm	85 %
黒あわび	10,000 個	30mm	7,020 個	35mm	70 %

※水産振興事業団追加分(1,300個)を含む

○主な財源

地方債 過疎地域自立促進特別事業債 4,000千円

繰入金 ふるさと創生基金 3,032千円

6次産業化推進事業		予算現額	6,651 千円
		決算額	4,938 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	396 千円

6 次産業化推進事業	
6 次産業化に取り組む個人や団体に対して、設備整備費等への補助支援を行うとともに、水産物を活用した特産品開発に関するセミナーを開催し、10人の参加者がありました。 また、首都圏における 6 次加工品のPRや発酵をテーマにした新たな付加価値化に取り組み、6 次産業化の促進に繋げました。	
○主な経費	
セミナー講師報償	20千円
海藻文化情報発信事業業務委託	2,492千円
発酵プロジェクト業務委託	2,200千円
6 次産業化活動支援事業補助金	125千円
○主な財源	
国庫支出金 過疎地域等自立活性化推進交付金	4,765千円
県支出金 6 次産業化ネットワーク交付金	34千円

事業区分

4 海女文化継承啓発事業

2,199 千円 事項別明細書 P 132 ~

海女文化継承啓発事業		予算現額	2,200 千円
		決算額	2,199 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	9,103 千円

海女漁業の振興と海女文化の保存・継承を目的に志摩市と共に組織する「海女振興協議会」と連携し、海女漁業振興及び海女文化の保存継承に向けた取組を推進しました。

海女さん応援事業では、今年度は新人海女を対象に海女漁で必要となる道具（ウェットスーツ、水中メガネ等）の購入に対して申請のあった5人に補助支援し、海女漁を開始するための初期投資の負担軽減による円滑な就業の促進を図りました。

海女漁業労働環境整備事業では、海女小屋等の修繕を行った2地区（安楽島・石鏡）に対して補助支援し、海女漁における労働環境改善を図り、安全・安心の確保につなげました。

○主な経費

海女振興協議会負担金	1,000千円
海女さん応援事業補助金	299千円
海女漁業労働環境整備事業補助金	900千円

○主な財源

国庫支出金 地方創生推進交付金	599千円
繰入金 ふるさと創生基金	1,000千円

事業区分 6 離島漁業再生支援交付金事業		11,974 千円	事項別明細書 P 132 ~
離島漁業再生支援交付金事業		予算現額	13,052 千円
		決算額	11,974 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	12,659 千円

離島漁業再生支援交付金事業	
離島地域の基幹産業である漁業の維持・再生を図ることを目的に、地元漁業集落（答志、和具浦、菅島、神島）が実施する海底耕耘や種苗放流、漁場監視等、実践的な取組を補助支援することで、離島漁業の活性化につなげました。	
○主な経費	
離島漁業再生支援交付金	11,895千円
○主な財源	
県支出金 離島漁業再生支援等交付金	11,974千円

事業区分 7 漁業施設整備事業		198,484 千円	事項別明細書 P 132 ~
漁業経営構造改善事業（施設分）【繰越明許費】		予算現額	211,527 千円
		決算額	198,484 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	－ 千円
桃取地区において、鳥羽磯部漁業協同組合が整備した黒海苔委託加工施設に対して補助支援することにより、当地区の冬季主要漁業である黒海苔養殖における加工経費の削減や就労環境の改善製品品質の向上等につなげました。 ○主な経費 水産業強化対策事業費補助金 198,484千円 ○主な財源 県支出金 強い水産業づくり施設整備事業費補助金 168,884千円 地方債 漁業施設整備事業債 29,600千円			

(款) 5 農林水産業費

(項) 3 水産業費

(目) 3 水産研究所費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
26,450	24,350	936				2,494	20,920

事業区分 1 水産研究所給与等管理費		24,350 千円	事項別明細書 P 132 ~
水産研究所維持管理業務		予算現額	26,450 千円
		決算額	24,350 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	17,829 千円
水産業の振興を図るため、黒ノリやワカメを中心とした藻類の養殖用種苗の生産や現地指導、養殖技術の改良研究、漁場環境調査等を実施し、漁業生産の安定化や高品質化につなげました。 小浜町に水産研究所が竣工したことから、藻類をテーマとした各種研究機関との共同研究や、多分野連携による交流人口・関係人口増加のため、視察の受入れなど海洋教育の拠点施設として役割を果たすような取組を行いました。			

水産研究所維持管理業務

市内のカキ養殖において、カキの大量へい死が続いたことから、漁場での海域環境データを把握、分析し、生産者や水産関係者が共有することで、漁業活動における不安の軽減と原因究明に努めました。

新規藻類養殖として、高値で取引されているスジアオノリの養殖に新たに取り組む漁業者を支援するとともに普及活動にも取り組みました。

【種苗生産業務】

種付け用カキ殻やクレモナ糸を活用して各種種苗を生産し、漁業者等に販売することで、養殖業での生産性の向上につながるよう取り組みました。

【販売実績】

種苗種類	数量	単価	売払い収入
ワカメ種糸	34,500 m	35～100 円	1,542 千円
黒ノリ糸状体	31,900 枚	25 円	797 千円
アラメ・カジメ・ヒロメ種苗	825 m	100～200 円	155 千円
合計			2,494 千円

【視察の受入れ及び講師】

水産研究所への視察が3団体58人、講師としては5団体約110人の参加者がありました。

○主な経費

職員人件費（3人）	18,440千円
水産研究所作業員報償	209千円
水産研究所種苗生産事業等補助業務委託	450千円
水産研究所機械警備業務委託	125千円

○主な財源

財産売払収入 水産物売払収入	2,494千円
国庫支出金 地方創生推進交付金	929千円

（款） 5 農林水産業費

（項） 3 水産業費

（目） 4 漁港管理費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
16,030	7,926		2,495			1,905	3,526

事業区分	1 漁港管理経費	7,926 千円	事項別明細書	P 134 ~
漁港漁場管理業務		予算現額	16,030 千円	
		決算額	7,926 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	5,420 千円	

漁港漁場管理業務	
市が管理している10漁港について、漁港漁場整備法、海岸法、海岸漂着物処理推進法及び市漁港管理条例に基づき、運営・管理を行い、適切かつ安全な利用促進を図りました。	
○主な経費	
海浜施設管理業務委託	2,769千円
(答志、和具(答志)、桃取、菅島の海水浴場と付随する施設の管理)	
桃取漁港駐車場管理業務委託	755千円
(指定利用25件、未指定利用145件)	
標識灯点検業務委託	499千円
(点検漁港：菅島漁港)	
海岸漂着物等業務委託	2,496千円
(菅島、桃取、坂手、和具(答志)漁港海岸の漂着物等の処理)	
○主な財源	
使用料 漁港施設等占用料	1,905千円
県支出金 海岸漂着物等対策事業補助金	2,495千円

(款) 5 農林水産業費

(項) 3 水産業費

(目) 5 漁港建設費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
195,762	194,940	2,187	138,438	39,400			14,915

事業区分

1 漁港整備事業

194,940 千円 事項別明細書 P 134 ~

国補事業		予算現額	127,135 千円
		決算額	126,506 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	60,551 千円
相差漁港において、海岸保全施設の適切な維持管理を推進するため、海岸施設長寿命化計画を策定しました。今後は、本計画に基づき、長寿命化に向けた整備を図っていきます。 また、坂手漁港護岸機能保全工事では、令和元年度繰越分に引き続き、鋼矢板を所定の深さまで打設するのに必要な岩盤の先行掘削を行い、既存施設、背後家屋などへの影響に配慮しながら工事を行いました。			
○主な経費			
職員人件費（2人）（支弁人件費）		3,510千円	
相差漁港海岸施設長寿命化策定業務委託		4,334千円	
坂手漁港護岸機能保全工事（その2）		117,000千円	
○主な財源			
国支出金 漁港施設整備事業費補助金		2,150千円	
県支出金 漁港施設整備事業費補助金		93,600千円	
地方債 漁港整備事業債		28,200千円	

国補事業【繰越明許費】		予算現額	56,049 千円																																																																				
		決算額	56,048 千円																																																																				
		翌年度繰越額	0 千円																																																																				
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	－ 千円																																																																				
坂手漁港護岸機能保全工事に着手し、鋼矢板を施工する前に岩盤線を確認したところ、設計における想定岩盤線と大きく相違しており、今回の工法における断面構造計算により、鋼矢板を所定の深さまで打設する必要があったため、一部岩盤の先行掘削を行いました。 ○主な経費 坂手漁港護岸機能保全工事 56,048千円 ○主な財源 県支出金 漁港施設整備事業費補助金 44,838千円 地方債 漁港整備事業債（過疎対策事業） 11,200千円																																																																							
市単事業		予算現額	12,578 千円																																																																				
		決算額	12,386 千円																																																																				
		翌年度繰越額	0 千円																																																																				
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	15,083 千円																																																																				
国補事業及び市単事業の対象とならない小規模工事(照明灯などの修繕含む。)について、菅島漁港外19件(うち修繕工事15件)を実施し、漁港施設の利便性向上と安全性の確保に努めました。 ○主な経費 職員人件費（2人） 8,900千円 修繕料 1,499千円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施行場所</th><th>工事名</th><th>工事概要</th><th>契約額（円）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桃取漁港</td><td>桃取漁港照明灯修繕工事</td><td>自動点滅器取替N=1個</td><td>113,300</td></tr> <tr> <td>和具(答志)漁港</td><td>和具(答志)漁港照明灯修繕工事</td><td>水銀灯ランプ取替N=1個</td><td>147,400</td></tr> <tr> <td>本浦漁港</td><td>本浦漁港照明灯修繕工事</td><td>水銀灯ランプ取替N=1個</td><td>59,400</td></tr> <tr> <td>菅島漁港</td><td>菅島漁港照明灯修繕工事</td><td>ナトリウムランプ取替N=1個</td><td>38,500</td></tr> <tr> <td>和具(答志)漁港</td><td>和具(答志)漁港海水浴場修繕工事</td><td>ドアストッパー・レバーハンドル取替N=2組</td><td>88,000</td></tr> <tr> <td>桃取漁港</td><td>桃取漁港排水路補修工事</td><td>排水路補修N=1式</td><td>22,000</td></tr> <tr> <td>和具(答志)漁港</td><td>和具(答志)漁港照明灯施設修繕工事</td><td>水銀灯配線N=1式</td><td>38,500</td></tr> <tr> <td>国崎漁港</td><td>国崎漁港海岸施設修繕工事</td><td>側溝蓋補修N=3箇所</td><td>91,300</td></tr> <tr> <td>菅島漁港</td><td>菅島漁港水銀灯修繕工事</td><td>ナトリウムランプ取替N=1個</td><td>39,380</td></tr> <tr> <td>坂手漁港</td><td>坂手漁港護岸補修工事</td><td>レミファルト補修</td><td>99,000</td></tr> <tr> <td>国崎漁港</td><td>国崎漁港照明灯修繕工事</td><td>水銀灯・自動点滅器取替N=2組</td><td>173,800</td></tr> <tr> <td>桃取漁港</td><td>桃取漁港道路反射鏡修繕工事</td><td>道路反射鏡取替N=1基</td><td>327,800</td></tr> <tr> <td>和具(答志)漁港</td><td>和具(答志)漁港照明灯施設修繕工事(その2)</td><td>LED照明灯取付N=1基</td><td>195,800</td></tr> <tr> <td>国崎漁港</td><td>国崎漁港照明灯修繕工事(その2)</td><td>自動点滅器取替N=1個</td><td>17,600</td></tr> <tr> <td>和具(答志)漁港</td><td>和具(答志)漁港漁港施設修繕工事</td><td>照明灯灯具撤去・施設修繕</td><td>47,300</td></tr> <tr> <td colspan="3">合計</td><td>1,499,080</td></tr> </tbody> </table>				施行場所	工事名	工事概要	契約額（円）	桃取漁港	桃取漁港照明灯修繕工事	自動点滅器取替N=1個	113,300	和具(答志)漁港	和具(答志)漁港照明灯修繕工事	水銀灯ランプ取替N=1個	147,400	本浦漁港	本浦漁港照明灯修繕工事	水銀灯ランプ取替N=1個	59,400	菅島漁港	菅島漁港照明灯修繕工事	ナトリウムランプ取替N=1個	38,500	和具(答志)漁港	和具(答志)漁港海水浴場修繕工事	ドアストッパー・レバーハンドル取替N=2組	88,000	桃取漁港	桃取漁港排水路補修工事	排水路補修N=1式	22,000	和具(答志)漁港	和具(答志)漁港照明灯施設修繕工事	水銀灯配線N=1式	38,500	国崎漁港	国崎漁港海岸施設修繕工事	側溝蓋補修N=3箇所	91,300	菅島漁港	菅島漁港水銀灯修繕工事	ナトリウムランプ取替N=1個	39,380	坂手漁港	坂手漁港護岸補修工事	レミファルト補修	99,000	国崎漁港	国崎漁港照明灯修繕工事	水銀灯・自動点滅器取替N=2組	173,800	桃取漁港	桃取漁港道路反射鏡修繕工事	道路反射鏡取替N=1基	327,800	和具(答志)漁港	和具(答志)漁港照明灯施設修繕工事(その2)	LED照明灯取付N=1基	195,800	国崎漁港	国崎漁港照明灯修繕工事(その2)	自動点滅器取替N=1個	17,600	和具(答志)漁港	和具(答志)漁港漁港施設修繕工事	照明灯灯具撤去・施設修繕	47,300	合計			1,499,080
施行場所	工事名	工事概要	契約額（円）																																																																				
桃取漁港	桃取漁港照明灯修繕工事	自動点滅器取替N=1個	113,300																																																																				
和具(答志)漁港	和具(答志)漁港照明灯修繕工事	水銀灯ランプ取替N=1個	147,400																																																																				
本浦漁港	本浦漁港照明灯修繕工事	水銀灯ランプ取替N=1個	59,400																																																																				
菅島漁港	菅島漁港照明灯修繕工事	ナトリウムランプ取替N=1個	38,500																																																																				
和具(答志)漁港	和具(答志)漁港海水浴場修繕工事	ドアストッパー・レバーハンドル取替N=2組	88,000																																																																				
桃取漁港	桃取漁港排水路補修工事	排水路補修N=1式	22,000																																																																				
和具(答志)漁港	和具(答志)漁港照明灯施設修繕工事	水銀灯配線N=1式	38,500																																																																				
国崎漁港	国崎漁港海岸施設修繕工事	側溝蓋補修N=3箇所	91,300																																																																				
菅島漁港	菅島漁港水銀灯修繕工事	ナトリウムランプ取替N=1個	39,380																																																																				
坂手漁港	坂手漁港護岸補修工事	レミファルト補修	99,000																																																																				
国崎漁港	国崎漁港照明灯修繕工事	水銀灯・自動点滅器取替N=2組	173,800																																																																				
桃取漁港	桃取漁港道路反射鏡修繕工事	道路反射鏡取替N=1基	327,800																																																																				
和具(答志)漁港	和具(答志)漁港照明灯施設修繕工事(その2)	LED照明灯取付N=1基	195,800																																																																				
国崎漁港	国崎漁港照明灯修繕工事(その2)	自動点滅器取替N=1個	17,600																																																																				
和具(答志)漁港	和具(答志)漁港漁港施設修繕工事	照明灯灯具撤去・施設修繕	47,300																																																																				
合計			1,499,080																																																																				

市単事業			
工事請負費		1,987千円	
施行場所	工事名	工事概要	契約額（円）
菅島漁港	菅島漁港漁港施設改修工事	栈橋補強・公園施設改修	498,300
和具(答志)漁港外1漁港	和具(答志)漁港外1漁港視線誘導標設置工事	和具及び菅島漁港N=11基	253,000
桃取漁港	桃取漁港車止め設置工事	車止め設置N=4基	385,000
石鏡漁港	石鏡漁港照明灯改修工事	LED照明灯取付N=3基	352,000
国崎漁港	国崎漁港海岸施設護岸舗装工事	オーバーレイ舗装A=21.5㎡ 側溝清掃L=45m	498,300
合計			1,986,600

(款) 6 観光商工費

(項) 2 商工費

(目) 1 商工総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
20,057	19,714	98				2	19,614

事業区分	1 商工給与等管理費	19,714 千円	事項別明細書 P 140 ~
商工一般管理経費		予算現額	20,057 千円
		決算額	19,714 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-3【雇用促進】若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	(前年度決算額)	20,939 千円
職員3人分の人件費を支出し、商工労政の一般事務を行いました。またプレミアム付商品券事業を展開することによる事業拡大に伴い、会計年度任用職員1人を配置しました。 ○主な経費 職員人件費（3人） 19,111千円 会計年度任用職員分（1人） 604千円			

(款) 6 観光商工費

(項) 2 商工費

(目) 2 商工振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
205,812	202,511	153,917				32,000	16,595

事業区分	1 商工業振興管理経費	85,160 千円	事項別明細書 P 140 ~
中小企業支援事業		予算現額	81,752 千円
		決算額	81,337 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	3,355 千円

中小企業支援事業

鳥羽商工会議所への補助金や関係団体への負担金の支出により、各団体による中小企業相談体制等の充実に寄与することができました。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者等に対して、国・県・市各種支援制度の申請等に係る相談業務を行う支援相談員を配置したほか、緊急事態措置による休業要請に全面協力していただける中小企業・小規模事業者に対して、県・市町が協調して新型コロナウイルス感染症拡大阻止協力金を交付しました。

【鳥羽商工会議所 中小企業相談事業】

鳥羽商工会議所が実施した専門員による相談・指導や各種講習会、計画策定、金融斡旋等の取組に対して補助を行い、中小企業の資金繰りや経営基盤の安定化等を支援しました。

【鳥羽商工会議所 外国人技能実習生受入事業】

日中両国の友好親善と経済交流、水産加工技術の習得を目的として、浦村・桃取地区26事業所が受入れた45人の実習生に対して、各種手続きや日本語、生活適応等の講習等の取組に支援を行いました。

【鳥羽商工会議所 サービス産業生産性向上支援事業】

専門家によるセミナーや働き方改革モデル調査、事業承継モデル調査等の個別支援を通して、参加した経営者が旅館業の現状と今後の旅館経営について理解を深めるとともに、地域の同業者が連携することで、生産性が向上する手法を学ぶ取組に対して支援を行いました。

【三重県産業支援センター】

当該支援センターは、中小企業の様々な支援を行い、地域産業の振興と地域経済の活性化を目指しています。また、本市の創業支援の連携機関であるため、起業希望者について相談を行うことができました。

【三重県貿易情報センター】

当該情報センター（ジェトロ）は農林水産物等の輸出、中堅・中小企業等の海外展開支援に取り組む組織であり、各種相談会を実施しています。市内には関わりのある事業者もあることから、今後も中小企業の商圏拡大に向け、連携していきたいと考えています。

○主な経費

補助金 鳥羽商工会議所 中小企業相談事業 2,240千円

補助金 鳥羽商工会議所 外国人技能実習生受入事業 240千円

補助金 鳥羽商工会議所 サービス産業生産性向上支援事業 400千円

負担金 三重県新型コロナウイルス感染症拡大阻止協力金に係る市町分担分 77,167千円

○主な財源

国庫補助金 地方創生推進交付金 200千円

国庫補助金 地方創生臨時交付金 78,383千円

工業活性化事業	予算現額	640 千円
	決算額	640 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 640 千円

鳥羽商船高等専門学校との産学連携事業（牡蠣養殖業者支援システムの試作開発）や技能講習会、従業員スキルアップセミナーのほか、鳥羽商工会議所工業部会が行う工業活性化支援事業の取組に対して補助金を交付し、工業の活性化を支援しました。

工業活性化事業			
○主な経費			
補助金 鳥羽商工会議所 工業活性化支援事業 640千円			
商業活性化事業	予算現額	2,140 千円	
	決算額	2,140 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	640 千円
10月に実施している海女バルイベントに加盟する店舗で利用できるプレミアム付バルチケットの発行や手づくり工房きらりの運営など商業の活性化を支援しました。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ市内経済の活性化を図るため、各種団体が一体となって行う「鳥羽の日・鳥羽の月」の取組に対して補助金を交付しました。			
○主な経費			
補助金 鳥羽商工会議所 商業活性化支援事業 2,140千円			
○主な財源			
国庫補助金 地方創生臨時交付金 1,500千円			
中心市街地にぎわい創造事業	予算現額	47 千円	
	決算額	47 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	480 千円
中心市街地を核とした各団体等で組織する委員会の取組を助成し、中心市街地の活性化を図りました。 【九鬼水軍しろやまフェスタ実行委員会 中心市街地活性化事業】 鳥羽の歴史伝統文化の伝承を目的としたPRを行う「嘉隆さくらまつり」と、飲食・雑貨店による「しろやま楽市」を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため、集客目的で作成したイベントPRチラシに係る一部費用へ支援しました。			
○主な経費			
補助金 九鬼水軍しろやまフェスタ実行委員会 中心市街地活性化事業 47千円			
工業団地造成に係る資金借入金利息補給補助事業	予算現額	270 千円	
	決算額	269 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	1-3【雇用促進】若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	(前年度決算額)	432 千円
鳥羽市開発公社に対し、松尾第2期工業団地造成資金に係る借入金に対する利息の補給補助を行いました。			
	借入利率	借入額	利子補給額
令和元年度	0.359%	120,000千円	568千円
令和2年度	0.300%	90,000千円	269千円

特定計量器定期検査事務		予算現額	33 千円
		決算額	33 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	10 千円
計量思想の啓発を行う三重県計量協会に対して負担金を支出するとともに、2年に一度の特定計量器定期検査の実施にあたり、検査対象となる市内事業所等へ事前調査と周知を行いました。 ○主な経費 負担金 三重県計量協会 10千円			
地域資源活用促進事業		予算現額	360 千円
		決算額	360 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額)	1,541 千円
鳥羽商工会議所への補助金支出により、本市の地域資源を活用した商品の開発と販路開拓を支援しました。 【鳥羽商工会議所 特産品販路開拓事業】 市の木である「やまとたちばな」を用いた商品試作や「やまとたちばなの日」PRイベントを開催する取組に対して補助金を交付し、特産品の開拓を支援しました。 ○主な経費 補助金 鳥羽商工会議所 特産品販路開拓事業 360千円			
職業能力向上支援事業		予算現額	334 千円
		決算額	334 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-3【雇用促進】若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	(前年度決算額)	334 千円
三重県職業能力開発協会の会費負担及び鳥羽商工会議所事業への補助金支出により、労働者が職業能力や技能の向上を図りやすい環境整備の支援をしました。 【三重県職業能力開発協会】 企業や団体における職業訓練その他職業能力の開発・向上や技能評価制度を普及促進させることを目的とする当該団体に県内の他自治体とともに負担金を支出しました。 【鳥羽商工会議所 一般継続事業】 鳥羽商工会議所における珠算・簿記検定の実施等を支援しました。また、商工会議所の会報作成も補助し、市内事業所へ各種情報の提供が図られるように支援しました。 ○主な経費 負担金 三重県職業能力開発協会 6千円 補助金 鳥羽商工会議所 一般継続事業 328千円			

中小企業振興資金貸付事業	予算現額	32,000 千円
	決算額	32,000 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 32,000 千円

運転・設備資金に係る融資を促進し、中小企業の経営安定化を図るため、市独自の融資制度を設けています。他制度との利率の兼ね合い等から平成27年度から貸付件数はありませんが、資金繰りを円滑に進めるための選択肢の1つとして同制度を継続しました。

○主な経費

貸付金 鳥羽市中小企業振興資金融資 32,000千円

(過去6年間の貸付実行件数の推移)

【単位：件】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
件数	0	0	0	0	0	0

小規模事業資金保証料補給補助事業	予算現額	1,153 千円
	決算額	247 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 960 千円

県小規模事業資金の融資を受け、完済した方を対象として保証料の補給補助を行いました。令和2年度は1件の補助を行い、事業の経営安定に向け、側面的な支援をすることができました。

(小規模事業資金保証料補給補助金における補助金交付件数及び補助金額の推移)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
交付件数（件）	15	5	7	5	1
補助金額（千円）	2,711	1,139	1,112	960	248

小規模事業者経営改善資金利子補給補助事業	予算現額	1,000 千円
	決算額	0 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-2【産業振興】地域資源の豊かさをわかちあおう	(前年度決算額) 0 千円

小規模事業者経営改善資金（マル経融資）及び生活衛生改善貸付（衛経融資）を受けた事業者に対し、融資に係る利子の一部を補給補助することにより、事業者の資金調達の円滑化及び経営基盤の安定化を促進します。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、国策として小規模事業者経営改善資金が実質無利子化となったこともあり、申請はありませんでした。

(小規模事業者経営改善資金利子補給補助金における補助金交付件数及び補助金額)

	令和2年度
交付件数（件）	0
補助金額（千円）	0

事業区分 3 就業支援事業		5,452 千円 事項別明細書 P 142 ~	
勤労者支援事業	予算現額	1,833 千円	
	決算額	1,833 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	1-3【雇用促進】若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	(前年度決算額)	1,913 千円
伊勢地域勤労者福祉サービスセンター会費を支出し、中小企業等の勤労者福祉の向上を図りました。 【一般社団法人 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター】 中小企業等は、大企業と異なり、単独での福利厚生制度導入や充実が困難な状況があります。伊勢地域勤労者福祉サービスセンターでは、伊勢市、鳥羽市、玉城町の事業所から加入を受け、スケールメリットを利用した健康診断・人間ドックへの助成や余暇活動機会の提供等の事業を実施していることから、当団体へ負担金を支出し、勤労者福祉の向上を図りました。 (令和2年度末時点で市内の60事業所(会員453人)が入会しています。) 【福祉フェスティバル事業】 勤労者のゆとりある生活の実現を目指し、地場産業の取り組み紹介や融資・保険・住宅等の勤労者向け情報提供を目的として開催されている当該イベントに対して補助金を交付し、勤労者福祉の向上を図りました。 ○主な経費 負担金 一般社団法人 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター 1,833千円			
雇用情報発信事業	予算現額	19 千円	
	決算額	3 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	1-3【雇用促進】若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	(前年度決算額)	5 千円
ハローワーク伊勢の求人情報は毎週更新されますが、ホームページを閲覧できる環境にない方も求人情報が入手できるように、職員がマリンターミナルやひだまり、市内ショッピングセンター等の求人情報閲覧拠点(市内15か所)に情報提供を継続して行いました。			
地域のしごと魅力発信事業	予算現額	3,798 千円	
	決算額	3,616 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	1-3【雇用促進】若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	(前年度決算額)	3,631 千円
鳥羽市無料職業紹介所を開設し、就労相談員を配置することで市民と事業者とのマッチングを図りました。また、鳥羽高等学校2年生の就職希望者(37人)を対象に地元企業によるガイダンスを令和3年2月に開催し、地域で働くイメージや状況等を説明しました。 市民就労促進業務では市内事業所のPR動画を作成し、鳥羽市で就労するきっかけづくりを行ったほか、市民就労アドバイザー業務では適職診断ツールを作成し、多様な働き方の提案を行いました。 ○主な経費 報償費 752千円 委託料 2,622千円 ○主な財源 国庫補助金 地方創生推進交付金 1,730千円			

事業区分 4 高齢者就業機会拡大事業		7,330 千円 事項別明細書 P 142 ~	
高齢者就業機会拡大事業		予算現額	7,330 千円
		決算額	7,330 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-3【雇用促進】若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	(前年度決算額)	7,330 千円
高齢者人口が増加する中、働く意欲を持った高齢者が能力や経験を活かして生涯現役で活躍する機会を拡大することは今後益々大切になってくることから、鳥羽市シルバー人材センターの運営に対して助成を行いました。（令和3年3月末日時点：会員数159人） また、シルバー人材センターの活動に係る周知等に取り組む県シルバー人材センター連合会にも負担金を支出し、その活動を支援しました。 ○主な経費 補助金 （公社）鳥羽市シルバー人材センター運営事業 7,280千円 負担金 （公社）三重県シルバー人材センター連合会 50千円			

事業区分 5 企業誘致事業		0 千円 事項別明細書 P 142 ~	
企業誘致促進事業		予算現額	148 千円
		決算額	0 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-3【雇用促進】若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	(前年度決算額)	2 千円
本社機能が多く立地する東京・大阪の企業との関係を築くため、「三重県企業ネットワークセミナー」等に参加予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により活動を中止しました。			

事業区分 6 起業育成支援事業		382 千円 事項別明細書 P 142 ~	
起業育成支援事業		予算現額	537 千円
		決算額	382 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-3【雇用促進】若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	(前年度決算額)	396 千円
起業にあたり、必要となる経営、財務、人材育成、販路開拓の知識を効率よく習得できるように専門家による起業家育成支援セミナーを開催しました。（参加者4人） また、県創業・再挑戦アシスト資金融資による融資を受けた事業者に対して保証料の補給補助を行い、経営の安定化を支援しました。（令和2年度実績：4件） ○主な経費 委託料 327千円 補助金 56千円 ○主な財源 国庫補助金 地方創生推進交付金 164千円			

事業区分

7 プレミアム付商品券事業

71,940 千円 事項別明細書 P 142 ~

プレミアム付商品券事業		予算現額	72,418 千円
		決算額	71,940 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-3【雇用促進】若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	(前年度決算額)	12,046 千円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内経済の回復と循環向上を目的に、プレミアム付商品券を発行しました。

第1弾プレミアム付商品券事業では、市内の飲食を提供する施設で利用できる商品券（プレミアム率42.85%）を市民対象に10,000冊発行し、完売となりました。また、登録事業所へ参加事業所応援金を給付しました。

第2弾プレミアム付商品券事業では、全業種で利用できる商品券（プレミアム率100%）を市民と市内で働くかたを対象に、15,041冊販売しました。

第1弾

登録業種	飲食店
登録店舗数	166店舗
販売冊数	10,000冊
参加事業所応援金	2,330千円

第2弾

登録業種	全業種
登録店舗数	231店舗
販売冊数	15,041冊
参加事業所応援金	無

○主な経費

通信運搬費 5,869千円

委託料 9,210千円

補助金 52,219千円

○主な財源

国庫補助金 地方創生臨時交付金 71,940千円

(款) 6 観光商工費

(項) 2 商工費

(目) 3 消費者行政推進費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
490	388						388

事業 区分	1 消費者行政推進事業		388 千円	事項別明細書 P 142 ~
	消費者生活安定向上推進事業		予算現額	490 千円
			決算額	388 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標		4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	785 千円
消費者トラブルに対応するため、消費生活相談室で週1日（水）の相談を受け付けて消費者トラブルに関する助言や斡旋等を行いました。令和2年度の延べ相談件数は26件でした。 また、トラブルの未然防止を図るために広報とばへのコラム掲載等を通して啓発活動を行いました。				

消費者生活安定向上推進事業

【過去5年間の相談件数の推移】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
相談件数	37	53	50	41	26

○主な経費

消費生活相談員報償 319千円

通信運搬費 69千円

(款) 10 災害復旧費

(項) 1 農林水産業施設災害復旧費

(目) 1 漁港災害復旧費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
10,750	6,504		1,034	400			5,070

事業
区分

1 漁港災害復旧事業

6,504 千円 事項別明細書 P 186 ~

漁港災害復旧事業	予算現額	10,750 千円
	決算額	6,504 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額) 4,904 千円

漁港活動の早期再開を目指し、大雨などで各漁港へ流入した漂着物の回収撤去を行いました。
また、自然災害により被災した施設の復旧を行うことで、漁港施設の復旧及び機能回復につながるように緊急的な対応を行いました。

○主な経費

石鏡漁港海岸漂着物等処分業務委託他5件 5,863千円

(石鏡、和具(答志)、桃取の漂着物及び国崎ほか漂着船の処理)

台風10号に伴う菅島漁港浚渫土砂撤去工事他1件 641千円

○主な財源

県支出金 海岸漂着物等対策事業費補助金 1,034千円

地方債 漁港災害復旧事業債 400千円

観 光 課

【総括】

令和2年度を振り返ると1年間を通して新型コロナウイルス感染症による影響を受け、観光地鳥羽としては非常に厳しい年となりました。緊急事態宣言が2回発出されるなどの影響から観光客数は前年比30.2%減少しました。集客事業などの実施が難しい中、地方創生臨時交付金を活用し「命と経済の両立」をテーマに宿泊促進や感染対策などに取り組みました。

一方、コロナ禍ではあったものの修学旅行や遠足など教育旅行においては、県内をはじめとして中高生41,961人（前年比370%増）が鳥羽を訪れる嬉しい結果となりました。また、夏から秋にかけて鳥羽市や県が宿泊キャンペーンを実施した時期には、市内宿泊施設への予約が好調でした。鳥羽市の事業展開が県全体の観光振興をけん引する結果となりました。

【新たに実施した事業】

新型コロナウイルス感染症の対策として年間を通じて各種事業を実施しました。

具体的な事業を分類すると「宿泊促進」「周遊促進」「感染対策」「情報発信」に注力し、感染状況を鑑み、その時々フェーズに合った事業を実施しました。

まず、「宿泊促進」として近郊旅行の推進に取り組みました。4月1日に実施した市民限定宿泊キャンペーンをはじめ、国や県のキャンペーンに先駆けて三重県民対象宿泊キャンペーン「GoTo待てない!キャンペーン」を実施しました。実施時期のタイミングや内容に話題性もあったことから、大きな反響と効果がありました。

「周遊促進」として、宿泊キャンペーンと連動した観光施設周遊のクイズラリーや鳥羽の子どもたち対象に観光施設に入場可能な鳥羽まるみえパスポートを配布するなど、コロナ禍で大きな影響を受けた観光施設の支援を行いました。

「感染対策」として、緊急事態宣言発出期間中に休業した観光事業者等に対し、「利用予約延期協力金」の交付、そして、鳥羽市発で日本全国へニューノーマルな旅の推進を図るため、宿泊者に対して「旅するスプレー（携帯用除菌スプレー）」や「ガリバーからの手紙（抗菌マスクケースとマスク）」を配布しました。新しい旅のエチケットの周知とともにおもてなしの表現として宿泊施設や宿泊者に好評でした。また、配布の際には宿泊施設に対し、感染予防対策応援事業の申請を条件とするなど事業を連動することにより市全体として相乗効果を生むよう感染対策に取り組みました。

「情報発信」については、工夫を凝らした鳥羽ならではの取組として、人流が制限される中、コロナ禍で会えない大切な人へ、“会えなくてもつながっている”という思いの詰まった手紙に真珠を添えて市が代わって届ける企画「from toba」を実施しました。

事業終了後の令和3年度以降も観光事業者によって継続的に取り組まれているものもあり、市が実施した新しい旅の形の提案が広がりを見せています。

【予算執行を伴わない事業】

令和元年度に開始した市内での消費促進を推進する「Let's Buy! とば」キャンペーンを、令和2年度中もSNSでの発信を中心に年間を通して実施しました。（投稿数約300、リーチ数約60,000回）

三重県が県内観光地の環境整備のため実施している「観光地の「まちあるき」の満足度向上整備支援事業（観光庁メニュー）」において、鳥羽市観光案内所に旅行者が目的地等を検索する際に便利なデジタルサイネージを整備し、案内機能の充実を図りました。

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 5 財産管理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
78,812	69,193						69,193

事業区分 3 基金積立金		69,193 千円	事項別明細書 P 60 ~
観光振興事業	予算現額	78,812 千円	
	決算額	69,193 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	2-1【観光交流】自然の恵みと出あう感動をわかちあおう	(前年度決算額)	120,667 千円
観光施策に必要な財源を確保し、将来にわたる観光振興策の推進に資するため、観光の振興、環境衛生施設の運営、消防活動に必要な施設の整備費用の財源として、徴収した入湯税から鳥羽市観光振興基金に積み立てを行いました。令和2年度はコロナ禍の観光客数の大幅な減少により、積立金が大きく減少する結果となりました。 ・平成29年度積立金 116,163,500円 ・令和元年度積立金 120,667,650円 ・平成30年度積立金 111,906,400円 ・令和2年度積立金 69,193,700円			

(款) 6 観光商工費

(項) 1 観光費

(目) 1 観光総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
77,926	77,454	181			8,232	14	69,027

事業区分 1 観光給与等管理費		65,494 千円	事項別明細書 P 136 ~
観光一般管理経費	予算現額	65,823 千円	
	決算額	65,494 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	2-1【観光交流】自然の恵みと出あう感動をわかちあおう	(前年度決算額)	59,065 千円
観光課職員人件費9人分（うち伊勢志摩観光コンベンション機構へ2人派遣）のほか、会計年度任用職員2人を雇用し、パンフレット発送、統計調査事務等の観光関連事務を円滑に進めました。 また、「Let's buy! とば」の取組をSNSで発信し、市内での買い物や飲食を促す域内流通の促進に努めました。また、鳥羽の観光PRに取り組む市内高校生に取材を行い、高校3年間の活動の記録を広報とばを通じて紹介することにより、鳥羽で活躍する若者を応援しました。 さらに、市民や事業所に向けたコロナ対策や支援情報等を発信するため、鳥羽市公式YouTubeで「TOBA CITY NEWS」の制作に取り組みました。正確な情報を迅速に発信することで、コロナ禍における市民の不安払拭につながりました。			

観光一般管理経費

	観光客数（人）	宿泊者数（人）
平成28年	4,481,154	1,847,338
平成29年	4,284,915	1,726,642
平成30年	4,313,698	1,747,584
令和元年	4,235,774	1,696,924
令和2年	2,957,034	1,211,792

○主な経費

時間外勤務手当	1,082千円
会計年度任用職員報酬	3,617千円

○主な財源

地方創生臨時交付金	181千円
観光振興基金繰入金	2,772千円

事業
区分

2 観光基本計画管理事業

2,460 千円 事項別明細書 P 138 ~

観光基本計画管理事業	予算現額	2,603 千円
	決算額	2,460 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-1【観光交流】自然の恵みと出会う感動をわかちあおう	(前年度決算額) 4,466 千円

第二次鳥羽市観光基本計画の中期アクションプログラム（令和元年度から3年間）の効果的な実施のための計画推進業務と鳥羽らしさの核である「鳥羽うみ文化」の具現化について検討を行いました。

令和2年度はコロナ禍のため、従来の観光関係者を招へいした会議の開催が困難であったことから関係者への個別ヒアリングや庁内職員による鳥羽うみ文化創出庁内会議を開催し、コロナ禍の動向の整理とアフターコロナに向けた鳥羽市の方向性について協議を行いました。

○主な経費	委託料 中期アクションプログラム管理推進支援業務	1,870千円
○主な財源	観光振興基金繰入金	2,460千円

事業
区分

3 コンベンション誘致事業

9,500 千円 事項別明細書 P 138 ~

観光コンベンション機構	予算現額	9,500 千円
	決算額	9,500 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-1【観光交流】自然の恵みと出会う感動をわかちあおう	(前年度決算額) 9,011 千円

公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構は、伊勢志摩周辺の市町と三重県及び管内観光協会、商工会議所、旅館組合、公共交通機関、民間団体などで構成された法人で、伊勢志摩広域での集大会誘致と観光振興や官民一体となった広域連携によるスケールメリットを活かした情報発信、誘客促進及び観光基盤整備等の様々な事業に取り組んでいます。

令和2年度は、5か年計画である伊勢志摩地域の観光振興に関する方向性や戦略を示す「伊勢志摩観光振興プラン」の2年目にあたり、観光立圏“伊勢志摩経済圏の活性化”を目指した取組を行うため、負担金の支出と職員2人を派遣しています。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響に対応するため重点項目として事業計画を変更し、事業者が実践する取組の見える化を行う「伊勢志摩スタンダード」を制度化するため、伊勢志摩地域の観光関連事業者を回り説明会の実施や旅行者への普及・情報発信に取り組みました。

観光コンベンション機構

1. 情報発信事業
2. 観光客及びコンベンションの誘致促進及び受入体制整備に関する事業
3. 伊勢志摩フィルムコミッション事業
4. 観光情報の調査研究、観光客満足度向上に関する事業
5. 観光産業及び観光文化の振興と人材育成事業
6. 伊勢志摩WAON寄付金の受領

○主な経費 負担金 伊勢志摩観光コンベンション機構負担金 9,500千円

○主な財源 観光振興基金繰入金 3,000千円

(款) 6 観光商工費

(項) 1 観光費

(目) 2 観光振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
247,820	193,925	76,500	4,326	4,000	55,120	1,196	52,783

事業
区分

1 観光振興事業

139,027 千円 事項別明細書 P 138 ~

観光振興推進事業	予算現額	189,786 千円
	決算額	138,827 千円
	翌年度繰越額	36,987 千円
まちづくりの目標	2-1【観光交流】自然の恵みと出あう感動をわかちあおう	(前年度決算額) 110,478 千円

観光振興を図るため、観光案内所の運営による観光情報の発信や案内のほか、各観光関係団体との連携による観光振興に取り組みました。

【委託料】

- ・鳥羽市観光案内所運営業務 13,224千円

近鉄鳥羽駅構内において、鳥羽市を中心とした伊勢志摩地域の観光案内を行い、来訪者の満足度向上に努めることを目的として観光案内所の設置及び運営を行いました。また、JNTOのカテゴリーⅡに認定されており、外国語が堪能な職員を常時配置することで、外国人観光客の来訪時に対応できるような体制を敷いています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い来訪者人数・対応案件数はともに減少となり、特に外国人対応件数に関しては、入国制限等の影響から大幅に減少となりました。

来訪者人数	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
	71,548人	72,207人	73,956人	60,992人	58,658人	20,238人
対応案件数	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
	63,128人	60,855人	58,673人	58,708人	63,860人	26,007人
外国人 対応件数	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
	1,130件	1,341件	1,425件	1,324件	1,370件	93件

観光振興推進事業

【負担金】

○伊勢志摩国立公園協会 1,447千円

伊勢志摩国立公園の維持管理・情報発信、ビジターセンターの運営管理を行いました。

- ・伊勢志摩エコツーリズム推進の広報事業
- ・鳥羽ビジターセンターの運営
- ・伊勢志摩国立公園自然ふれあい事業
- ・清掃活動事業（国立公園グリーンワーカー事業）
- ・「Happy Birthday!伊勢志摩国立公園」イベントの開催

鳥羽ビジターセンターの運営管理（利用者数）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数	6,927人	6,931人	6,197人	6,035人	2,991人

○三重県観光連盟 539千円

国内外から三重県へ来訪する観光客が三重県のファン・リピーターになっていただけるよう常に新鮮で魅力的な情報を発信し、観光誘客による観光消費額の増加及び地域の活性化に取り組みました。

- ・観光情報の収集発信
- ・誘致拡大のための広報宣伝
- ・観光産業及び観光文化の振興
- ・観光基盤整備
- ・外客誘致促進事業

○伊勢志摩学生団体誘致委員会 600千円

伊勢志摩地域における学生団体旅行の定着化及び首都圏・関西圏、東北圏、その他地域の新たな小学校・中学校・高等学校の誘致を目的として、各学校や教育委員会への訪問、旅行代理店へのセールス活動を実施しました。令和2年度は県内学校からの学生団体旅行の需要が高まった影響から令和元年度と比較して誘致実績が大幅に増加しました。

誘致実績調査集計表

伊勢志摩 地域全体	令和元年度		令和2年度	
	学校数	人数	学校数	人数
実績	396校	39,240人	966校	82,316人

○国内誘客プロモーション事業 3,000千円

当初の予定ではVISIT伊勢志摩事業と広域連携誘客事業の2事業を実施する予定でしたが、コロナ禍での事業実施となることから、内容を見直し、国内誘客プロモーション事業として、国や県が実施する事業との連動や関西圏・中京圏を中心とした誘客促進事業の展開に切り替えて実施しました。

具体的な事業としては、交通広告の展開として「いやしの、伊勢志摩へ。」をコンセプトにポスターを作成し、中京、関西、首都圏の各電鉄での中吊りポスター、駅貼りポスターなどの掲示を実施しました。また、YouTuber（ゆきりぬ（チャンネル登録者数121万人））を活用したプロモーションを実施し、実際に伊勢志摩で1泊2日の旅を体験してもらい、視聴者に対し、伊勢志摩への来訪意欲を想起させる動画を公開しました（再生回数約76,000回）。そのほかGoToトラベル地域共通クーポンの利用促進やWEBやCM広告テレビ番組での告知など様々な媒体を活用したプロモーションを行いました。

観光振興推進事業

○テレビ番組制作（三重テレビ「ええじゃないか。」） 1,179千円

当番組は、三重テレビのほか8地方局での再放送もあり全国世帯数の50.1%をカバーしています。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、収録が困難であったこともあり過去の傑作選の放送やコロナ禍を意識した観光スポットの情報を発信しました。

【その他負担金】

○伊勢鳥羽志摩観光連絡協議会 150千円 ○東海地区外国人観光客誘致促進協議会 200千円

○伊勢熊野観光連絡協議会 100千円 ○中部小型船安全協会 50千円

○伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会 100千円 ○温泉所在都市協議会 12千円

【補助金】

○鳥羽市観光協会 6,200千円

鳥羽市観光協会が実施する観光振興事業に対して補助金を支出し、観光誘客のためのプロモーションに加え、地域連携、おもてなし歓迎、インバウンド対策事業等に取り組みました。

・地域連携事業

①地域振興支援事業

（相差町・石鏡町・菅島町・国崎町・畔蛸町の行事等に対する支援）

②ミナサマール答志島（令和2年8月2日）

③鳥羽サンキューキャンペーン（令和2年10月～3月）

鳥羽旅館組合加盟旅館で利用できる宿泊補助券を500枚発行。

・広告宣伝誘致事業

①各種マスコミへの広告掲載、新聞や雑誌への広告掲載、パンフレットの改訂増刷（鳥羽市観光マップ150,000部作成、とば飯マップ30,000部作成、鳥羽みどころガイド20,000部作成）

②県外キャンペーン活動として、コロナ禍に対応した情報発信を行いました。

・受入事業

①観光ボランティア支援事業（鳥羽市内観光ガイド15件303人）

・観光振興特別事業

①漁業観光連携事業

答志島トロさわらを中心に話題性のある企画及び情報発信を行ったほか、アワビ増殖出逢いプロジェクトやアワビの天然種苗調査事業を実施しました。

②海外誘致事業

アジア圏からの観光客への訴求を重視した観光誘客プロモーション動画を作成しました。

③おもてなし歓迎事業

大型客船寄港時（11/11、11/16、1/3）に受入の対応を行いました。

④デジタルコンテンツ事業

Facebook、Instagram、TwitterなどのSNSを活用し、鳥羽市の観光情報を発信し、応募いただいた方の中から抽選で鳥羽市の特産品をプレゼントし、PRを行いました。

観光振興推進事業

○鉱泉源保護管理整備費 29,655千円

鉱泉源を活かした観光振興及び鉱泉源の保護管理・施設整備を図るため、鉱泉浴場の適正な保護・管理のための費用や、温泉を利用した誘客宣伝事業等に係る費用について、入湯税収入額の約3割を鳥羽市温泉振興会へ補助金として支出しました。

コロナ禍により予定していた事業が実施できない中、コロナ収束後に向けて魅力ある宿づくりや新しい商品価値の提供をするため、鳥羽市温泉振興会内に事業推進アドバイザーを設置しました。

○佐田浜駐車場観光対策支援事業費 5,456千円

各離島の旅館へ宿泊する個人及び団体の観光客を受け入れるため、鳥羽市開発公社へ補助金を支出し、離島観光の交通アクセスにおけるハンディの補完及び大型観光バス受入体制強化による誘客促進を図りました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響から、観光繁忙期において入込数が前年度より下回る数値となりました。一方で、各種キャンペーンの開始により個人旅行や学生団体旅行の需要が高まったことに伴い、一般乗用車及び大型観光バスの入込数は一時的に増加しましたが、通算の入込数としては減少した実績となりました。

佐田浜駐車場駐車実績一覧

	離島宿泊者分	大型バス分
平成28年度	8,157台	924台
平成29年度	6,770台	893台
平成30年度	6,894台	929台
令和元年度	6,557台	975台
令和2年度	4,592台	415台

4 離島への観光入込数

	4 離島観光入込数
平成28年度	184,750人
平成29年度	180,377人
平成30年度	177,737人
令和元年度	172,205人
令和2年度	122,463人

○観光地域ブランド確立支援事業 850千円

地域独自の価値を活かした国内外から選好される魅力ある観光地域づくりを促進するため、海女文化、御食国文化を活かした魅力づくりを行う鳥羽商工会議所への支援を行いました。

- ①ワーケーション・テレワーク普及・構築事業
- ②祈りの道 トレッキングルート造成事業
- ③食文化啓蒙・活用事業
- ④みなとまち文化事業
- ⑤海女文化商品造成・情報発信事業

○主な財源

観光振興基金繰入金 13,620千円
ふるさと創生基金繰入金 9,634千円

観光振興推進事業

【コロナ対策事業】

・鳥羽市宿泊事業者緊急対策事業(第1号補正)

新型コロナウイルス感染症の影響で大きな影響を受けた宿泊施設を応援するため、鳥羽市民を対象に市内宿泊施設の宿泊割引優待キャンペーンを実施しました。予約受付を開始してから約1週間程度で上限の1,000人に達し、大きな反響がありました。しかし、緊急事態宣言の発出や国のGoToトラベルの実施など社会を取り巻く環境は大きく変動し続け、途中中断を行うなどの対応を行い、結果として2月1日までの期間の中で合計667人の宿泊の実績となりました。

初めての試みでしたが、今まで市内宿泊施設に訪れたことがなかった市民が市内で宿泊する機会を作り出すことにより、まちの魅力の再発見にもつながり、観光地鳥羽ならではの取組として市内外から好評いただく声が多くありました。

対象者	鳥羽市民（市民1人に対して市外在住者4人利用可能）
実施期間	令和2年4月1日から令和3年2月1日まで
事業内容	1人1泊あたり5,000円割引(離島施設は6,000円引き)
実績	宿泊者数667人（うち離島26人）

○主な経費 委託料 3,961千円

○主な財源 地方創生臨時交付金 3,961千円

・鳥羽市新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る利用予約延期協力金（第3号補正）

新型コロナウイルス感染症の拡大を阻止する目的で三重県が実施する「宿泊予約延期協力金」及び「来県延期協力金（屋外体験施設）」の協力金制度に併せて、鳥羽市の独自支援として上限12万円を上乗せして交付する「利用予約延期協力金」を交付しました。

対象者	市内宿泊事業者、遊漁船事業者、観光船事業者、自然体験を目的とした観光客を受け入れている事業者、住宅宿泊事業者（民泊）
実施期間	予約延期対象期間令和2年4月20日から令和2年5月31日まで (申請期間は令和2年5月15日から令和2年7月31日まで)
事業内容	上限120,000円（予約延期を行った人数+自主休業の日数）×6,000円
実績	208件（内訳：宿泊施設123件、屋外体験施設関係85件）

○主な経費 交付金 24,816千円

○主な財源 地方創生臨時交付金 24,921千円

・未来を担う子どもたち応援事業（鳥羽まるみえパスポート配布）（第3号補正）

緊急事態宣言の発出等により休業を余儀なくされている主要観光施設の支援と鳥羽市の未来を担う子ども達に、地元の魅力の再認識と誇りの醸成を図る目的で、鳥羽観光施設連合会が発行している施設入場のチケット「鳥羽まるみえパスポート」を3～15歳の市内在住者へ配布しました。

対象者	鳥羽市に住所を有する3～15歳（1,507人、880世帯）
実施期間	令和2年5月22日（発送日）から令和3年3月31日まで
事業内容	市内観光施設の入場券
実績	192枚使用

○主な経費 報償費 3,466千円

○主な財源 地方創生臨時交付金 3,611千円

観光振興推進事業

・観光誘客促進事業（GoTo待てない！キャンペーン）（第6号補正）

経済波及効果の高い観光産業の回復を図る目的で、国や県の動きに先行または連動する鳥羽市独自の宿泊キャンペーンや市内周遊促進のクイズラリーを実施しました。新型コロナウイルス感染症で大きな影響を受けている宿泊及び観光施設などを支援し、市内経済全体の好循環を生み出しました。

宿泊キャンペーン「GoTo待てない！キャンペーン」では、夏期に予定されていた国や三重県の宿泊キャンペーン開始時期の発表が未定であったため、市内宿泊施設では、旅行者の宿泊予約控えが問題となっていました。そこで、国や県の前に鳥羽市独自のキャンペーンを実施することにより、その状況の解消につながりました。

①三重県民対象宿泊キャンペーン「GoTo待てない！キャンペーン」

対象者	三重県民
実施期間	令和2年7月8日から令和2年8月8日まで
事業内容	一人あたり1泊5,000円割引、3,000人分 ①抽選による紙クーポン600人分（2,169件7,298人分の申込あり） ②インターネット予約サイトによる割引2,400人分（即日完売）
実績	3,000人泊

②市内周遊促進

対象者	観光客全て
実施期間	令和2年7月15日から令和3年1月31日まで
事業内容	観光施設を起点に地域への周遊及び消費促進につながるきっかけとなる鳥羽の特産品が当たるクイズラリーを実施しました。応募方法は感染リスクを避けるため、専用入力フォームでの申請のみとしました。
実績	総応募数1,391人

○主な経費 委託料 18,206千円

○主な財源 地方創生臨時交付金 18,206千円

・鳥羽たびニューノーマルプロモーション事業（第8号補正）

鳥羽から日本全国へ新しい生活様式（ニューノーマル）に沿った旅の推進を図ることを目的に旅行者へ感染対策の協力依頼を行うアクションとして、宿泊者を対象に「新しい旅のエチケット（作成：旅行連絡会）」の啓発と併せて、海女にちなんだデザインを施した鳥羽市オリジナルの携帯用除菌スプレー「旅するスプレー」を配布しました。

対象者	市内宿泊客
実施期間	令和2年11月16日から開始、各施設ごとの割振本数が無くなり次第終了
事業内容	宿泊施設にて1予約につき1本提供（配布総数約2万8千本）
波及効果	鳥羽市のスプレー配布後、伊勢志摩観光コンベンション機構が「旅するスプレー伊勢志摩版」を作成し、伊勢志摩広域で観光客に配布するなど感染対策のアクションに広がりました。また、令和3年度には鳥羽市観光協会が販売用として製品化するなど安全・安心の旅を推進するきっかけとなることができました。

観光振興推進事業

また、鳥羽市への誘客を図るため、三重県などが実施する周遊促進事業に連動し、感染対策を配慮した上で伊勢湾フェリーを活用した周遊促進を行いました。

- 主な経費 委託料 8,000千円
- 主な財源 地方創生臨時交付金 8,000千円

・OTAを活用した観光誘客拡大事業（第12号及び15号補正）

OTA（インターネット予約サイト）を活用した宿泊割引キャンペーンとお土産物店等で使用可能なクーポンを発行する鳥羽独自の観光キャンペーンを実施する予定でしたが、感染者の増加や緊急事態宣言の発出等による影響から実施が困難となったことから、次年度に繰越しました。

また、旅行者へ感染予防を促し、安全・安心に鳥羽での旅を満喫していただけるよう、市民の森の大型遊具ガリバーを描いた抗菌マスクケースとマスクを宿泊者に配布しました。ガリバー旅行記では、ガリバーは医者（船医）であり旅人でもあることから、感染対策と周遊促進を呼びかけるガリバーからの手紙（市内マップ）を同封しました。

対象者	市内宿泊者
実施期間	令和3年3月8日から開始、各施設ごとの割当が無くなり次第終了
事業内容	宿泊施設にて1予約につき1セット提供（配布セット数約5万セット）
波及効果	将来的に鳥羽へ来訪するきっかけとなることを目的として、インパクトのあるガリバーをキービジュアルとしたSNSを立ち上げ発信を行いました。三重県観光連盟のホームページ「観光みえ」において、三重県を代表する観光スポットのひとつとして特集ページで掲載されたことをはじめとして、全国的なメディアでの露出にもつながりました。

また、情報発信として旅行者が鳥羽の思い出の写真をTwitterに投稿し「いいね」を108件以上（リツイートを含める）獲得すると、オンラインギフト2,000円相当が必ずもらえるキャンペーンを実施しました。

対象者	Twitterユーザー
実施期間	令和3年1月9日から令和3年2月28日まで
実績	参加者122名、いいね108件達成者数：63名、いいね合計数14,538件

コロナ禍で会えない大切な人へ会えなくても心はつながっているという思いの詰まった感謝の気持ち（手紙）を本人に代わり、鳥羽市が真珠を添えてお届けし、鳥羽を特別な場所として感じてもらうことで鳥羽ファン獲得を目指す「届けます。あなたの想いを真珠とともに…from toba」を実施しました。外国からの申込があるなど大きな反響がありました。

対象者	観光客等
実施期間	令和3年1月9日から令和3年2月28日まで
実績	申込数166件（内フランスからの申込み：3件）

- 主な経費 委託料 13,346千円
- 主な財源 地方創生臨時交付金 13,346千円

鳥羽市観光駐車場対策事業		予算現額	200 千円																							
		決算額	200 千円																							
		翌年度繰越額	0 千円																							
まちづくりの目標	2-1【観光交流】自然の恵みと出あう感動をわかちあおう	(前年度決算額)	200 千円																							
令和2年初頭からの新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により緊急事態宣言が発出されるなど、観光客数は大幅に減少しました。このため、例年実施していたシャトルボートによるパーク&シップライドは実施せず、マリンパークにおける臨時駐車場の開設と市民の森横の臨時駐車場はお盆のみ無料開放としました。 新型コロナウイルス感染症の状況を把握しつつ、例年とは違った形で臨時駐車場の開設を実施しました。																										
<table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">マリンパーク</th></tr><tr><th>台数</th><th>開催日数</th></tr><tr><td>ゴールデンウィーク</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>7月4連休</td><td>188台</td><td>4日間</td></tr><tr><td>お 盆</td><td>434台</td><td>9日間</td></tr><tr><td>9月4連休</td><td>202台</td><td>4日間</td></tr><tr><td>年末年始</td><td>124台</td><td>4日間</td></tr><tr><td>合 計</td><td>948台</td><td>21日間</td></tr></table>					マリンパーク		台数	開催日数	ゴールデンウィーク	－	－	7月4連休	188台	4日間	お 盆	434台	9日間	9月4連休	202台	4日間	年末年始	124台	4日間	合 計	948台	21日間
	マリンパーク																									
	台数	開催日数																								
ゴールデンウィーク	－	－																								
7月4連休	188台	4日間																								
お 盆	434台	9日間																								
9月4連休	202台	4日間																								
年末年始	124台	4日間																								
合 計	948台	21日間																								
○主な経費 補助金 鳥羽市観光交通対策協議会 200千円																										

事業区分

2 観光施設維持管理事業

19,548 千円 事項別明細書 P 138 ~

観光施設維持管理事業		予算現額	6,156 千円
		決算額	5,862 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-1【観光交流】自然の恵みと出あう感動をわかちあおう	(前年度決算額)	6,516 千円
観光客等が利用する公衆トイレを快適かつ安全性を確保することを目的として、ミニパーク、安楽島海水浴場、答志椿公園、樋の山、相差千鳥ヶ浜、国崎、面白展望台の各公衆トイレの定期的な清掃や修繕、浄化槽保守点検などの維持管理を行いました。 ・公衆トイレ維持管理及び修繕等 ○主な経費 委託料 公衆便所清掃業務 1,369千円 浄化槽保守点検業務 343千円			

観光施設維持管理事業

・近畿自然歩道維持管理等

神島、菅島、答志島、青峯山・朝熊山の近畿自然歩道において、鳥羽の自然豊かな景観を楽しみながら、安全・安心に利用していただくことを目的として、維持管理・清掃を行いました。

パトロール員による定期的なパトロール（年間２回）や台風等直後におけるパトロールや草刈りを実施しました。

○主な経費 委託料 近畿自然歩道パトロール員業務（４地区） 359千円

・日和山遊歩道維持管理等

伊勢志摩国立公園ステップアッププログラム2020におけるビューポイントに指定されている日和山について、観光客等が安心・安全に遊歩道を利用していただくことを目的に草刈・清掃を年２回に分けて実施しました。

○主な経費 委託料 日和山遊歩道草刈・清掃業務（年２回） 142千円

・佐田浜東公園足湯維持管理等

来訪者が快適に利用できるよう足湯のろ過装置点検や配管清掃（年間２回）を実施し、鳥羽市温泉振興会による水質検査（毎月２回）等の維持管理を行いました。また、コロナ禍で密を避けるため、一時的に足湯の閉鎖を行いました。

○主な経費 委託料 佐田浜東公園足湯保守点検業務 249千円

○主な財源 近畿自然遊歩道維持管理委託金 326千円 観光振興基金繰入金 894千円

鳥羽展望台維持管理事業	予算現額	13,711 千円
	決算額	13,686 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-1【観光交流】自然の恵みと出会う感動をわかちあおう	(前年度決算額) 5,549 千円

パールロードのドライブイン機能である箱田山園地（鳥羽展望台）の利用促進及び自然保護を目的として、周辺施設であるトイレ、駐車場広場の清掃、木の剪定や電気設備保守管理等、箱田山園地施設の維持管理を行いました。

また、箱田山園地の公衆トイレの老朽化（昭和48年建造）による故障部分の修繕や、トイレの洋式化、ベビーチェア設置工事等を行いました。

○主な経費

委託料 箱田山園地（鳥羽展望台）広場維持管理業務 4,453千円

使用料 859千円

工事請負費 鳥羽展望台公衆トイレ改修工事 8,073千円

○主な財源 自然公園等施設整備事業交付金 4,000千円

観光施設整備事業債 4,000千円

ホスピタリティ戦略事業		予算現額	2,988 千円
		決算額	2,968 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-1【観光交流】自然の恵みと出会う感動をわかちあおう	(前年度決算額)	2,551 千円
・市バリアフリー観光促進事業 体の不自由な方や高齢者等の観光客に対して、安心して市内を周遊していただくことを目的に車椅子の無料貸し出しや観光施設や宿泊施設等を対象としたバリアフリー勉強会、バリアフリー化へのアドバイスや指導を行いました。 ○主な経費 委託料 1,800千円 ・市バリアフリー改修事業 市内の宿泊施設及び観光施設等におけるバリアフリー改修工事に係る経費の一部を補助しました。 ①補助申請件数：1件（補助額200千円） ○主な経費 補助金 200千円 ・観光・防災Wi-Fiステーション維持管理 鳥羽市を訪れる国内旅行者及び訪日外国人等の観光客が必要な観光関連情報の収集・旅行体験等をスムーズに受発信でき、かつ観光客・住民が災害発生時に災害関連情報の収集・情報伝達の手段とするため、屋外向けの無線LANの維持管理を行いました。 ○主な経費 需用費 24千円 使用料 944千円 ○主な財源 観光振興基金繰入金 2,968千円			
旅行商品・プロモーション戦略事業		予算現額	6,857 千円
		決算額	6,856 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-1【観光交流】自然の恵みと出会う感動をわかちあおう	(前年度決算額)	15,486 千円
鳥羽の特性を活かした効果的な情報発信による誘客促進を実施しました。 ・海女ノベルティ制作 鳥羽市の重要な地域資源である「海女文化」を観光客等に発信することを目的に、イベント出展やセールス活動、視察受入等の際に配布するノベルティを制作しました。 ○主な経費 需用費 600千円 ・スポーツ観光推進事業 スポーツ合宿の誘致による宿泊産業及び観光産業の発展を目的として、スポーツ合宿を行う団体（延べ宿泊人数15人以上）に対して補助を行いました。 利用実績のある団体への連絡や、県内の大学等へパンフレットを送付するなどの合宿誘致を行いました。また、鳥羽市観光協会を通じて、市内宿泊施設等への情報発信を行い、本補助金の利用促進及び市内での認知度向上を図りました。			

旅行商品・プロモーション戦略事業

鳥羽での合宿をより効果的に情報発信するため、パンフレットを具体的な内容に更新を行いました。また、パンフレット作成の際には、地元高校生にモデル出演をいただきました。

(補助団体数：1団体) (延べ宿泊者数：17人)

○主な経費 補助金 市スポーツ観光推進事業補助金 17千円

・エコツーリズム推進協議会

エコツーリズムを推進するため、鳥羽市エコツーリズム推進協議会にて「循環と連携」をテーマに、フィールドワーク等の開催を通じて鳥羽のエコツーリズムの普及啓発活動や教育機関と連携した人材育成事業等を実施しました。

・各種イベントへの出展 ・視察の受入れ、ヒアリング対応

・伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会の活動参加

○主な経費 補助金 エコツーリズム推進事業 240千円

・鳥羽市広告宣伝戦略委員会

鳥羽の魅力を全国に発信するため、コロナ禍で広告できるツールとしてウェブやSNSを活用した鳥羽市の広告を実施しました。

①鳥羽の日のPR動画の作成

②特設ウェブサイトの構築

鳥羽の観光の名所や名産などを紹介した特設のウェブサイトを作成し、鳥羽の魅力を発信しました。

③鳥羽の魅力を発信するYoutube動画の作成

コロナ禍でお家で楽しむことを目的とした「トバササイズ」のYoutube動画を作成しました。動画を通してエクササイズをしながら、鳥羽の観光スポットをオンライン上で巡り、鳥羽の魅力を伝えました。

④SNSでの広告運用

Facebook、Instagram、Twitterにて新鮮な海の幸や鳥羽のおすすめ観光スポットを紹介し、鳥羽の魅力を広告配信しました。

○主な経費 補助金 鳥羽市広告宣伝戦略事業 6,000千円

○主な財源 地方創生推進交付金 308千円 観光振興基金繰入金 6,548千円

観光魅力アップ事業	予算現額	2,197千円
	決算額	2,197千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	2-1【観光交流】自然の恵みと出会う感動をわかちあおう	(前年度決算額) 3,209千円

宿泊客の誘致を目的として、旅館組合等が自主的に行う鳥羽観光の魅力を高める事業への支援を行いました。地域の旅館組合が自ら考案して行う取組を尊重しての実施となりました。

①鳥羽旅館事業協同組合「鳥羽お宿マネー創出誘客促進事業」 補助額1,200千円

②答志島旅館組合「フォトツーリズムin答志島」 補助額997千円

○主な経費 補助金 2,197千円

○主な財源 観光振興基金繰入金 2,197千円

離島の魅力創出事業		予算現額	3,598 千円
		決算額	3,598 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-1【観光交流】自然の恵みと出会う感動をわかちあおう	(前年度決算額)	5,455 千円
鳥羽観光の特徴のひとつである離島の魅力を創出し、観光客誘致を図るため、離島間の連携ネットワークの強化、ガイド育成のための取組、島遺産100選等の島の魅力を活かした情報発信等を行う離島の魅力向上戦略事業を実施しました。また、位置情報による島の自然や地形の説明、乗船方法、各離島の魅力を多言語で紹介するスマートフォン・タブレット用のアプリの運用及びフランス語の機能追加を実施しました。 ・離島の魅力向上戦略事業 ①各離島におけるガイド育成資料の作成：7 地区 ②島むすび会議実施回数：4 回 ③離島合宿パンフレット配付団体数：105団体 ④体験学習受入数：11校 ⑤企業合宿受入数：1 社 ○主な経費 委託料 離島の魅力活用戦略事業 2,400千円 ・IoTによる離島の魅力向上及び誘客促進事業 ①案内個所：離島の観光スポットや交通拠点など47のポイント紹介 (神島、答志、桃取、菅島、坂手の5 地区) ②掲載写真：60点程度 ③対応言語：日本語、英語、フランス語 ○主な経費 委託料 IoTによる離島の魅力向上及び誘客促進事業 1,198千円 ○主な財源 離島活性化交付金 1,799千円 観光振興基金繰入金 1,700千円			
漁業と観光の連携事業		予算現額	3,852 千円
		決算額	3,297 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-1【観光交流】自然の恵みと出会う感動をわかちあおう	(前年度決算額)	3,053 千円
鳥羽市の基幹産業である漁業と観光の連携により、それぞれの強みを活かした魅力づくりによる産業活性化を図るため、鳥羽磯部漁業協同組合、鳥羽市観光協会、三重県とともに「鳥羽市・漁業と観光の連携促進計画（平成27年3月策定）」に沿った事業に取り組みました。 ・漁業者の所得向上構築事業 海女の主要漁獲物であるアワビ資源の将来的な回復に向けて、種苗の大型化（50mm種苗）を図るため、鳥羽湾（小浜漁港内水産研究所前桟橋、安楽島漁港内桟橋）において、蓋付きプラスチック製メッシュコンテナ籠25基を制作し、アクリル板等の資材を活用した種苗の育成を実施しました。放流当初30mmであった種苗が赤アワビでは殻長40mmまで成長し、黒アワビでは殻長35mmまで成長しました。また、安楽島漁港内での種苗の中には赤アワビで殻長平均54mmまで成長し、大きい個体では60mmを超える個体もありました。今後のアワビの資源増殖に向けて、貴重な実験結果となりました。			

漁業と観光の連携事業

・鳥羽ざかなブランド化事業

平成30年度にブランド化した「答志島トロさわら」について、より一層水産物の価値や評価を高め、消費者に魅力を感じてもらえるような「鳥羽ざかな」とするため、ブランド基準の改定により漁業者向けの漁のマニュアル作成など品質向上を図るとともに、ブランドを取り扱う漁業者と取扱店の認定制度を整備し、ブランド価値の向上に向けた取組を行いました。

令和2年度のシーズンの「答志島トロさわら」の出荷実績として、本数14,428本、重量39.5t（参考：令和元年度シーズン本数12,339本、重量30.0t）という結果になりました。ブランド対象サイズのサワラの平均単価は知名度とともに年々着実に上がっており、令和2年度シーズンはブランド化前の平均単価より41.4%上昇しました。

また、ブランド認定漁業者は138軒（令和元年度87軒）の登録となりました。

・密漁対策事業

密漁防止の啓発活動に地域一体として取り組むことにより、密漁に対する関心を高めることができました。

・海洋資源モニタリング調査事業

鳥羽は豊かな漁場や藻場を誇る地域ですが、資源の枯渇は進んでいます。そこで鳥羽の海の現状を把握し、環境保全に活かすため、三重大学や水産研究所と連携し、海洋資源のモニタリング調査を行いました。

・魚食普及事業

子どもたちを対象に地域の魅力に触れてSDGsを学ぶ行事や鳥羽の魚を活用した試作会に食材等を提供し、食を通じて鳥羽の魅力を伝えました。

○主な経費 補助金 漁業と観光の連携促進事業補助金 3,200千円

○主な財源 地方創生推進交付金 200千円 観光振興基金繰入金 3,050千円

芸術を活かした観光振興事業

予算現額 6,645 千円

決算額 5,821 千円

翌年度繰越額 0 千円

まちづくりの目標 2-1【観光交流】自然の恵みと出会う感動をわかちあおう

(前年度決算額) 4,684 千円

「鳥羽＝アート」のイメージ付けや、市民や観光客が芸術に親しむ機会の創出、アーティストを招へいし、市内をはじめとして、伊勢市や東京都で作品展示や情報発信に努めました。

・記録誌「鳥羽うみアートプロジェクト2020-2021」作成

市内のアートに関する展示や催物を集めた記録誌の制作と情報発信

・展示会「自然とともに生きる海女とアーティスト昔と今。石鏡町と神保町にダイブ！」開催

海女と海女の浮世絵から国内外の女性アーティスト6人がインスピレーションを受けて制作した作品の展覧会で、展示は以下①～④の会場と会期に分けて実施しました。

展示① 石鏡町旅館内（5か所）の展示 7/18～3/31 紙の作品18点

展示② 石鏡町漁港周辺の屋外展示 1/23～3/31 インスタレーション等作品6点

展示③ 海の博物館での展示 1/23～3/31 紙の作品18点

展示④ 東京都千代田区神保町の古書店（5か所）での展示 3/16～3/31 紙の作品34点

実績：オーストラリア大使館ホームページ掲載や現地視察、バイリンガルアートメディア「Tokyo Art Beat」でのレポート記事掲載、三重テラス配信のYouTubeでの配信など

芸術を活かした観光振興事業

- ・おおたはるか個展「portrait」「鳥羽図鑑」
鳥羽出身・在住のアーティストと三重県指定伝統工芸品である伊勢和紙との連携による個展を開催しました。
場所：伊勢和紙ギャラリー(伊勢市大豊和紙工業株式会社内)
作品数：人物画や鳥羽の魅力など96点
実績：来場者450人、鳥羽高校と連携し、生徒による運営支援や観光PRを実施
 - ・佐藤紘子展「face to face with」
コロナ禍、人と人が顔を合わせる大切さへの気づき、問題に正面から向き合う強さを表現することをテーマに作品展示を実施しました。
会期：2/9～2/23
場所：鳥羽市立図書館
作品数：鳥羽にゆかりのある動物の顔を中心に15作品
実績：来館者数3,148人
 - ・絵本「おでかけトバード」制作
架空の鳥であるトバードが市内各地を飛び回り、鳥羽の魅力を伝えると同時に外出して体験することの重要性を伝える鳥羽オリジナル絵本を制作しました。
絵本は市内外の図書館や学校、小児科のある病院、カフェを中心に配布し、何気ない日常生活の中でアートや鳥羽の魅力に触れる機会を創出しました。
- 主な経費 報償費 2,480千円 委託料 2,640千円
○主な財源 地方創生推進交付金 1,924千円
観光振興基金繰入金 3,896千円

インバウンド対策事業

予算現額	11,830 千円
決算額	10,613 千円
翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標 2-1【観光交流】自然の恵みと出会う感動をわかちあおう

(前年度決算額)	21,421 千円
----------	-----------

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により鳥羽市への外国人観光客数が大幅に減少したことから、インバウンド需要の回復に向けた助走期間として捉え、市内観光事業所の外国人観光客受入環境の整備、海外への情報発信、モニターツアーの実施等を行いました。

・インバウンド対策事業

鳥羽市における外国人観光客の受入環境整備を図るとともに、更なる誘客と海外への情報発信を目的として、インバウンド専門の人材の配置、外国人モニターツアーの実施、海女文化紹介パネルの作成等を行いました。

- ①外国人モニターツアー訪問施設数 : 9 か所
- ②海女に関するパネル作成数 : 6 枚
- ③受入体制強化のための研修実施回数 : 1 回

○主な経費 委託料 4,000千円

・海女情報発信事業

令和元年度の海女文化フランスPR事業で構築したフランスの関係機関との友好関係を継続するために、鳥羽に関連する商品とメッセージの送付や受入環境整備として海女に触れ合うことができる旅行商品の造成を行いました。

○主な経費 委託料 2,200千円

インバウンド対策事業

・鳥羽港クルーズ船誘致受入協議会

クルーズ船の鳥羽港への寄港に際し、港での受入対応の充実・強化に取り組み、乗船客や乗組員の満足度向上を図るとともに、乗船客を伊勢志摩地域の各地へと誘客することで、地域の消費拡大につなげることを目的に、寄港時の受入対応、クルーズ船社や地域住民に対しての情報発信、入出港に係る海域利用者との調整を行いました。また、令和2年度はコロナ禍での寄港となったことから、ガイドラインに則した受入対応等調整を図りました。

①寄港数：邦船 2回

○主な経費 会費等負担金 1,000千円

・伊勢志摩観光コンベンション機構（インバウンド対策事業）

令和2年度は伊勢志摩地域における将来的な欧米豪からの誘客に向けて、令和元年度までに築いた各国旅行代理店やランドオペレーターへの継続的な魅力発信や、日本国内在住の造成担当者を招へいし旅行を促進するためのプロモーションを実施する等の来年度以降の誘客に向けた施策をそれぞれ実施しました。

○主な経費 会費等負担金 3,000千円

○主な財源 観光振興基金繰入金 10,613千円

建設課

【総括】

道路や公園等、市民の方が安全で快適に利用できるよう、各種交付金を活用した計画的な改修や直営等による応急修繕を行い、施設の維持管理に努めるとともに、台風等の豪雨災害により被災した道路や河川施設については、復旧工事を行いました。なお、令和元年度に被災し、繰り越して工事を行っていた市道五ヶ谷線（国崎町）においては、令和2年9月に復旧工事が完了しました。

道路事業については、定期的なパトロールを実施し、応急修繕や施設の除草作業を直営で行ったほか、各町内会等からの要望を踏まえて、適宜工事を行い、道路環境の整備に努めました。

道路交付金事業としては、令和元年度に引き続き、市道森崎村山線道路改良工事（船津町）に伴う用地購入及び建物補償を行いました。建物移転に時間を要することから、年度内の完了が見込めず、翌年度に繰り越しました。また、橋梁等の点検結果に基づき、改修が必要となった城山トンネルや錦橋などの長寿命化工事を行いました。橋梁長寿命化工事など、年度内に完了が見込めない工事については、翌年度に繰り越しました。

公園事業については、令和元年度より工事を行ってきた鳥羽市民体育館サブアリーナが完成し、令和2年11月より供用開始しました。また、令和3年度の三重とこわか国体の会場となるメインアリーナにおいては、空調設備の設置や駐車場整備工事について債務負担行為を設定し、整備しています。

都市公園交付金事業については、鳥羽市公園施設長寿命化計画に基づき浜辺公園の遊具の改修を行ったほか、公園の防犯性向上及び隣接する通学路の安全性向上を図るため、鳥羽中央公園の園路整備を行いました。

市営住宅事業では、入居者の住環境を維持するため、56件の修繕を実施するとともに、年5回の入居者募集を行い、住宅確保困難な方に市営住宅の提供を行いました。また、老朽化した木造市営住宅の解体（1戸）を行い、周辺住民の方への環境整備に努めました。

地籍調査事業では、第7次国土調査事業十箇年計画に基づき、相差15地区の一筆地調査・測量及び令和元年度に実施した相差13、14地区、畔蛸2地区の成果の閲覧を行いました。これにより、令和2年度における調査の進捗率は35.6%となりました。

建築物耐震化促進事業については、国や県の補助金を活用し、大規模建築物の改修工事（1件）のほか、個人木造住宅の耐震診断業務（12件）、補強設計業務（3件）、耐震補強工事（2件）に対して補助金を交付しました。

定住促進住宅整備事業については、市営住宅に整備した短期お試し住宅で4件、中之郷の移住体験住宅で1件の利用があり、短期お試し住宅を利用された1件（2人）の方が、鳥羽市で定住することとなりました。

各課からの委託を受けた工事18件、業務委託1件について、設計・監督業務を行いました。

【新たに実施した事業】

市営住宅の空き家解消を目的として、入居希望者自らが自由にリフォームすることができるよう、「鳥羽市営住宅DIY補助金事業」を創設し、募集を行ったものの、応募者はありませんでした。その他、これまで単身での入居を認めていなかった団地の一部の住戸について、単身入居を認め、住宅の確保が困難な方への市営住宅の提供を行いました。

また、急傾斜地崩壊危険区域に指定されている石鏡公民館の背後地において、三重県が実施した土砂崩壊防止工事に伴う負担金を支出しました。これにより、石鏡公民館が避難所として位置づけられました。

その他、市民の森公園一帯の賑わいづくりの創出を目的として、図書館裏の樹木を伐採し、環境整備を行いました。

【予算執行を伴わない事業】

空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、管理不全な空家として8件の通報がありました。通報があった空家について、現地確認のうえ、所有者調査を行い、所有者に対して適正な管理をするよう助言を行った結果、3件について適切な処理がされました。

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 5 財産管理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
89,971	89,971						89,971

事業 区分	3 基金積立金		89,971 千円 事項別明細書 P 60 ~	
	積立金（基金）	予算現額	89,971 千円	
		決算額	89,971 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう	(前年度決算額)	89,954 千円

令和元年度の都市計画税の収入額から事業に係る市債の元利償還金及び事業費の充当額を差し引いた残額を基金として積み立てました。

○主な経費

都市計画事業基金 89,971 千円

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 9 交通安全対策費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
2,500	2,496				2,495		1

事業 区分	2 交通安全施設整備事業		2,496 千円 事項別明細書 P 64 ~	
	交通安全対策施設整備事業	予算現額	2,500 千円	
		決算額	2,496 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう	(前年度決算額)	2,499 千円

現在の交通情勢に対応するため、道路反射鏡（カーブミラー）や区画線の整備を行い、歩行者・車両等の安全確保に努めました。今後も引き続き交通安全施設の整備に努め、安全で安心な道路環境づくりを推進していきます。

○主な経費 市道長岡線区画線修繕工事 他6件 2,496 千円

○主な財源 ふるさと創生基金 2,495 千円

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 18 諸費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
242	241				241		0

事業区分

5 過年度国庫支出金等返還金		241 千円	事項別明細書	P 72 ~
過年度国庫支出金等返還金		予算現額	242 千円	
		決算額	241 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	3 千円	
地方創生拠点整備交付金の預金利息について、国庫に返還する必要があることから、利息収入により得た額を返還しました。				
○主な経費 地方創生拠点整備交付金過誤納償還金		241 千円		
○主な財源 地方創生拠点整備交付金基金繰入金		241 千円		

(款) 7 土木費

(項) 1 土木管理費

(目) 1 土木総務費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
123,164	120,791	31,750	16,505	2,400		40	70,096

事業
区分

1 土木給与等管理費

53,905 千円

事項別明細書

P 144 ~

土木一般管理経費	予算現額	54,594 千円
	決算額	53,885 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう	(前年度決算額) 52,512 千円

市所有の建築物の大規模改修に要する費用の算定業務のほか、伊勢二見鳥羽ライン無料化に伴う協力金を支出しました。

○主な経費

職員人件費	5 人分（給料・職員手当・共済費）	30,266 千円
会計年度任用職員人件費	1 人分	2,405 千円
建築物基本構想作成支援業務委託	2 件	594 千円
伊勢二見鳥羽ライン無料化負担金		20,000 千円

○主な財源

県支出金	建築基準法施行事務交付金	13 千円
諸収入	地図代他	40 千円

伊勢・志摩連絡道路建設促進事業		予算現額	20 千円
		決算額	20 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを上げよう	(前年度決算額)	20 千円
伊勢・志摩連絡道路全線開通に向けた要望活動を行いました。			
○主な経費			
伊勢・志摩連絡道路建設促進同盟会負担金			20 千円

事業区分	2 建築物耐震化促進事業	64,446 千円	事項別明細書 P 144 ~
建築物耐震化促進事業		予算現額	64,510 千円
		決算額	64,446 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを上げよう	(前年度決算額)	41,889 千円
耐震改修促進法の改正により、民間の不特定多数の人が利用する大規模建築物に対し、国、県の補助制度を活用し、耐震改修費用の一部の補助を行い、大規模建築物の耐震化を図りました。			
また、地震による建築物の倒壊の被害から生命及び財産を保護するため、個人木造住宅の耐震化に取り組む補助事業を推進しました。今後も耐震化の促進のため、事業の必要性を広報するとともに個別に住宅訪問するなど普及啓発を継続して行っていきます。			
○主な経費			
大規模建築物耐震改修事業費補助金		1 件	60,922 千円
木造住宅耐震診断等業務委託他（診断件数		12 件)	584 千円
木造住宅耐震補強工事費補助金		2 件	2,600 千円
木造住宅耐震補強設計事業費補助金		3 件	240 千円
○主な財源			
国庫支出金		社会資本整備総合交付金	31,750 千円
県支出金		大規模建築物耐震改修事業費補助金	15,230 千円
県支出金		木造住宅耐震補強等事業費補助金	1,262 千円

事業区分	3 移住・定住促進事業	40 千円	事項別明細書 P 144 ~
空き家活用促進事業		予算現額	40 千円
		決算額	40 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	2,296 千円
平成29年度以前に空き家バンクへ登録のあった物件が成約したことから、奨励金を支出しました。			
○主な経費			
空き家バンク制度活用促進奨励金（成約）		1 件	40 千円

事業区分 4 急傾斜地崩壊対策事業		2,400 千円	事項別明細書 P 144 ~
急傾斜地崩壊対策事業		予算現額	4,000 千円
		決算額	2,400 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう	(前年度決算額)	0 千円
石鏡町地内(石鏡公民館背後地)において、三重県が実施した法面崩壊対策工事に伴う、市負担金を支出しました。これにより、石鏡公民館が避難所として位置づけられました。 ○主な経費 県単急傾斜地崩壊対策事業市町負担金 2,400 千円 ○主な財源 急傾斜地崩壊対策事業負担金債 2,400 千円			

(款) 7 土木費

(項) 1 土木管理費

(目) 2 国土調査費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
26,752	26,718		16,287			50	10,381

事業区分 1 地籍調査事業		26,718 千円	事項別明細書 P 144 ~
地籍調査事業		予算現額	26,752 千円
		決算額	26,718 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう	(前年度決算額)	37,585 千円
第7次国土調査事業十箇年計画に基づき、相差15地区(0.34km²/218筆)の一筆地調査及び測量業務を実施し、地籍の明確化を図りました。また、令和元年度に一筆地調査及び測量を実施した相差13,14地区、畔蛸2地区(0.45km²/526筆)の地籍図・地籍簿を作成した後に、地権者に対し閲覧を実施しました。それに加えて、次年度調査地区である畔蛸3地区の地籍図根三角測量を実施し、事業の進捗を図りました。 ○主な経費 職員人件費 1人分(給料・職員手当・共済費) 3,953 千円 会計年度任用職員人件費 1人分 2,493 千円 地籍調査測量業務委託 16,918 千円 ○主な財源 県支出金 地籍調査費負担金 16,287 千円 手数料他 50 千円			

(款) 7 土木費

(項) 2 道路橋りょう費

(目) 1 道路維持費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
73,293	72,777		2,195			24,610	45,972

事業区分	1 道路橋りょう給与等管理費	27,060 千円	事項別明細書 P 146 ~
道路維持管理経費	予算現額	27,398 千円	
	決算額	27,060 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう	(前年度決算額)	26,227 千円
市内の市道、里道、町内道路の維持を行うため、人件費等の管理経費の支出を行い、市民の生活環境の改善と安全の確保に努めました。 ○主な経費 職員人件費 3人分(給料・職員手当・共済費) 18,335 千円 会計年度任用職員人件費 2人分 5,592 千円 県社会基盤整備協会会費 1,176 千円 日本道路協会会費 30 千円 ○主な財源 使用料 13,297 千円			

事業区分	2 道路維持事業	45,717 千円	事項別明細書 P 148 ~
道路維持業務	予算現額	45,895 千円	
	決算額	45,717 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう	(前年度決算額)	34,938 千円
道路利用者が安全で快適に通行できるよう、道路機能を維持するため市内をパトロールし、舗装、水路及び付帯構造物等の破損箇所の補修を行うとともに、市道の草刈り業務に加え、三重県の委託事業により国道及び県道の歩道部分の草刈り業務を行い、安全で快適な道路環境の整備に努めました。 工事請負費については、緊急性の高い箇所、町内会等より要望のあった箇所を中心に、地元関係者と協議しながら整備を行いました。 また、水道課より委託を受け、岩倉水源地周辺の道路工事を行いました。 ○直営作業の件数 ・パトロール 146 回 ・道路補修 70 件 ・草刈り等 118 件 ○主な経費 市道岩倉安楽島線外8線道路草刈清掃業務委託 1,465 千円 一般国道42号他3線歩道清掃業務委託 2,195 千円 工事請負費 71件 41,295 千円			

道路維持業務			
○主な工事			
工事名	施行場所	事業内容	契約額
市道若杉団地幹線1号道路改良工事	若杉町	施工延長 38.0m	2,110 千円
市道幸丘団地本線外2線舗装補修工事	船津町	施工面積 201㎡	1,799 千円
市道杉ヶ瀬岩倉線外1線舗装工事	岩倉町	施工面積 2,117㎡	6,567 千円
市道田城笠松線支線舗装工事	岩倉町	施工面積 474㎡	4,488 千円
市道糸屋世古線排水路整備工事	鳥羽三丁目	施工延長 33.1m	2,214 千円
市道長岡線外1線道路修繕工事	相差町	施工面積 327㎡	3,087 千円
その他維持工事65件			21,030 千円
○主な財源 県支出金 国道42号他歩道維持管理業務委託金		2,195 千円	
岩倉水源地等周辺整備工事負担金		11,299 千円	

(款) 7 土木費

(項) 2 道路橋りょう費

(目) 2 道路新設改良費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
171,960	130,781	43,929		61,300			25,552

事業区分	1 地方道路整備（交付金）事業		91,183 千円	事項別明細書 P 148 ~
	地方道路整備（交付金）事業		予算現額	85,235 千円
			決算額	49,751 千円
			翌年度繰越額	35,291 千円
	まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう	(前年度決算額)	35,948 千円
社会資本総合整備計画に沿って、市道森崎村山線道路改良工事に伴う用地購入を行うとともに国土強靱化計画に変更するための設計業務を行ったほか、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁点検及び長寿命化工事を行いました。 また、橋梁の長寿命化工事及び市道森崎村山線の用地購入、建物補償については、年度内に完了しなかったことから、翌年度に繰り越しました。 ○主な経費 職員人件費 2人分（給料・職員手当・共済費） 12,474 千円 岩崎大橋外橋梁点検業務委託 5,168 千円 市道森崎村山線道路用地購入 5,215 千円 市道森崎村山線設計業務 3,997 千円 ○主な工事				
	工事名	施行場所	事業内容	契約額
	浦村2号橋外3橋長寿命化工事	浦村町外2町	橋梁修繕 4 橋	7,074 千円
	桃取1号橋長寿命化工事	桃取町	橋梁修繕 1 橋	4,920 千円
	畔蛸2号橋長寿命化工事	畔蛸町	橋梁修繕 1 橋	3,216 千円
	その他長寿命化工事 2 件			4,229 千円

地方道路整備（交付金）事業			
○主な財源			
国庫支出金	社会資本整備総合交付金	9,690	千円
地方債	地方道路等整備事業債	15,000	千円
地方道路整備（交付金）事業【繰越明許費】		予算現額	42,110 千円
		決算額	41,432 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを上げよう	(前年度決算額)	－ 千円
令和元年度において、事業が完了しなかった市道森崎村山線道路改良工事に伴う用地購入や橋梁長寿命化修繕計画に基づく、橋梁及びトンネルの長寿命化工事を行いました。			
○主な経費			
市道森崎村山線道路用地購入		5,367	千円
○主な工事			
工事名	施行場所	事業内容	契約額
錦橋長寿命化工事	鳥羽一丁目	橋梁修繕 1 橋	14,243 千円
城山トンネル長寿命化工事	鳥羽三丁目	トンネル修繕 38.2m	19,765 千円
船津3号橋長寿命化工事	船津町	橋梁修繕 1 橋	2,057 千円
○主な財源			
国庫支出金	社会資本整備総合交付金	23,012	千円
地方債	地方道路等整備事業債	18,400	千円

事業区分	2 河内ダム関連道路整備事業		27,182 千円	事項別明細書 P 148 ~
	河内ダム関連道路整備事業	予算現額	31,619 千円	
		決算額	26,716 千円	
		翌年度繰越額	4,584 千円	
まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを上げよう	(前年度決算額)	57,090 千円	
社会資本総合整備交付金を活用し、鳥羽河内ダム事業の工事用道路（市道杉ヶ瀬北山線他）の用地買収を行いました。また、鳥羽市に係る工事用道路（小野田橋）の費用を受託契約に基づき三重県に支払い、用地買収に係る分筆登記及び用地交渉等について、支援業務委託しました。 なお、年度内に完了しなかった事業については、翌年度に繰り越しました。				
○主な経費				
鳥羽河内ダム事業工事用道路用地購入費		6,679	千円	
鳥羽河内ダム事業工事用道路用地購入に伴う物件補償		2,549	千円	
工事用道路の用地購入に係る分筆登記業務委託費		352	千円	
三重県受託事務契約負担金		17,123	千円	
用地取得支援業務委託費		13	千円	
○主な財源				
国庫支出金 社会資本整備総合交付金		10,992	千円	
地方債 地方道路等整備事業債		15,300	千円	

河内ダム関連道路整備事業【繰越明許費】	予算現額	467 千円
	決算額	466 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう	(前年度決算額) ー 千円
社会資本総合整備交付金を活用し、鳥羽河内ダム事業の工事用道路（市道杉ヶ瀬北山線他）に係る用地買収について、年度内に手続きが完了しなかった土地・建物について、諸手続きを行いました。 ○主な経費 鳥羽河内ダム事業工事用道路用地購入費 206 千円 鳥羽河内ダム事業工事用道路補償・補填及び賠償金 260 千円 ○主な財源 国庫支出金 社会資本整備総合交付金 235 千円 地方債 地方道路等整備事業債 200 千円		

事業区分	3 道路新設改良事業	12,416 千円	事項別明細書 P 148 ~
市単道路改良事業	予算現額	12,529 千円	
	決算額	12,416 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう	(前年度決算額)	37,059 千円
市道安楽団地幹線3号道路改良工事（高丘町）に伴う登記手続きが完了したことから、用地及び建物補償に係る費用を支出しました。また、三重県との受託契約に基づき、市が負担すべき費用を支出しました。 ○主な経費 市道安楽団地幹線3号道路改良工事に伴う用地購入費 2,326 千円 市道安楽団地幹線3号道路改良工事に伴う物件移転補償費 8,090 千円 三重県受託事務契約負担金（道路工事費） 2,000 千円 ○主な財源 地方債 地方道路等整備事業債 12,400 千円			

(款) 7 土木費

(項) 3 河川費

(目) 1 河川維持費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
6,933	6,679		629			2,059	3,991

事業区分	1 河川維持管理経費	6,679 千円	事項別明細書 P 150 ~
河川維持管理経費	予算現額	6,933 千円	
	決算額	6,679 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	4,633 千円

河川維持管理経費

高潮、大雨等による冠水に対する減災対策のため、排水ポンプの維持管理を行ったほか、河川の洪水対策のため、河床掘削等の工事を行い、災害時に円滑な対応ができるよう努めました。
また、水道課より委託を受けた岩倉水源地周辺の河川工事を行いました。

○主な経費

普通河川沙魚川外1河川草刈清掃業務委託 270 千円

全国海岸協会会費 30 千円

○主な工事

工事名	施行場所	事業内容	契約額
普通河川村山川外1河川河床掘削工事	大明東町	河床掘削 50m3	1,260 千円
普通河川矢田川河床掘削工事	岩倉町	河床掘削 190m3	2,059 千円
その他維持工事 6 件			2,301 千円

○主な財源

県支出金 海岸環境整備事業委託金 629 千円

岩倉水源地等周辺整備工事負担金 2,059 千円

(款) 7 土木費

(項) 3 河川費

(目) 2 河川改良費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
126	100						100

事業
区分

1 河川改好事業

100 千円 事項別明細書 P 150 ~

市単河川改好事業	予算現額	126 千円
	決算額	100 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを上げよう	(前年度決算額) 100 千円

三重県が行う海岸環境整備に対して、地元負担金を支出し海岸環境整備を促進しました。

○主な経費

公共土木施設維持管理事業費（海岸清掃）地元負担金 100 千円

(款) 7 土木費

(項) 4 港湾費

(目) 1 港湾管理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
19,743	19,710						19,710

事業区分	1 港湾管理経費	80 千円	事項別明細書	P 150 ~
	みなとオアシス事業	予算現額	112 千円	
		決算額	80 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	2-1【観光交流】自然の恵みと出会う感動をわかちあおう	(前年度決算額)	113 千円
みなと周辺の施設やスペースなどを利用してみなとを核としたまちづくりの促進を目指すため、中部みなとオアシス会議（WEB会議）に参加しました。 なお、例年、各オアシスのイベントに参加していますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて、イベントには参加しませんでした。 ○主な経費 中部みなとオアシス連絡協議会会費 80 千円				

事業区分	2 港湾負担金事業	5,066 千円	事項別明細書	P 150 ~
	県施行港湾事業負担金	予算現額	5,066 千円	
		決算額	5,066 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	2-1【観光交流】自然の恵みと出会う感動をわかちあおう	(前年度決算額)	5,066 千円
佐田浜埠頭用地造成事業債の償還金の支出を行いました。 ○主な経費 港湾起債元利償還負担金 5,066 千円				

事業区分	3 鳥羽マリンターミナル維持管理経費	14,564 千円	事項別明細書	P 150 ~
	鳥羽マリンターミナル維持管理経費	予算現額	14,565 千円	
		決算額	14,564 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	2-1【観光交流】自然の恵みと出会う感動をわかちあおう	(前年度決算額)	15,011 千円
平成29年度から令和3年度まで鳥羽市開発公社を指定管理者として指定し、鳥羽マリンターミナルの管理を行いました。 ○主な経費 鳥羽マリンターミナル指定管理業務委託 14,250 千円 鳥羽マリンターミナル自動ドア修繕工事 314 千円				

(款) 7 土木費

(項) 5 都市計画費

(目) 1 都市計画総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
24,841	24,176				2,159	2,311	19,706

事業区分 1 都市計画給与等管理費		24,176 千円 事項別明細書 P 152 ~	
都市計画一般管理経費		予算現額	24,841 千円
		決算額	24,176 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう	(前年度決算額)	27,123 千円
良好な景観形成を図ることを目的に、平成30年度より業務委託して策定を進めていた「鳥羽市景観計画」が完成しました。 また、都市計画区域内の維持管理を適正に行いました。 ○主な経費 都市計画審議会 委員報酬 110 千円 景観審議会 委員報酬 36 千円 職員人件費 3人分（給料・職員手当・共済費） 16,891 千円 市道岩崎樋ノ山線・鳥羽駅臨港線街路清掃及び樹木剪定業務 1,320 千円 鳥羽市景観計画策定業務 3,069 千円 佐田浜自由通路エレベーター保守料 633 千円 ○主な財源 使用料 758 千円 財産収入 1,553 千円 繰入金 ふるさと創生基金 2,159 千円			

(款) 7 土木費

(項) 5 都市計画費

(目) 2 都市下水路費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
2,639	2,455						2,455

事業区分 1 都市下水路管理経費		2,455 千円 事項別明細書 P 152 ~	
都市下水路管理		予算現額	2,639 千円
		決算額	2,455 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	2,382 千円
鳥羽三・四丁目地区の浸水被害を防ぐための鳥羽ポンプ場について、維持管理業務を委託し、管理しました。 ○主な経費 鳥羽ポンプ場ポンプ運転操作及び保守点検業務委託 1,628 千円			

(款) 7 土木費

(項) 5 都市計画費

(目) 3 公園費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
874,663	819,661	7,060		397,000	375,885	169	39,547

事業区分	1 公園維持管理経費	31,264 千円	事項別明細書 P 152 ~
公園維持管理費	予算現額	31,675 千円	
	決算額	31,264 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	30,363 千円
公園の利用者が安全・快適に利用できるよう、公園施設の除草作業や公衆トイレの清掃、遊具の点検を行い、公園施設の維持及び安全管理に努めました。 ○主な経費 公園除草・清掃及び動物飼育等業務委託 13,761 千円 公衆便所清掃業務委託 3,612 千円 都市計画区域内公園施設維持管理業務委託 5,060 千円 ○主な財源 使用料 169 千円			

事業区分	2 都市公園整備（交付金）事業	771,910 千円	事項別明細書 P 154 ~
都市公園整備（交付金）事業	予算現額	825,934 千円	
	決算額	771,910 千円	
	翌年度繰越額	53,940 千円	
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	467,699 千円
令和元年度より実施している鳥羽市民体育館サブアリーナ増築工事については、令和2年9月に完成しました。 公園施設長寿命化計画に基づき、鳥羽中央公園園路測量設計業務を行うとともに、利用者の安全性及び利便性の向上を図るため、浜辺公園の遊具を改修しました。なお、鳥羽市民体育館床改修工事及び鳥羽中央公園の園路整備については、年度内に完成しなかったことから、翌年度に繰り越しました。 ○主な経費 職員人件費 1人分（給料・職員手当・共済費） 8,096 千円 鳥羽中央公園園路測量設計業務 8,492 千円 鳥羽市民体育館大規模改修及び増築工事監理業務委託 7,628 千円			

都市公園整備（交付金）事業			
○主な工事			
工事名	施行場所	事業内容	事業費
浜辺公園遊具改修工事	小浜町	遊具改修 3基	2,629 千円
鳥羽市民体育館大規模改修及び増築工事	大明東町	サブアリーナ増築工事	741,239 千円
鳥羽中央公園園路整備工事 (令和3年度へ繰越)	大明東町	園路整備工事	3,000 千円
○主な財源			
国庫支出金	社会資本整備総合交付金	7,060 千円	
繰入金	地方創生拠点整備交付金基金	374,899 千円	
地方債	都市公園等整備事業債	381,500 千円	

事業区分

3 都市公園等整備事業

16,487 千円 事項別明細書 P 154 ~

中央公園施設整備事業	予算現額	15,500 千円	
	決算額	15,500 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	28,635 千円
鳥羽市民体育館（メインアリーナ）が三重とこわか国体の会場となっていることから、開催時に必要な空調設備の整備を行いました。また、利用者の安全性向上を図るため、鳥羽中央公園の広場及び駐車場の改修工事を行いました。			
なお、両工事ともに、令和3年度においても、引き続き工事を実施していきます。			
○主な工事			
工事名	施行場所	事業内容	事業費
鳥羽中央公園駐車場・広場改修工事	大明東町	駐車場及び広場の改修	14,000 千円
鳥羽市民体育館（メインアリーナ）空調設備設置工事	大明東町	空調設備の設置	1,500 千円
○主な財源			
地方債 都市公園等整備事業債		15,500 千円	

都市公園整備事業	予算現額	1,554 千円	
	決算額	987 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	0 千円
市民の森公園一帯の賑わいづくりを目的に、樹木の伐採等を行い、環境整備を図りました。			
○主な経費			
市民の森公園環境整備業務		987 千円	
○主な財源			
繰入金 ふるさと創生基金		986 千円	

(款) 7 土木費

(項) 7 住宅費

(目) 1 住宅管理費

(単位: 千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
49,845	48,138			700		36,365	11,073

事業区分 1 住宅給与等管理費 47,529 千円 事項別明細書 P 154 ~

住宅運営管理経費	予算現額	49,040 千円
	決算額	47,529 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう	(前年度決算額) 41,816 千円

市営住宅の定期募集を行い、住宅に困窮する方に対し、市営住宅の提供を行ったほか、入居者に対しては、住戸の修繕や給水施設の維持管理業務を行い、住環境の整備に努めました。また、令和2年度は新たな募集方法として、入居者自らが住戸の改修を行うための補助金（鳥羽市営住宅DIY事業補助金）を創設し、募集を行いましたが、応募者はありませんでした。

周辺の住環境整備事業としては、耐用年限が経過した若杉団地の空き家木造市営住宅について解体工事を実施しました。

○市営住宅定期募集状況

	募集戸数	応募者数	内市外応募者	応募倍率	入居者数	内市外入居者	入居率
第1回	5戸	5人	0人	1.00倍	3人	0人	60%
第2回	6戸	5人	1人	0.83倍	4人	1人	67%
第3回	5戸	2人	1人	0.40倍	2人	1人	40%
第4回	4戸	0人	0人	0.00倍	0人	0人	0%
第5回	1戸	1人	0人	1.00倍	1人	0人	100%
合計	21戸	13人	2人	0.62倍	10人	2人	48%

○主な経費

職員人件費	4人分（給料・職員手当・共済費）	26,996 千円
市営住宅修繕	45件	8,656 千円
市営住宅入退去修繕	11件	6,871 千円
若杉市営住宅50号解体工事		814 千円
市営住宅安楽島第1団地、第2団地、リバーサイド幸丘団地給水施設管理業務委託		979 千円

○主な財源

使用料		36,238 千円
地方債	市営住宅整備事業債	700 千円

事業区分 2 移住・定住促進事業 609 千円 事項別明細書 P 156 ~

定住促進住宅整備事業	予算現額	805 千円
	決算額	609 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう	(前年度決算額) 786 千円

定住促進住宅整備事業			
市内への移住促進を図るため、市営住宅の空き家を活用し、移住希望者が住居を確保するまでの間、一時的に入居できるよう整備した短期お試し住宅や鳥羽での生活体験、就業活動の拠点として民間の空き家を借り上げた体験住宅の維持管理を行いました。令和２年度は、市営住宅に整備した短期お試し住宅で４件、中之郷移住体験住宅で１件の利用がありました。			
○主な経費			
光熱水費		176	千円
修繕料		372	千円
○主な財源			
諸収入	空き家活用住宅賃貸料	30	千円
使用料	その他住宅使用料	97	千円

(款) 10 災害復旧費

(項) 2 公共土木施設災害復旧費

(目) 1 道路橋りょう災害復旧費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
13,751	12,260	5,829		4,100			2,331

事業区分	1 道路橋りょう災害復旧事業		12,260 千円	事項別明細書 P 188 ~
	道路橋りょう災害復旧事業		予算現額	4,000 千円
			決算額	3,281 千円
			翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	6,159 千円
台風等の豪雨により被災した道路の復旧工事を行いました。				
○主な経費				
	道路災害復旧工事	8 件	3,281	千円
○主な財源				
	地方債	道路橋りょう災害復旧事業債	1,200	千円
道路橋りょう災害復旧事業【繰越明許費】			予算現額	9,751 千円
			決算額	8,979 千円
			翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	－ 千円
令和元年の豪雨により被災した市道五ヶ谷線（国崎町）の復旧工事に伴う用地購入や工事において支障となる電柱の移転補償を行い、道路施設の復旧を実施しました。				
○主な経費				
	市道五ヶ谷線道路災害復旧工事		8,740	千円
	市道五ヶ谷線道路災害復旧工事に伴う電柱移転補償		154	千円
	市道五ヶ谷線道路災害復旧工事に伴う用地購入		25	千円
○主な財源				
	国庫負担金	公共土木施設災害復旧事業費負担金	5,829	千円
	地方債	道路橋りょう災害復旧事業債	2,900	千円

(目) 2 河川災害復旧費

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
2,000	1,954			1,700			254

事業
区分

1河川災害復旧事業

1,954千円 事項別明細書 P 188 ~

河川災害復旧事業	予算現額	2,000千円
	決算額	1,954千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額) 1,722千円
台風等の豪雨による被災した河川施設について、復旧工事を行いました。		
○主な工事		
河川災害復旧工事	4件	1,954千円
○主な財源		
地方債	河川災害復旧事業債	1,700千円

消 防 本 部

【総括】

市民が安全で安心な生活を送るため、総合的な消防力の整備・充実を目指し、警防・救急・救助・予防などの任務に全力を尽くし、各事業を展開しました。

消防庁舎建設においては、庁舎の老朽化と近い将来に発生が予想される南海トラフ地震等の発生時における津波浸水に備えるため、また、災害時活動拠点としての機能を発揮できるよう、鳥羽市消防庁舎建設基本計画に基づき整備を進めました。令和元年度から令和2年度までの2か年にわたる消防庁舎建設工事を終了したほか、消防救急無線設備などの各種通信機器の移設工事を行いました。

複雑多様化する各種災害や各地で大規模な自然災害が発生する中、更なる消防力の充実・対応能力を高めるためには、消防職団員への教育訓練を継続して行う必要があります。そのため、三重県消防学校などの研修機関へ入校させ各個能力の向上を図り、研修内容は伝達訓練により他職員と共有しました。火災や救助事案等への災害出動には、持てる人員及び資機材を活用して、迅速確実な活動を実施し、市民の生命・財産の被害軽減を図りました。

高齢化などにより年々出動件数が増加傾向にあった救急出動については、昨年度は減少に転じました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症への対応が日常業務として欠かせなくなり、感染防護衣や救急車用空気清浄機等を購入配備し、関係各機関と連携を密にし感染防止対策を徹底した上で適切な応急処置と容態に応じた医療機関への速やかな搬送を実施しました。市民への応急手当指導については、普通救命講習等を開催し、救命率の向上を図りました。

火災に対する備えとしては、市内事業所等に対し立入検査を実施し、防火対象物及び危険物施設が消防法等関係法令に適合したものとなるよう行政指導を行い、市民等に対しては消防訓練指導を行ったほか、春・秋季火災予防運動にあわせ、火災予防に関する啓発を実施しました。

また、70歳以上の一人暮らしの高齢者宅へ火災予防及び住宅用火災警報器の設置についての啓発を実施し、市民への防火・防災意識の向上を図りました。

非常備消防については、消防団は消火活動のみならず、地震や風水害等、多数の動員を必要とする大規模災害時の災害防禦活動、避難誘導などに重要な役割を果たしており、団員は各分団ごとに日頃から訓練に励んでいます。令和2年度については各分団が参集して行う春・秋の定期訓練や、隔年で開催予定であった市消防ポンプ操法大会が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止を余儀なくされましたが、火災防御訓練を各地区分団単位で実施し、各種災害への対応力を鍛えています。

消防施設及び消防車両の維持管理については、施設の修繕及び消防車両等の整備更新を行い消防力の維持に努め、消防水利においては消火栓の新設などを行い消防力の充実を図りました。

【新たに実施した事業】

災害時において消防団員がより効果的な救助活動を図れるよう、国庫補助金を活用し消防団に切創防止用保護衣27着と夜間活動用器具（発電機）9台を各分団に配備しました。

また、特に大規模災害時には消防団員の人員不足が生じることが予測されることから、地域の防災力の向上を図るため、消防団員増員に向けた取組として消防職団員OBを「災害支援団員」として位置づける条例改正(令和3年4月1日施行)を行いました。

【予算執行を伴わない事業】

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、市内離島地区の消防団員が各離島において当該感染症に感染した（感染疑いを含む）市民等の搬送補助に携わる可能性があることから、離島分団員への感染防護衣の配備及び着脱要領並びに消毒要領を消防職員が指導し、二次感染の防止に努めました。

(款) 8 消防費

(項) 1 消防費

(目) 1 常備消防費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
365,427	358,021	267		3,800		407	353,547

事業区分

1 消防給与等管理費

327,479 千円 事項別明細書 P 156 ~

消防一般管理経費		予算現額	333,954 千円
		決算額	327,479 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	330,142 千円

市民が安全で安心な生活が送れるように、昼夜を問わず各種災害に対応している47人の消防職員の福利厚生及び諸待遇を管理統括したほか、消防組織を維持するために必要な事務を円滑に処理し、消防力の充実強化を図りました。

【階級別消防職員数（令和3年3月31日現在）】

消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
1人	7人	8人	15人	6人	9人	1人	47人

【消防職員の異動状況】

区分	人数
採用	1
退職	1

○主な経費

職員人件費47人分	315,371 千円
会費等負担金	
全国消防協会	25 千円
全国消防長会	81 千円
県消防長会	116 千円

事業区分

2 警防消防経費

25,000 千円 事項別明細書 P 158 ~

警防消防活動業務		予算現額	1,586 千円
		決算額	1,580 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	2,024 千円

市民や観光客の生命、身体、財産を守るため、24時間フルタイムで持てる人員及び資機材を活用し、水害火災等各種災害から生命や財産の被害軽減を図りました。

【火災の状況及び損害額】

(単位：千円)

月別	件数	損害見積額	月別	件数	損害見積額
4月	1	15	10月	1	4
5月	0	-	11月	0	-
6月	1	0	12月	0	-
7月	0	-	1月	1	0
8月	0	-	2月	2	0
9月	1	182	3月	2	491
		計	9	692	

【原因別火災状況】

種 別	件 数
たき火	0
ごみ焼き	0
草焼き	2
その他	6
不明	1
計	9

警防消防活動業務				
○主な経費	委託料	空気呼吸器点検業務	100 千円	
		ガス検知器保守点検業務	91 千円	
		大型自動車運転免許取得業務	178 千円	
	備品購入費	消防ホース	112 千円	
消防職員研修事業			予算現額	1,419 千円
			決算額	1,334 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標		4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	4,627 千円
複雑・多様化した災害に対応できるよう、より高度な知識・技術・体力を身につけさせるため三重県消防学校各課程へ延べ11人を入校させました。				
【三重県消防学校課程別入校人数】				
課程名		人数	課程名	人数
初任科及び救急科救急課程		1	警防科警防課程	1
救助科水難救助課程		1	特殊災害科特殊災害課程	1
救助科救助課程		1	中級幹部科	1
特別科気管挿管追加講習		1	初級幹部科	1
特別科はしご自動車講習		1	危険物科危険物課程	1
特別科指揮課程		1	計	11
○主な経費	委託料	救急救命士気管挿管病院実習	300 千円	
	会費等負担金	三重県消防学校入校	758 千円	
		研修参加	16 千円	
消防通信指令業務			予算現額	22,611 千円
			決算額	22,086 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標		4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	16,593 千円
1,361回の緊急通報を受信し、迅速な出動指令(火災18件、救助16件、救急1,327件)及び各出動隊への活動支援情報の伝送を円滑に行いました。				
○主な経費	委託料	非常用発電機定期点検整備業務	44 千円	
		気象測器保守点検業務	88 千円	
		119緊急電話受令台保守業務	557 千円	
		南鳥羽出張所電話装置保守業務	46 千円	
		消防救急デジタル無線活動波設備保守点検業務	3,773 千円	
	会費等負担金	三重県防災行政無線運営協議会分担金	646 千円	
		消防救急無線設備の管理費用に係る負担金	2,278 千円	
	工事等負担金	消防救急無線設備の整備費用に係る負担金	5,703 千円	
		三重県防災通信ネットワーク再整備に係る負担金	5,088 千円	

救急活動業務	予算現額	3,109 千円
	決算額	3,051 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額) 2,615 千円

1,201件の救急出場を行い1,150人の傷病者に対して、適切な応急処置と容態に応じた医療機関への速やかな救急搬送を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症への対応が日常業務として欠かせなくなり、感染防護衣や救急車用空気清浄機等を購入配備し、関係各機関と連携を密にし感染防止対策を徹底した上で適切な応急処置と容態に応じた医療機関への速やかな搬送を実施しました。

【救急出場件数及び搬送人員の実績】

月別	区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
4月	出場件数	1		1	5	1		8			54	6		76
	搬送人員	1		1	4	1		8			49	6		70
5月	出場件数			1	4	1		13			65			84
	搬送人員			1	4	1		12			64			82
6月	出場件数			1	10	1		18		1	52	5		88
	搬送人員			1	9	1		18			50	5		84
7月	出場件数				5	2		21			72	7		107
	搬送人員				2	2		21			68	7		100
8月	出場件数				9	1		37			86	6		139
	搬送人員				9	1		36			84	5		135
9月	出場件数				3	1	1	17		1	70	2		95
	搬送人員				4	1	1	16		1	67	2		92
10月	出場件数				6			17	1	1	73	7		105
	搬送人員				7			14	1	1	69	7		99
11月	出場件数				3	1		29			75	7		115
	搬送人員				3	1		25			71	7		107
12月	出場件数				4			30			73	6		113
	搬送人員				6			25			72	6		109
1月	出場件数			1	1	1		18		1	63	4		89
	搬送人員			1	1	1		16		1	59	4		83
2月	出場件数				3		1	13			65	8	6	96
	搬送人員				4		1	13			63	8	6	95
3月	出場件数				8			23	1		56	5	1	94
	搬送人員				7			25	1		55	5	1	94
合計	出場件数	1	0	4	61	9	2	244	2	4	804	63	7	1,201
	搬送人員	1	0	4	60	9	2	229	2	3	771	62	7	1,150

○主な経費

委託料

自動体外式除細動器定期点検

584 千円

応急手当普及啓発活動推進事業		予算現額	34 千円																								
		決算額	29 千円																								
		翌年度繰越額	0 千円																								
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	3 千円																								
市民、事業所等各種団体が災害時等に自主救護ができるよう、普通救命講習を18回実施し166人の受講、救命入門コースを7回実施し219人の受講がありました。																											
○主な経費		消耗品費	29 千円																								
離島救急患者搬送費補助事業		予算現額	1, 100 千円																								
		決算額	917 千円																								
		翌年度繰越額	0 千円																								
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	936 千円																								
離島救急患者搬送費補助金を申請のあった92件に対して交付し、離島における住民や観光客等の船舶借上経費の負担軽減と保健の向上を図りました。																											
○主な経費		補助金	離島救急患者搬送費補助金 917 千円																								
救助活動業務		予算現額	1, 251 千円																								
		決算額	1, 228 千円																								
		翌年度繰越額	0 千円																								
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	1, 316 千円																								
11件の救助出動を行い持てる人員及び資機材を活用し速やかで確実な救助活動を行いました。																											
【救助出場種別件数】		<table><tr><td>種 別</td><td>件数</td><td>種 別</td><td>件数</td></tr><tr><td>火災</td><td>0</td><td>建物事故</td><td>0</td></tr><tr><td>交通事故</td><td>5</td><td>ガス及び酸欠事故</td><td>0</td></tr><tr><td>水難事故</td><td>1</td><td>破裂事故</td><td>0</td></tr><tr><td>自然災害</td><td>0</td><td>その他の事故</td><td>4</td></tr><tr><td>機械事故</td><td>1</td><td>計</td><td>11</td></tr></table>		種 別	件数	種 別	件数	火災	0	建物事故	0	交通事故	5	ガス及び酸欠事故	0	水難事故	1	破裂事故	0	自然災害	0	その他の事故	4	機械事故	1	計	11
種 別	件数	種 別	件数																								
火災	0	建物事故	0																								
交通事故	5	ガス及び酸欠事故	0																								
水難事故	1	破裂事故	0																								
自然災害	0	その他の事故	4																								
機械事故	1	計	11																								
○主な経費																											
委託料		水難救助器具年次点検業務	150 千円																								
備品購入費		水難救助用資器材等	408 千円																								

事業区分

4 火災予防経費		317 千円	事項別明細書	P 158 ~
火災予防業務		予算現額	278 千円	
		決算額	233 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	321 千円	
火災等の災害に対する備えができるよう、各事業所や自主防災会に対し各種訓練の指導を行ったほか、一般住宅に住宅用火災警報器設置促進を図りました。そのほか、市内小中学生を対象に防火ポスターの募集を行い、防火に関する意識を高めました。				

火災予防業務

主に特定防火対象物を対象とする立入検査を実施するとともに、春・秋季火災予防運動にあわせて啓発活動を実施し、市民、事業者に対して防火防災啓発を行いました。

【諸届（消防法、施行令及び火災予防条例関係を含む）】

種 別	件数	種 別	件数
防火管理者選任（解任）届出書	54	変電・発電・蓄電池設備設置届出書	8
消防計画作成（変更）届出書	58	火災と紛らわしい煙又は火災を発する恐れのある行為届出書	19
消防用設備等設置届出書	39		
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱開始（廃止）届出書	9	煙火打上げ・仕掛届出書	21
		催物開催届出書	0
消防用設備等点検結果報告書	282	露店等の届出書	4
防火対象物使用開始届出書	15	道路工事届出書	38
炉・厨房・温風暖房機・給湯湯沸・ボイラー・乾燥・サウナ設置等届出書	3	少量危険物貯蔵・指定可燃物取扱開始（変更）届出書	8
計			558

【建築同意の事務取扱（消防法第7条の規定に基づく同意状況）】

種別	新築	増築	その他	合計
件数	4	1	0	5

○主な経費 報償費 防火ポスター参加賞等報償 123 千円
 ○主な財源 手数料 危険物施設等検査手数料 233 千円

防火対象物立入検査業務	予算現額	40 千円
	決算額	40 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額) 43 千円

防火対象物が、消防法等関係法令に適合するよう、立入検査を194回実施しました。

【防火対象物の立入検査一覧表】

防火対象物の区分	立入検査件数	防火対象物の区分	立入検査件数
1項ロ（集会場）	6	8項（図書館等）	3
3項イ（料理店等）	0	9項ロ（公衆浴場以外のもの）	3
3項ロ（飲食店）	10	11項（寺・神社等）	2
4項（マーケット等）	16	14項（倉庫）	0
5項イ（旅館等）	124	15項（事務所等）	1
6項イ（病院・診療所等）	2	16項イ（特定複合用途）	17
6項ハ（保育所等）	6	17項（文化財）	3
6項ニ（幼稚園等）	1	計	194

○主な経費 消耗品費 40 千円

危険物施設等検査業務	予算現額	45 千円
	決算額	44 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額) 42 千円

危険物施設が、消防法等関係法令に適合するよう、対象167施設への立入検査を実施しました。
また、許認可審査を行い、適切な違反是正手続きや行政指導を行いました。

【危険物施設の立入検査一覧表】

製造所等の区分	立入検査件数	製造所等の区分	立入検査件数
屋内貯蔵所	12	移動タンク貯蔵所	16
屋外タンク貯蔵所	45	屋外貯蔵所	2
屋内タンク貯蔵所	8	給油取扱所	15
地下タンク貯蔵所	33	船舶給油取扱所	15
簡易タンク貯蔵所	3	一般取扱所	18
		計	167

【危険物施設許認可手数料等内訳】

種 別	件数	金 額	種 別	件数	金 額
危険物設置許可	3	59,000 円	危険物仮使用承認	3	16,200 円
危険物変更許可	7	162,500 円	少量危険物水張検査	1	4,000 円
危険物完成検査	10	110,750 円	仮貯蔵・仮取扱承認	1	5,400 円
			計	25	357,850 円

○主な経費 消耗品費

○主な財源 手数料

44 千円

危険物施設等検査手数料 44 千円

予算現額	45 千円
決算額	44 千円
翌年度繰越額	0 千円
(前年度決算額)	42 千円

決算額	44 千円
-----	-------

翌年度繰越額	0 千円
--------	------

(前年度決算額)	42 千円
----------	-------

危険物施設が、消防法等関係法令に適合するよう、対象167施設への立入検査を実施しました。また、許認可審査を行い、適切な違反是正手続きや行政指導を行いました。

【危険物施設の立入検査一覧表】

製造所等の区分	立入検査件数	製造所等の区分	立入検査件数
屋内貯蔵所	12	移動タンク貯蔵所	16
屋外タンク貯蔵所	45	屋外貯蔵所	2
屋内タンク貯蔵所	8	給油取扱所	15
地下タンク貯蔵所	33	船舶給油取扱所	15
簡易タンク貯蔵所	3	一般取扱所	18
		計	167

【危険物施設許認可手数料等内訳】

種 別	件数	金 額	種 別	件数	金 額
危険物設置許可	3	59,000 円	危険物仮使用承認	3	16,200 円
危険物変更許可	7	162,500 円	少量危険物水張検査	1	4,000 円
危険物完成検査	10	110,750 円	仮貯蔵・仮取扱承認	1	5,400 円
			計	25	357,850 円

○主な経費	消耗品費	44 千円
-------	------	-------

○主な財源	手数料	危険物施設等検査手数料	44 千円
-------	-----	-------------	-------

(款) 8 消防費

(目) 2 非常備消防費

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
54, 535	50, 703	471	2, 849			10, 508	36, 875

決算額

財 源 内 訳

国庫支出金

県支出金

地方債

繰入金

その他

一般財源

54. 53550. 7034712. 849

10. 50836.875

事業区分

1 消防団活性化経費		38,098 千円		事項別明細書		P 160 ~	
消防団活性化対策事業				予算現額	34,948 千円		
				決算額	34,382 千円		
				翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標		4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう		(前年度決算額)	38,689 千円		
消防団新規加入の広報や活動支援を行い、地域の安全安心を守る団員数の確保と活動環境の充実を図り、費用弁償・報酬・退職金等について適切に処理しました。							
【階級別消防団員数(令和3年3月31日現在・条例定数510人)】							
団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
1人	5人	13人	10人	28人	84人	301人	442人

1 消防団活性化経費

38,098 千円 事項別明細書 P 160 ~

消防団活性化対策事業	予算現額	34,948 千円
	決算額	34,382 千円
	翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	38,689千円
----------	-----------------------------	----------	----------

消防団新規加入の広報や活動支援を行い、地域の安全安心を守る団員数の確保と活動環境の充実に努め、実を図り、費用弁償・報酬・退職金等について適切に処理しました。

【階級別消防団員数(令和3年3月31日現在・条例定数510人)】

団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
1人	5人	13人	10人	28人	84人	301人	442人

消防団活性化対策事業				
○主な経費	報酬	消防団員年報酬	12,317 千円	
	報償費	消防団員退職報償金等	10,418 千円	
	会費等負担金	県消防協会南勢支会分担金	246 千円	
	負担金及び補助金	消防団員退職報償金掛金	9,792 千円	
		消防団員等福祉共済掛金	1,365 千円	
○主な財源	諸収入	消防団員退職報償金等	10,508 千円	
消防団教養訓練事業			予算現額	6,322 千円
			決算額	3,716 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう		(前年度決算額)	4,974 千円
消防団員としての基本的教育訓練及び研修を実施（参加延べ人員2,596人）し、災害時に活かすことのできる知識・技術の習得を図りました。				
また、幹部団員としての指揮能力を向上させるため、三重県消防学校へ1人を入校させ、より専門的な知識技術の習得を図りました。				
○主な経費	費用弁償	訓練出動手当	3,612 千円	
	会費等負担金	三重県消防学校入校	21 千円	

事業区分

2 消防団災害防禦対策経費		12,605 千円	事項別明細書	P 160 ~
消防団災害防禦対策経費		予算現額	13,265 千円	
		決算額	12,605 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	12,631 千円	
市民や観光客等が火災等の災害による生命や財産の被害を軽減されるよう、持てる人員及び資機材を活用し、市民や観光客等の生命、身体、財産の被害軽減に努めました。また、消防団救助能力向上資機材緊急整備事業を活用し、切創防止用保護衣（チャップス）27着及び夜間活動用機器（発電機）9基を購入し、市内9分団に配置しました。				
○主な経費				
費用弁償	災害出動手当等	5,295 千円		
備品購入費	消防ホース(12本)等	1,519 千円		
消耗品費	消防団員用制服・防火服等	3,616 千円		
負担金及び補助金	消防団員損害補償掛金	1,038 千円		
○主な財源				
県委託金	水防施設維持管理費委託金	2,289 千円		
諸収入	消防団救助能力向上資機材緊急整備事業	471 千円		

(款) 8 消防費

(項) 1 消防費

(目) 3 消防施設費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
644,022	559,617			477,200	70,600	1	11,816

事業区分 1 消防水利整備経費		4,680 千円 事項別明細書 P 160 ~	
消防水利整備維持管理経費		予算現額	6,366 千円
		決算額	4,680 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	5,766 千円
消防水利の充実を図るため、消火栓の新設・改良工事及び修繕を実施しました。また、消火活動に支障がないよう市内各所の防火水槽や消火栓などの地水利調査を行いました。			
○主な経費			
工事等負担金	消火栓新設・改良費（8基）		3,545 千円
	防火水槽撤去工事（1基）		495 千円
補助金	消火栓格納箱等設置		554 千円
○主な財源			
地方債	消防施設整備事業債		3,400 千円

事業区分

2 消防車両等整備経費

5,237 千円 事項別明細書 P 160 ~

消防車両等整備維持管理経費		予算現額	5,777 千円
		決算額	5,237 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	6,849 千円

多様化する災害に対応できる消防力及び機動力の強化を図るため、消防車両等の維持管理に努めました。

○主な経費

修繕料	車検整備等	2,567 千円
委託料	はしご付消防自動車保守点検業務	485 千円

【消防ポンプ自動車等保有状況(消防本部)】

種 別	車名	登録年	排気量(ℓ)	艤装	ポンプ	備 考
30m級はしご付消防自動車	日野	H22	8.9	モリタ		伸縮水路管付先端屈折式
化学消防ポンプ自動車	日野	H25	6.5	日機	A2	災害対応特殊I型ウインチ付
水槽付消防ポンプ自動車	日野	H26	6.5	日機	A2	災害対応特殊I-B型
消防ポンプ自動車	いすゞ	H10	4.6	日機	A2	CD-1
高規格救急自動車	トヨタ	H24	2.7			
高規格救急自動車	トヨタ	H29	2.7			
高規格救急自動車(非常用)	トヨタ	H19	2.7			
事務連絡車	トヨタ	H22	1.8			ハイブリッド
軽事務連絡車	ホンダ	R2	0.65			
指揮車	トヨタ	H19	1.8			
人員搬送車	トヨタ	H23	2.7			
資機材搬送車	日野	H31	4.0			クレーン、パワーリフト付
広報車	ダイハツ	H19	0.65			
査察指導車	ホンダ	H23	1.3			ハイブリッド

消防車両等整備維持管理経費

【消防ポンプ自動車等保有状況(消防団)】

所属	種 別	登録年
馬羽分団	2 普通ポンプ自動車	H9
	3 普通ポンプ自動車	H8
加茂分団	1 小型動力ポンプ付積載車	H13
	2 小型動力ポンプ付積載車	H22
	3 小型動力ポンプ付積載車	H20
	4 小型動力ポンプ付積載車	H19
	5 小型動力ポンプ付積載車	H24
	6 小型動力ポンプ付積載車	H18
長岡分団	1 普通ポンプ自動車	H26
	1 小型動力ポンプ付積載車	H20
	2 小型動力ポンプ付積載車	H27
	2 小型動力ポンプ	H8
	2 小型動力ポンプ	H5
	3 小型動力ポンプ付積載車	H17
	4 小型動力ポンプ付積載車	H19
	5 小型動力ポンプ付積載車	H15
鏡浦分団	1 小型動力ポンプ付積載車	H27
	1 小型動力ポンプ	H9
	2 小型動力ポンプ付積載車	H10
	3 小型動力ポンプ付積載車	H13

所属	種 別	登録年
答志分団	1 小型動力ポンプ付積載車	H22
	2 普通ポンプ自動車	H26
	3 小型動力ポンプ付積載車	H25
	4 普通ポンプ自動車	H11
桃取分団	1 小型動力ポンプ付積載車	H26
	2 小型動力ポンプ付積載車	H25
	3 小型動力ポンプ付積載車	H17
菅島分団	1 小型動力ポンプ付積載車	H22
	1 小型動力ポンプ	H16
	2 小型動力ポンプ付積載車	H29
	3 小型動力ポンプ付積載車	H15
神島分団	1 普通ポンプ自動車	H13
	2 小型動力ポンプ	H9
	2 小型動力ポンプ	H22
	3 小型動力ポンプ付積載車	H26
坂手分団	1 小型動力ポンプ	H16
	2 台車付き小型動力ポンプ	H27
	3 小型動力ポンプ	H13

種 別	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ
計	6台	23台(普11・軽12)	9台

事業区分

3 消防施設整備経費

549,700 千円 事項別明細書 P 160 ~

消防施設整備維持管理経費		予算現額	3,170 千円
		決算額	3,136 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	769 千円
消防庁舎や消防団格納庫等の補修等を行い、災害時に活動拠点となる施設に必要な維持管理を実施しました。			
○主な経費			
委託料		施設清掃及び環境衛生管理業務	124 千円
		浄化槽保守点検業務	249 千円
		消防設備点検業務	42 千円
消防庁舎整備事業		予算現額	628,709 千円
		決算額	546,564 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	4-3【安全安心】みんなが安心できる生活の場をつくろう	(前年度決算額)	205,825 千円

消防庁舎整備事業

鳥羽市新消防庁舎建設基本計画に基づき、災害時活動拠点場所としての機能を発揮できる庁舎の整備を進め、令和元年度から令和2年度までの2か年にわたる工事を経て、新消防庁舎が完成するとともに、業務に必要な消防救急無線設備などの各種通信機器の移設工事を行いました。

○主な経費

委託料	消防庁舎建設工事監理業務委託（令和2年度分）	15,970 千円
	消防通信システム整備工事監理業務委託	3,947 千円
工事請負費	消防救急デジタル無線共通波設備移設工事	3,850 千円
	消防救急デジタル無線活動波設備移設工事	4,378 千円
	消防庁舎建設工事（令和2年度分）	434,761 千円
	消防通信指令システム整備工事	79,794 千円

○主な財源

繰入金	観光振興基金繰入金	39,200 千円
	庁舎等改修基金繰入金	31,400 千円
地方債	消防施設整備事業債	473,800 千円

教 育 委 員 会 総 務 課

【総括】

総務課においては、定例教育委員会の開催や事務局の運営など、教育行政全般の事務の管理・執行等を行いました。

また、小学校8校、中学校5校、幼稚園1園の施設の維持管理や修繕等を行うとともに、学校備品の整備を行い、安全・安心な学校施設の管理運営、教育環境の充実に努めました。

【新たに実施した事業】

鳥羽市学校通学区審議会を開催し、市内小中学校の適正規模・適正配置に対する意見をまとめるとともに、同審議会がまとめた答申を受け、鳥羽市小中学校統合計画（令和3年度～令和12年度）の策定を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、夏休みが短縮となったことから、児童の熱中症予防のため、安楽島小学校においてレンタルしたマイクロバスによる下校時の送迎を行いました。

鏡浦小学校の閉校に伴い実施された記念誌作成や記念式典実施等の閉校記念事業に対して補助を行うとともに、統合先である安楽島小学校への登下校で使用するスクールバスの購入を行いました。

【予算執行を伴わない事業】

市長が主催する鳥羽市総合教育会議に教育長、教育委員が参加し、教育の振興に関する施策の大綱の改定に向けての意見交換や、策定途中であった鳥羽市教育ビジョンや鳥羽市小中学校統合計画に関する協議等を行いました。そのほか、本市の教育行政に係る重要な事項や課題等の共有や、意見交換を行いました。

また、学校通学区審議会の開催と並行して各地域に出向いて計15回の懇談会等を開催し、今後の学校のあり方についての教育委員会の方向性や、策定を進める小中学校統合計画の説明等を行うとともに、保護者や地域の方の意見聴取を行いました。

国のインフラ長寿命化計画及び鳥羽市公共施設等総合管理計画に基づき、教育委員会が所管する学校教育系施設、子育て支援施設、市民文化系施設、社会教育系施設に対する個別計画として、鳥羽市教育施設等長寿命化計画の策定を行いました。

（款） 2 総務費

（項） 1 総務管理費

（目） 18 諸費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1	1						1

事業区分	1 過年度国庫支出金等返還金	1 千円	事項別明細書	P 72 ~
過年度国庫支出金等返還金		予算現額	1 千円	
		決算額	1 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	0 千円	

過年度国庫支出金等返還金	
子どものための教育・保育給付費負担金及び施設型給付費・地域型給付費負担金について、令和元年度実績に基づく国庫支出金等の精算を行いました。	
○主な経費	
過誤納償還金	1 千円

(款) 9 教育費

(項) 1 教育総務費

(目) 1 教育委員会費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
2,620	2,607						2,607

事業区分

1 教育委員会運営管理経費		2,607 千円	事項別明細書	P 162 ~
教育委員会運営管理業務		予算現額	2,620 千円	
		決算額	2,607 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	2,662 千円	
教育委員会（定例会12回）を開催し、例規や教育行政に関する議案等の審議を行いました。				
また、教育委員会の活動を広く市民に周知するため、教育委員会広報誌「教育委員会だより」を年2回発行しました。				
地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、外部評価委員による教育委員会の点検・評価を実施し、その結果をホームページで公表しました。				
○主な経費				
委員報酬	教育委員報酬（4人分）	2,400 千円		
印刷製本費	「教育委員会だより」印刷	111 千円		
会費等負担金	県市町教育委員会連絡協議会会費	60 千円		

(款) 9 教育費

(項) 1 教育総務費

(目) 2 事務局費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
89,919	89,479	218					89,261

事業 区分	1 事務局給与等管理費		89,479 千円		事項別明細書 P 162 ~	
	事務局運営業務			予算現額	89,919 千円	
				決算額	89,479 千円	
				翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう		(前年度決算額)	175,702 千円	

事務局運営業務

教育委員会事務局職員の人事、給与、福利厚生等の管理を行うとともに、予算・決算の調整や教育行政全般に関する事務処理など事務局内の調整を行い、効率的な事務の執行に努めました。

定年退職者が無かったことから、退職手当は昨年度と比較すると、75,831千円の減少となっています。

また、学校通学区審議会を開催し、市内小中学校の適正規模・適正配置に対する答申を受け、鳥羽市小中学校統合計画（令和3年度～令和12年度）の策定を行いました。

○主な経費

委員報酬	通学区審議会委員	122千円
給料		45,381千円
職員手当		23,349千円（うち退職手当（2人分）526千円）
共済費		14,589千円
家賃及び共益費	事務所賃借料	4,909千円
会費等負担金		
	全国教育長協議会年間会費	14千円
	東海北陸都市教育長協議会会費負担金	5千円
	県市町教育長会負担金	27千円

○主な財源

国庫支出金	地方創生臨時交付金	218千円
-------	-----------	-------

（款） 9 教育費

（項） 2 小学校費

（目） 1 学校管理費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
82,435	79,190	4,167		3,100		2,120	69,803

事業 区分	1 小学校給与等管理費		79,190 千円 事項別明細書 P 166 ~	
	小学校管理業務		予算現額	82,435 千円
			決算額	79,190 千円
			翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	113,282 千円
小学校校舎等の補修工事等を行うとともに、校務用パソコンなど小学校で使用する一般管理備品の購入を行いました。 また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う夏休みの短縮により、児童の熱中症予防のため、レンタルしたマイクロバスによる下校時の送迎を行いました。 そのほか鏡浦小学校の閉校記念事業に対して補助金の支出や、統合先である安楽島小学校への通学に必要なスクールバスの購入を行いました。				

小学校管理業務

○主な経費

委託料

鳥羽小学校スクールバス運転業務委託	3,660 千円
弘道小学校バス運転業務委託	1,726 千円
安楽島小学校バス運転業務委託（８月、９月）	311 千円
エレベーター保守点検業務（鳥羽小・弘道小・加茂小）	1,762 千円
浄化槽保守点検業務委託	2,208 千円
学校管理警備業務委託	594 千円
旧坂手小・旧小浜小・旧桃取小・弘道小旧旭分校用地除草業務委託	178 千円
鳥羽市小中学校等遊具保守点検業務委託	176 千円
小学校消防設備点検業務委託	848 千円
自家用電気工作物保安業務委託	1,065 千円
小中学校ICTヘルプデスク業務委託	478 千円

使用料及び賃借料

マイクロバスレンタル	726 千円
------------	--------

工事請負費

神島小中学校教員住宅改修工事	570 千円
神島小中学校教員住宅台所排水修繕工事	115 千円
神島小中学校教員住宅電力集計器盤改修工事	250 千円
加茂小学校昇降口フロアー等改修工事	1,232 千円
安楽島小学校運動場改修工事	499 千円
安楽島小学校保健室空調機取替工事	495 千円
安楽島小学校グラウンド通用門側溝修繕工事	330 千円

備品購入費

学校管理備品等	3,015 千円
安楽島小学校スクールバス購入	6,270 千円

負担金補助及び交付金

鏡浦小学校閉校記念事業費補助金	300 千円
-----------------	--------

○主な財源

国庫支出金	スクールバス・ボート等購入費補助金	3,130 千円
	地方創生臨時交付金	1,037 千円
地方債	教育施設整備事業債	3,100 千円

（款） 9 教育費

（項） 3 中学校費

（目） 1 学校管理費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
58,858	51,136					1,839	49,297

中学校管理業務	予算現額	58,858 千円
	決算額	51,136 千円
	翌年度繰越額	5,568 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 82,733 千円

中学校校舎等の補修工事等を行うとともに、校務用パソコンなど中学校で使用する一般管理備品の購入を行いました。また、鳥羽東中学校の自動火災報知設備の改修を行ったほか、神島小中学校教員住宅の改修を行い、教職員の住環境向上や快適な教育環境の整備や維持管理に努めました。

○主な経費

委託料

鳥羽東中学校スクールバス運転業務委託	5,953 千円
学校管理警備業務委託	356 千円
鳥羽東中学校エレベーター保守	588 千円
浄化槽保守点検業務委託	1,310 千円
鳥羽市小中学校等遊具保守点検業務委託	110 千円
中学校消防設備点検業務委託	687 千円
自家用電気工作物保安業務委託	355 千円
旧鏡浦中学校用地除草作業	59 千円
鳥羽東中学校通学路空家オオスズメバチ駆除	44 千円
小中学校ICTヘルプデスク業務委託	479 千円

工事請負費

神島小中学校教員住宅改修工事	570 千円
神島小中学校教員住宅台所排水修繕工事	115 千円
神島小中学校教員住宅電力集合計器盤改修工事	250 千円
鳥羽東中学校自動火災報知設備改修工事	2,132 千円
鳥羽東中学校体育器具庫シャッター修繕工事	342 千円
鳥羽東中学校消火ポンプ逆止弁改修等工事	499 千円
鳥羽東中学校GHP圧縮機交換工事	497 千円
答志中学校屋内消火栓遠隔起動結線替及び調整工事	94 千円

備品購入費

学校管理備品等	1,119 千円
---------	----------

(款) 9 教育費

(項) 4 幼稚園費

(目) 1 幼稚園費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
45,403	42,942	992	1,612	1,200	1,249	796	37,093

幼稚園管理業務	予算現額	45,403 千円
	決算額	42,942 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 43,652 千円

幼稚園園舎等の補修工事等を行うとともに、幼稚園で使用する一般管理備品を購入し、安全・安心な施設の管理運営を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症予防のため、保育室へ空気清浄機や、消毒液自動噴霧器の設置等を行いました。

令和2年度における幼稚園保育の状況は下記のとおりです。

【幼稚園保育】

	3歳児	4歳児	5歳児	計
園児数（令和3年3月時点）	9人	16人	14人	39人

【預かり保育】

・登録園児数 21人 ・延べ開園日数 191日 ・延べ利用園児 723人

○主な経費

委託料

かもめ幼稚園バス運転業務委託	2,643 千円
学校管理警備業務委託	119 千円
浄化槽保守点検業務委託	58 千円
鳥羽市小中学校等遊具保守点検業務委託	22 千円
幼稚園消防設備点検業務委託	34 千円

工事請負費

かもめ幼稚園保育室修繕工事	1,262 千円
---------------	----------

備品購入費

学校管理備品等	450 千円
---------	--------

会費等負担金

全国国公立幼稚園・こども園長会負担金	6 千円
三重県国公立幼稚園・こども園長会負担金	7 千円
東海北陸国公立幼稚園・こども園長会負担金	1 千円
三重県国公立幼稚園・こども園長会会費	8 千円
三重県特別支援教育研究会会費（幼稚園分）	3 千円
鳥羽志摩地区幼稚園教育研究会負担金	10 千円

補助金

学校給食費負担金	212 千円
施設型給付費（子ども・子育て支援教育・保育給付費）	1,438 千円

○主な財源

国庫支出金	子ども・子育て支援交付金	471 千円
	子どものための教育・保育給付費負担金	521 千円

幼稚園管理業務		
県支出金	施設型給付費・地域型保育給付費負担金	261 千円
	地域子ども・子育て支援事業費補助金	471 千円
	施設型給付費・地域型保育給付費補助金	380 千円
	認定こども園等緊急環境整備事業費補助金	500 千円
分担金及び負担金		
	施設型給付費負担金	553 千円
地方債	教育施設整備事業債	1,200 千円
繰入金	ふるさと創生基金繰入金	1,249 千円

学 校 教 育 課

【総括】

学校教育課では児童生徒の学力の向上、特別支援教育の推進、学校人権教育の充実、郷土学習の推進、学校防災・減災教育の推進、活力ある学校づくりの推進を柱として事業展開を行いました。

経済的、地理的要因により就学に支障をきたす児童生徒の保護者に対し、様々な補助や扶助を行いすべての児童生徒が等しく就学できる環境整備に努めました。

【新たに実施した事業】

英語を母国語とする専任英語指導助手を鳥羽市内の幼稚園、小中学校に配置し、園児・児童生徒に生きた外国語や外国文化・生活に触れる機会を提供しました。令和2年度は、3年間の長期契約に伴う2人に追加して1人の配置を行った結果、ALTが終日学校に配置され、授業の事前打ち合わせや児童生徒と交流を行うなど、時間を有効に活用することができました。

GIGAスクール構想の加速による学びの保障により、1人1台端末の整備が前倒しされ、学校ネットワーク環境の全校整備やタブレット端末の購入、オンライン学習環境の整備等を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策につきましては、各校へ消毒清掃サポーターの配置や非接触型体温計、アルコール消毒液等の購入を行いました。

中央共同調理場の民間委託を4月から実施するとともに、新型コロナウイルス感染症による臨時休校や夏休みの短縮に伴う夏場の給食実施など衛生管理に細心の注意を行いながら安全安心な給食の提供を行うことができました。

寝屋子の島留学事業につきましては、島親留学1人と家族留学3人（1家族3兄弟）を受入れました。令和3年度の募集については、実施委員会の協議の結果、コロナ禍の状況により、家族留学と孫留学のみを募集することとなりました。

【予算執行を伴わない事業】

市内に3人配置されている栄養教諭（県費負担教職員）が作成する毎月の給食献立について協議や検討を行ったほか、食育と旬でおいしい地物を食する地産地消の推進を図るために、給食調整会議を実施しました。また、鳥羽が好きふるさと給食では、答志中学校の生徒が養殖を行ったワカメを食材として活用するなど生産者の思いを伝える、食育の授業を行いました。

鳥羽志摩の中学3年生の高校進学に係る修学支援として、御木本奨学金の申請、交付等の事務手続きに協力しました。

（款） 9 教育費

（項） 1 教育総務費

（目） 2 事務局費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
3,908	3,905					6	3,899

事業区分 1 事務局給与等管理費		3,905 千円 事項別明細書 P 162 ~	
事務局運営業務	予算現額	3,908 千円	
	決算額	3,905 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	1,951 千円
事務補助職員として会計年度任用職員 1 人を引き続き配置しました。 ○主な経費 会計年度任用職員報酬等 1 人 2,519千円			

(款) 9 教育費

(項) 1 教育総務費

(目) 3 教育振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
46,456	42,557	1,921	1,520	4,800	5,668	4,479	24,169

事業区分 1 教育支援事業		16,338 千円 事項別明細書 P 164 ~	
心身障がい児就学指導事業	予算現額	37 千円	
	決算額	12 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	25 千円
心身障がい児就学指導委員会（医師、教員、保育士など10人で構成）を年間8回開催し、新年度に小・中学校に入学予定の特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の保護者に対して、適切な就学指導を行いました。 ○就学指導対象幼児：13人、児童・生徒：3人 ○主な経費 就学指導委員会報償費 12千円			
教育支援センター事業	予算現額	1,209 千円	
	決算額	1,193 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	1,025 千円
様々な理由により不登校など学校生活に悩みをもつ児童・生徒の実態に即した指導や支援を行い、児童・生徒の自立支援を行うため教育支援センターHARPに専任指導員1人を配置し通給している児童・生徒へ生活指導や学習支援などを行いました。 また、学校への定期的な訪問を行い、集団不適応を示したり、不登校傾向にある児童・生徒に対して支援を行いました。 ○主な経費 報償費 659千円 ○主な財源 県支出金 不登校対策推進事業補助金 200千円			

教育支援センター事業

【通級生内訳】

	R 1			R 2		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計
小5	0	0	0	0	0	0
小6	0	1	1	0	0	0
中1	1	0	1	0	1	1
中2	0	1	1	1	0	1
中3	1	0	1	0	1	1
合計	2	2	4	1	2	3

【相談の状況】

【単位：件】

相談件数内訳		R 1		R 2	
		電話	個別面談	電話	個別面談
対象者内訳	小学生	228	218	202	206
	中学生	278	310	279	282
	高校生、その他	13	20	6	28
	計	519	548	487	516
相談内容内訳	不登校	181	148	207	186
	集団不適応	54	56	63	89
	友達関係	2	6	17	12
	問題行動	11	14	0	14
	心身障がい	0	0	0	0
	その他	271	324	200	215
	計	519	548	487	516

児童生徒支援事業

予算現額 1,973 千円

決算額 1,623 千円

翌年度繰越額 0 千円

まちづくりの目標 1-1 【人材育成】 市民の郷土愛を育てよう

(前年度決算額) 1,973 千円

子どもたちが心にゆとりをもって学校生活を送るため、気軽に悩みなどを相談できるよう、心の教室相談員3人を学校とHARPに配置しました。授業や休み時間など様々な状況で子どもの様子を観察し、積極的に子どもとの会話を行うことにより、人間関係を構築し、相談や話し相手となり、子どもの心の安定に努めました。また、相談内容については担任に報告し今後の指導の方向性を統一していくようにしました。

○心の教室相談員配置校：安楽島小（1人）、鳥羽東中（1人）、HARP（1人）

○主な財源

繰入金 ふるさと創生基金繰入金 1,623千円

外国人英語指導業務委託事業

予算現額 12,871 千円

決算額 12,870 千円

翌年度繰越額 0 千円

まちづくりの目標 1-1 【人材育成】 市民の郷土愛を育てよう

(前年度決算額) 8,150 千円

かもめ幼稚園及び市内小中学校に外国人英語指導助手3人を派遣し、外国語指導の補助や、子どもたちとの触れ合いにおいて、園児や児童・生徒のコミュニケーション能力の向上と国際感覚の育成を図りました。

○主な経費

委託料 外国語指導助手業務委託事業 12,870千円

○主な財源

繰入金 ふるさと創生基金繰入金 4,045千円

諸収入 三重県市町村振興協会市町村交付金 4,479千円

特別支援教育体制整備事業		予算現額	45 千円															
		決算額	30 千円															
		翌年度繰越額	0 千円															
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	105 千円															
発達障がいを含むすべての障がいのある児童・生徒の特別支援教育を総合的に推進するため、それらに関する専門的知識や経験を有する巡回相談員を派遣し、当該校の教員などに支援の必要な児童・生徒に対する指導内容や指導方法に関する助言を行いました。 また、途切れのない支援体制の構築を目指した保育所・幼稚園と小学校、小学校と中学校との引き継ぎにおいて、児童・生徒に対する個別の教育支援計画や指導計画の作成に向けた助言を行いました。 ○巡回相談回数（支援を要する児童・生徒数） 小学校 1 回（1 人） 中学校 2 回（1 人） ○教員対象研修会 2 回開催																		
英語検定チャレンジ事業		予算現額	714 千円															
		決算額	610 千円															
		翌年度繰越額	0 千円															
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	668 千円															
国際観光文化都市である鳥羽市において、児童・生徒の英語への親しみや興味、関心を引き出すとともに、積極的に英語でコミュニケーションを図る力を育てるため、小学校と中学校において、英検Jrと英検を実施しました。 ○英検Jr 小学6年生：111人、英検 中学1年生95人・2年生140人 ○主な経費 委託料 英語検定委託業務 533千円 英語検定ジュニア学校版ブロンズ 77千円 受検者等推移																		
	令和元年度									令和2年度								
	受検人数			合格人数			合格率			受検人数			合格人数			合格率		
	1年生	2年生	合計	1年生	2年生	合計	1年生	2年生	合計	1年生	2年生	合計	1年生	2年生	合計	1年生	2年生	合計
5級	93	25	118	75	13	88	80.6%	52.0%	74.6%	79	28	107	62	16	78	78.5%	57.1%	72.9%
4級	14	91	105	8	57	65	57.1%	62.6%	61.9%	11	82	93	9	53	62	81.8%	64.6%	66.7%
3級	3	22	25	3	16	19	100%	72.2%	76.0%	5	24	29	4	17	21	80%	70.8%	72.4%
準2級	1	6	7	1	1	2	100%	16.7%	28.6%	0	4	4	0	1	1	0.0%	25.0%	25.0%
2級	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	2	2	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
全体	111	144	255	87	87	174	78.4%	60.4%	68.2%	95	140	235	75	87	162	78.9%	62.1%	68.9%

事業区分	2 教育振興事業	22,869 千円	事項別明細書 P 164 ~
児童生徒書き初め大会事業		予算現額	41 千円
		決算額	34 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	39 千円

児童生徒書き初め大会事業			
市内小中学校の児童・生徒の学習成果を発表するための機会を提供するとともに伝統文化である「書道」に親しみ、学びを広げるため書き初め作品展を開催しました。 ○作品出展数 小学校：466人（3年～6年）、中学校：413人（1年～3年） ○作品展示場所 市立図書館、ショッピングプラザハロー、鳥羽マリンターミナル 鳥羽マルシェ、希望校巡回展示			
学校人権教育事業		予算現額	129 千円
		決算額	105 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	115 千円
市人権教育推進委員会と市人権フォーラム実行委員会の活動を中心に各校における人権教育の推進に取り組みました。 また、各学校での取組を通して子どもたちが感じた思いや意見を出し合うことで、人権問題に対する認識を深め、感性を高め実践力の育成を図るため人権フォーラムを開催しました。 参加した子どもたちは、普段交流のない他校の子どもたちの発表を聞いたり意見交換などを行うことで更に人権への考えが深められました。 人権フォーラム参加児童生徒数 小学生 22人（8校） 中学生 20人（5校） ○主な経費 人権フォーラム参加に係る使用料及び賃借料 95千円			
へき地教育振興事業		予算現額	144 千円
		決算額	143 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	142 千円
へき地複式教育に関わる団体への補助などを行い、団体を通してへき地複式校における教育条件の整備等の支援を行いました。 ○主な経費 会費等負担金 三重県へき地複式教育振興会及び研究会負担金等 83千円 補助金 市へき地複式教育振興会補助金 60千円			
教育振興管理事業		予算現額	16,321 千円
		決算額	15,698 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	2,666 千円
学校運営協議会委員や学校評議員を委嘱し、意見や助言をいただくことにより、地域及び家庭と学校との連携を図り学校運営に生かすように取り組みました。 小中学校の教師用教科書及び指導書が改訂され、その調達を行いました。			

教育振興管理事業

○学校別児童・生徒、教職員数（令和2年5月1日現在）

＜1＞小学校

区分 学校名	児童数(人)	学級数			教職員数（人）						
		普通	特別支援	計	校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	事務員	計
鳥羽	167 (18)	6	4	10	1	1	14	1	0	1	18
答志	48 (1)	5	1	6	1	1	7	1	1	1	12
神島	11 (1)	3	1	4	0	1	4	1	0	1	7
菅島	14 (1)	3	1	4	1	1	4	1	1	1	9
加茂	125 (7)	6	2	8	1	1	9	1	0	1	13
安楽島	242 (4)	10	1	11	1	1	14	1	0	1	18
鏡浦	14 (0)	3	0	3	1	1	4	1	0	1	8
弘道	68 (2)	6	1	7	1	1	8	1	0	1	12
計	689 (34)	42	11	53	7	8	64	8	2	8	97

※（ ）内の数は、特別支援学級児童数（内数）、学級数は、実学級数

＜2＞中学校

区分 学校名	児童数(人)	学級数			教職員数（人）						
		普通	特別支援	計	校長	教頭	教諭	養護教諭	栄養教諭	事務員	計
鳥羽東	256 (7)	9	2	11	1	1	21	1	1	1	26
答志	39 (1)	3	1	4	1	1	7	1	0	1	11
神島	11 (2)	3	1	4	1	1	6	0	0	1	9
加茂	69 (1)	3	1	4	1	1	7	1	0	1	11
長岡	39 (1)	3	1	4	1	1	7	1	0	1	11
計	414 (12)	21	6	27	5	5	48	4	1	5	68

※（ ）内の数は、特別支援学級児童数（内数）、学級数は、実学級数

＜3＞幼稚園

区分 幼稚園名	園児数(人)				学級数	職員数（人）		
	3歳児	4歳児	5歳児	計		園長	教諭	計
かもめ	8	15	13	36	3	1	5	6

○主な経費

需用費	教師用教科書及び指導書調達等	14,312千円
会費等負担金	鳥羽志摩地区教科用図書採択協議会分担金	7千円
	三重県特別支援教育研究会会費	3千円
補助金	鳥羽志摩子ども作品展事業補助金	25千円
	離島通勤職員宿泊補助金	240千円

学力向上推進事業

		予算現額	26 千円
		決算額	26 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	43 千円

学力向上推進事業			
児童生徒の学力向上を図るため、全国学力・学習状況調査などの結果を基に学力向上委員会で指導方法の改善等を協議し、授業の改善に努めました。 また、新学習指導要領改訂のポイントとそれに伴って小中学校それぞれで課題となることを学び、市内各校に広げていけるよう努めました。			
学校図書館整備事業		予算現額	4,884 千円
		決算額	4,884 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	4,436 千円
市内小中学校の学校図書館に司書資格を有する者を派遣し、図書館の環境整備や図書担当教員への指導や助言、図書館を活用した授業を推進するなど子どもたちの読解力や文章力の向上に努めました。 小学校：33日/年 中学校：16日/年 ○主な経費 委託料 学校図書館司書業務 4,884千円 ○主な財源 地方債 過疎地域自立促進特別事業債 4,800千円			
寝屋子の島留学事業		予算現額	1,491 千円
		決算額	659 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	1,024 千円
答志中学校区をモデル地区として離島留学に取り組み、実施委員会との協議や打合せを実施しました。また、研修会の実施や留学生を受入れるためのPR活動を実施し、令和2年度4月より島親（里親）留学1人と家族留学3人の受け入れを行いました。 ○主な経費 補助金 寝屋子の島留学補助金 659千円 ○主な財源 国庫支出金 離島活性化交付金 329千円			
学校安全総合支援事業		予算現額	1,383 千円
		決算額	1,320 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	577 千円
市内小中学校において「鳥羽市防災・減災プラン集 明日へのつばさ」を活用し、授業実践を行いました。また、ESD（持続可能な社会のための教育）の視点に立った防災・減災教育について気仙沼市で実践を進めた及川幸彦氏（東京大学大学院教育研究科付属海洋教育センター地球環境学博士）を招き、防災・減災教育講演会を開催しました。 鏡浦、弘道、加茂、答志小学校を実践推進校に指定し、学校防災アドバイザーである三重大学川口准教授から指導助言をいただき、児童が主体的に防災・減災に取り組む活動を行いました。 ○主な経費 備品購入費 緊急地震速報受信端末 880千円 ○主な財源 県委託金 学校安全総合支援事業委託金 1,320千円			

高校生修学支援事業		予算現額	5,188 千円
		決算額	3,350 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	5,907 千円

教育における経済的負担の軽減を図るとともに、子育て支援及び定住促進に資するため、本市に在住している高校生の通学費の一部や、通学が困難で下宿をしている高校生の下宿費の一部を補助しました。

また、近隣高校の該当生徒へ本補助制度の案内の配布を行い、申請件数の拡大に努めました。

○主な経費

補助金 高等学校通学費補助金 3,350千円

※内訳 通学費 50件 1,927千円（本土 5件 165千円 離島 45件 1,762千円）

下宿費 14件 1,423千円

○主な財源

国庫支出金 離島高校生修学支援費補助金 1,592千円

(款) 9 教育費

(項) 2 小学校費

(目) 1 学校管理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
24, 874	24, 416	1, 446			22, 884	78	8

小学校管理業務		予算現額	24,874 千円
		決算額	24,416 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	0 千円

市内小学校に在籍する様々な障がいのある児童や特別な支援を必要とする児童を適切に支援するために、特別支援教育支援員15人を小学校に配置し、学校における日常活動の介助や学習活動等のサポートを行い、児童の自立に向け支援を行いました。

○支援員配置校

小学校：鳥羽小（４人） 答志小（２人） 菅島小（１人） 加茂小（２人） 安楽島小（４人）
鏡浦小（１人） 弘道小（１人）

○主な経費

会計年度任用職員報酬（支援員） 17,725千円

○主な財源

国庫支出金 地方創生臨時交付金 1,446千円

繰入金	ふるさと創生基金繰入金	22,884千円
-----	-------------	----------

(款) 9 教育費

(項) 2 小学校費

(目) 2 教育振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
82,479	75,715	49,646		13,000	2,309		10,760

事業
区分

1 小学校教育振興経費

69,070 千円 事項別明細書 P 168 ~

小学校教育振興事業		予算現額	3,439 千円
		決算額	2,937 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	3,979 千円
各小学校に必要な各種教材備品の購入やGIGAスクール構想に伴うICT機器の購入を行い教育環境の充実に努めました。また、小学5年生を対象とした海の博物館での体験学習や小学4年生を対象とした鳥羽警察署ややまだエコセンター等の公共施設の見学を通して学習内容をより一層深めることができました。			
○主な経費			
備品購入費	学校教材備品	400千円	
	ICT機器	1,157千円	
委託料	海環境体験事業委託業務	227千円	
会費等補助金	三重県学校図書館協議会	39千円	
補助金	高度へき地児童修学旅行費補助金	75千円	
	修学旅行引率教員事業補助金	113千円	
○主な財源			
国庫支出金	高度へき地児童修学旅行費補助金	26千円	
	地方創生推進交付金	134千円	

理科教育振興事業		予算現額	305 千円
		決算額	270 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	218 千円
小学校における理科・算数教育の充実を図るため、各学校の実態に応じた理科・算数の教材備品を整備しました。			
○主な経費			
備品購入費	理科・算数備品	186千円	
○主な財源			
国庫支出金	理科教育設備整備費補助金	81千円	

高度情報通信システム利用教育事業		予算現額	38,613 千円
		決算額	38,476 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	3,502 千円

高度情報通信システム利用教育事業			
GIGAスクール構想に伴う児童生徒用1人1台タブレット端末の購入をはじめ、ICT教育に必要な機器の購入を行うとともに、通信ネットワーク環境や端末管理に係るライセンス契約などICT教育環境の整備を行いました。			
○主な経費			
備品購入費	iPad Wi-Fi32GB及びキーボード	689台	27,931千円
	大型提示装置	21台	1,549千円
	小学校教師用端末	34台	2,502千円
	その他周辺機器（タッチペン、WEBカメラ等）		707千円
電算委託料	Jamf Pro ライセンス契約等		3,167千円
○主な財源			
国庫支出金	公立学校情報機器整備費補助金		18,740千円
	学校保健特別対策事業費補助金		2,286千円
	地方創生臨時交付金		14,811千円
高度情報通信システム利用教育事業【繰越明許費】		予算現額	29,492 千円
		決算額	26,159 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	－ 千円
GIGAスクール構想の実現を目指し、高速通信ネットワーク環境整備として、各小学校に校内LANや電源キャビネットの整備を行いました。			
○主な経費			
工事請負費	答志小学校他3校情報通信ネットワーク環境整備工事		7,053千円
	安楽島小学校他2校情報通信ネットワーク環境整備工事		8,820千円
	鳥羽小学校他2校情報通信ネットワーク環境整備工事		10,286千円
○主な財源			
国庫支出金	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金		13,080千円
市債	教育施設整備事業債		13,000千円
活力ある学校づくり推進事業		予算現額	1,600 千円
		決算額	1,228 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	1,434 千円
特色ある学校事業を実践させることにより児童の活力を引き出す学校づくりを推進しました。			
各学校において、校外学習や地域に開かれた学校づくりの取組を行い、体験を通して学ぶ児童活動を推進しました。			
各校の主な活動内容			
・鳥羽小学校	校内研修充実事業、地域文化ふれあい事業、芸術鑑賞会		
・答志小学校	食の体験フェスタ週間、海洋教育関連体験学習など		
・神島小学校	島っ子太鼓活動事業、神島っ子ガイド活動事業など		
・菅島小学校	「島っ子ガイド」事業、「地域とともにある学校づくり」など		
・加茂小学校	演劇鑑賞事業、米づくり体験、花壇整備など		

活力ある学校づくり推進事業		
・安楽島小学校	アサリの養殖体験、芸術（演劇）鑑賞会、花壇整備など	
・鏡浦小学校	学校間交流、伝承文化体験、学力向上（演劇講座）など	
・弘道小学校	文化・芸術体験事業、地域人材によるクラブ活動事業など	
○主な経費		
講師等報償費		389千円
需用費（消耗品等）		554千円
○主な財源		
国庫支出金	地方創生推進交付金	49千円
繰入金	ふるさと創生基金繰入金	1,055千円

事業区分

2 就学奨励事業

6,329 千円 事項別明細書 P 168 ~

特別支援教育就学対策事業		予算現額	1,127 千円																					
		決算額	837 千円																					
		翌年度繰越額	0 千円																					
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	1,035 千円																					
心身に障がいのある児童の適切な就学を図るため、関係機関との連携及び特別支援学級、通級指導教室設置校の機能の充実を図りました。 特別支援学級に在籍する児童の保護者からの申請により、世帯の所得に応じて就学に必要な経費の扶助を行い、保護者の経済的な負担の軽減を図りました。 また、特別支援学級、通級指導教室における教育活動で必要となる備品の購入を行い、教育環境の整備を行いました。 特別支援教育就学奨励費受給者数 8人 ○主な経費 <table><tr><td>備品購入費</td><td>学校教材備品の調達（特別支援学級）</td><td>178千円</td></tr><tr><td>会費等負担金</td><td>三重県特別支援学級設置学校長会会費</td><td>18千円</td></tr><tr><td></td><td>鳥羽志摩特別支援教育研究会負担金</td><td>16千円</td></tr><tr><td></td><td>三重県言語・聴覚・発達障がい研究会参加負担金</td><td>3千円</td></tr><tr><td></td><td>三重県特別支援教育研究会負担金</td><td>24千円</td></tr><tr><td>扶助費</td><td>特別支援教育就学奨励費</td><td>553千円</td></tr></table> ○主な財源 <table><tr><td>国庫支出金</td><td>特別支援教育就学奨励費補助金</td><td>141千円</td></tr></table>				備品購入費	学校教材備品の調達（特別支援学級）	178千円	会費等負担金	三重県特別支援学級設置学校長会会費	18千円		鳥羽志摩特別支援教育研究会負担金	16千円		三重県言語・聴覚・発達障がい研究会参加負担金	3千円		三重県特別支援教育研究会負担金	24千円	扶助費	特別支援教育就学奨励費	553千円	国庫支出金	特別支援教育就学奨励費補助金	141千円
備品購入費	学校教材備品の調達（特別支援学級）	178千円																						
会費等負担金	三重県特別支援学級設置学校長会会費	18千円																						
	鳥羽志摩特別支援教育研究会負担金	16千円																						
	三重県言語・聴覚・発達障がい研究会参加負担金	3千円																						
	三重県特別支援教育研究会負担金	24千円																						
扶助費	特別支援教育就学奨励費	553千円																						
国庫支出金	特別支援教育就学奨励費補助金	141千円																						
就学援助事業		予算現額	7,426 千円																					
		決算額	5,492 千円																					
		翌年度繰越額	0 千円																					
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	6,223 千円																					
経済的理由により就学することに支障をきたしている児童の保護者からの申請に基づき、就学にかかる経済的援助を行いました。 また、地理的条件のため遠距離通学をしている児童の保護者に対し、通学費の補助を行い保護者の経済的負担の軽減を図りました。 遠距離通学費補助対象児童数 131人																								

就学援助事業

準要保護指導生徒数推移

	H30			R 1			R 2		
	生徒数	対象者数	割合	生徒数	対象者数	割合	生徒数	対象者数	割合
小学校	735	107	14.6%	701	123	17.5%	689	128	18.6%
中学校	419	68	16.2%	424	79	18.6%	414	84	20.3%
計	1,154	175	15.2%	1,125	202	18.0%	1,103	212	19.2%

○主な経費

補助金	遠距離児童通学費補助金	2,508千円
扶助費	準要保護児童就学援助費	2,984千円

○主な財源

国庫支出金	遠距離通学費補助金	298千円
繰入金	ふるさと創生基金繰入金	1,254千円

事業
区分

3 小学校相談事業

36 千円 事項別明細書 P 168 ~

学校ボランティアパートナーシップ事業		予算現額	45 千円
		決算額	36 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	47 千円
読み聞かせのボランティア団体「ミルキーウェイ」と「読み聞かせの会」の協力を得て、希望する小学校を訪問し絵本や紙芝居を用いた読み聞かせを行いました。学校での読書指導と合わせ児童の読書への関心・意欲の向上を図り、想像力や感性を豊かにすることができました。 学校訪問回数 13回（ミルキーウェイ 4回、読み聞かせの会 9回） ○主な経費 読み聞かせボランティア報償費 36千円			

事業
区分

4 教職員研修事業

280 千円 事項別明細書 P 168 ~

教職員研修事業		予算現額	280 千円
		決算額	280 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	520 千円
鳥羽志摩教育研究会や市教育研究推進校への補助を通して教職員の資質の向上を図りました。 また、各校からの授業研究に係る指導主事への派遣要請を受け要請訪問を実施し、授業に対しての指導及び助言を行いました。 鳥羽市教育研究推進校 鳥羽小学校 研究主題 「命をつなぐ子鳥羽をつなぐ子の育成」 ～人や地域とつながる力をつけて未来を創る～ 指導主事要請訪問回数 31回（小学校8校延べ数） ○主な経費 会費等負担金 鳥羽市小中学校校長会補助金 40千円 鳥羽市小中学校教頭会補助金 40千円 補助金 鳥羽市教育研究推進校事業補助金 200千円			

事業区分	5 友好都市提携事業	0 千円	事項別明細書	P 168 ~
事業区分	友好都市提携事業	予算現額	152 千円	
		決算額	0 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	124 千円
友好都市である兵庫県三田市との学習交流を行うことで、お互いの住む地域の特性や素晴らしさを学び地域に対する認識を深めて郷土愛の育成を目指します。 ○交流内容 三田市立母子小学校への学校間交流事業（新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止） Zoomによるオンライン交流事業（学期に1度実施）				

(款) 9 教育費

(項) 3 中学校費

(目) 1 学校管理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
11,330	11,254	659			10,556	36	3

事業区分	1 中学校給与等管理費	11,254 千円	事項別明細書	P 170 ~
事業区分	中学校管理業務	予算現額	11,330 千円	
		決算額	11,254 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	0 千円
市内中学校に在籍する様々な障がいのある生徒や特別な支援を必要とする生徒を適切に支援するために、特別支援教育支援員6人を小学校に配置し、学校における日常活動の介助や学習活動等のサポートを行い、生徒の自立に向け支援を行いました。 ○支援員配置校 中学校：鳥羽東中（3人）神島中（1人）加茂中（1人）長岡中（1人） ○主な経費 会計年度任用職員報酬（支援員） 8,291千円 ○主な財源 国庫支出金 地方創生臨時交付金 659千円 繰入金 ふるさと創生基金繰入金 10,556千円				

(款) 9 教育費

(項) 3 中学校費

(目) 2 教育振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
55,620	46,616	28,968		6,100	879		10,669

中学校教育振興事業		予算現額	3,635 千円
		決算額	2,606 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	3,095 千円
各中学校に必要な各種教材備品や学校図書を整備し、教育環境の充実に努めました。			
○主な経費			
備品購入費	学校教材備品	614千円	
	ICT機器	295千円	
会費等補助金	三重県学校図書館協議会	28千円	
補助金	高度へき地児童生徒修学旅行費補助金	75千円	
	鳥羽東中学校再編生徒通学費補助金	113千円	
○主な財源			
国庫支出金	高度へき地生徒修学旅行費補助金	185千円	
理科教育振興事業		予算現額	243 千円
		決算額	187 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	647 千円
中学校における理科・数学教育の充実を図るため、各学校の実態に応じた理科・数学の教材備品を整備しました。			
○主な経費			
備品購入費	理科・算数備品	135千円	
○主な財源			
国庫支出金	理科教育設備整備費補助金	56千円	
コンピュータ教育事業		予算現額	24,113 千円
		決算額	24,035 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	1,915 千円
GIGAスクール構想に伴う児童生徒用1人1台タブレット端末の購入をはじめ、ICT教育に必要な機器の購入を行いました。			
○主な経費			
備品購入費	iPad Wi-Fi32GB及びキーボード	414台	16,783千円
	大型提示装置	8台	590千円
	小学校教師用端末	39台	2,870千円
	その他周辺機器（タッチペン、WEBカメラ等）		377千円
電算委託料	Jamf Pro ライセンス契約等		1,903千円
○主な財源			
国庫支出金	公立学校情報機器整備費補助金	11,238千円	
	学校保健特別対策事業費補助金	1,868千円	
	地方創生臨時交付金	9,406千円	

コンピュータ教育事業【繰越明許費】		予算現額	16,376 千円
		決算額	12,291 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	－ 千円
GIGAスクール構想の実現を目指し、高速通信ネットワーク環境整備として、各中学校に校内LANや電源キャビネットの整備を行いました。 ○主な経費 工事請負費 答志小学校他3校情報通信ネットワーク環境整備工事 1,909千円 安楽島小学校他2校情報通信ネットワーク環境整備工事 266千円 鳥羽小学校他2校情報通信ネットワーク環境整備工事 10,116千円 ○主な財源 国庫支出金 公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金 6,145千円 市債 教育施設整備事業債 6,100千円			
活力ある学校づくり推進事業		予算現額	1,250 千円
		決算額	851 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	1,078 千円
特色ある学校事業を实践させることにより生徒の活力を引き出す学校づくりを推進しました。 各学校において、校外学習や地域に開かれた学校づくりの取組を行い、体験を通して学ぶ生徒活動を推進しました。 各校の主な活動内容 ・鳥羽東中学校 香しき文化構築事業、花開く人権感覚醸成事業など ・答志中学校 ワカメ養殖体験学習、藻場再生体験学習、文化祭など ・神島中学校 人権学習推進事業、学校間交流事業、芸術工芸体験事業 ・加茂中学校 キャリア教育推進事業、安全教育推進事業、文化活動奨励事業など ・長岡中学校 特設クラブ育成事業、開かれた学校推進事業、職業体験学習事業 ○主な経費 講師等報償費 268千円 消耗品費 341千円 ○主な財源 国庫支出金 地方創生推進交付金 2千円 繰入金 ふるさと創生基金繰入金 849千円			

事業 区分	2 就学奨励事業		6,596 千円	事項別明細書	P 172 ~
	特別支援教育就学対策事業		予算現額	458 千円	
			決算額	195 千円	
			翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	224 千円	

特別支援教育就学対策事業			
心身に障がいのある生徒の適切な就学を図るため、関係機関との連携及び特別支援学級の機能の充実を図りました。			
また、特別支援学級に在籍する生徒の保護者からの申請により、世帯の所得に応じて就学に必要な経費の扶助を行い保護者の経済的な負担の軽減を図りました。			
特別支援教育就学奨励費受給者数 4人			
○主な経費			
会費等負担金		三重県特別支援学級設置学校長会会費	13千円
		鳥羽志摩特別支援教育研究会負担金	10千円
		三重県特別支援教育研究会負担金	15千円
扶助費		特別支援教育就学奨励費	157千円
○主な財源			
国庫支出金		特別支援教育就学奨励費補助金	68千円

就学援助事業		予算現額	9,495 千円
		決算額	6,401 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	7,515 千円

経済的理由により就学することに支障をきたしている生徒の保護者からの申請に基づき、就学に係る経済的援助を行いました。また、地理的条件のため遠距離通学をしている生徒の保護者に対し、通学費の補助を行い保護者の経済的負担の軽減を図りました。			
遠距離通学費補助対象生徒数 17人			
○主な経費			
補助金		遠距離児童通学費補助金	2,082千円
扶助費		準要保護児童就学援助費	4,319千円
○主な財源			
繰入金		ふるさと創生基金繰入金	30千円

事業区分

3 教職員研修事業		50 千円	事項別明細書	P 172 ~
教職員研修事業		予算現額	50 千円	
		決算額	50 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	300 千円	
鳥羽志摩教育研究会や市教育研究推進校への補助を通して教職員の資質の向上を図りました。				
また、各校からの授業研究に係る指導主事への派遣要請を受け要請訪問を実施し、授業に対しての指導及び助言を行いました。				
指導主事要請訪問回数 14回（中学校 5 校延べ数）				
○主な経費				
会費等負担金		鳥羽市小中学校校長会補助金	25千円	
		鳥羽市小中学校教頭会補助金	25千円	

(款) 9 教育費

(項) 6 保健体育費

(目) 2 保健体育振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
21,254	20,024	3,478				2,266	14,280

事業区分

2 学校体育活動事業

20,024 千円 事項別明細書 P 184 ~

小中学校（園）保健振興事業		予算現額	21,254 千円
		決算額	20,024 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	16,233 千円

学校保健安全法に基づき園児、児童生徒及び教職員の健康保持と増進を図るため、学校医・学校歯科医及び薬剤師等各機関の協力の下、健康診断・各種検査を行いました。

また、幼稚園、小中学校の管理下における災害に対し、日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度に加入し、園児、児童・生徒の災害における医療費等の給付を行いました。

災害共済給付状況

学校種別	給付件数（件）	給付額（千円）
小学校	43	208
中学校	169	1,641
幼稚園	0	0
合計	212	1,849

○主な経費

報酬	学校医報酬	9,234千円	
消耗品費	新型コロナウイルス感染症対策用品（消毒液等）	1,383千円	
委託料	心臓検診委託料	508千円	
	尿検査委託料	187千円	
	教職員健康診断委託料	671千円	
	ストレスチェック	114千円	
	受水槽及び高架水槽清掃管理業務	513千円	
	学校保健教育研究事業委託料	200千円	
	備品購入費	学校保健備品	121千円
	新型コロナウイルス感染症対策備品（非接触型体温計など）	309千円	
会費等負担金	三重県学校保健会会費	19千円	
	日本スポーツ振興センター災害給付金負担金	1,033千円	
負担金及び補助金	日本スポーツ振興センター災害給付金	1,849千円	

○主な財源

国庫支出金	高度へき地学校児童生徒保健事業費補助金	274千円
	学校保健特別対策事業費補助金	943千円
	地方創生臨時交付金	2,261千円
分担金及び負担金	日本スポーツ振興センター負担金	417千円
諸収入	日本スポーツ振興センター災害給付金	1,849千円

(款) 9 教育費

(項) 6 保健体育費

(目) 4 学校給食費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
92,290	91,439	1,488			3,192	718	86,041

事業区分

1 学校給食給与等管理費

91,439 千円 事項別明細書 P 186 ~

学校給食運営事業		予算現額	32,781 千円																														
		決算額	32,193 千円																														
		翌年度繰越額	0 千円																														
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	49,609 千円																														
学校給食法に基づき、児童生徒の心身の健全な発達を目的とし栄養バランスのとれた学校給食を提供しました。また、学校給食を通して食生活全般を通した食育の推進を図りました。 年2回（11月・2月）、地元でとれる新鮮な旬の食材の給食のメニューを取り入れ、「自然豊かな鳥羽」の良さを食を通して、児童・生徒が再確認とし、鳥羽を愛する心（郷土愛）を育むために「鳥羽が好きふるさと給食」を実施しました。（市内小中学校、幼稚園、同一メニュー） 学校給食衛生管理基準に沿った学校給食を実施するため、給食調理場の設備、備品の整備を行いました。 また、経済的に困窮し就学困難な児童生徒の保護者に対して学校給食費の援助を行いました。 ○主な経費 <table><tr><td>光熱水費</td><td></td><td>819千円</td></tr><tr><td>委託料</td><td>菅島小学校学校給食調理業務委託</td><td>4,302千円</td></tr><tr><td></td><td>答志共同調理場学校給食調理業務委託</td><td>8,780千円</td></tr><tr><td></td><td>神島小・中学校学校給食調理業務委託</td><td>4,305千円</td></tr><tr><td>扶助費</td><td>準要保護児童生徒就学援助費（給食費）</td><td>10,229千円</td></tr><tr><td></td><td>臨時休校に伴う昼食費補助</td><td>1,259千円</td></tr></table> ○主な財源 <table><tr><td>国庫支出金</td><td>地方創生臨時交付金</td><td>1,465千円</td></tr><tr><td></td><td>地方創生推進交付金</td><td>3千円</td></tr><tr><td>諸収入</td><td>学校給食牛乳搬送費</td><td>108千円</td></tr><tr><td></td><td>学校臨時休業対策費補助金</td><td>610千円</td></tr></table>				光熱水費		819千円	委託料	菅島小学校学校給食調理業務委託	4,302千円		答志共同調理場学校給食調理業務委託	8,780千円		神島小・中学校学校給食調理業務委託	4,305千円	扶助費	準要保護児童生徒就学援助費（給食費）	10,229千円		臨時休校に伴う昼食費補助	1,259千円	国庫支出金	地方創生臨時交付金	1,465千円		地方創生推進交付金	3千円	諸収入	学校給食牛乳搬送費	108千円		学校臨時休業対策費補助金	610千円
光熱水費		819千円																															
委託料	菅島小学校学校給食調理業務委託	4,302千円																															
	答志共同調理場学校給食調理業務委託	8,780千円																															
	神島小・中学校学校給食調理業務委託	4,305千円																															
扶助費	準要保護児童生徒就学援助費（給食費）	10,229千円																															
	臨時休校に伴う昼食費補助	1,259千円																															
国庫支出金	地方創生臨時交付金	1,465千円																															
	地方創生推進交付金	3千円																															
諸収入	学校給食牛乳搬送費	108千円																															
	学校臨時休業対策費補助金	610千円																															
学校給食運営事業（中央調理場）		予算現額	59,509 千円																														
		決算額	59,246 千円																														
		翌年度繰越額	0 千円																														
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	31,120 千円																														
学校給食法に基づき、児童生徒の心身の健全な発達を目的とし栄養バランスのとれた学校給食を提供しました。また、学校給食を通して食生活全般を通した食育の推進を図りました。 年2回（11月・2月）、地元でとれる新鮮な旬の食材の給食のメニューを取り入れ、「自然豊かな鳥羽」の良さを食を通して、児童・生徒が再確認とし、鳥羽を愛する心（郷土愛）を育むために「鳥羽が好きふるさと給食」を実施しました。地元の食材として答志中学校が体験学習で養殖を行ったワカメを使用し生産者の思いを伝える食育の授業を行いました。																																	

学校給食運営事業（中央調理場）

令和２年度４月から中央共同調理場の調理業務が民間委託となりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休校をはじめ、夏休みの短縮による給食の実施など、様々な制約があるなかでの民間委託となりました。

○主な経費

光熱水費		6,820千円
委託料	教育施設消防設備点検業務委託	41千円
	受水槽及び高架水槽清掃管理業務	26千円
	衛生害虫駆除業務	120千円
	学校給食中央共同調理場配送業務	2,785千円
	廃棄物収集運搬業務委託	825千円
	蒸気ボイラー保守点検業務	261千円
	学校給食献立システム保守業務委託	106千円
	中央共同調理場調理業務委託	44,770千円

○主な財源

国庫支出金	地方創生推進交付金	20千円
繰入金	ふるさと創生基金繰入金	3,192千円

生涯学習課

【総括】

生涯学習課では、社会教育施設の利用や学習の機会の提供による社会教育の振興に加え、市民とスポーツとの関わりを深める事業の実施や環境整備などによるスポーツの推進に取り組んでいますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、通年で実施していた社会教育及びスポーツ推進に係る事業の一部について、縮小や事業の見送り等を行いました。

社会教育関係では、地域の歴史文化を学び、鳥羽の未来を考える人材育成講座「地球塾」事業を中止したほか、青少年の健全育成や歴史研究・文化活動に携わる団体を支援する「社会教育関係団体育成事業」では、コロナ禍の中、加盟する団体が事業実施の可否を判断し、実施が可能な事業範囲に止めたことや自分自身の生活の充実と活力を養う「公民館活動推進事業」で予定していた大半の生涯学習講座が開講を断念したことから、事業規模は減少しました。

スポーツ関連でも「国民体育大会準備事業」で、12月に予定していた国体のリハーサル大会を中止するほか、小・中学校の部活動に対し支援を行う「学校体育振興事業」においても、各種競技大会の開催が取り止めになるなど、事業規模の縮小が余儀なくされました。

このような状況の中においても、感染防止対策に取り組みながら実施した事業としては、学校を子どもの活動拠点（居場所）として位置づけ、放課後における様々な体験活動や地域住民との交流を支援する「放課後子供教室推進事業」を前年度に近い回数を実施しました。また、「図書館運営事業」では、定期休館日であった月曜日を開館日に切替えるなど、利用者サービスの向上にも努め、令和3年度から施行する「第3次鳥羽市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

主なハード整備としては「公民館維持管理事業」で分館の床板修繕に着手するほか、「文化財保存推進事業」の旧鳥羽小学校校舎外壁改修工事を引き続き施工しました。

また、スポーツ分野においても、令和2年10月に竣工した「市民体育館サブアリーナ」で活用する舞台幕やスポーツ関連備品等を購入し、利便性の向上を目指しています。

【新たに実施した事業】

地方創生に資することと、市民サービスの向上を目指すため、総務省が推進する「地域おこし企業人交流プログラム」を活用し、三大都市圏に所在する民間企業等の社員を一定期間受入れ、それぞれが保有する資源を有効活用するなどの連携を図りました。

具体的には、中央公園一帯の賑わいづくりを考案する「パークリノベーション108プロジェクト」など、関係各課と協議できる場を設け、今後の事業展開の方法等を検討しました。

【予算執行を伴わない事業】

とばっこ検定については、4年生の「御木本幸吉」、5年生の「海女」に加え、6年生を対象に「鳥羽城と九鬼嘉隆」をテーマにした検定を新たにスタートさせ、全員合格をしました。

また、三重大学「海女研究センター」の主催で、海の博物館を会場とした市民向けの講座である「海女学講座Ⅲ」が開催されました。3年目の本年度は、海女文化にまつわる文学、観光活用、海藻漁などのテーマで4回実施されました。

図書館では、居心地の良い場所の提供と、本や活字の魅力を知る機会づくりとして、秋の読書週間期間中に「寝袋図書館」・「おためしカフェ」を実施し、図書館の魅力向上に努めました。

(款) 9 教育費

(項) 5 社会教育費

(目) 1 社会教育総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
49,935	47,029		386		689	41	45,913

事業区分	1 社会教育給与等管理費	39,805 千円	事項別明細書 P 174 ~
社会教育事務局運営事業	予算現額	41,846 千円	
	決算額	39,805 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	41,470 千円
社会教育委員会を開催し、社会教育事業全般にかかる報告や協議等を行いました。また、「第24回海の香りのする詩」では、市内の小学生（5・6年生）・中学生を対象に実施し、619点の作品応募があり、各学校において表彰者への表彰状の授与を行いました。 ○主な経費 委員報酬 社会教育委員報酬（8人） 49 千円 職員人件費（5人） 37,374 千円 会計年度任用職員報酬等（1人） 1,869 千円 報償費 海の香りのする詩 187 千円 ○主な財源 ふるさと創生基金繰入金 289 千円			

事業区分

2 人権教育推進事業

2,243 千円 事項別明細書 P 176 ~

人権教育推進事業	予算現額	2,456 千円
	決算額	2,243 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 2,697 千円

市人権教育研究協議会や学校関係・地域団体とも連携しながら、児童・保護者・地域がともに人権について学ぶ学習会や講演会を開催し、人権教育を推進しました。

市人権教育研究事業補助金については、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初計画していた事業が中止や延期となったため、補助金を減額することとなりました。

講演会・学習会	回数	参加者数（延べ人数）
	3	178

○主な経費

報酬	社会教育指導員報酬（1人）	1,415 千円
報償費	人権教育推進事業講師報償（3事業）	68 千円
補助金	市人権教育研究事業	92 千円

生涯学習推進事業		予算現額	248 千円						
		決算額	185 千円						
		翌年度繰越額	0 千円						
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	52 千円						
鳥羽市民体育館サブアリーナ完成後初めての開催となる成人式は、新成人12人の実行委員会を中心に、テーマ「胸を張れる大人への一歩、はばたけ未来へ」を掲げ、開催しました。 また、実行委員会が作成した「思い出のピクチャー」を上映するほか、「鳥羽市2021成人式」のロゴが入ったタンブラーを記念品として贈りました。 新型コロナウイルス感染症予防対策の一環として、事前参加申込制や人数制限などの対策を講じました。									
		<table><tr><td>新成人式典参加者数（人）</td><td>保護者式典参加者数（人）</td></tr><tr><td>123</td><td>27</td></tr></table>		新成人式典参加者数（人）	保護者式典参加者数（人）	123	27		
新成人式典参加者数（人）	保護者式典参加者数（人）								
123	27								
○主な経費 報償費 成人式記念品 178 千円									
人材育成講座「地球塾」事業		予算現額	20 千円						
		決算額	0 千円						
		翌年度繰越額	0 千円						
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	775 千円						
人材育成講座「地球塾」については、新型コロナウイルス感染症予防のため、今年度の講座を中止にしました。 また、市内小学4年生から6年生を対象に実施している「とばっこ検定」については、今年度から6年生の「鳥羽城と九鬼嘉隆」をテーマにした検定を開始し、4年生から6年生の全員が検定に合格しました。 検定に向けた出前講座については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、1校の実施に留まりました。									
<table><tr><td>講座種類</td><td>回数（回）</td><td>参加者延べ人数（人）</td></tr><tr><td>郷土学習出前講座</td><td>1</td><td>28</td></tr></table>				講座種類	回数（回）	参加者延べ人数（人）	郷土学習出前講座	1	28
講座種類	回数（回）	参加者延べ人数（人）							
郷土学習出前講座	1	28							
放課後子供教室推進事業		予算現額	888 千円						
		決算額	585 千円						
		翌年度繰越額	0 千円						
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	631 千円						
加茂小学校区、安楽島小学校区、鳥羽小学校区において、地域の皆さまの参画を得ながら、水曜日に「かもっこ」・「あらっこ」・「とびっこ」を開催しました。 事業の推進にあたっては、コーディネーターに意見をいただきながら、まちなみ水族館やハロウィンで遊ぶなどの工作の他、バドミントンやボッチャなどのスポーツを行い、子どもたちの放課後の安全安心な居場所づくりに努めました。									

放課後子供教室推進事業				
各教室別内訳	回数（回）	参加者延べ人数（人）	登録者数（人）	
かもっこ放課後子ども教室	10	302	59	
あらっこ放課後子ども教室	20	556	133	
とびっこ放課後子ども教室	5	149	58	
計	35	1,007	250	
○主な経費 報償費 放課後子ども教室・放課後子どもプラン運営委員報償 83 千円 放課後子ども教室コーディネーター等報償 392 千円 ○主な財源 県補助金 放課後子供教室推進事業費 386 千円				

事業区分	4 歴史文化ガイドセンター事業	2,934 千円	事項別明細書	P 176 ~
歴史文化ガイドセンター事業		予算現額	3,179 千円	
		決算額	2,934 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標	2-3【歴史文化】地域文化の奥深さをわかちあおう	(前年度決算額)	3,100 千円
市街地の入口に立地する歴史文化ガイドセンターを賃借し、九鬼嘉隆展を常設するほか、鳥羽の歴史・文化を紹介しました。また、令和2年度は堺市博物館所蔵の史料の中に九鬼嘉隆親子が豊臣秀吉の死後、剃髪しようとしていたことを示す文書が発見されたことからガイドセンターでミニパネルを作成し、展示しました。（入館者1,044人） ○主な経費 家賃及び共益費 鳥羽市歴史ガイドセンター賃借料・共益費 2,714 千円				

事業区分

5 社会教育団体補助事業

1,277 千円 事項別明細書 P 176 ~

社会教育関係団体育成事業		予算現額	1,298 千円
		決算額	1,277 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	2,545 千円

社会教育団体の活動に対して補助金を交付し、各団体の自主的な活動を支援し、歴史、文化の継承や青少年等の健全育成を図りました。

○主な活動内容

助成団体	活動内容
鳥羽市PTA連合会	単位PTA相互の連携を図り、学校・家庭・社会における児童・生徒の健全育成に努めました。当初計画した会議等につきましては、予定通りに実施できませんでした。
鳥羽市青少年育成市民会議	コロナ禍の中、感染症予防対策を取り、みんなで凧作り教室、新春凧あげ大会、スターウォッチングを開催しました。 子どもフェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。

社会教育関係団体育成事業

鳥羽市文化協会	文化活動の促進・意識高揚を図るため、「市民文化祭」を開催する予定で準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、急遽中止となりました。
鳥羽郷土史会	郷土の歴史文化を次世代に継承するため、学習会を実施し、会報・会誌を発行しました。
鳥羽恐竜研究振興会	新型コロナウイルス感染症の影響により、夏休みの宿泊体験を中止しました。 これまで安楽島小学校にて保管されていた鳥羽竜に関する資料等を門野幾之進記念館の一角へ移し、展示や化石レプリカ作り体験ができるスペースとしました。

○主な経費

補助金	鳥羽市PTA連合会	20 千円
	鳥羽市青少年育成市民会議	360 千円
	鳥羽市文化協会	380 千円
	鳥羽郷土史会	80 千円
	鳥羽恐竜研究振興会	400 千円

○主な財源

繰入金	ふるさと創生基金繰入金（鳥羽恐竜振興会補助金分）	400 千円
-----	--------------------------	--------

(款) 9 教育費

(項) 5 社会教育費

(目) 2 公民館費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
8,055	7,558	241				664	6,653

事業区分	1 公民館維持管理事業	6,977 千円	事項別明細書 P 176 ~
公民館維持管理事業		予算現額	7,421 千円
		決算額	6,977 千円
		翌年度繰越額	0 千円
	まちづくりの目標 1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	8,638 千円
池上分館の倉庫や大明西分館の床板修繕のほか、危険性・緊急性を踏まえ修繕に着手し、公民館施設の適正な維持管理と地域におけるコミュニティ活動が行いやすい環境づくりに努めました。			
○主な経費			
光熱水費	各分館光熱水費		4,029 千円
修繕料	池上分館倉庫床修繕		151 千円
	松尾分館エアコン修繕		8 千円

公民館維持管理事業		
	小浜分館消火ポンプ制御盤修繕	44 千円
	大明西分館床修繕	187 千円
	池上分館鉄柵他修繕	99 千円
	石鏡分館分電盤修繕	81 千円
○主な財源		
	国庫補助金 地方創生臨時交付金	241 千円
	公民館使用料	350 千円
	光熱水費（地元負担分）	291 千円

事業区分

2 公民館活動推進事業

581 千円 事項別明細書 P 176 ~

公民館活動推進事業		予算現額	634 千円
		決算額	581 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	1,465 千円

各地区の公民館活動の推進を図るため、各分館主事と連携して地域のニーズにあった活動に努めました。

これまで、学ぶ喜びを知るきっかけづくりの場として、中央公民館を中心に生涯学習講座を実施してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、運動や歌唱を伴う講座については中止となりました。

《開催した生涯学習講座》

講座名	回数	延べ人数（人）
楽しい絵画教室	4	39
初めての篆刻	4	24
はじめてのペン習字	4	20
冬のガーデニング教室	1	5
合計（4講座）	13	88

《開催を中止した生涯学習講座》

講座名	回数	応募数（人）
みんなで簡単な踊りをしましょう	4	32
バレトン&ストレッチ	4	17
長尾オルガンで歌いましょう	3	9
韓国語教室（入門）	1	—
鳥羽国際ホテルのシェフに学ぶフランス料理	1	10
焼き物を楽しむ	1	—
プリザーブドフラワーのある暮らし～リース～	1	—
夏休親子体験（キャンドルをつくろう）	1	—
夏休親子体験（ハーバリウム）	1	—
夏休親子体験（楽しく陶芸）	1	—
合計（10講座）	18	—

公民館活動推進事業	
○主な経費	
報償費 分館主事報償（20人）	464 千円
生涯学習講座講師報償	110 千円

（款） 9 教育費

（項） 5 社会教育費

（目） 3 図書館費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
38,504	36,651	481				3,410	32,760

事業
区分

1 図書館給与等管理費

36,651 千円 事項別明細書 P 178 ~

図書館運営事業		予算現額	38,300 千円
		決算額	36,475 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	39,240 千円

図書館では、定期休館日であった月曜を開館し、利用者サービスの向上を図りました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、書籍専用除菌装置とタブレット型検温器を設置しました。

また、第2次鳥羽市子ども読書活動推進計画の計画期間が、令和2年度末で満了となることから、鳥羽市子ども読書活動推進計画策定委員会を開催し、第3次鳥羽市子ども読書活動推進計画を策定しました。

《図書館行事一覧表》

行事名	開催月・回数	参加者数 (延人数)	行事名	開催月・回数	参加者数 (延人数)
絵本とかみしばいの会	毎月1回	45	世界KAMISHIBAIの日	12月(1回)	5
赤ちゃん絵本の会	毎月第4金曜日	中止	冬休みおはなし会	12月(1回)	中止
おはなし会	毎月第1土曜日	17	工作&おりがみ教室	12月(1回)	中止
ブックトーク	毎月1回	中止	大人のためのおはなし会	2月(1回)	中止
ストーリーテリング講習会	1~2月(3回)	67	ストーリーテリング勉強会	毎月第3火曜日	12(会員)
夏休みおはなし会	7月(1回)	中止	読書会	毎月第2火曜日	11(会員)
おりがみ教室	7月(1回)	中止	古文書講座	10~2月(5回)	中止
手作り絵本講習会	7.8月(2回)	中止	俳句講座(文化講座)	毎月第1木曜日	9(受講生)
工作教室	8月(1回)	中止	書道講座(文化講座)	毎月第3木曜日	18(受講生)
「絵本と子育て」講演会	10月(1回)	中止	短歌講座(文化講座)	毎月第3木曜日	8(受講生)
寝袋図書館	10月(1回)	5	絵画講座(文化講座)	毎月第4木曜日	6(受講生)
図書館カフェ	10月(1回)	22	本のリサイクルフェア	9~10月	中止

図書館運営事業

《展示会・作品展》

展示名	期間	展示名	期間
写真家佐藤健寿写真展示	～4月10日	読書週間展示	10月17日～11月8日
こどもの読書週間を楽しもう！	5月7日～6月9日	絵画講座作品展	12月10日～24日
水軍の将、九鬼嘉隆が僧侶になる!?（書状展示）	6月11日～8月31日	市内小中学校書き初め作品展	1月22日～2月5日
教科書展示	6月12日～26日	鳥羽うみアートプロジェクト展示	2月6日～24日
原爆と人間展	7月23日～8月31日	令和2年度文化講座作品展覧会	2月26日～3月9日
夏休み！読書をしよう！！	7月23日～8月31日	中部電力 電気ポスター作品展示	3月16日～3月30日

◎図書館利用状況

年度	登録者数（人）	入館者数（人）	会議室利用件数(回)	コピーサービス(枚)
令和元年度	12,083	75,704	208	5,128
令和2年度	12,224	63,438	166	2,845

◎貸出状況

(冊)

年度	一般書	児童書	郷土・雑誌	視聴覚他	計	内、団体貸出冊数
令和元年度	54,059	37,284	6,260	1,248	98,851	11,216
令和2年度	51,168	32,764	4,653	751	89,336	9,467

◎蔵書数

(冊)

平成30年度	令和元年度	令和2年度
192,602	194,163	196,752

◎職業体験・社会見学受入状況

長岡中学校（職業体験） 2人 弘道小学校（社会見学） 19人

◎市内小中学校へのブックトーク実施

小学校5校・26回 中学校2校・3回

○主な経費

職員人件費（2人）	9,219千円
会計年度任用職員報酬等	13,971千円
委託料	図書マーク作成業務 257千円
	警備業務 119千円
備品購入費	図書・視聴覚資料等 5,000千円
	書籍専用除菌装置等 481千円
会費等負担金	日本図書館協会 37千円
	三重県図書館協会 17千円

○主な財源

国庫支出金	地方創生臨時交付金 481千円
諸収入	三重県市町職員互助会公益事業助成金 3,000千円

子育て支援（ブックスタート）事業	予算現額	204 千円
	決算額	176 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 203 千円
健康福祉課が行う7か月児健康相談時に保健師と図書館司書が連携し、絵本を通して赤ちゃん と保護者の心がふれあう機会となるよう、ブックスタートパック（絵本2冊、赤ちゃんの絵本リ スト、トートバッグ等）を手渡し、絵本の楽しさや魅力を伝えました。 ○主な経費 消耗品費 176千円		

(款) 9 教育費

(項) 5 社会教育費

(目) 4 補導センター費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,800	1,721					4	1,717

事業区分

1 青少年サポートセンター運営事業		1,721 千円	事項別明細書	P 178 ~
青少年サポートセンター運営事業		予算現額	1,800 千円	
		決算額	1,721 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	1,820 千円	
サポートセンターによるパトロール（週3回）のほか、夏休み中には市内一円の夜間パトロールを実施し、青少年の非行防止と健全育成に努めました。				
※新型コロナウイルス感染症の影響により、赤崎まつり及びみなとまつりの開催が中止になったことに伴い、祭り当日の夜間パトロールも中止となりました。				
指導員の巡回指導等実施状況				
実施内容	回数（回）	参加人数（人）	備考	
随時パトロール	104	104		
合同パトロール	5	10		
特別合同パトロール	0	0	コロナ禍により中止	
啓発活動	0	0	コロナ禍により中止	
○主な経費				
会計年度任用職員報酬等			1,679 千円	

(款) 9 教育費

(項) 5 社会教育費

(目) 5 コミュニティ事業費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
3,024	2,792					24	2,768

事業区分 1 コミュニティ施設運営管理経費		2,792 千円 事項別明細書 P 180 ~	
コミュニティアリーナ維持管理事業		予算現額	3,024 千円
		決算額	2,792 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	3,566 千円
離島における地域や学校のスポーツ活動や生涯学習の活動拠点施設として幅広く利用されているため、安全で安心して利用できる維持管理に努めました。また、答志コミュニティアリーナの管理運営を指定管理者に委託し、施設の管理運営と利用者に対するサービス向上を図りました。 ○主な経費 委託料 答志コミュニティアリーナ指定管理業務 1,274 千円			

(款) 9 教育費

(項) 5 社会教育費

(目) 6 文化財保護費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
11,060	10,476	4,191		1,700		840	3,745

事業区分

1文化財保護事業

10,476千円

事項別明細書

P 180 ~

文化財保存推進事業		予算現額	8,070千円
		決算額	7,619千円
		翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	2-3【歴史文化】地域文化の奥深さをわかちあおう	(前年度決算額)	13,127千円

市内の指定及び登録文化財等の保全、活用を推進するため、必要な事業を実施しました。

旧鳥羽小学校については、外壁の改修工事を部分的に進めていますが、令和2年度は建物の西側側面の外壁・一部窓枠を改修しました。

また、旧鳥羽幼稚園石垣・旧鳥羽小周辺の除草作業等を行いました。

その他、指定文化財を中心とした鳥羽の歴史遺産を紹介する動画を作成し、PRを行いました。

○主な経費

修繕料	伊良子清白の家ウッドデッキ及び板塀修繕工事	135千円
委託料	旧鳥羽小学校除草作業等業務	199千円
	旧鳥羽幼稚園石垣除草作業	121千円
	旧鳥羽小学校駐車場砂利敷業務	198千円
	旧鳥羽小学校校舎外壁改修工事にかかる技術指導業務	227千円
	鳥羽市文化財動画作成業務	798千円
工事請負費（補助）	旧鳥羽小学校校舎外壁改修工事	4,994千円
会費等負担金	志摩文化財調査保護委員協議会	15千円
補助金	文化財保護事業費	80千円

交付先	文化財名	種別
答志文化保存会	九鬼嘉隆墓、岩屋山古墳	県（史跡）、市（史跡）
桃取町内会	桃取のヤマトタチバナ	県（天然記念物）

文化財保存推進事業			
○主な財源			
使用料	行政財産使用料		840 千円
国補助金	登録有形文化財建造物処理事業費補助金		3,393 千円
	地方創生臨時交付金		798 千円
地方債	文化財保存推進事業債		1,700 千円
文化財調査事業		予算現額	191 千円
		決算額	58 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	3,661 千円
鳥羽市文化財調査委員会を開催したほか、県外に所在する鳥羽関係資料の調査を行いました。			
○主な経費			
委員報酬	文化財調査委員報酬		24 千円
普通旅費	鳥羽関係資料調査（三田市）		10 千円
文化財収蔵展示施設運営管理費		予算現額	2,799 千円
		決算額	2,799 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-3【歴史文化】地域文化の奥深さをわかちあおう	(前年度決算額)	2,071 千円
「鳥羽大庄屋かどや」について、かどや保存会への指定管理委託により、保守管理を行ないました。今年度も様々な展示と、イベント・教室等を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により4/11～5/31を休館したほか、催しの中止、県外入館者の制限等の影響もあり、入館者は3,956人で、前年度より1,879人減少しました。			
○主な経費			
委託料	鳥羽大庄屋かどや指定管理業務		2,799 千円

(款) 9 教育費

(項) 5 社会教育費

(目) 7 博物館費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
9,258	8,429						8,429

事業区分	1 博物館管理費	8,429 千円	事項別明細書 P 182 ~
博物館運営事業		予算現額	9,258 千円
		決算額	8,429 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-3【歴史文化】地域文化の奥深さをわかちあおう	(前年度決算額)	13,056 千円

博物館運営事業

鳥羽市立海の博物館では、特別展・写真展等全7つの企画展のほか、海にまつわる体験学習等を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、入館者数が減少したものの、修学旅行による学生の入館者数が大きく増加したため、海女文化等をはじめとする鳥羽の海洋文化を学生に学んでいただく好機となりました。

また、指定管理者の自主的な取組みとして、海の博物館で販売しているグッズをインターネットで購入することができるオンラインショップを開設したことで、新聞等で話題になるなど、コロナ禍における新しい事業展開を図りました。

入館者数

年度	入館者数	内修学旅行生	学校数
令和2年度	24,716	8,806	165
令和元年度	29,810	2,578	38
前年対比	△ 5,094	6,228	127

○主な経費

報償費	鳥羽市立海の博物館運営協議会委員報償	55 千円
委託料	鳥羽市立海の博物館指定管理業務	8,113 千円
土地借上料	土地借上料（博物館駐車場）	120 千円

（款） 9 教育費

（項） 6 保健体育費

（目） 1 保健体育総務費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
29,359	28,539					6	28,533

事業
区分

1 保健体育給与等管理費

28,539 千円 事項別明細書 P 182 ~

保健体育総務業務	予算現額	29,359 千円
	決算額	28,539 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 22,412 千円

スポーツ推進委員協議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総会や研修会が中止となりました。

○主な経費

委員報酬	スポーツ推進委員報酬（19人）	441 千円
職員人件費（4人）		25,329 千円
会計年度職員賃金等		2,402 千円
会費等負担金	三重県スポーツ協会	54 千円
	三重県体育施設協会	10 千円
	三重県スポーツ推進委員協議会	38 千円

(款) 9 教育費

(項) 6 保健体育費

(目) 2 保健体育振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
23,738	17,507	199			1,736	519	15,053

事業区分

1生涯スポーツ振興事業

13,793千円

事項別明細書

P 184 ~

生涯スポーツ振興事業		予算現額	11,733千円												
		決算額	10,620千円												
		翌年度繰越額	0千円												
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	12,541千円												
新型コロナウイルス感染症の影響から、全国大会等の開催が少なく、令和元年度に比べ、激励金の支出が減少したが、各種団体において、感染症対策を実施しながら活動を行うなど、スポーツの推進を図りました。															
また、答志小学校をモデル校としているコーディネーショントレーニングでは、オンライン形式での授業を行うなど、新たな方法での実施となりました。															
<table><tr><td>項目</td><td>回数(回)</td><td>参加者延べ人数(人)</td></tr><tr><td>鳥羽市小学校相撲大会</td><td colspan="2">新型コロナウイルス感染症の影響により中止</td></tr><tr><td>障がい者スポーツ教室</td><td colspan="2">新型コロナウイルス感染症の影響により中止</td></tr><tr><td>コーディネーショントレーニング</td><td>10</td><td>233</td></tr></table>				項目	回数(回)	参加者延べ人数(人)	鳥羽市小学校相撲大会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		障がい者スポーツ教室	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		コーディネーショントレーニング	10	233
項目	回数(回)	参加者延べ人数(人)													
鳥羽市小学校相撲大会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止														
障がい者スポーツ教室	新型コロナウイルス感染症の影響により中止														
コーディネーショントレーニング	10	233													
○主な経費															
報償費	鳥羽市スポーツ競技全国大会等出場激励金(7件)	35千円													
委託料	コーディネーショントレーニング普及啓発業務	330千円													
補助金	鳥羽市武道館管理事業	7,396千円													
	鳥羽市体育協会社会体育普及振興事業	1,288千円													
	鳥羽市スポーツ少年団事業	382千円													
	長岡スポーツ文化クラブ活動事業	161千円													
	美し国三重市町対抗駅伝鳥羽市選手団派遣事業	574千円													
	社会体育選手派遣事業	37千円													
	ジュニアスポーツ支援事業	398千円													
○主な財源															
国庫補助金	地方創生推進交付金	199千円													
学校体育施設開放事業		予算現額	1,480千円												
		決算額	1,332千円												
		翌年度繰越額	0千円												
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	1,332千円												

学校体育施設開放事業

子どもや大人が気軽にスポーツを楽しむ場を提供するため、学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を開放し、スポーツが行える環境を整え、市民の健康増進や体力向上に努めました。

体育施設開放校数（校）	利用者延べ人数（人）
10	20,469

○主な経費

報償費 学校体育施設開放管理指導員 1,332 千円

市民体育大会事業

予算現額	257 千円
決算額	146 千円
翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標 1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう

(前年度決算額) 274 千円

新型コロナウイルス感染症の影響から、市民体育大会の開催が危ぶまれましたが、各競技団体が感染症対策を施し、開催することができました。令和元年度より競技数や参加者数は減少しましたが市内外問わず多くの方が参加していただきました。

また、例年、総合開会式で行う全国・東海大会等で優秀な成績を収めた選手への表彰を密な状況を作り出さないため、受賞者だけを集めての表彰式として開催しました。

市民体育大会		表彰	
競技数	参加者数（人）	選手（人）	チーム
11	483	16	1

○主な経費

報償費 市民体育大会運営謝金 110 千円

国民体育大会準備事業

予算現額	2,200 千円
決算額	1,695 千円
翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標 1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう

(前年度決算額) 4,144 千円

令和3年度に開催される三重とこわか国体に向け、12月に国体のリハーサル大会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から大会が中止になりました。

また、フェンシング競技の普及啓発のため、鳥羽市民体育館サブアリーナの竣工式に合わせ、柔らかい剣を用いるスマートフェンシングを開催したほか、PR看板を設置するなど機運醸成を図りました。

会議等の開催

名称	開催回数	主な内容
宿泊衛生専門委員会	1回	弁当調製施設業者の候補選定
常任委員会	1回	専門委員会における調査審議事項
総会	1回	事業報告、収支決算、事業計画、収支予算

国民体育大会準備事業

P R 活動

名称	実施場所
三重とこわか国体横断幕の設置	鳥羽市民体育館
事務所の窓をラッピング	鳥羽市教育委員会
炬火トーチの展示	鳥羽市民体育館
近鉄中之郷駅にP R看板を設置	近鉄中之郷駅

広報紙

発行号	内容
8月1日号	三重とこわか国体の概要、ボランティアや弁当調製施設の募集
10月1日号	フルーレの見どころと鳥羽市で活躍する選手の紹介など
12月1日号	サーブルの見どころと鳥羽市にゆかりのある選手の紹介など
2月1日号	エペの見どころと鳥羽市にゆかりのある選手の紹介
3月1日号	伊勢志摩とこわか国体・大会事前体験レポート（8市町合同企画）

啓発イベントの開催

名称	開催回数	実施場所
一緒におどろう♪とこわかダンス	3回	安楽島保育所 あおぞら保育所 答志小学校
フェンシング普及事業	1回	加茂中学校
スマートフェンシングの実施	1回	鳥羽市民体育館

○主な経費

補助金 三重とこわか国体鳥羽市推進事業 1,695 千円

○主な財源

繰入金 ふるさと創生基金繰入金 1,695 千円

事業
区分

2 学校体育活動事業

817 千円 事項別明細書 P 184 ~

学校体育振興事業	予算現額	3,036 千円
	決算額	817 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 2,915 千円

新型コロナウイルス感染症の影響から、小・中学校における部活動の大会が中止となり、昨年度に比べ減少となったほか、学校水泳が実施されなかったため、事業に対する補助金が皆減となりました。

○主な経費

会費等負担金	三重県中学校体育連盟	112 千円
補助金	鳥羽市小学校体育研究会運営事業	45 千円
	鳥羽市中学校体育連盟運営事業	224 千円
	小学校選手派遣事業	101 千円
	中学校選手派遣事業	335 千円

事業区分 3 東京2020オリパラ推進事業		41 千円 事項別明細書 P 184 ~	
東京2020オリパラ推進事業	予算現額	2,172 千円	
	決算額	41 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	0 千円
東京2020オリンピック・パラリンピックの1年延期に伴い、オリンピック聖火リレー、オリンピック選手の応援・パラリンピック聖火フェスティバルも1年延期になりましたが、鳥羽市民体育館サブアリーナの竣工式に合わせ、オリンピック聖火の展示を行い、1,400人もの方々に鳥羽市民体育館及び聖火を見ていただくことができました。 ○主な経費 会費等負担金 オリンピック聖火を活用した地方創生事業に係る諸経費 41 千円 ○主な財源 繰入金 ふるさと創生基金繰入金 41 千円			

事業区分 4 地域おこし企業人推進事業		2,856 千円 事項別明細書 P 184 ~	
地域おこし企業人推進事業	予算現額	2,860 千円	
	決算額	2,856 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	0 千円
パークリノベーション108プロジェクト（地方創生推進事業）など関係各課と連携し、今後の事業展開の方法等を検討しました。 ○主な経費 会費等負担金 地域おこし企業人交流プログラム負担金 2,800 千円			

(款) 9 教育費

(項) 6 保健体育費

(目) 3 保健体育施設費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
54,374	53,994	15,224		11,000	6,790	300	20,680

事業区分 1 運動施設管理運営事業		53,994 千円 事項別明細書 P 184 ~	
運動施設管理運営事業	予算現額	54,374 千円	
	決算額	53,994 千円	
	翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	21,776 千円
新型コロナウイルス感染症の影響から、各種スポーツ団体の活動が減少したほか、相撲大会の中止、水泳プールの開設期間を短縮したことにより、利用者数が昨年度と比べ、大幅な減少となりました。			

運動施設管理運営事業

また、鳥羽市運動施設を（公財）鳥羽市武道振興会に管理を委託し、鳥羽市民体育館サブアリーナの工事完了に伴い、舞台幕や舞台用品等の備品購入を行いました。そのほか、利用者に安全安心に施設を利用していただくため、新型コロナウイルス感染症対策として消毒液やタブレット型の検温器等を購入し、設置しました。

【利用者数】

施設名	利用者数（人）
体育館	4,840
野球場	1,943
庭球場	1,888
多目的グラウンド	2,455

施設名	利用者数（人）
相撲場	0
水泳プール	2,025
合 計	13,151

【自主事業】

自主事業開催数（回）	参加者延べ数（人）
1	54

○主な経費

委託料	鳥羽市運動施設指定管理業務	20,476 千円
備品購入費	フェンシングピスト台及びリールセット	1,100 千円
	鳥羽市民体育館サブアリーナ映像機器	214 千円
	タブレット型顔認証検温器	177 千円
	鳥羽市民体育館舞台幕等備品	5,673 千円
	鳥羽市民体育館サブアリーナ舞台用品	19,944 千円
	鳥羽市民体育館バドミントン支柱等備品	101 千円
	非接触体温計	41 千円
	鳥羽市民体育館スタッキングチェア等備品	5,610 千円
	バレーボール支柱	294 千円

○主な財源

国庫補助金	地方創生推進交付金	14,852 千円
	地方創生臨時交付金	372 千円
寄附金	運動施設備品購入費寄附金	292 千円
繰入金	ふるさと創生基金繰入金	6,790 千円
地方債	運動施設整備事業債	11,000 千円

定 期 船 課

【総括】

鳥羽市コミュニティ交通システムの確立を目指し、市内5路線でコミュニティバス（かもめバス）の運行を行いました。

本年度は乗車人員142,306人を輸送し、運賃収入は27,788,560円となりました。前年度対比で見ると乗車人員は53,370人の減少で27.3%減、運賃収入は15,907,084円の減少で36.4%減となりました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言の発令による外出自粛など移動の制限があったことによるものです。

このような状況下においても、通勤、通学、通院及び買い物等で利用する方の移動手段を確保するため、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として車内の抗菌加工をはじめ車窓の開放による換気などを実施し、減便や運休等を行うことなく通常運行を維持しました。

また、地域の高等学校及び地域団体と連携し取り組んでいた公共交通を利用した高校生発想の旅行企画「海女さんのように元気になれるバスの旅」のパンフレットを印刷し、鳥羽バスセンター等へ設置するとともに、本市ホームページにも掲載し幅広く周知しました。

【新たに実施した事業】

地域公共交通の利用促進を図るため、グーグルマップで路線検索が可能となる「時刻表の見える化」に対応し、外国人旅行客にも利用しやすい環境を整えました。

また、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正に伴い、「地域公共交通計画」を作成することが義務付けられました。このため、鳥羽市地域公共交通会議を開催し、公共交通機関をはじめ本市を取り巻く現状を踏まえ、市民の方や観光客の方の移動に関する課題や、この課題解決に向け実施する事業等を取りまとめた「鳥羽市地域公共交通計画」を策定しました。

（款） 2 総務費

（項） 1 総務管理費

（目） 16 交通事業費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
106,857	103,364				22,163	72	81,129

事業区分	1 地域交通事業	103,364 千円	事項別明細書	P 70 ~
地域交通事業		予算現額	106,857 千円	
		決算額	103,364 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう	(前年度決算額)	83,490 千円	
地域公共交通の活性化を図るため、国の補助制度である地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用してかもめバスを運行しました。また、鳥羽市消防本部の移転に伴うバス停の名称変更を行ったほか、危険なバス停として公表された長岡中学校前バス停については、地元住民の方の協力を得て、利用者の安全が確保される場所へ移設しました。 鳥羽市地域公共交通会議において、計画期間が令和2年度までとなっている「鳥羽市地域公共交通網形成計画」に基づく個別事業計画に関する評価等について協議しました。このほか、関係				

地域交通事業

法令の改正に伴い作成が義務付けられた「地域公共交通計画」について協議を行い、令和3年3月に策定しました。

運転免許証自主返納者支援事業において、29人の方に6か月間のかもめバス無料利用券を交付し、利用促進に努めました。

○主な経費

鳥羽市コミュニティ交通システム天吊ディスプレイ交換	132 千円
鳥羽市コミュニティ交通システムデータ配信サーバー修繕	28 千円
鳥羽市営路線バス運行業務委託料	102,171 千円
鳥羽市営路線バス開設業務委託料	436 千円
鳥羽市地域公共交通会議補助金	72 千円

○主な財源

かもめバス広告掲載料(2件)	72 千円
ふるさと創生基金繰入金	22,163 千円

※地域公共交通確保維持改善事業費補助金については、7,933千円が運行委託事業者である三重交通(株)に直接補助されることから、運行経費から補助金と運賃収入等を差し引いた額を委託料としています。

かもめバス利用状況

区分	令和2年度	令和元年度	前年度対比
乗車人員(人)	142,306	195,676	72.7%
運賃収入(円)	27,788,560	43,695,644	63.6%

